

ISSN 2186-0645

富山市埋蔵文化財調査報告 93

富山城跡発掘調査報告書

- 総曲輪レガートスクエア整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(2) -

第一分冊

2018

富山市教育委員会

ISSN 2186-0645

富山市埋蔵文化財調査報告 93

富山城跡発掘調査報告書

- 総曲輪レガートスクエア整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(2) -

第一分冊

2018

富山市教育委員会



2期2・3・4区中層完掘



2区中層完掘（東から）



2区中層完掘（南から）



2区下層完掘



3区下層完掘



3期4区中層完掘



3期4区 SX3・4（南から）



4-SD1・60・SX40 断面（西から）



3期4区下層完掘（北西から）



2-SD70 断面・遺物出土状況（北から）



2-SD481 完掘（東から）



2-SK705 遺物出土状況（南から）



2-SK1000 遺物出土状況（東から）



2-SD481 出土遺物集合



2-SK1000 出土遺物集合



4-SD1 出土遺物集合



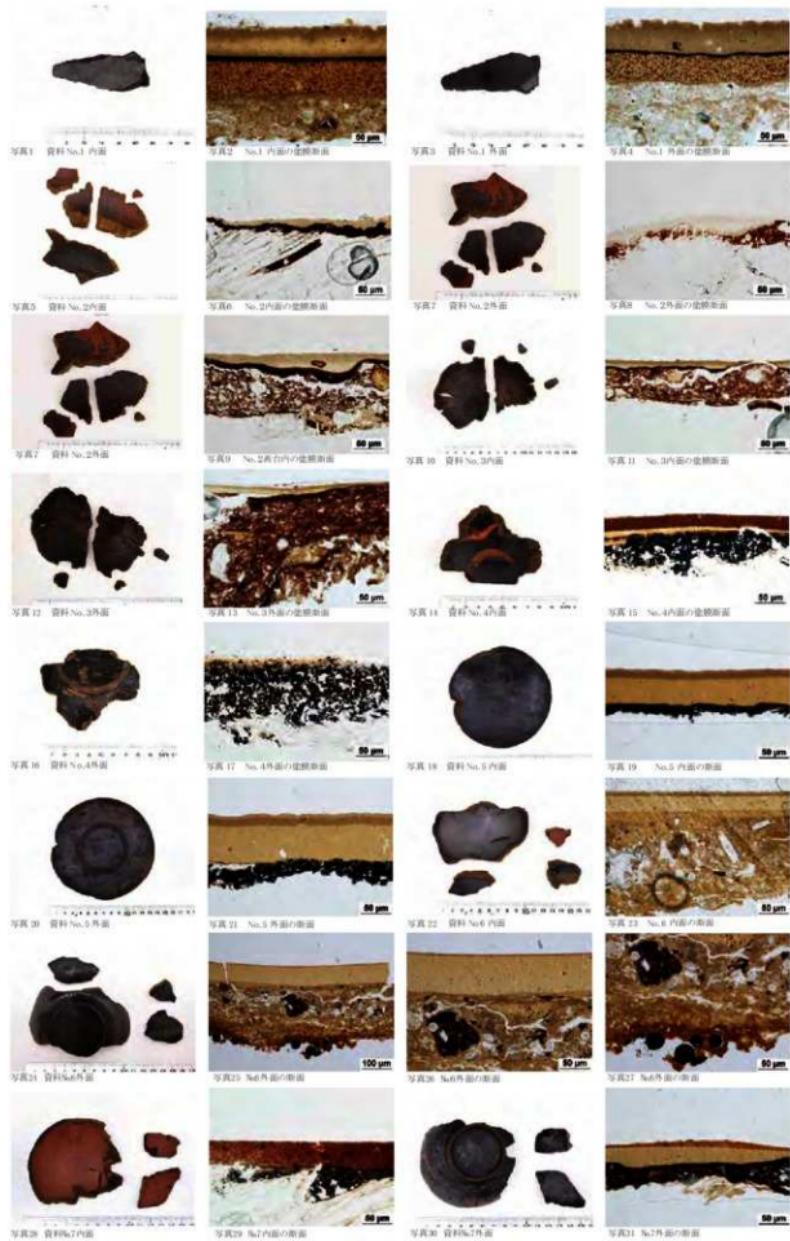
4-SD60 出土遺物集合



4-SX40 出土遺物集合



4-SK42 出土遺物集合



漆塗膜分析



『越中国富山古城之図』(正保絵図)

金沢市立玉川図書館所蔵



『越中国富山古城之図』(正保絵図)より富山城周辺拡大図



『万治年間富山旧市街図』（万治絵図）

個人蔵富山県立図書館受託



『万治年間富山旧市街図』（万治絵図）より富山城周辺拡大図

新進 東岩威等

書中間外事地圖事

右當所著の直里道源答
翁
新
進

江被議主額富知行牙相達之而了
主父源義提三河奉士額富知制

守下文下二物富代石奉新

大物主額富知行牙相達之而了

庭水立年五月吉
大和本詮頼

『吉見詮頼寄進状』(富山市指定文化財)

富山市郷土博物館所蔵

序

富山市には、先人たちが残した遺跡が現在約1,050ヶ所確認されております。遺跡は、本市が歩んできた歴史を知るためのかけがえのない財産であり、これを保護し、未来へ継承していくことは現代に生きる私たちが果たさなければならない責務と考えております。

近年、富山城跡周辺では市街地再開発に伴い発掘調査が数多く行われ、富山城の新たな歴史が次々と明らかになってきております。

平成17年4月に富山市立総曲輪小学校が統合され、平成29年4月にはその跡地に地域包括ケア拠点の総曲輪レガートスクエアがオープンしました。本委員会では、この整備に伴い平成26年度から平成28年度の3ヶ年にわたり富山城跡の発掘調査を実施しました。

平成27・28年度の調査では、室町時代から江戸時代までの遺構を確認し、近世富山城が造られる以前の歴史を知ることができました。特に、地名「トヤマ」の初見史料である『吉見詮頼寄進状』(市指定文化財)に記される「富山郷」の遺構を初めて確認したことは、富山の歴史を明らかにする上で貴重な成果といえます。また、江戸時代の防火水槽（水溜状遺構）を検出したことからは、当時の人々の防火意識の高さを伺い知ることができます。

このような調査成果をまとめた本書が、私たち共有の財産である埋蔵文化財を理解していただく上で参考になれば幸いです。

最後に、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地元総曲輪四丁目地区の皆様をはじめ、調査や整理にあたりご指導を賜りました関係各位、諸機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成30年3月30日

富山市教育委員会
教育長 宮口克志

例　　言

- 1 本書は、富山市総曲輪四丁目地内に所在する富山城跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査は、総曲輪レガートスクエア整備に伴うもので、富山市企画管理部企画調整課から委託を受け 富山市教育委員会埋蔵文化財センターの指導・監理の下で、北陸航測株式会社が実施した。
- 3 調査期間、調査面積、調査担当者は以下のとおりである。
 - (1)第2期調査
調査期間 現地調査 平成27年5月8日～平成27年11月16日
出土品基礎整理 平成27年6月16日～平成28年3月31日
調査面積 3,565.5 m² (2層合計8,400.8 m²)
 - (2)第3期調査
調査期間 現地調査 平成28年4月12日～平成28年7月20日
出土品基礎整理 平成28年5月16日～平成29年3月31日
調査面積 704.86 m² (2層合計1,136.1 m²)
 - (3)出土品整理・報告書作成
期間 平成29年4月3日～平成30年3月30日
調査・整理業務担当者 監理担当 堀内大介（富山市教育委員会 埋蔵文化財センター）
調査担当 朝田 要 橋 日奈子（北陸航測株式会社）
- 4 調査にあたり、総曲輪四丁目町内会、総曲輪地区センター、秋山綾子、阿部来、岩瀬由美、上野幸夫、浦畑奈津子、久保尚文、九千房英之、九千房百合、坂森幹浩、佐々木達夫、佐々木花江、新宅輝久、鈴木重治、滝川重徳、竹部佑介、立原秀明、中原義史、中島啓太、萩原大輔、藤田邦雄、古本統吉、堀内秀樹、間野達、松永篤知（個人名のみ50音順、敬称略）からご協力を賜った。記して謝意を表します。
- 5 自然科学分析は、環境考古学分析・放射性炭素年代測定・土壤粒度分析・樹種同定①は株式会社パレオ・ラボに、樹種同定②・漆塗膜分析は株式会社吉田生物研究所に委託し、その成果は朝田が編集し、本書「第IV章 自然科学分析」に掲載した。また「第4節 動物遺存体分析」は納屋内高史（富山市埋蔵文化財センター）が執筆し、「第5節 富山城堀出土「取鍋」付着物の蛍光X線分析」は中村晋也（金沢学院大学）に依頼して行った。出土木製品の保存処理については、株式会社吉田生物研究所に委託し、高級アルコール処理法を行った。
- 6 富山城・富山城下町に関する古地図および古文書の掲載については、富山県立図書館・金沢市立玉川図書館・富山市郷土博物館の承認を得た。
- 7 出土品及び原図・写真類は、富山市教育委員会が保管している。
- 8 本書は、第Ⅰ章・第Ⅲ章第3・4節を堀内、第Ⅱ章・第Ⅲ章第1・2・5節を朝田が執筆した。各文の文責については文末に記した。また全体の編集は朝田が行つた。

凡　　例

- 1 本書で用いた座標は国土座標VII系に準拠した。方位は真北、水平基準は海拔である。
- 2 平成26～28年（第1～3期）の調査を通して、第1期の調査区を1区とし、第2期の調査区は2～4区とした。第3期の調査区については第2期4区と隣接し、継続する同一の遺構が確認できたこともあり、併せて4区とした。
- 3 使用したグリッドは、2区・3区についてはX=76,590、Y=3,830を起点（A0）として、10m単位に、南北軸は南から北へ1～9、東西軸は西から東へA～Iとし、グリッド名はその組合せ（例：A1、G4等）を用いた。4区についてはX=76,630、Y=3,800を起点（AA0として、10m単位に、南北軸は南から北へ1～5、東西軸はAA～AEとし、グリッド名はその組合せ（例：AA1、AC4等）を用いた。
- 4 遺構記号は、SD：堀・溝・石組水路、SE：井戸、SK：土坑、SP：ピット、SB：掘立柱建物、SA：柵列、SX：性質不明遺構を用い、基本的に遺構事実記載もこの遺構種類順にまとめて行った。なお建物・柵列に含まれないSPについては、SK・SX等とまとめて記載した。
- 5 遺構番号は、基本的に地区ごとに調査時に付した番号をそのまま使用し、遺構番号の前に地区番号を2-SK1、3-SE77、4-SD60のようにつけた。中・下層の遺構番号は上層から通し番号とした。同一地区同一遺構番号のものや整理時に新に別遺構として認識したもの等については、新番号または枝番をつけた。

2	—	SK	1
地区	遺構	通し番号	番号

- 6 土層及び遺構埋土、遺物の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』に掲げる。
- 7 遺物図版・遺物写真の掲載順は、①遺物種類、②地区、③遺構種類（SD、SE、SK・SP）である。
- 8 遺物の年代観については、中世土師器については宮田・越前・森・高梨・酒井・堀内氏の、珠洲については吉岡氏の、中国陶磁は森田・山本・上田氏の、瀬戸美濃については藤澤氏の、越前については木村氏の、肥前系陶磁器については大橋氏の、越中瀬戸（素焼皿を除く全般）については宮田氏の、越中瀬戸（素焼皿）については堀内氏の編年を参考とした。
- 9 図中のアミカケは、各頁に凡例を示している場合を除き、以下のとおりである。

■スス・炭化物・油煙痕 ■地山

- 10 遺構一覧・遺物一覧の凡例は以下のとおりである。
 - (1) 遺構埋土に新旧関係がある場合は、特記欄に古く新のように記号で記す。
 - (2) 規模・法量の（ ）は口径等の復元推定値、（ ）は破損状態での器高等の現存長である。
- 11 [] は引用・参考文献である。

目 次

第1分冊

第Ⅰ章 調査の経緯	1
第Ⅱ章 調査の方法と成果	
第1節 調査の方法と層序	4
第2節 遺構	8
第3節 遺物	173
第Ⅲ章 総括	
第1節 主要遺構の変遷	334
第2節 富山城跡2・3期調査出土遺物について	342
第3節 中世莊園「富山郷」について	353
第4節 富山城跡出土の中近世土器皿について	365
第5節 江戸時代後期の富山城三ノ丸水溜状遺構について	371

第2分冊

第IV章 自然科学分析	
第1節 環境考古学分析	1
第2節 放射性炭素年代測定	29
第3節 富山城跡の洪水堆積物	33
第4節 樹種同定・漆塗膜分析	36
第5節 富山城堀出土「取鍋」付着物の蛍光X線分析	51
写真図版	

挿 図 目 次

第1図 富山城・城下町の調査位置図	2
第2図 グリット配置図	6
第3図 基本層序	7
第4～47図 2区全体図・遺構平面図・遺構断面図	9～79
第48～60図 2区平面図・地区割概略図・地区割図	80～92
第61～68図 3区全体図・遺構平面図・遺構断面図	98～108
第69～87図 4区全体図・遺構平面図・遺構断面図	111～133
第88～169図 土器陶磁器実測図	184～265
第169～172図 瓦・土製品・土人形・金属製品・骨角製品実測図	265～268
第173～179図 石製品・石造物・石材実測図	269～275
第180～184図 木製品実測図	276～280
第185図 主要遺構全体図概略図	339
第186・187図 主要遺構時代変遷略図	340～341
第188～192図 出土土器変遷図	348～352
第193図 周辺の調査区位置図	355
第194図 周辺の調査区平面図	356
第195図 市街地に残る条里痕跡図	357
第196図 「富山郷」推定範囲図	359

第197図 土師器皿の器形分類	365
第198・199図 中近世土師器編年図	368～370
第200図 金沢城下町遺跡水溜状遺構平面図・断面図	372
第201図 水溜状遺構関連施設の構造と変遷	373
第202図 水溜状遺構構築-再構築変遷模式図	374

表 目 次

第1表 富山城・城下町における調査一覧	3
第2表 2区遺構一覧表	134～167
第3表 3区遺構一覧表	167～169
第4表 4区遺構一覧表	170～172
第5表 遺物観察表(土器・陶磁器)	281～328
第6表 遺物観察表(その他)	329～332
第7表 主要遺構変遷表	338
第8表 出土遺物計量結果一覧表	347
第9表 富山郷閥連年表	354

卷頭・写真図版目次

卷頭図版1 2期調査中層完掘全景
卷頭図版2 2区中層完掘全景
卷頭図版3 2区下層完掘全景 3区下層完掘全景
卷頭図版4 3期4区中層完掘 4-SX3・4
卷頭図版5 4-SD1・60・SX40 3期4区下層完掘
卷頭図版6 2-SD705断面・遺物出土状況 SD481完掘
卷頭図版7 2-SK705遺物出土状況 2-SK1000遺物出土状況
卷頭図版8 2-SD481出土遺物集合 2-SK1000出土遺物集合
卷頭図版9 4-SD1出土遺物集合 4-SD60出土遺物集合
卷頭図版10 4-SX40出土遺物集合 4-SK42出土遺物集合
卷頭図版11 漆塗膜分析
卷頭図版12 『越中国富山古城之図』(正保絵図)
卷頭図版13 『万治年間富山旧市街図』(万治絵図)
卷頭図版14 『吉見詮頼奇進状』

写真図版目次

写真図版1～3	2区 全景
写真図版4～6	2区 ブロック
写真図版7～19	2区 溝
写真図版20～26	2区 井戸
写真図版27～65	2区 土坑
写真図版66	3区 全景
写真図版67～69	3区 溝
写真図版70	3区 井戸
写真図版71	3区 井戸・土坑
写真図版72～77	3区 土坑
写真図版78	4区 4-SD1・SX40
写真図版79	4区 北壁・南壁
写真図版80	4区 全景
写真図版81	4区 北側遺構
写真図版82	4区 SD1・60・SX40／SD1・SX5・40（南から）
写真図版83～85	4区 水溜状遺構
写真図版86・87	4区 溝・区画溝・堀
写真図版88	4区 井戸
写真図版89・90	4区 土坑
写真図版91	4区 その他遺構
写真図版92・93	4区 1期2期オルゾ合成
写真図版94～99	遺物集合
写真図版100～136	土師器
写真図版137	土師器・須恵器・珠洲
写真図版138	越前
写真図版139～143	越中瀬戸（素焼皿）
写真図版144	越中瀬戸（素焼皿・素焼皿以外）
写真図版145～153	越中瀬戸（素焼皿以外）
写真図版154	瀬戸美濃・中国青磁
写真図版155～157	中国陶磁器
写真図版158	京・信楽
写真図版159	京・信楽 唐津
写真図版160～163	唐津
写真図版164～170	伊万里・肥前系
写真図版171	伊万里・肥前系 近世陶器
写真図版172・173	近世陶器
写真図版174	瓦器・火鉢・土師質土器
写真図版175	土製品・土人形
写真図版176	金属製品・骨角製品・石製品・石造物
写真図版177	石製品・石造物・石垣石材
写真図版178	石造物
写真図版179	石材
写真図版180	木製品

第Ⅰ章 調査の経緯

「遺跡の位置と環境について」は、平成29年3月刊行の富山市埋蔵文化財調査報告書8『富山城跡発掘調査報告書』の第Ⅱ章を参照ください。

富山城跡（市No.2010442）は、平成5年3月発行『富山市遺跡地図（改訂版）』に登載され、周知の埋蔵文化財包蔵地となつた。この当時の包蔵地範囲は、現在の富山城址公園を中心に旧本丸・西ノ丸・二ノ丸を含む90,000m²であったが、平成10年の文化庁次長通知である「埋蔵文化財の保護と発掘調査の円滑化等について」の中で「近世に属する遺跡については、地域において必要なものを対象とすることができる」とした近世遺跡に関する取扱いの原則変更が通知されたことを受け、平成12年4月に改訂した『富山市遺跡地図』では城下町主要部まで範囲を拡張した。その後、平成25・26年度に富山城跡の埋蔵文化財包蔵地範囲の見直しを行い、城下町主要部を富山城下町遺跡主要部（市No.2011048）として分け、富山城跡は旧本丸・西ノ丸・二ノ丸・三ノ丸・東出丸、外堀の外側に配置された武家屋敷地までを範囲とした。現在の富山城跡の埋蔵文化財包蔵地面積は343,000m²である。

平成17年、富山市立総曲輪小学校と富山市立八人町小学校が富山市立芝園小学校として統合され、総曲輪小学校は廃止となつた。平成21年12月に「富山市統合小学校跡地活用事業基本計画」が策定され、旧総曲輪小学校跡地はPPP（パブリックプライベートパートナーシップ：公民連携）を採用して活用することが盛り込まれた。その後、平成25年10月に「旧総曲輪小学校跡地活用事業基本計画」が策定され、まちなかに住む高齢者を対象に訪問医療、訪問介護、授業指導や生活の相談などの地域包括ケア体制を整えた地域医療・介護の拠点を整備することとなつた。

事業が進展するなかで、平成26年2月に旧総曲輪小学校跡地の南側の一部を富山市医師会へ貸出することが決定し、富山市医師会は富山市医師会看護専門学校をここへ移転することとした。

また、事業地から市道富山駅根塚線（すずかけ通り）へのアクセスが不便なことから、旧総曲輪小学校西側に建つアームストロング青葉幼稚園敷地1,381m²を事業地に組み込むことが計画され、富山市と学校法人アームストロング青葉幼稚園との間で土地交換の協議が重ねられた。平成26年10月、旧富山市中央保健福祉センター・旧富山市救急医療センター跡地との土地交換契約が正式に締結され、アームストロング青葉幼稚園敷地は「旧総曲輪小学校跡地活用事業」に組み込まれることとなつた。

平成26年9月に募集を開始したPPPの事業者は、翌年2月に大和リース株式会社が優先交渉権者に決定した。同社から地域包括ケア拠点施設「富山市とやままちなか総合ケアセンター」を中心には、専門学校やフィットネス施設などが入居する計画が提案され、富山市の承認を得た。これらの施設のあるエリア一帯は、「総曲輪レガートスクエア」と命名し、整備することが決定した。

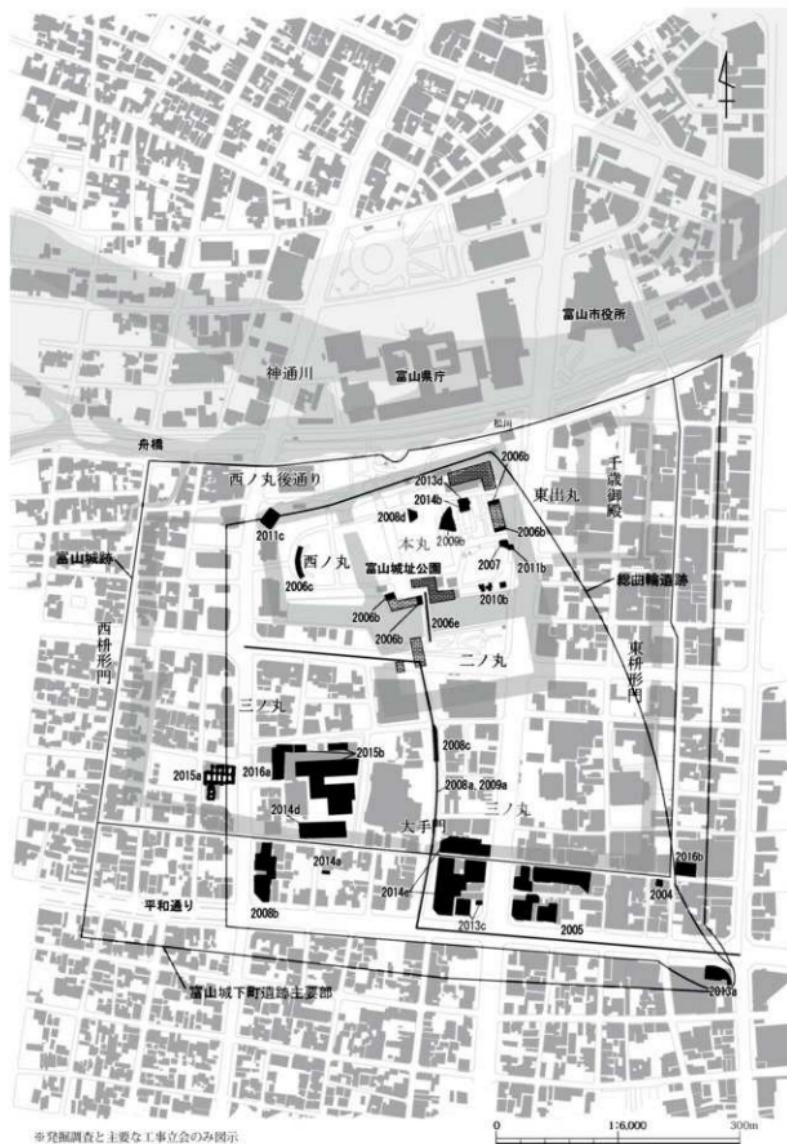
平成21年10月以降、「富山市統合小学校跡地活用事業基本計画」に先立ち事業地内の埋蔵文化財包蔵地の取り扱いについて、企画調整課・管財課と埋蔵文化財センターの間で協議を重ねた。両課の依頼を受けて、平成21年度、25年度、26年度の3回にわたり試掘調査を行つたところ、旧校舎と体育館を除く全域約7,727m²の範囲に、富山城外堀跡を含む3層の遺構面を確認した。

試掘調査の結果を受け、事業担当課の企画調整課と埋蔵文化財の保護措置について協議を行い、遺跡が保護できない建物部分に関して本発掘調査を行い記録保存することとなつた。

本発掘調査は平成26年度から3年計画で行い、平成26年度に第1期として富山市医師会看護専門学校建設予定地1,562m²、平成27年度に第2期として「総曲輪レガートスクエア」建物建設予定地3,565.5m²、平成28年度に第3期として立体駐車場建設予定地（旧アームストロング青葉幼稚園敷地部分）704.9m²の発掘調査を行つた。

整理作業は、平成28年度に第1期分を行い、発掘調査報告書を刊行した。平成29年度は第2・3期分の整理作業を行い、本書を刊行した。

（堀内）



※発掘調査と主要な工事立会のみ図示

第1図 富山城・城下町の調査位置図

第1表 富山城・城下町における調査一覧

調査年度	調査箇所	調査原因	調査区分	調査面積 (m ²)	主な文献
2004	城下町(続曲輪)	グランドパーキング建設工事	発掘調査	130	富山城跡発掘調査概要2005
2005	城下町(一番町・続曲輪)	続曲輪フエリオ建設工事	発掘調査	2,811	富山城跡発掘調査報告書2006b
2006a	本丸、二ノ丸内堀	城址公園整備(堀改修)	工事立会	—	
2006b	本丸鉄門西石垣、揚手南石垣	城址公園整備(石垣解体修理)	工事立会、石垣石材調査	—	富山城跡発掘調査報告書2018a
2006c	西ノ丸	城址公園整備(ステージ建設)	発掘調査	278	富山城跡発掘調査報告書2017b
2006d	城下町(続曲輪)	グランドパーキング建設工事	工事立会	—	富山市の遺跡物語No.9 2008
2006e	本丸大手土塁	城址公園整備(電線管工事)	工事立会	—	富山城跡発掘調査報告書2016
2006f	本丸東辺土塁	千歳御門移築	工事立会	—	
2007	本丸東辺土塁	城址公園整備(石垣新設)	発掘調査	112	富山城跡発掘調査報告書2016
2008a	二ノ丸、三ノ丸、城下町(一番町・越前町・続曲輪)	市内電車敷設工事	工事立会	—	富山城跡発掘調査報告書2009
2008b	城下町(旅籠町・続曲輪)	プレミスト絶曲輪建設工事	発掘調査	1,300	富山城跡発掘調査報告書2010
2008c	三ノ丸	市内電車敷設工事	発掘調査	187	富山城跡発掘調査報告書2009
2008d	本丸	城址公園整備(池泉整備)	発掘調査	118	富山城跡発掘調査報告書2016
2009a	二ノ丸、三ノ丸、城下町(一番町・越前町・続曲輪)	市内電車敷設工事	工事立会	—	富山市の遺跡物語No.11 2010
2009b	本丸	城址公園整備(池泉整備)	発掘調査	370	富山城跡発掘調査報告書2017b
2010a	西ノ丸	城址公園整備(下水管工事等)	工事立会	—	富山城跡発掘調査報告書2017b
2010b	本丸南辺土塁	城址公園整備(石垣改修)	発掘調査	87	富山城跡発掘調査報告書2016
2011a	本丸東辺土塁	城址公園整備(石垣改修)	工事立会	—	富山城跡発掘調査報告書2018a
2011b	本丸東辺土塁	城址公園整備(石垣新設)	発掘調査	25	富山城跡発掘調査報告書2016
2011c	西ノ丸内堀	公共下水道松川処理分区雨水貯留施設工事	発掘調査	134	富山城跡発掘調査報告書2012
2012a	二ノ丸、三ノ丸、城下町	水道工事	工事立会	—	富山市の遺跡物語No.14 2013
2012b	本丸、西ノ丸	城址公園整備(電線管工事等)	工事立会	—	富山城跡発掘調査報告書2018a
2013a	城下町(西町)	TOYAMAキラ建設工事	発掘調査	380	富山城下町遺跡主要部発掘調査報告書2014a
2013b	二ノ丸、東出丸、二ノ丸内堀	水道工事	工事立会	—	富山市の遺跡物語No.15 2014
2013c	城下町(一番町・続曲輪)	一番町スクエアビル建設工事	発掘調査	423	富山城下町遺跡主要部発掘調査報告書2014b
2013d	本丸	城址公園整備(池泉整備)	発掘調査	66	富山城跡発掘調査報告書2017b
2013e	本丸	城址公園整備(電気設備工事等)	工事立会	—	富山城跡発掘調査報告書2018a
2014a	城下町(続曲輪)	レーベン富山続曲輪レジデンス建設	発掘調査	96	富山城下町遺跡主要部発掘調査報告書2014c
2014b	本丸	城址公園整備(池泉整備)	発掘調査	64	富山城跡発掘調査報告書2017b
2014c	本丸	城址公園整備(雨水污水設備・電気設備工事等)	工事立会	—	富山城跡発掘調査報告書2018a
2014d	三ノ丸外堀	続曲輪レガートスクエア(第1期)	発掘調査	1,562	富山城跡発掘調査報告書2017a
2014e	城下町(一番町・続曲輪)、三ノ丸外堀	ユウタク続曲輪建設工事	発掘調査	3,960	富山城跡・富山城下町遺跡主要部発掘調査報告書2015
2015a	三ノ丸	アームストロング背叢幼稚園移転新築工事	工事立会	473	富山城跡発掘調査報告書2018c
2015b	三ノ丸	続曲輪レガートスクエア(第2期)	発掘調査	3,565.5	本書
2016a	三ノ丸	続曲輪レガートスクエア(第3期)	発掘調査	704.86	本書
2016b	城下町(続曲輪)	続曲輪三丁目市街地再開発	発掘調査	285	富山城下町遺跡主要部発掘調査報告書2017

第Ⅱ章 調査の方法と成果

第1節 調査の方法と層序

1. 現地調査の経過

第2期調査 平成20・26年度に実施された埋蔵文化財試掘調査の結果に基づき、平成27年5月8日より調査を開始した。調査範囲は、地域包括ケア施設・青池学園・グンゼスポーツクラブ等の建設予定地である、旧総曲輪小学校校舎周辺及びグラウンド跡3,565.5 m²（上中下層3層・延べ8,400.8 m²）である。古地図及び試掘調査などの結果により調査対象範囲が確定され、2区～4区の3地区の調査を行うこととなった。

試掘調査の結果、2区南端部分及び4区を中心に現況より2.5～3.5m程度掘り下げる必要のある堀の存在を確認した。第1期調査と同様に湧水面以下まで掘り下げる必要があることから、地下水による調査区外周面の崩落と掘削面の常時滯水による調査上の問題が懸念されたが、水中ポンプを4台以上24時間稼働させることにより対応することとした。

5月13日より現地事務所を開設、調査範囲の測量を実施し、旧市民プラザ駐車場跡の碎石除去、ガードフェンス設置、体育館からの排水路移設工事などを行った。

5月18日より表土機械掘削、上層遺構検出を開始し、6月12日まで行った。

6月13日、ラジコンヘリによる上層遺構検出区段階の空中写真撮影を行った。

6月19日まで上層で検出した遺構の人力掘削、測量、図面作成を行ったのち、6月20日、ラジコンヘリによる上層遺構完掘段階の空中写真撮影を行った。

2区の上層遺構調査終了後、IIIc層の機械掘削を進めると同時に、3・4区の中層遺構検出をすすめた。2区の機械掘削と同時に人力による遺構検出も実施し、確認された大型の堀の上層埋土も同時に機械掘削を行った。堀部分の機械掘削時に出土する遺物については、可能な限り、トータルステーションによる出土地点の記録を実施した。機械掘削及び中層遺構検出は6月29日までを行い、翌30日に中層遺構検出段階の空中写真撮影を行った。

2区南端に位置する大型堀については、平成26年度に調査を行った第1期調査区の大型堀と同様、埋土の上～中層部分を重機により機械掘削を行った。それと同時に、その他の遺構の人力掘削、測量、図面作成を実施した。なお、堀部分の機械掘削時に出土する遺物については、可能な限り、トータルステーションによる出土地点の記録を実施した。また、人力掘削を行った堀最下層から出土する遺物については、可能な限りカメラによる出土状況の記録、トータルステーションによる出土位置の記録に努めた。図面作成後、中層遺構の完掘を進め、9月11日、ラジコンヘリによる中層遺構完掘段階の空中写真撮影、空中測量を実施した。翌12日より現地説明会準備を進め、13日に現地説明会を実施した。

9月14日より、3区漸移層（中～下層間）の人力掘削及び遺構検出を実施した。同時に4区の下層確認、測量を実施した後、埋戻しを行った。調査区南側の看護学校建設予定地を堆土置場に使用していたが建設工事が着工されることとなり堆土を搬出する必要が生じたため流杉浄水場への堆土運搬を実施した堆土搬出にあたり、混入したコンクリート等の除去も行った。一部の堆土は中層調査で調査が終了した調査区南端の堀跡（2-SD481）を埋め立てに当てた。搅乱によりIIIc層が残存しておらず、前回のIIIc層機械掘削時に下層検出面まで掘り下げていた調査範囲については、遺構検出作業を実施した。IV層が残存している範囲については、機械掘削を実施した。同時に固く締まった粗砂礫が堆積しており人力掘削が困難な窪地についても、一部の大型堀と同様、一定深度まで機械掘削を実施し、出土する遺物については、可能な限りカメラによる出土状況の記録、トータルステーションによる出土位置の記録に努めた。9月30日までに、2区及び3区の下層遺構検出が終了し、10月1日、ラジヘリによる下層遺構検出状況の全景写真撮影を実施した。

10月2日より28日まで下層の遺構掘削、測量図化等を実施し、翌29日、ラジコンヘリによる下層完掘状況の空中写真撮影・測量を実施した。30日より重機・人力による井戸の断ち割りを行い、堀底部

分の掘削・測量・図化、井戸の掘り方・井戸枠の構造の確認、測量・図化等の残務を実施し、調査は11月16日に終了した。

第3期調査 平成28年4月21日より調査を開始した。調査範囲は、立体駐車場・ヘルスケアローソン等建設予定地である旧アームストロング青葉幼稚園内の平面積704.86m²である。第2期調査の結果から2面調査を行うこととなった。第2期4区とつながる北側には、現況より2.5～3.5m程度掘り下げる必要のある堀の存在が想定され地下水の問題が考えられたが、水中ポンプを24時間稼働させることにより対応することとした。

4月18日現地事務所を開設、調査範囲の測量を実施し、旧総曲輪小学校・旧幼稚園間にある側溝・境界壁の重機による除去、旧幼稚園の残存基礎の解体・撤去、ガードフェンス設置などを行った。

4月27日より表土機械掘削、上層遺構検出を開始し、5月18日まで行った。

5月19日、ラジコンヘリによる上層遺構検出区段階の空中写真撮影を行った。5月27日まで上層で検出した遺構の人力掘削、測量、図面作成を行ったのち、5月28日、ラジコンヘリによる上層遺構完掘段階の空中写真撮影を行った。上層遺構調査終了後、Ⅲc層の機械掘削を進めるに同時に人力による遺構検出も実施した。堀部分の掘削時に出土する遺物については、可能な限り、トータルステーションによる出土地点の記録を実施した。掘削及び下層遺構検出は6月29日までを行い、翌30日に中層遺構検出段階の空中写真撮影を行った。湧水が激しく、調査区外周壁面の崩落の危険があることから、6月1日より調査区北東端に位置する堀部分の重機による埋戻しを行った。埋戻し土は、堀の掘削土を利用したが、水を含む脆弱土であったため、改良剤による強化を行った後に埋め戻した。

6月4日、下層検出状況の空撮を実施し、下層遺構の調査を開始した。6月21日、石組遺構について専門家として職藝学院の上野先生に考察していただいた。6月30日、石組遺構に堆積した埋土の特徴が、洪水痕跡の可能性を示唆したことから、分析会社による土壤サンプルの採取を実施した。7月1日、下層完掘段階で現地説明会準備を行い、7月2日、現地説明会を開催した。7月4日・5日、空撮準備を行い、翌6日、下層完掘段階の空撮を実施した。7月7日、石組遺構をフォトスキャナによるオルソ図面作成のための写測を行った。7月7日～7月14日、遺構完掘および測量・図化作業を進め、7月15日、最終面完掘状態の空撮を実施した。7月19・20日に、井戸の断ち割り等の残務を行った。

2. 調査の方法

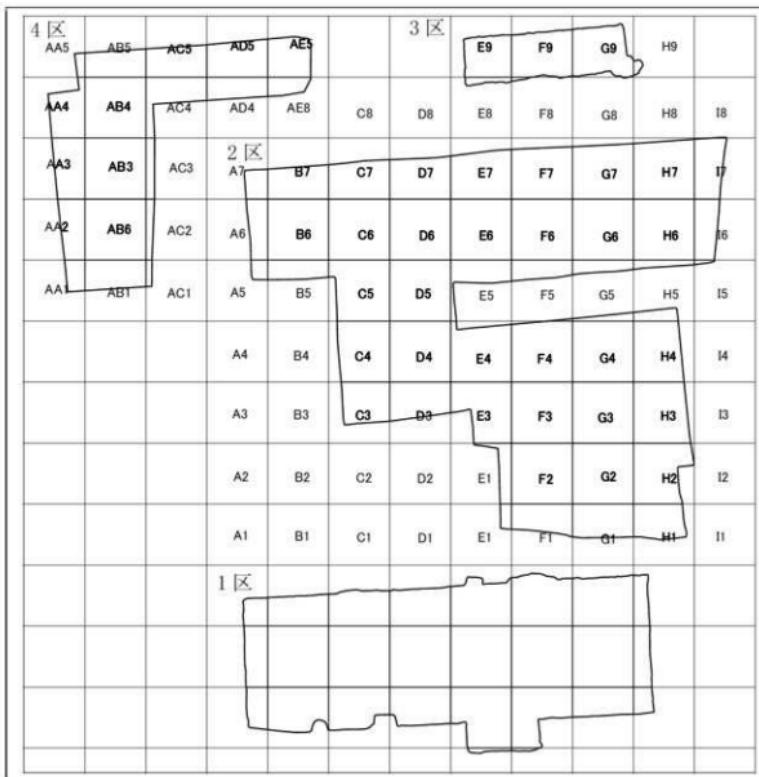
平成27・28年調査区はいずれの調査区も包含層がほぼ存在せず、第2期3・4区及び第3期4区については上層遺構も存在しない。そのため遺構検出面直上まで表土機械掘削を行ったのち、2区は上層遺構、3・4区については中層遺構の検出、掘削、測量図化を実施した。第2期調査の排土は主に、2区南側に隣接する第1期調査区に仮置きした。なお大型の堀2-SD481については、堀上層埋土を重機により掘削し、下層のみ人力による掘削を実施した。第3期調査区の排土は、主に、東側に隣接する旧校舎跡地に仮置きした。

第2期・3期を通し、図面は、平面図、断面図、出土状況図等を作成した。写真是2430万画素のデジタルカメラ(SONY一眼レフα77)を使用して撮影・記録をおこなった。基礎整理作業は、現地調査と並行して出土遺物の水洗をおこない、調査終了後に図面整理と注記作業、台帳作成、写真整理をおこなった。

全体平面図は、上層はトータルステーションによる現地測量結果から、中・下層は空中写真測量からの図化作業を行った。

第2期・3期を通し、図面は、平面図、断面図、出土状況図等を作成した。写真是243万画素のデジタルカメラ(SONY一眼レフα77)を使用して撮影・記録をおこなった。基礎整理作業は、現地調査と並行して出土遺物の水洗をおこない、調査終了後に図面整理と注記作業、台帳作成、写真整理をおこなった。

全体平面図は、上層はトータルステーションによる現地測量結果から、中・下層は空中写真測量からの図化作業を行った。



第2図 グリッド配置図(S=1:800)

3 基本層序

断面観察から、基本層序はおおむね次のとおりである。

I層 (L=8.4 ~ 8.6 m) : 第2期2区調査区北側・3区・4区・第3期4区南北は整地盛土層、第2期2区南側はグラウンド整地層・第3期4区中央は淡黄色の砂層（山砂／I b層）である。

II層 (L=8.0 ~ 8.4 m) : 黒色を呈する第2次世界大戦前後の戦災瓦礫層。戦災直後のII b層には、炭化物と瓦・レンガ・焼土塊などの瓦礫が堆積している。戦災の前後の整地、戦災直後の堆積層に細分する（II a・b・c）。

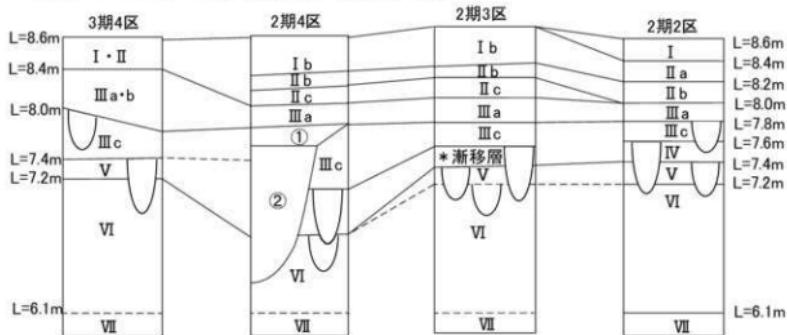
III層 (L=7.6 ~ 8.2) : 灰褐色土に炭化物粒・焼土粒をわずかに含む。第2期調査区は主に礫を含むか否か、第3期調査区は第2期調査区との色調の違いで細分する（III a・b・c）。灰黄褐色シルトを基調とする。III c層は、江戸時代に実施された整地の最終段階で敷き均された層の可能性がある。上層遺構（江戸時代18世紀以降～明治期）検出面であるが、後世の搅乱により削平される範囲が広い。

IV層 (L=7.4 ~ 7.6m) : 中層遺構（室町～江戸時代中期）検出面。2区南は黒褐色シルト、2区北の一部は灰褐色シルトである。2区北の大部分、3区・4区には存在せず。江戸時代の整地で削平された可能性が高い。

V層 (L=7.2 ~ 7.4 m) : 下層遺構検出面（地山）。にぶい黄橙～灰黄色の砂質シルトで、3区の一部及び第2期4区には存在せず、江戸時代の整地で削平された可能性が高い。

VI層 (L=6.1 ~ 7.2 m) 灰黄色細砂／砂質シルト層に礫を大量に含んだ砂礫層。

VII層 (L=6.1m以下) : 砂層（湧水層）。灰黄色細砂層。



第3図 基本層序柱伏図

- I層 : 2.5Y8/3 淡黄色砂 (山砂)
- I b層 : 整地盛土層
- II a層 : 近現代(戦災後) 整地層
- II b層 : 近現代 戦災ガレキ層
- II c層 : 近現代 (戦災前) 整地層
- III a層 : 10YR4/2 灰黄褐色シルト 矶少量含む
- III b層 : 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト
- III c層 : 10YR5/2 灰黄褐色シルト
- IV層 : 10YR3/1 黒褐色シルト (2区南) / 7.5YR4/2 灰褐色シルト (2区北)
- V層 : 10YR7/2 にぶい黄橙色 / 2.5Y/3 灰黄色砂質シルト
- VI層 : 2.5Y6/2 灰黄色細砂／砂質シルトに礫が大量に混 (砂礫層)
- VII層 : 2.5Y6/2 灰黄色細砂層 (湧水層)
- * 漸移層 : 江戸時代整地に伴う盛土の可能性が高い。
- ① 近世整地層 (4-SX40) 18世紀前半に実施された整地の層。
- ② 近世堀 (4-SD60) 掘り方はL=7.5mだが、L=6.4mまで②により削平される。

第2節 遺構

1. 2区遺構

(1) 溝・区角溝・堀 (SD)

2-SD70 (第4図)

2区調査区中央、F4で検出した区画溝である。主軸方向はN-12°-Eで、北端は調査区外に延び、南端は東西方向に延びる2-SD205とつながる。規模は幅1.08m、深さ0.56m、全長は調査区内で12.6mを測る。埋土はレンズ状に堆積し、いずれの埋土も黒褐色シルトを基調とし、焼土・炭化物が多量に、礫が少量含まれる。遺物は中世土師器、中国青磁、奈良火鉢、金属製不明製品が出土した。一部中世土師器の胎土には海綿骨針が含まれており、能登からの搬入品と考えられる。断面中程の炭化物層から抽出した炭化物のAMSによる自然科学分析の結果と遺物の時期から、15世紀前半に開削され、中頃には埋没していたと考えられる。

2-SD123 (第4図)

2区調査区南東、GH3で検出した溝である。主軸方向はN-77～78°-Wで、検出時の規模は幅1.98m、深さ0.52m、長さは約21mを測る。東側の幅が広がっており、時期の異なる溝が重複していると考えられる。多くの遺構と切り合い関係があるが、西端で重複する溝2-SD587より古い。2-SD123（新）は、東端ではほぼ直交する溝2-SD586（新）とつながる。埋土は主に3層からなり、レンズ状に自然堆積する。上部が灰黄褐色シルト、中～下部が黒褐色粘土質シルトを基調とする埋土、最下層に薄くグライ化した黄灰色粘土質シルトが堆積する。最下層埋土は固く縮まっており、透水を防ぐ目的で、人為的に敷き詰めたと考えられる。遺物は中国瑠州窯染付、越中瀬戸の他、多量の中近世土師器が出土した。遺物の時期は16世紀後半～17世紀後半である。17世紀後半の遺物は、重複する遺構のものである可能性がある。古い時期の区画溝が機能した時期は16世紀後半、新しい溝の機能した時期は17世紀後半である。

2-SD150 (第4図)

2区調査区南東、G3に位置する溝である。平面は隅丸方形で、幅1.72m、深さ0.56m、長さ3.5～4.1mを測る。下層には炭化物が多量に混じる黒褐色シルトがレンズ状に、断面図2-SD150b上部には黄灰色シルトを基調とする埋土が厚く堆積し、性質が大きく異なるため、別の土坑（2-SK194）とした。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀である。

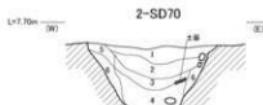
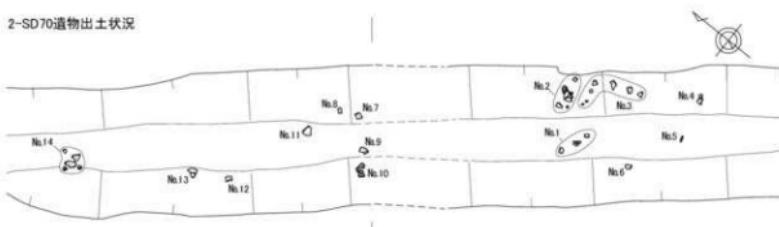
2-SD205 (第4・5図)

2区調査区中央や南、E3で検出したL字の区画溝である。主軸方向はN-80°-Wで、規模は幅0.8m、深さ0.58m、全長は東西方約12mおよび南北方向が8.5m以上を測る。南北軸の北端は調査区外に延びる。東西軸の東端は2-SD70とつながる。黒褐色シルトを基調とした埋土がレンズ状に堆積する。時代が異なるが、東西軸の同一延長線上に2-SD587、2-SD123がある。東西軸の溝の上部構造の大部分は、近代以降の溝により削平される。重複する新しい遺構である2-SK705の時期が16世紀初頭～前半の為、遺構の時期は16世紀初頭以前である。

2-SD206 (第4・5図)

2区調査区中央、E4で検出した区画溝である。主軸方向はN-79°-Wである。規模は幅0.8m、深さ0.58mを測る。埋土は黒褐色シルトを基調とし、ほぼ単層である。同一軸上、西端から約1m西側に位置する2-SD521は、同時期かつ目的で構築・使用された遺構である可能性がある。重複する新しい遺構である2-SK705の時期が16世紀初頭～前半の為、遺構の時期は16世紀初頭以前である。

2-SD70遺物出土状況



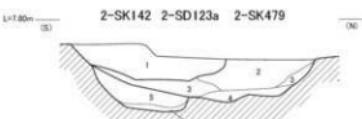
2-SD70

- 2.5Y3/1黒褐色砂質シルトに微少量含む しまり層
- 2.5Y3/2黒褐色粘土質シルトに微少量含む しまり層
- 2.5Y3/2黒褐色粘土シルトに微量含む しまり層
- 2.5Y3/2黒褐色シルト質粘土 しまり層
- 2.5Y3/2黒褐色シルト質粘土に微量含む しまり層
- 2.5Y3/2オリーブ黒褐色シルト質粘土に微量含む しまり層



2-SD115

- 10YR4/7黒褐色シルト
- 10YR4/3Cj-1 黒褐色シルト質粘土に10YR4/1黒褐色シルトがブロック状に混入



2-SK142

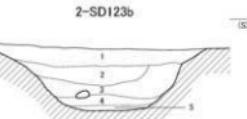
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 粘土少量含む
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 2-SD123a
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 2-SD123a
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 粘土少量含む
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 粘土少量含む
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 粘土少量含む

2-SD123a

- 2.5Y3/2黄褐色シルト 2-SD123a
- 2.5Y3/2黄褐色シルト 粘土少量含む
- 2.5Y3/2黄褐色シルト 粘土少量含む
- 2.5Y3/2黄褐色シルト 粘土少量含む

2-SK479

- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 粘土少量含む
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 粘土少量含む
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 粘土少量含む
- 2.5Y4/1黄褐色砂質シルト 粘土少量含む



2-SD123b

- 2.5Y4/2暗黄色シルト 粘土少量含む しまり層
- 2.5Y3/2黒褐色シルト 粘土少量含む しまり層
- 2.5Y4/1黄褐色シルト 粘土少量含む しまり層
- 2.5Y7/2黄褐色シルト 粘土少量含む しまり層
- 2.5Y7/1黄褐色シルト 粘土少量含む しまり層



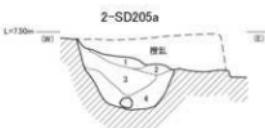
2-SD150a

- 10YR4/7黒褐色シルト
- 10YR4/2黒褐色シルトに化物多量含む
- 2.5Y3/2黒褐色シルトに化物多量含む
- 2.5Y3/1黒褐色シルトに化物多量含む 多量性
- 2.5Y3/1黒褐色シルトに化物多量含む



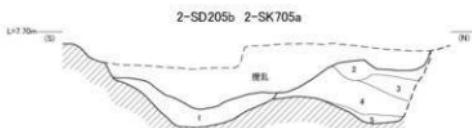
2-SK194

- 2.5Y3/1黒褐色シルトに2.5Y7/1黒褐色シルトがブロック状に3%
- 2.5Y7/2暗黄色シルトが斑状に3%混入
- 2-SK150b**
- 2.5Y3/1黒褐色シルトに2.5Y7/2暗黄色シルトが斑状に2%混入 化物少・無きむ
- 2.5Y3/1黒褐色シルトに2.5Y7/2暗黄色シルトが斑状に2%混入 化物多量・無きむ
- 2.5Y2/1黒褐色シルトに2.5Y7/2暗褐色シルトが斑状に3%混入



2-SD205a

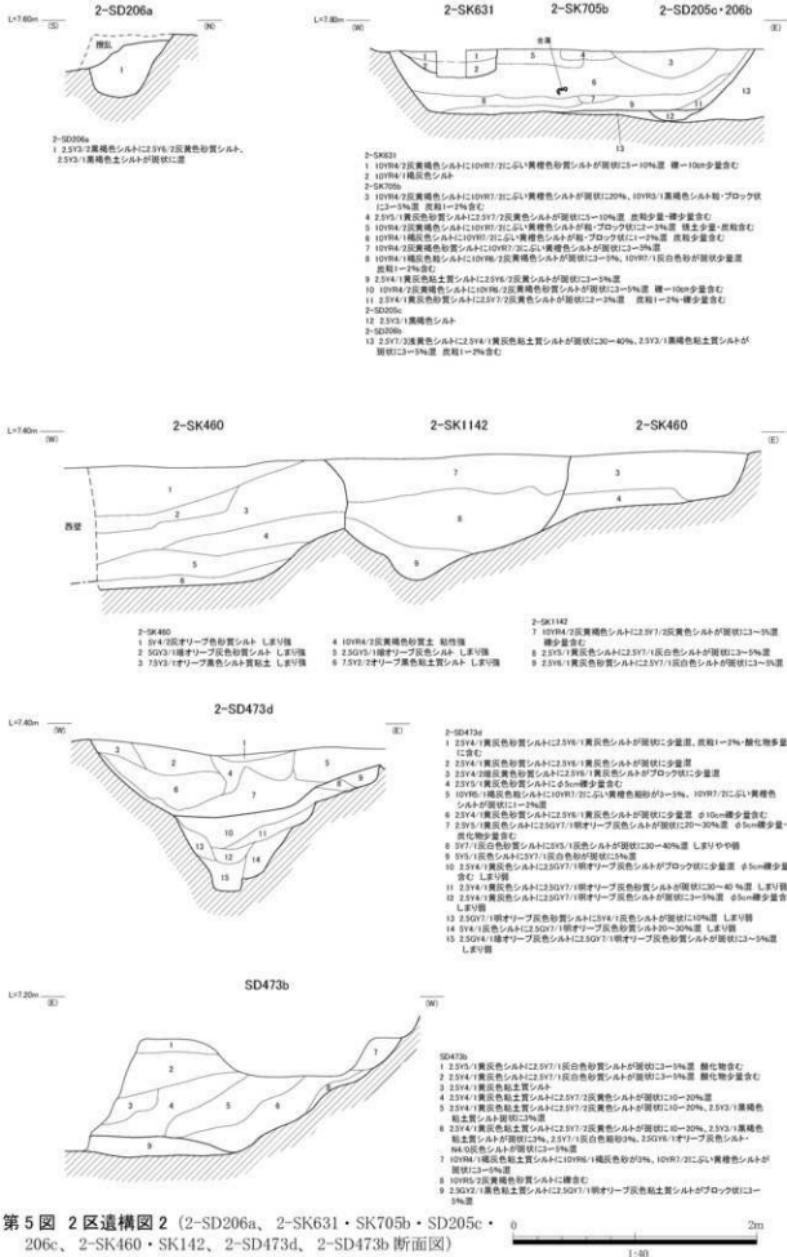
- 10YR4/7黄褐色砂質シルト
- 2.5Y3/2黄褐色シルトに10YR4/1黒褐色シルト、5Y5/1黒褐色シルトが混入
- 2.5Y3/1黒褐色砂質シルト
- 2.5Y3/1黒褐色砂質粘土



2-SD205b

- 2.5Y3/1黒褐色シルト
- 2.5Y3/1黒褐色シルト
- 2.5Y3/1黒褐色シルトに2.5Y6/2暗黄色シルトが斑状に混入
- 10YR4/7黒褐色シルトに10YR4/1黒褐色シルト、5Y5/1黒褐色シルトがブロック状に各3~5%混入 化物少~無きむ
- 10YR4/7暗黄色シルトに10YR4/3Cj-1 黄褐色シルトが斑状に3~5%混入 粘土少~無きむ
- 2.5Y3/1黒褐色シルトに地山が斑状に30~40%混入

第4図 2区遺構図1 (2-SD70断面・出土状況図、2-SD114、2-SK142・SD123a・SK479、2-SD123b、2-SD150a、2-SD268・SD150b、2-SD205a・2-SD205b・2-SK705a断面図)



2-SD300（第7図）

2区調査区北西、グリッドBC5・BC6に位置する堀である。主軸方向はN-76°-Wである。西端は調査区外に延びる。規模は検出長15.4m、幅4.3m、深さ1.1mである。断面逆台形を呈する。埋土は最下層に暗灰色砂質シルト、下層に灰色砂質シルトが厚く堆積しており、一定期間滲水状態であったと考えられる。また灰色砂質シルトとその上層の層境は明瞭で、時期が上下層で断続していたと考えられる。遺物は近世土師器、越中瀬戸、唐津、伊万里等肥前系が出土したが、重複する2-SD471・472として一括で調査したため、遺物実測図・観察表上は2-SD471・472出土遺物としてまとめる。軸方向、遺構平面・断面構造、埋土種類に共通性がみられることから、西端は4-SD58とつながる可能性が高い。重複関係にある2-SD471、2-SD472、2-SD1215より新しい。遺構の時期は17世紀中頃である。

2-SD470（第5・6・8図）

2区調査区A6～E6・EF5に位置する堀・区画溝である。主軸方向はN-76°-Wである。断面観察の結果、新旧2時期の溝が重複していると考えられる。南側に位置する2-SD470（古）は、最大幅は3.7m、深さ1.15mで堀底は湧水層である礫層まで達している。2-SD473と直交する所が西端と考えられ、東端は調査区外に延びる。北側に位置する2-SD470（新）は東西両端が調査区外に延び、西端は4-SD52とつながる可能性が高い。最大幅は3.0m、深さ1.2mを測る。2-SD470（古）最下層には黒褐色砂質シルトと灰色砂質シルトがマーブル状に混じる、堀が機能した時期に自然堆積した埋土が堆積する。その上には礫が多量に混じる灰色砂質シルトが堆積しており、河川氾濫の際に堆積した土か埋戻し時に地盤沈下対策に埋めた土である可能性が考えられる。その上の炭化物が含まれる層は埋戻し土の可能性が高い。2-SD470（新）の埋土は、下層がオーブン黒色粘土質シルトで機能した時期の自然堆積土、上層が地山の混じる黄灰色砂質シルトで埋戻し土であると考える。直交する2-SD473より新しく、2-SE564・2-SE592より古い。遺物は中世土師器、珠洲、瀬戸美濃、中国製磁器皿、越前、唐津、越中瀬戸の他、番床・火鉢、砥石・板碑等石製品が出土した。遺物の時期は主に16世紀前半～17世紀初頭である。遺構の時期は、2-SD470（古）が16世紀前半、2-SD470（新）が17世紀初頭である。中世土師器には、能登からの搬入品もある。

2-SD471（第6～8図）

2区調査区A～D6・B～E5に位置する区画溝である。主軸方向はN-76°-Wで、調査区を横断し、東西両端は調査区外に延びる。西側は近世の区画溝2-SD300により大きく削平されたため、検出時の規模は、直交する区画溝2-SD473の東西で異なる。残りの良い東側の最大幅は1.9m、深さ0.74mで底は礫層まで達している。直交する2-SD473より新しく、2-SE499・2-SD300より古い。遺物は中世土師器、珠洲、越中瀬戸が出土した。中世土師器の時期は16世紀前半である。遺構の時期は15世紀末～16世紀初頭である。

2-SD472（第6・7図）

2区調査区A～D5・AB6に位置する区画溝である。主軸方向はN-76°-Wで、調査区を横断し、東西両端は調査区外に延びる。検出時の規模は、直交する区画溝2-SD473の東西で異なる。東側の最大幅は2.16m、深さ1.22mで底は礫層まで達している。一方、西側の2-SD471と重複し、重複部分が上層の遺構SE499で削平されており、切り合いで時期差は確認できなかった。断面の観察結果から、東側堀埋土は下層が黄灰色砂質シルト、中層が黒褐色砂質シルト、上層は褐灰色シルトを基調とする。中層以下の埋土は区画溝が機能していた時期に自然堆積したものであり、上層埋土は開口状態に自然堆積した埋土である可能性が高い。直交する2-SD473より新しく、2-SE499より古い。遺物は土師器、中世土師器、越前、唐津、肥前系、伊万里、越中瀬戸が出土した。遺物の時期は16世紀前半～17世紀中頃のものである。遺構の時期は17世紀初～前半である。

2-SD473（第5・8図）

2区調査区C4～7・D6～7に位置する区画溝である。主軸方向はN-14°-Eで、調査区を縦断し、南北両端調査区外に延びる。北側の最大幅は2.20m、深さ1.22mで底は礫層（L=6.02m）まで達する。直交する2-SD470の南北で埋土の性質が大きく異なり、北側埋土はほぼ同一で、黒褐色粘土質シルトを基調としている。堆積状況にはほとんど変化がない、区画溝が機能していた時期に自然堆積したものと考えられる。南側の埋土は、下から地山が斑状に混じる灰色砂質シルト、灰黄褐色シルト、黒褐色シルトが不規則な層をなして堆積している。下層は流水または湧水による地山の削平土と区画溝として機能していた時期の堆積土、上部堆積土は埋め戻された埋土及び別遺構の埋土である。直交する2-SD470（古）・2-SD471より新しく、平行する2-SD500や2-SE499・2-SK607・2-SK681より古い。また再開削された上層部分は平行する2-SD500より新しい。遺物は中世土師器、珠洲、肥前系が出土した。主な遺物の時期は16世紀中頃である。遺構の時期は16世紀中頃だが、再開削された時期は17世紀前半である。

2-SD481（第9・10図）

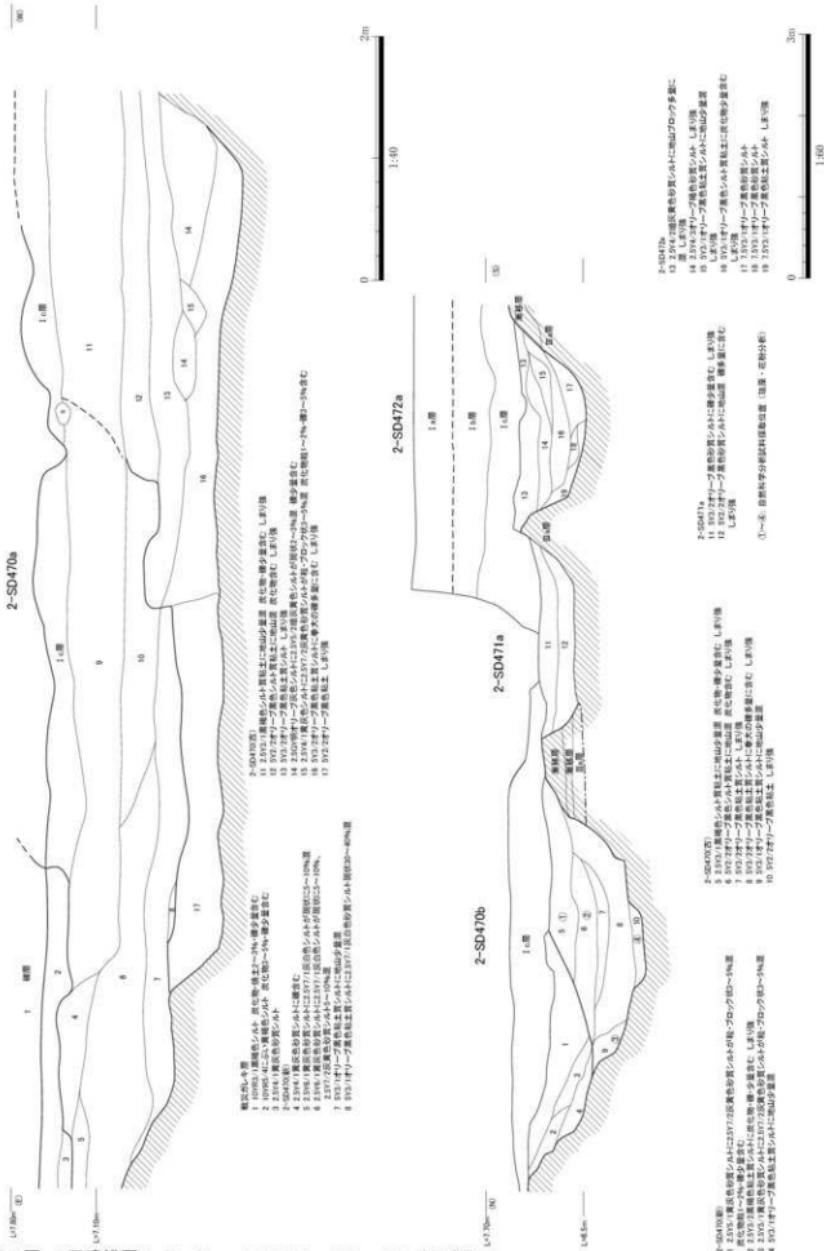
2区調査区南端、E～H1・E～G2・EF3に位置する堀である。主軸方向はN-70°-Wで、西端は調査区外に延びる。南東端を1区で確認していないことから、1区-2区の間に東端があると推測される。規模は、断面幅約12m、深さ2.78m、最大長は東北東-西南西方向で約30mを測る。西壁断面観察の結果、埋土の堆積状況から遺構の時期は主に4期に分類できる。古い時期から、①堀掘削前の旧河川跡（北側の一部下層）、②堀底の自然堆積土（南側最下層/ほぼ水平堆積）、③堀埋め戻し土（斜堆積）、④堀埋め戻し土（ほぼ水平堆積）の4期である。①は黄灰色シルト・黒褐色シルトを各々基調とし、砂礫や、地山である灰黄色砂質土が斑状・マーブル状に混じる層が水平堆積する。②は當時滞水状態のため、詳細な堆積状況の確認はできなかつたが、堀底の埋土に黒褐色粘土質土を基調とした植物遺体を多く含む層があることを確認した。③は、黄灰色シルト、灰白色砂質シルト、多量に砂礫が混じる黄灰色砂質シルト等が、北方向から南に斜堆積しており、堀が北側から埋め戻されたことが分かる。④は、③の地盤沈下によりできた凹状の窪地の埋め立てと推測され、褐灰色シルトを基調とする埋土が、ほぼ水平に堆積する。遺物は中世土師器、瀬戸美濃、志野、中国製染付、越前、越中瀬戸、唐津、肥前系、信楽等の他、箸・円形板等の木製品が出土した。遺物の時期はほとんどが16世紀中頃～17世紀前半である。遺構の時期は、堀が機能していた時期は16世紀中頃～17世紀初頭で、その後に埋め戻された。

2-SD500（第8図）

2区調査区中段西、C3～6に位置する区画溝である。北端で2-SD470とつながり、南端は擾乱により削平される。主軸方向はN-10°-Eで、幅2.44m、深さ1.22m、長さ15.2mを測る。断面観察の結果、時期の異なる3度の掘削の痕跡が確認できる。（1）初期に開削された区画溝で、規模・主軸方向に2-SD70等と共通性がみられる。（2）2-SD470（新）と同時期の溝で、連結・機能していたと考えられる。（3）再開削：別の遺構の可能性がある溝で、幅0.4m、深さ0.35mを測る。褐灰色シルトに礫が多量に混じる埋土である。遺物は中世土師器、珠洲、越前、瀬戸美濃、近世陶磁器（瀬戸？）が出土した。遺構の時期は16世紀末～17世紀初頭である。17世紀前半の遺構である2-SK611より古い。

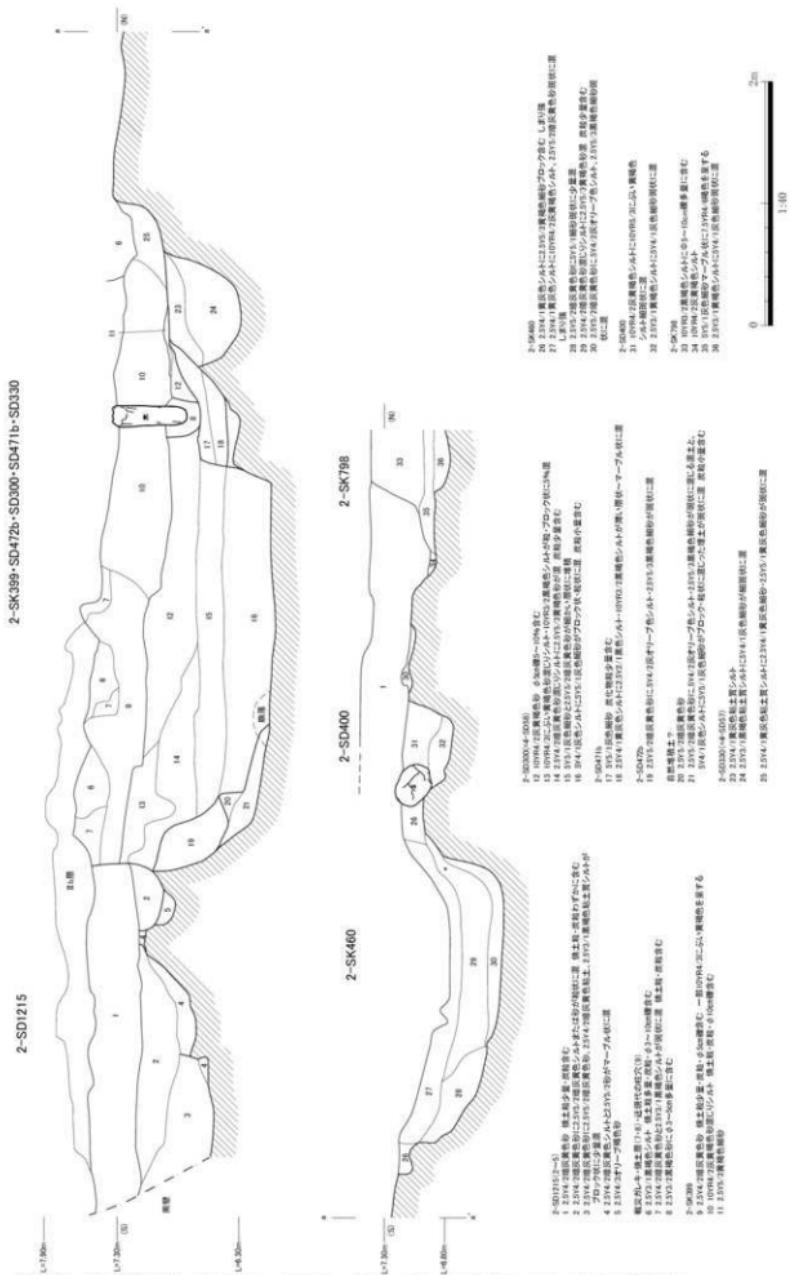
2-SD510（第10・11図）

2区調査区中段西、D3・4に位置する区画溝である。南端は調査区外に延びる。主軸方向はN-10°-Eで、幅1.28m、深さ0.78m、長さ13.30mを測る。埋土は下層が灰色砂質シルト、上層が褐灰色砂質シルトに灰色シルト・灰黄色シルトが斑状に混じるもので、埋土に連続性がみられず、上層は異なる時期に再開削された区画溝である可能性が高い。遺物は中世土師器、越前などが出土した。遺構の時期は16世紀中頃である。北端で重複関係にある2-SE536より古く、2-SD521と直交する。

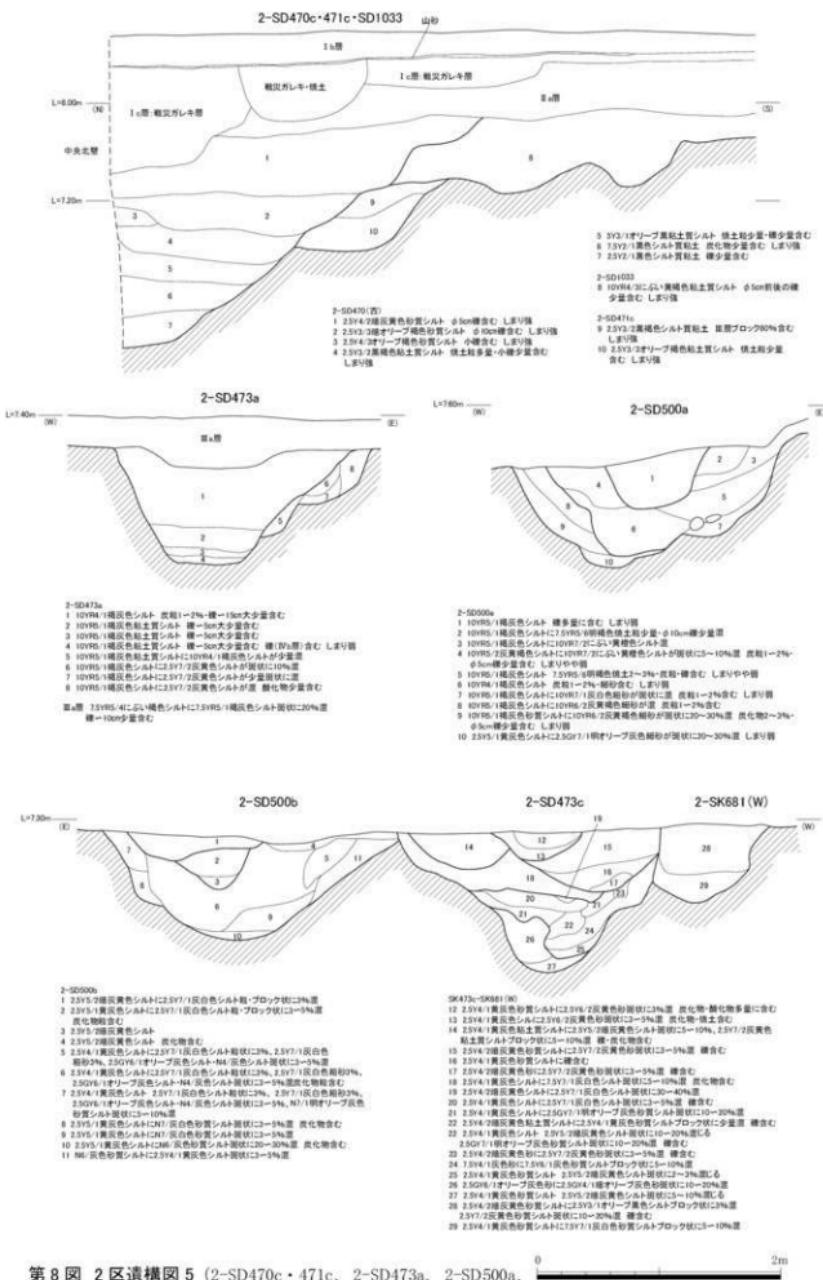


第6図 2区遺構図3(2-470a・2-SD470b・471a・472a断面図)

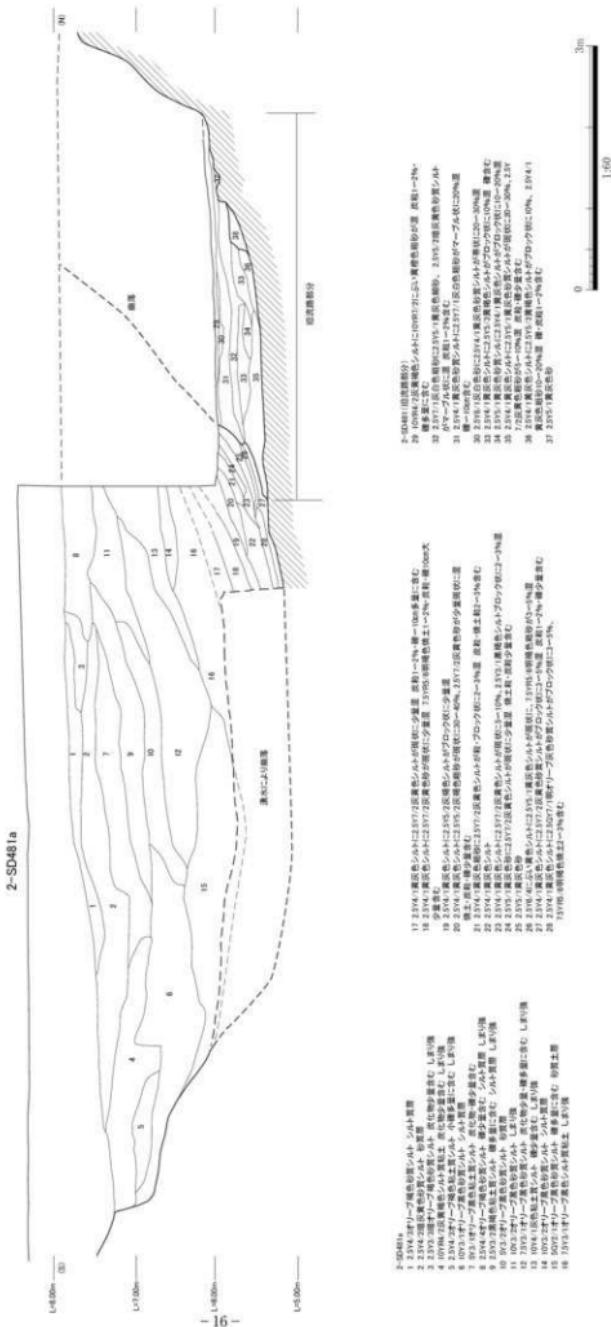
2-SD1215



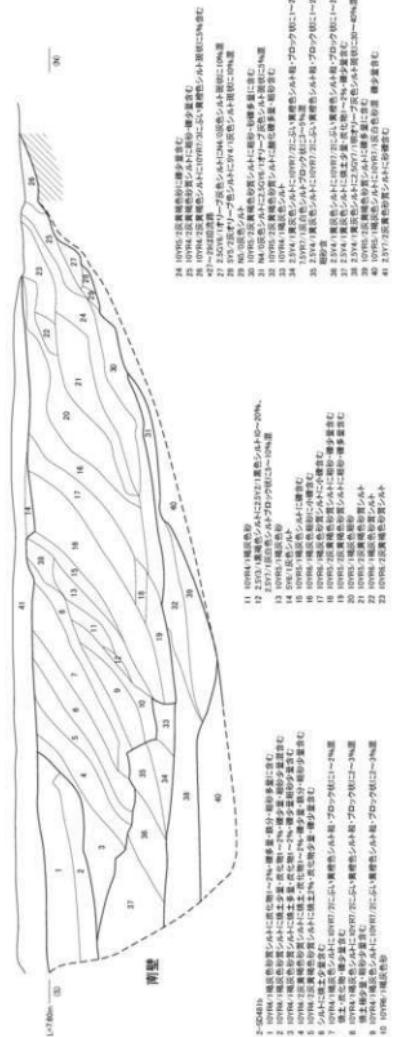
第7図 2区構造図4 (2-SK399・SD472b・4716・330、2-SK460・798・SD400断面図)



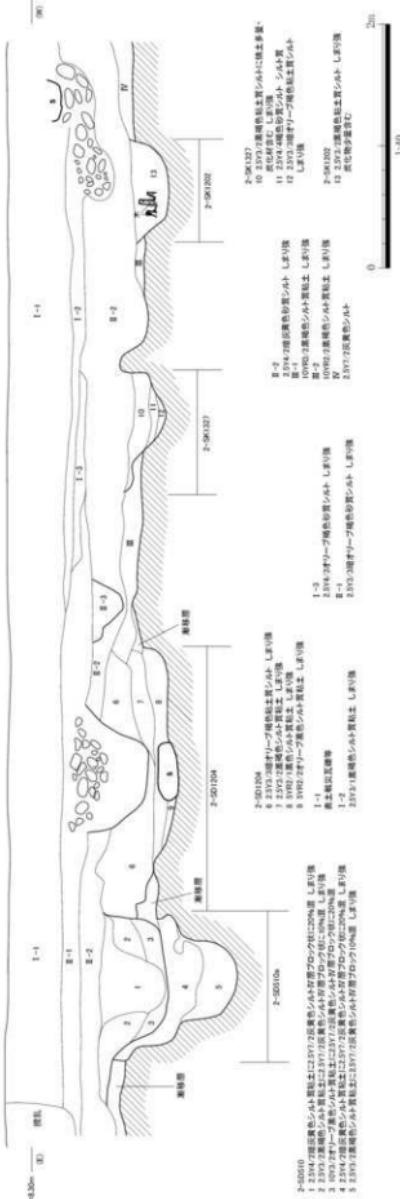
第8図 2区構造図5 (2-SD470c・471c、2-SD500b・2-SD473c・2-SK681(W) 断面図)

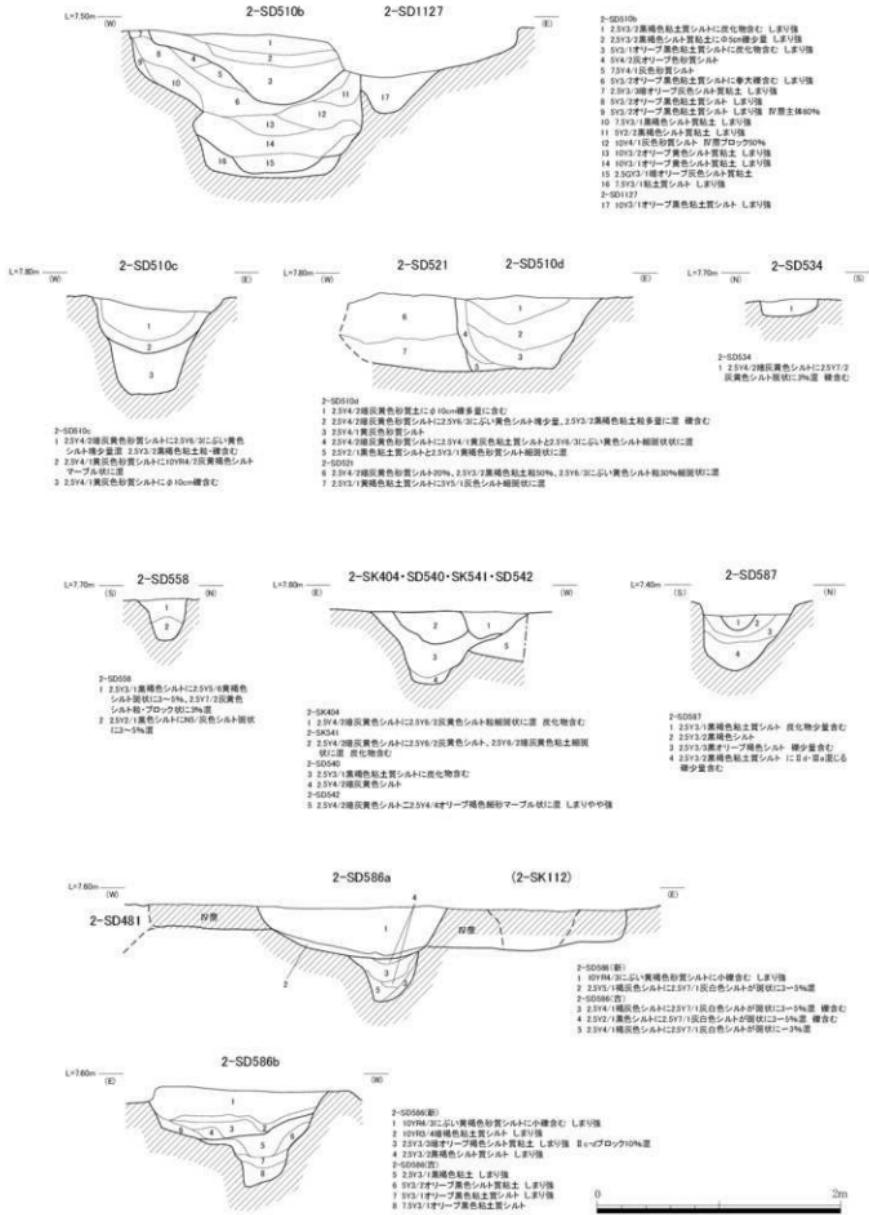


第9図 2区遺構図6
(2-SD481a 断面図)



第10図 2区遺構図 7 (2-SD481b, 2-SD510, 2-SD1204, 2-SK1327, 2-SK1202断面図)





140

2-SD534（第11図）

2区調査区南東端、GH1に位置する溝である。主軸方向はN-80°-Wで、幅0.48m、深さ0.14m、長さ4.50mを測る。西端は重複する2-SD481より古い。約6m北側に平行して延びる2-SD286があり、道路側溝の可能性が考えられる。埋土は黄灰色砂質シルトを基調とする。遺物は中世土師器皿が出土した。遺構の時期は16世紀初頭～前半である。

2-SD540・SK541・2-SD542（第11図）

2期調査区中央、E4に位置する溝2条と土坑1基である。2-SD540は区画溝で、2-SD70の約6.5m西側、2-SD205南北軸の約5m東を平行して延びる。主軸方向はN-10°-Eで、幅0.85m、深さ0.64m、長さ7.4mを測る。北端は調査区外に延び、南端で重複関係にある2-SE414より古い。2-SK541は2-SD540東側に隣接し切り合う遺構で断面幅約1.3m、長軸2.31m、深さ0.6mを測る。2-SD542は南端付近で2-SD540と連結して東側に約1m延びたのち、南側に屈曲して約1m延びる。幅0.55m、深さ0.22mを測る。埋土は黄灰色シルトを基調とする。遺物は2-SD542から中世土師器が出土した。2-SD542の時期は15世紀後半～16世紀初頭である。

2-SD558（第11図）

2区調査区中央やや南、E3に位置する溝である。主軸方向はN-80°-Wで、断面幅0.42m、深さ0.34m、長さ1.31mの短い溝である。埋土は上下2層で、上層は灰黄褐色シルト、下層は黒褐色粘土質シルトを基調とする。遺物は中世土師器、越前、唐津、伊万里、肥前系が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

2-SD586（第11・12図）

2区調査区南東、H1～3に位置する溝である。南北方向N-14°-Eに延び、南北端は調査区外に延びる。2-SD123・286・534等、多くの直交する溝と重複する。断面観察の結果、同一方向に延びる時期の異なる上下2段の溝で構成される。2-SD586（新）と2-SD123（新）、2-SD586（古）と1-SD26は同時期の溝で、連結する。区画溝と考えられ、検出面からの規模は、下の溝は、幅0.9m、深さ0.54mを、上の溝は幅1.48m、深さ0.32mを測り、構造上、下層の溝は狭く、上層の溝は広い。下層埋土はレンズ状に堆積し、褐灰色粘土質シルトを基調とする。上層埋土は主に上下3段で構成されており、下から褐灰色粘土質シルト、にぶい黄褐色シルトを基調とする。遺物は中世土師器が出土した。遺物の時期は15世紀前半～17世紀後半である。遺構の時期は、下層が15世紀前半、上層が17世紀後半と考えられる。2-SD586（古）は2-SD655より新しい。

2-SD633（第12図）

2区調査区中央北、FG5・6に位置する溝である。主軸方向はN-10°-Eで、南側は調査区外に延び、北側は江戸時代整地層と混同し不明瞭となる。検出した規模は、幅2.09m、深さは0.62m、最大長さは6.70mを測る。東側で直交する2-SD640、2-SD637より新しい。3-SD123の主軸方向及び埋土と共通性が高く、つながる可能性が高い。遺構の時期は16世紀である。

2-SD637（第12図）

2区調査区北東、GH6に位置する溝である。主軸方向はN-78°-Wで、幅0.45m、深さ0.22m、調査区内の長さ12.8mを測る。西端は2-SD633と重なり、東端は2-SD640と重なる。埋土は単層で灰黄褐色砂質シルトを基調とする。遺物は中世土師器と越前擂鉢が出土した。遺構の時期は15世紀末～16世紀初頭である。

2-SD640（第12図）

2区調査区北東、G-I6に位置する溝である。主軸方向はN-80°-Wで、幅1.15m、深さ0.80m、調査区内で長さ22.05mを測る。西端は2-SD633と重なり、東端は調査区外に延びる。埋土は単層で、灰黄褐色シルトを基調とし、地山と礫が少量混じる。埋土の堆積状況から、廃棄時まで浚渫しながら使用され、廃棄時に一度に埋められた可能性が高い。遺物は中世土師器、越前が出土した。遺物の時期は15世紀後半～16世紀前半である。溝が機能していた時期は15世紀後半、埋没した時期は16世紀前半である。

2-SD700（第12・13図）

2区調査区中央やや南、EF3に位置する大型の溝である。主軸方向はN-80°-Wで、西端は調査区外へ延びる。規模は、幅2.43m、深さ0.83m、調査区内での長さ14.91mを測る。断面観察の結果、主に3層に分かれ、各層が明確に分化していることから、同一の位置・主軸方向に構築された異なる時期の3つの溝である可能性が高い。上部は灰黄褐色シルトを、中・下層はグライ化した明青灰色シルトを基調とする。遺物は須恵器・中世土師器・加賀・肥前・越中瀬戸が出土した。遺物の時期は16世紀初頭～17世紀中頃である。遺構の時期は中段が16世紀後半、上段が17世紀中頃である。

2-SD734（第12図）

2区調査区北西、B6・7に位置する溝である。検出長13.0m、最大幅0.31m、深さ0.26mを測る。軸方向はN-10°-Eである。遺構深度が浅く、上部構造が擾乱により削平されたと考えられる。南側は調査区外に延びる。埋土は黄灰色シルトを基調とする。重複関係にある2-SD470（新）より古い。1.8m間隔で径0.3～0.4m大の平石が配されており、建物の礎石である可能性が高い。遺物は出土していない。

2-SD776（第13図）

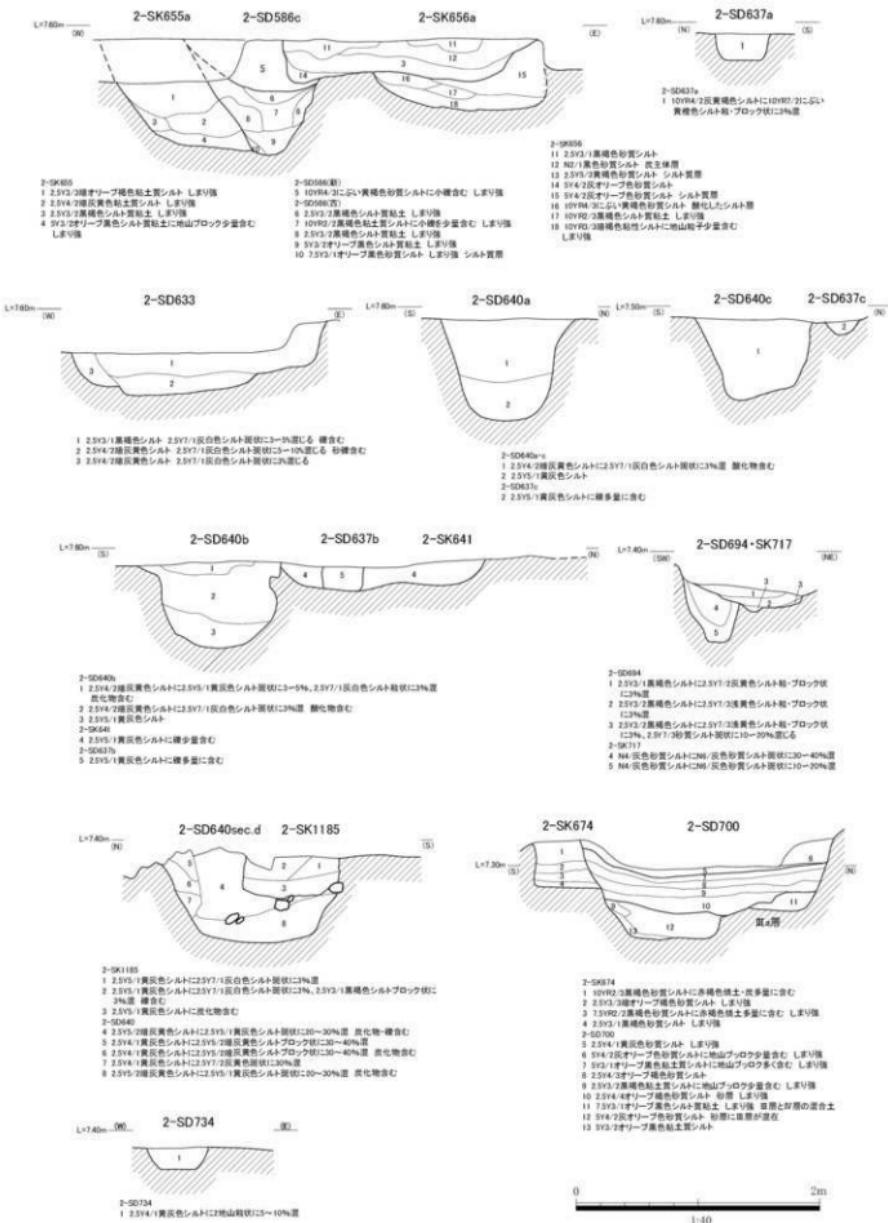
2期調査区北西、DE6・CD7・EF4・FG3・FG2に位置する下層面の溝である。主軸方向はN-50°～10°-Wで、南西を内側として緩い弧を描き、南北両端ともに調査区外に延びる。幅0.71m、深さ0.11mを測り、調査区内での長さは59.17mを測る。埋土は黒褐色シルトのはぼ单層である。15世紀前半の遺構2-SD70より古いことから、15世紀以前の遺構である。

2-SD1127（第11・27図）

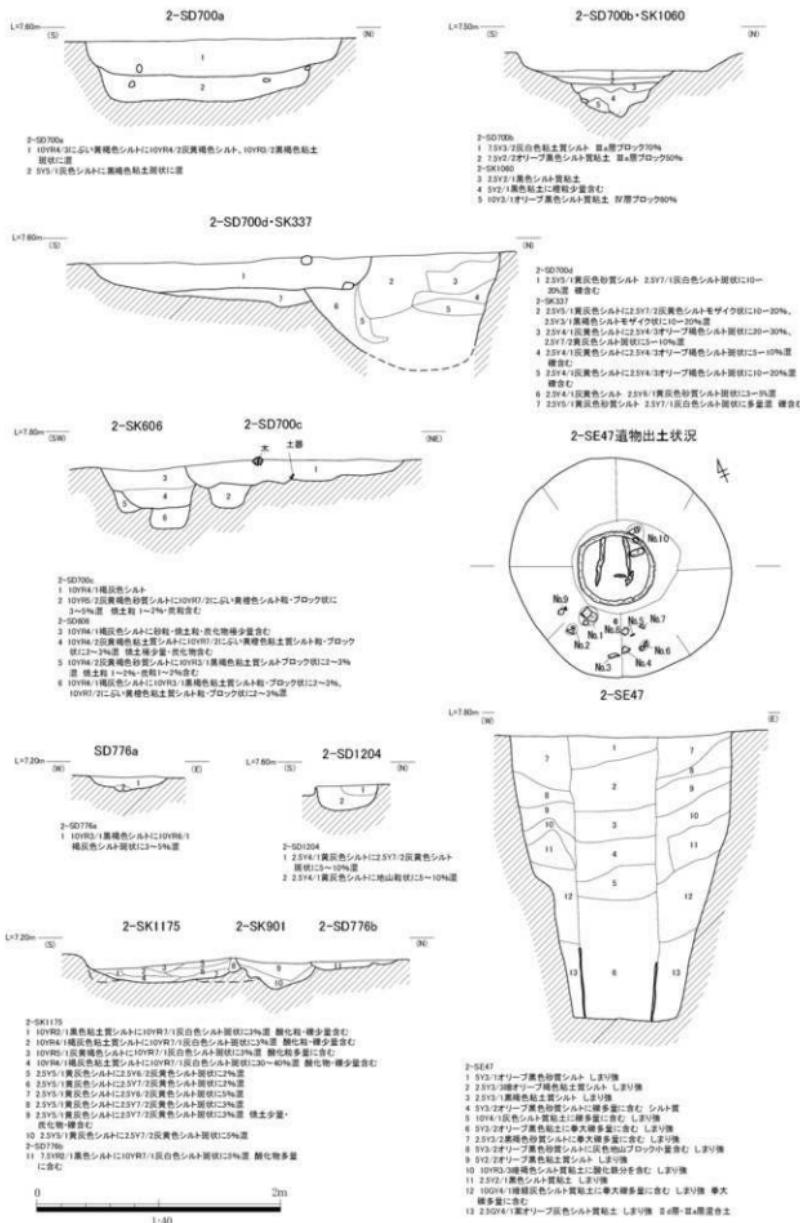
2区調査区南西、D3に位置する溝である。主軸方向はN-5°-Eで、断面幅0.94m、深さ1.1m、調査区内の長さ4.8mを測る。北側で検出した2-SD510から分岐した区画溝の一部と考えられる。また断面は大きく屈曲する中段を有しており、上部と下部で別の時期に構築された同一主軸方向の溝である可能性が高い。埋土は下層がしまりの緩い黒褐色粘土質シルト、上層は黒褐色粘土質シルト・灰色・砂質シルト・黄灰色シルト・灰黄褐色シルトを各々基調とする埋土がほぼレンズ状に自然堆積する。遺物は中世土師器・瀬戸美濃・越中瀬戸・伊万里が出土した。遺物の時期は15～17世紀前半である。下層の溝の時期は16世紀前半、上層の溝の時期は17世紀前半である。

2-SD1204（第10図）

2区調査区中段西側、CD3に位置する溝である。検出長9.94m、最大幅0.56m、深さ0.26mを測る。軸方向はN-80°-Wである。西側は擾乱により削平され、東側は調査区外に延びる。埋土は上層が褐色シルト、下層が黄灰色シルトを基調とする。重複関係にある2-SK1232より古い。1.8m間隔で径0.3～0.4m大の平石が配されており、建物の礎石である可能性が高い。



第12回 2区遺構図9 (2-SK655a・2-SD586c・2-SK656a、2-SD637a、2-SD633、2-SK640a、2-SD640c・637c、2-SD640b・637b・2-SK641、2-SD694・SK717、2-SD640d・2-SK1185、2-SK674・2-SD700e、2-SD734断面図)



第13図 2区遺構図 10 (2-SD700a・2-SD700b・2-SK1060・2-SD700d・SK337・2-SK606・2-SD700c・
2-SD776a・2-SK1175・901・2-SD776b断面図・2-SD1204・2-SF47断面・出土状況図)

(2) 井戸 (SE)

2-SE47 (第13図)

2区調査区中央東、G4で検出した井戸である。長径1.82m、短径1.32m、深さ2.61mを測り、井戸底のレベルは標高5.28mである。平面は円形を呈する。木組井戸の可能性が高いが、上部構造は残存していない。平面中央に計約0.7mを測る円形の井戸側痕が残る。掘方上部の埋土は多量の小礫・粗砂礫が混じる褐灰色シルト、下部は黒褐色シルトに礫が多量に混じる。井戸側痕の内側には礫が多量に混じる黒褐色砂質シルト、褐灰色砂質シルト、黄灰色砂質シルトを基調とする埋土が各々ほぼ水平に堆積しており、最下部で井戸構築材の水溜として使用されたと考えられる結桶を確認した。また上層掘方埋土には中世土師器が多量に混じっており、構築時に行われた祭祀の可能性がある。遺物は多量の中世土師器、珠洲、越前、瀬戸美濃が出土した。遺物の時期は16世紀前半～17世紀初頭のものである。遺構の時期は16世紀中頃である。

2-SE61 (第14図)

2区調査区中段東、H4で検出した石組井戸である。掘方で長軸3.0m、短軸2.47m、深さ2.61mを測り、井戸底のレベルは標高4.99mである。平面は円形を呈する。井戸側の石組は人頭大の川原石を平積みして構築される。掘方・組石間の埋土は粗砂礫が多量に混じる黒褐色粘土質シルトである。また組石の内側には、井戸廃棄時に投棄されたと考えられる多量の拳大の川原石がみられる。遺物は中世土師器に加え、越前、唐津が出土した。機能していた時期は16世紀、埋め戻しは17世紀の可能性が高い。

2-SE277 (第14図)

2区調査区南東、FG2に位置する石組井戸である。長径2.6m、短径2.26m、深さ1.25mを測り、井戸底のレベルは標高5.74mである。平面は楕円形を呈する。掘方と組石の間の埋土は、下層に地山と暗灰黄色シルトの混土、上層に地山と多量の礫が混じる黄灰色シルトである。組石は楕円形の川原石で構築される。組石内側は、ほぼ多量の自然石を主体とした暗灰黃砂質シルトの単層で、井戸廃棄時に一度に埋められたと考えられる。遺構の時期は中世で、15世紀の可能性が高い。

2-SE370 (第14図)

2区調査区北東、H6に位置する井戸である。掘方で径2.46m、中央の井戸側痕は径約0.6m、深さ0.98mを測り、井戸底のレベルは標高6.26mである。平面は円形を呈する。井戸枠・結桶等の構築材は残っていない。埋土は掘方が地山である灰黄色シルトがブロック状に混じる褐灰色シルト、中央取水部分は礫が多量に混じる褐灰色シルトを基調とする。いずれも固く締まる。遺物は中世土師器と越前、越中瀬戸などが出土した。遺物の時期は16世紀である。

2-SE371 (第15図)

2区調査区北東、H6に位置する井戸である。掘方で長径4.40m、短径2.49m、深さ0.98mを測る。平面及び断面観察の結果、4つの遺構が切り合っていると考えられる。平面は不整形である。中央部分には円筒状の石造物が設置される。金屋石とみられ、径約1.2m（内部径約0.92m）、器高約0.92mを測る。東側の2-SK37E、西側の2-SK371Wより新しい。検出面では、いずれの遺構も近世富山城の整地跡とみられる、砂礫が多量に混じるにぶい黄橙色砂質シルトで埋められていることから、平面的な遺構の切り合い関係は不明である。2-SE371に設置された石製品直上は砂礫が、掘方には灰黄褐色粘土質シルトとグライ化した灰色粘土質シルトが堆積する。2-SK371Eの中層以下は黒褐色粘土質シルトとにぶい黄褐色粘土質シルトを各々基調とする埋土が互層をなし、最下層付近には炭化物を主体とする焼土混じりの埋土が堆積する。2-SK371Wの中層以下はほぼ単層で、灰黄色粘土質シルトを基調と

する埋土が堆積する。遺物は中世土師器、珠洲、中国青磁、越中瀬戸などが出土した。主な遺物の時期は15世紀後半～17世紀前半である。2-SK371(E)の時期は16世紀初頭～前半、2-SE371の時期は18世紀以降、2-SK471(W)の時期は17世紀前半である。

2-SE409（第15図）

2区調査区中央やや南、F3に位置する井戸である。径2.53m、深さ1.64mを測り、井戸底のレベルは標高5.86mである。平面は円形を呈する。掘方と井戸枠跡の境が明瞭なことから、木組井戸の可能性が高いが、井戸枠・水溜等の構造材は残存していない。中心部分の上層部分の埋土が、下層部分の埋土範囲に比べ大きく拡がっており、廃棄時に抜き取られた痕跡と考えられる。2-SD587より新しく、2-SK141・143・147より古い。遺構の時期は16世紀後半の遺構2-SK141より古い。

2-SE413（第15図）

2区中段東、G4に位置する井戸である。掘方は径3.52m、井戸側痕部分の平面は円形で、径約1m、深さ1.92mを測り、井戸底のレベルは標高4.68mである。平面は円形を呈する。遺物は中世土師器、中国白磁・染付、越中瀬戸などが出土した。主要な遺物の時期は16世紀初～18世紀のものである。井戸が機能した時期は17世紀前半である。遺構上層に近代の大型廃棄物が投棄されていたことから、井戸廃棄後も開口状態にあり、近代以降に廃棄土坑として使用されたのち完全に埋められたと考えられる。

2-SE414（第16図）

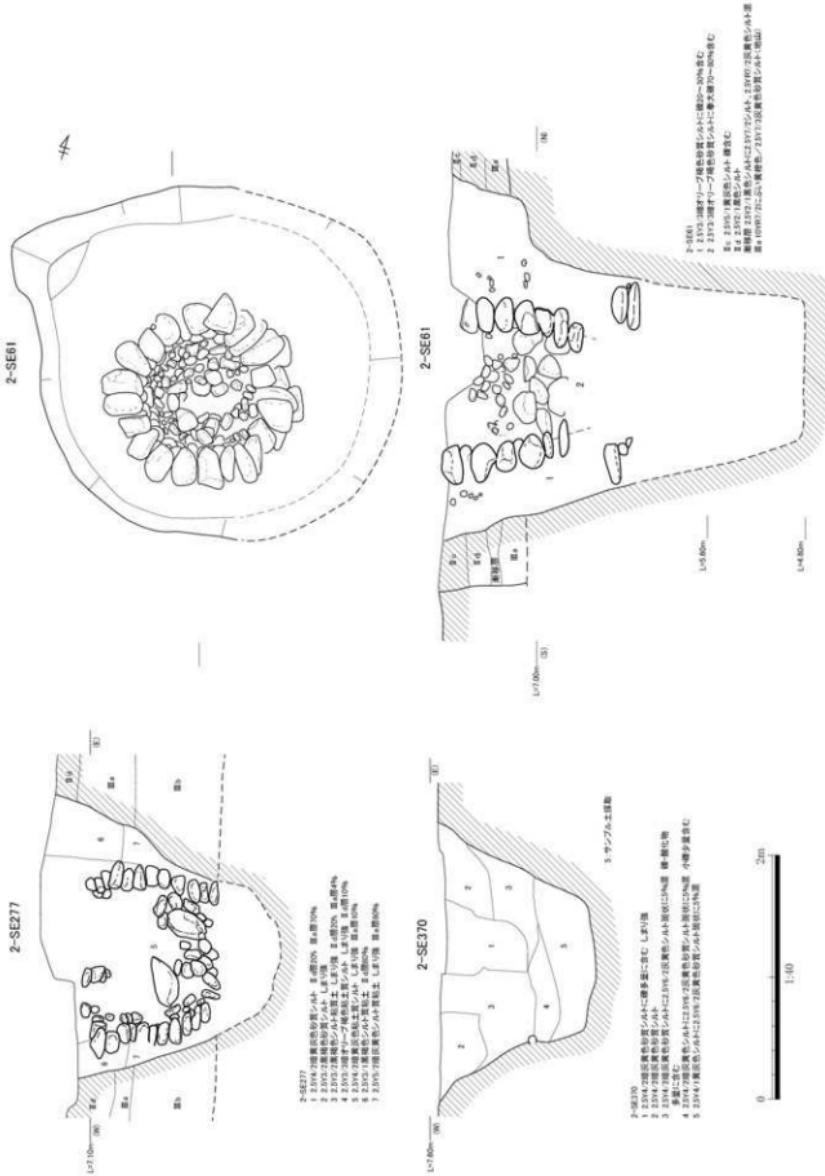
2区中央、F4に位置する井戸である。掘方は径2.55m、井戸側痕部分の径は約0.72m、深さ2.25mを測り、井戸底のレベルは標高5.18mである。平面形は円形を呈する。断面上層のみ再掘削の痕跡がみられることから、井戸側上部は抜き取られた可能性が考えられる。掘方の埋土は、下層が黒褐色粘土質シルト、上層は地山ブロックと黒色シルトが混じるにぶい黄褐色シルトである。井戸側痕の内側には、下部には黒褐色粘土質シルトを基調とする埋土が、上部には多量の礫が含まれた褐灰色シルトを基調とする埋土が厚く堆積する。遺物は中世土師器、瀬戸美濃、珠甕（白335）が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

2-SE416（第16図）

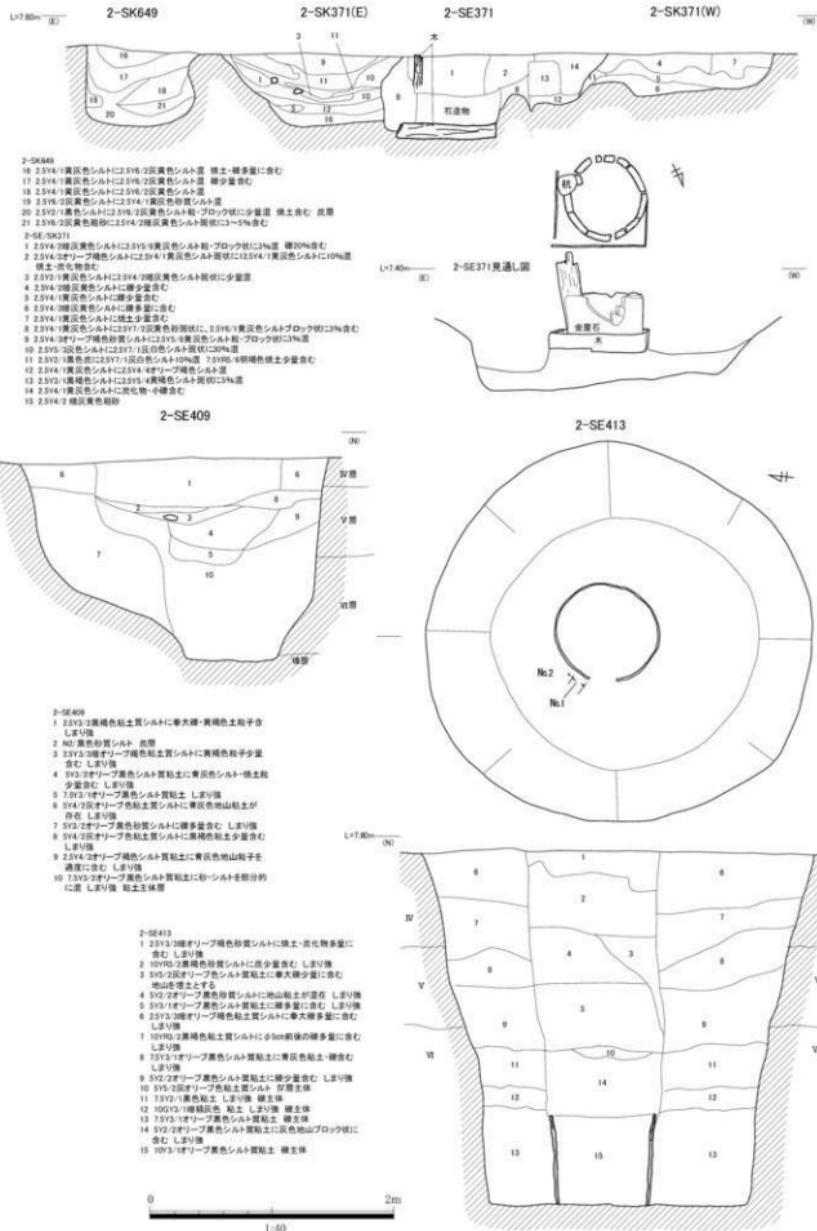
2区中央やや南、E3に位置する井戸である。掘方は径1.86m、井戸側痕部分の径は約0.72m、深さ1.85mを測り、井戸底のレベルは標高5.72mである。平面形は円形を呈する。埋土は掘方がオーリーブ黒色シルト質土、井戸側内側は上部が暗灰黄色シルト質粘土、下部が黒色砂質シルトである。木組井戸で、上部の構築材は腐食した可能性が高い。2-SD205より新しい。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

2-SE417（第16図）

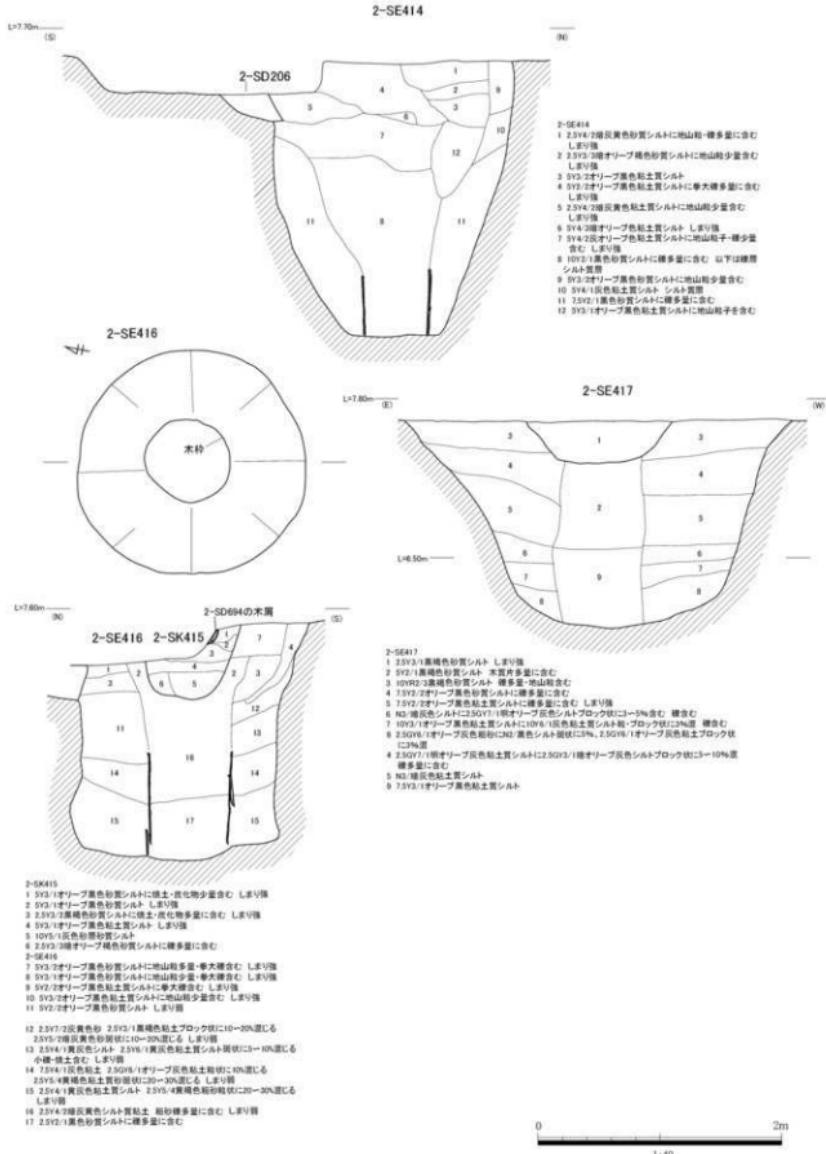
2区中央やや南、E3に位置する井戸である。掘方は径3.21m、断面観察の結果から確認できる井戸側痕部分の径は約0.65m、深さ1.55mを測り、井戸底のレベルは標高5.92mである。平面形は円形を呈する。木組井戸の可能性が高いが、構築材は腐食した可能性が高い。北端は調査区外に拡がる。2-SK693・2-SK322より新しい。遺物は中世土師器、瀬戸美濃、唐津、越中瀬戸が出土した。遺物の時期は16世紀初～18世紀の遺物である。遺構の時期は18世紀である。

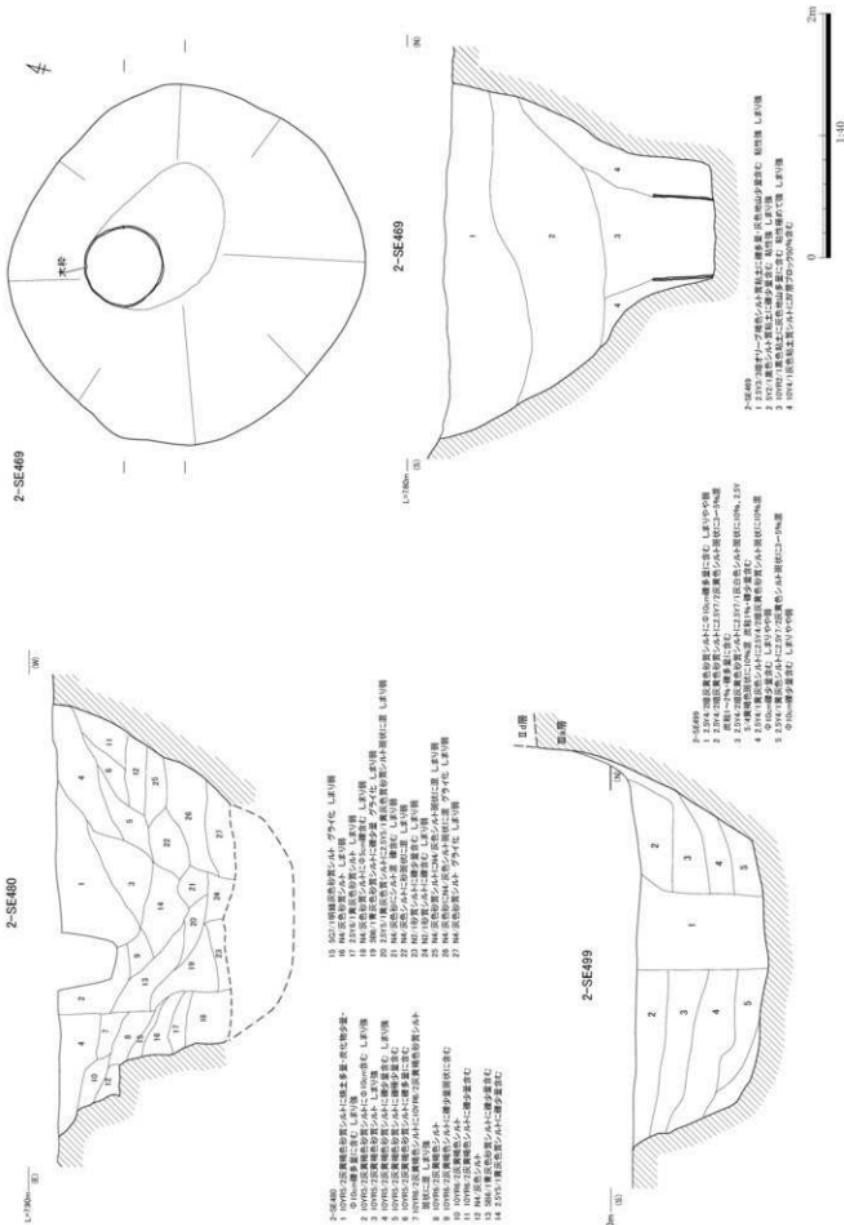


第14図 2区遺構図 11 (2-SE277、2-SE370 断面、2-SE61 断面・平面図)



第15図 2区遺構図 12 (2-SK649・2-SK371(E)・2-SE371・2-SK371(W)、2-SE409、2-SE413 断面・平面図)





第17図 2区遺構図 14 (2-SE480 断面図、2-SE469 断面・平面図、2-SE499 断面図)

2-SE469（第17図）

2区調査区中央、E4に位置する井戸である。径3.61m、深さ2.17mを測り、井戸底のレベルは標高5.24mである。平面形は円形を呈する。下部構造から、木組井戸と考えられる。断面観察の結果、遺構上半には井戸側の痕跡がみられないことから、井戸廃棄時に上部構造の井戸側を抜き取り、礫と地山が混じる褐色シルトで整地したと考えられる。遺構下部に残る井戸側痕の内側には、上部に礫が混じる黒褐色粘土質シルトが、下部に灰白色粘土質シルトがマーブル状に混じる黒褐色粘土質シルトが堆積する。断割の結果、最下層の湧水層レベルで水溜に使用された結桶を検出した。遺物は中世土師器)、奈良火鉢、肥前系が出土した。中世土師器の時期は16世紀初頭である。2-SK701より古い。遺構の時期は16世紀初頭である。

2-SE480（第17図）

2区調査区中段西、CD4に位置する井戸である。最大径3.53m、深さ1.40mを測り、井戸底のレベルは標高5.64mである。平面形は円形を呈する。断面観察の結果、上部は土坑状の、下部は井戸状の埋土の堆積が確認でき、断面下層中央に径0.60m程度の範囲に黒色粘土質シルトと円礫が多量に混じる灰色シルトの埋土が堆積する。井戸側の痕跡及びその内側に堆積した埋土と考えられる。遺物は中世土師器、珠洲、越前、瀬戸美濃、中国製磁器、唐津、肥前系、京・信楽系、越中瀬戸、瓦器火舎?が出土した。遺物の時期は16世紀後半~18世紀前半の遺物である。遺物の時期が複数あることから、井戸が機能していた時期は16世紀後半~末で、井戸が廃棄されたのち地盤の脆弱性から凹地状となり、再度埋められた時期が17世紀後半~18世紀初頭と考えられる。

2-SE499（第17図）

2区調査区北西、C5・6に位置する井戸である。長径4.00m、短径3.03m、深さ1.54mを測り、井戸底のレベルは標高5.92mで湧水層に達する。平面は梢円形を呈する。埋土は掘方下層から黒褐色シルト、暗灰黄色シルト、黄灰色シルトを各々基調とし、礫が混じる。井戸側跡内側は砂礫が多く混じる黄灰色シルトの単層である。2-SD471~473より新しい。遺物は越前、越中瀬戸、肥前系陶器が出土した。遺構の時期は17世紀後半以降である。

2-SE536（第18図）

2区調査区中段西、D4・5に位置する井戸である。幅2.68m、深さ1.18mを測り、井戸底のレベルは標高5.98mである。平面は半円形で、左半分は調査区外に拡がる。埋土は掘方下層が灰色砂質土、上層が褐灰色シルトにぶい黄褐色シルトと砂礫の混土、井戸側跡の内側は黄灰色砂質シルトに砂礫が多量に混じる黄灰色砂質シルトである。遺物は越中瀬戸が出土したほか、井戸の構築材と考えられる曲物片や部材を伴う。遺構の時期は17世紀前半である。2-SK292・525・622、2-SD510より新しい。

2-SE564（第19図）

2区調査区北西、B6に位置する井戸である。断面幅2.68m、最大径3.22m、深さ1.22mを測り、井戸底のレベルは標高5.06mである。平面は円形を呈する。北側断面観察の結果、上層約0.2mに灰黄褐色シルト及び砂礫土、その下に灰色砂質シルトが斑状に混じる暗灰色粘土質シルトが厚く堆積する。断割の結果、湧水層のレベルに南北方向に約0.5~0.7m離れて井戸構築材である結桶が2か所で検出した。湧水が著しく、遺構最下層の詳細を確認することができなかった。遺物は越中瀬戸、肥前系、波佐見などが出土した。ほぼ同じ位置に2度井戸を開削したと考えられ、2-SE564(新)の時期は18世紀である。2-SD470と南半分が重複し、より新しい。

2-SE592（第18図）

2区調査区中央北、E6に位置する井戸である。最大径4.11m、深さ1.26mを測る。平面は円形を呈する。断面は不明瞭である。埋土は水分を多量に含んだ疊混じりの黄灰色シルトで、非常に緩い。水溜の曲物等を全て取り除いたのち埋め戻した可能性が考えられる。2-SD470と南側が重複関係にあり、より新しい。遺物を伴わないため、詳細な時期は不明であるが18世紀以降の可能性が高い。

2-SE699（第18図）

2区調査区中央やや南西、DE3・DE4の中心に位置する井戸である。長径1.89m、短径1.68m、深さ1.33mを測る。平面は円形を呈する。埋土は灰色砂質シルトを基調とし、中心部に井戸側の痕跡が残る。遺構の時期はである。

2-SE788（第19図）

2区調査区北東、G7に位置する井戸である。径1.55m、深さ1.03mを測り、井戸底のレベルは標高5.70mである。平面は円形を呈する。整地層掘削後に凹地内で検出された遺構であり、上部構造が削平されている可能性が考えられる。残存する掘方の埋土は、下層が地山と疊の混じる黄灰色シルトで上層が灰黄色砂質シルト、井戸内側の埋土は下層から、砂礫が混じる暗灰黄色シルト、地山と炭化物・礫が混じる黄灰色シルトが水平堆積する。井戸側痕内側最下層埋土から中世土師器、珠洲、越中瀬戸が出土した。中世土師器皿は17世紀中頃～後半のものである。遺構の時期は17世紀中頃～後半である。

2-SE939（第20図）

2区調査区中央北側、FG6・FG7に位置する。整地層掘削後に凹地内で検出された遺構であり、上部構造が削平されている可能性が考えられる。井戸2基の可能性が高いが、断面観察では埋土に切り合はいは確認できず、断割りの結果、井戸側も1基のみ検出した。平面は瓢箪型を呈する。規模は長径7.16m、短径3.57m、深さ1.13mを測り、井戸底のレベルは標高4.36mである。遺物は中世土師器、唐津が出土した。遺物の時期は16世紀初頭～前半である。遺構の時期はいずれも16世紀初頭～前半である。

2-SE947（第19図）

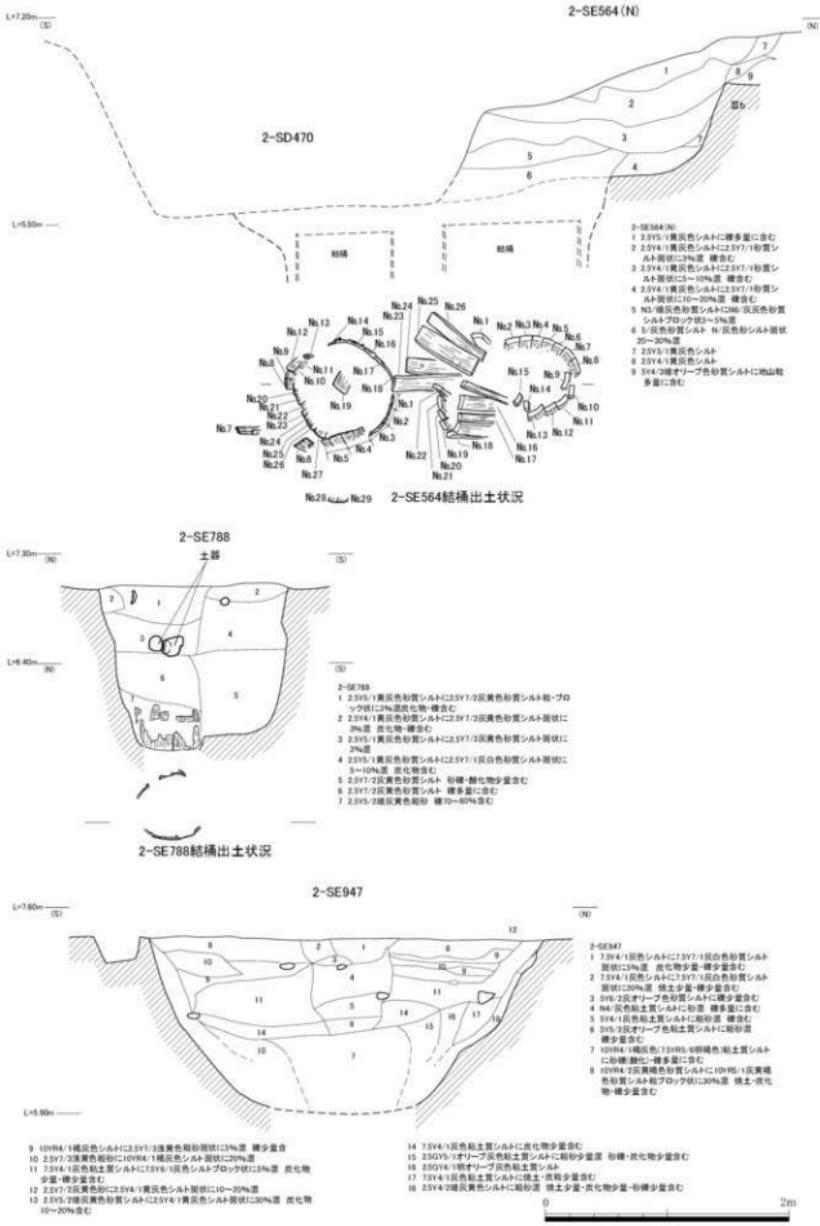
2区調査区北東、H6・7に位置する井戸である。長径3.01m、短径2.96m、深さ1.23mを測り、井戸底のレベルは標高5.88mである。平面は梢円形を呈する。埋土の堆積状況は断面の左右で大きく異なる。左側は下層には砂礫の混じるグライ化した灰色粘土質シルトが厚く堆積しており、中層には褐灰色粘土質シルトが、上層には灰黄褐色粘土質シルトがほぼ水平に堆積する。右側は最下層の砂礫をさらに深く掘削しており、左側と同質の埋土が堆積する。遺物は中世土師器、越前、中国白磁、越中瀬戸、伊万里などが出土した。遺物の時期は16世紀前半～17世紀である。遺構の時期は16世紀前半である。

2-SE1175（第20図）

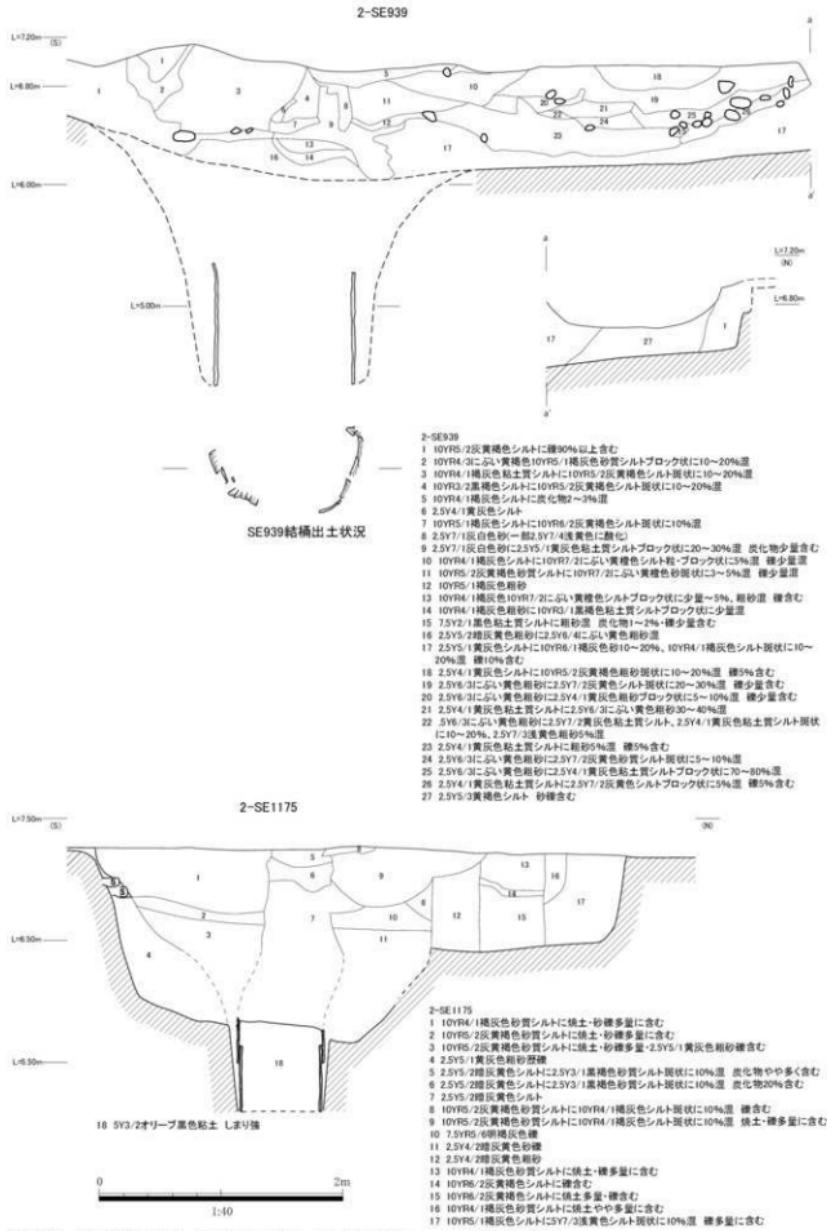
2区調査区北東、H6・7に位置する井戸である。長径22.40m、短径1.50m、深さ0.82mを測り、井戸底のレベルは標高5.06mである。平面は梢円形でを呈する。埋土は掘方が褐灰色・灰黄褐色砂質シルト、井戸側痕内側は暗灰黄色シルト、残存する最下部井戸側内側は焼土・砂礫が多量に含まれた褐灰色砂質シルトである。遺物は中世土師器、越前、越中瀬戸が出土した。2-SK951・2-SK996より古い。遺構の時期は15世紀前半～中頃である。



第18図 2区造構図 15 (2-SE592, 2-SE699, 2-SE536 断面図)



第19図 2区遺構図 16 (2-SE564(N)、2-SE788断面・出土状況図、2-SE947断面図)



第20図 2区遺構図 17 (2-SE939断面・出土状況図、2-SE1175断面図)

(3) その他の土坑群（SK・SP・SX）

2-SK1（第21図）

2区調査区中央、E4に位置するやや大型の土坑である。長軸1.58m、短軸1.53m、深さ0.25mを測る。平面は隅丸方形、断面が逆台形を呈する。埋土は単層で、オリーブ黒色シルトを基調とする。遺物は中世土師器、近世陶器が出土した。遺構の時期は17世紀中頃～後半である。

2-SK4（第21図）

2区調査区中央、D5に位置するやや大型の土坑である。長軸2.41m、短軸1.42m、深さ0.12mを測る。平面、断面ともに擾乱の影響により不整形だが、本来は2-SK1と同様、平面が隅丸方形、断面は逆台形であると考えられる。埋土は黒褐色砂質シルトを基調とし、焼土と炭化物、礫が混じる。遺物は瀬戸美濃、越前、越中瀬戸が出土した。遺構の時期は17世紀中頃～後半である。

2-SK48（第21図）

2区調査区中段東、H4に位置するやや大型の土坑である。長軸1.98m、短軸1.8m、深さ0.63mを測る。平面は隅丸方形、断面は逆台形を呈する。埋土は上下2層でほぼ水平に堆積しており、上層の埋土が大部分を占める。上層埋土は他の遺構とは大きく異なり、褐色砂質シルトとぶい黄橙色粘土質シルトを基調として、黒褐色粘土質シルトと合わせモザイク状に混じる。礫が少量含まれる。下層埋土は灰褐色粘土質シルトに礫が含まれるもので強く締まっており、底面に床状に敷き固められた可能性がある。2-SK60より古い。遺物は中世土師器、唐津、越前、石皿が出土した。遺構の時期は16世紀後半～末である。

2-SK56・57（第21図）

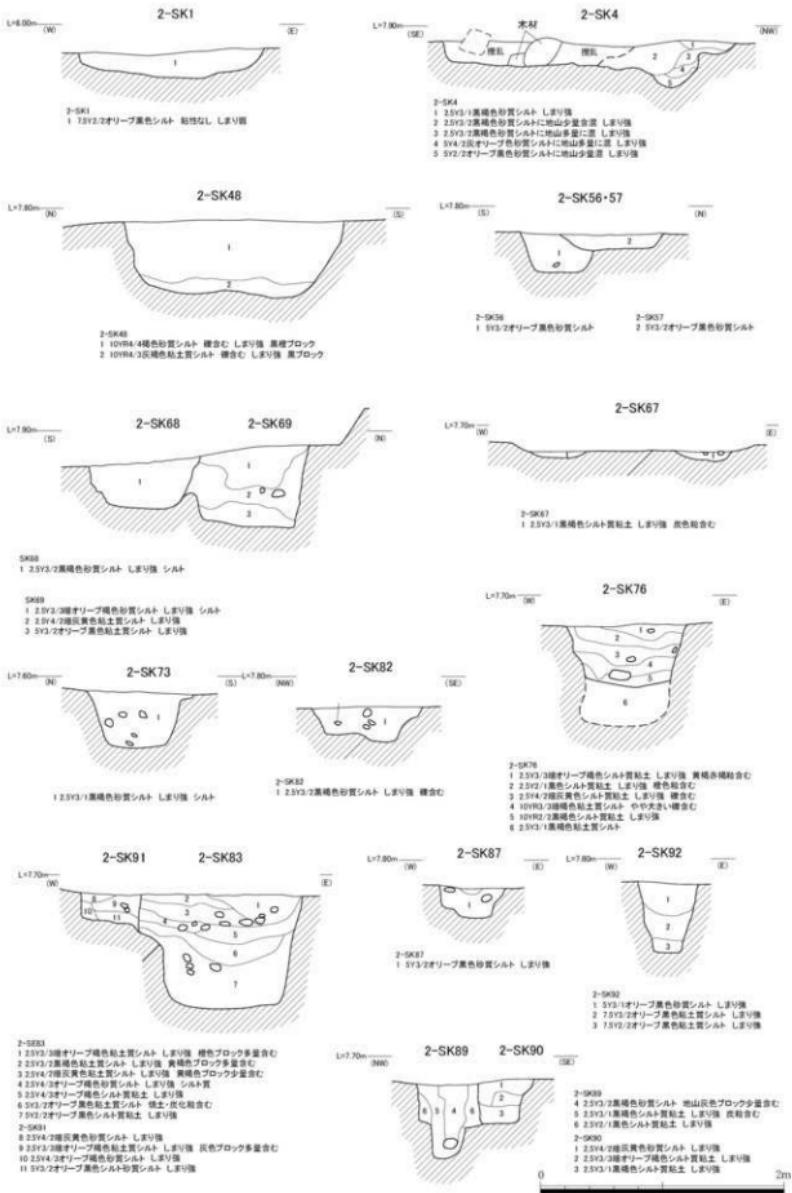
2区調査区中央東、F4に位置する土坑である。2-SK56は長軸0.65m、短軸0.61m、深さ0.32m、2-SK57は長軸0.65m、短軸0.57m、深さ0.12mを測る。SK56の平面は円形、断面は逆台形を、2-SK57の平面は梢円形を呈する。2-SK57が新しいが、いずれもオリーブ黒色砂質シルトを基調とすることから、時期差はほとんどないものと考える。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は2-SK56が16世紀前半、2-SK57が16世紀後半である。

2-SK67（第21図）

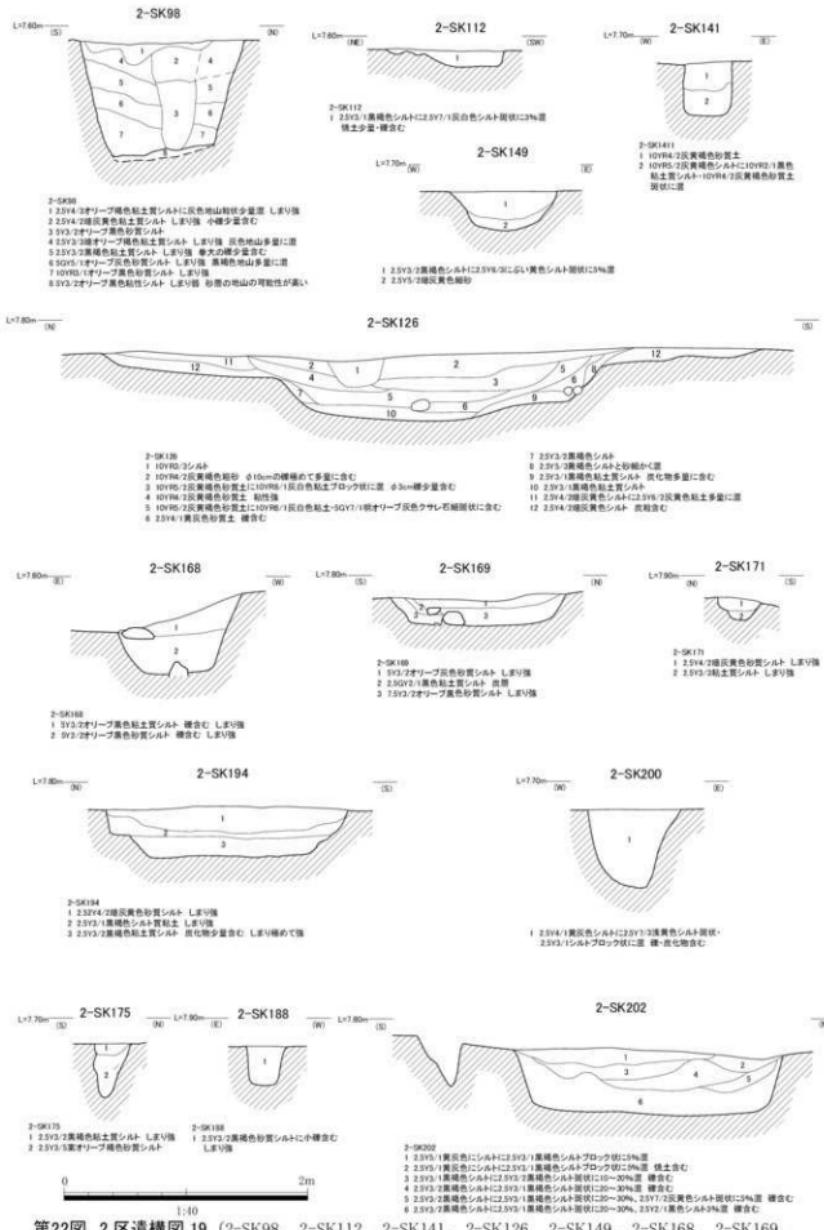
2区調査区中央東、F4に位置する土坑である。2-SK57は径2.0m、深さ0.12mを測る。平面は円形を呈する。埋土は黒褐色シルト質粘土である。周辺に同規模の井戸が多数あることから、調査時、中央に井戸側痕を持つ井戸の可能性が考えられたが、すぐに地山に達し、掘削後は浅いドーナツ状を呈した。倒木痕の可能性があるが、中世土師器がまとめて出土していることから、上半が削平された遺構の可能性も考えられる。

2-SK68・69（第21図）

2区調査区中段東、H3に位置する土坑である。2-SK68は長軸1.31m、短軸0.91m、深さ0.44m、2-SK69は長軸1.27m、短軸0.86m、深さ0.44mを測る。2-SK68の平面は隅丸方形、2-SK69の平面は梢円形を呈する。埋土は2-SK68が黒褐色砂質シルト、2-SK69が礫の混じる黒色系シルトを基調とする。2-SK68が新しい。埋土がほぼ同じであることから、時期差はほとんどない可能性が高い。遺物は2-SK69から中世土師器、瀬戸美濃、唐津、伊万里が出土した。遺構の時期は18世紀である。



第21図 2区構造図 18 (2-SK1, 2-SK4, 2-SK48, 2-SK56 · 57, 2-SK68 · 69, 2-SK67, 2-SK73, 2-SK82, 2-SK76, 2-SK91 · 83, 2-SK87, 2-SK92, 2-SK89 · 90断面図)



第22図 2区遺構図 19 (2-SK98、2-SK112、2-SK141、2-SK126、2-SK149、2-SK168、2-SK169、2-SK171、2-SK194、2-SK200、2-SK175、2-SK188、2-SK202断面図)

2-SK76（第21図）

2区調査区中央、EF3に位置するやや大型の土坑である。長軸0.99m、短軸0.6m、深さ0.52mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は黒褐色シルト質土を基調としており、焼土、炭化物が多量に、礫が少量含まれる。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

2-SK82（第21図）

2区調査区中央、F4に位置するやや大型の土坑である。長軸1.62m、短軸0.92m、深さ0.32mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は中央部分に礫が多量に混じる黒褐色砂質シルトである。遺物は越前、越中瀬戸、近世陶器が出土した。遺構の時期は17世紀後半の可能性が高い。

2-SK83・91（第21図）

2区調査区中央やや南、E3に位置する。2-SK83はやや大型の土坑、2-SK91は小型の土坑である。2-SK83は長軸1.6m、短軸0.95m、深さ0.55m、2-SK91は長軸0.5m、幅0.25m、深さ0.95mを測る。平面はいずれも楕円形を呈する。埋土はオリーブ黒色粘土質シルトとオリーブ褐色砂質シルトを各々基調としており、焼土、炭化物、礫が少量含まれる。2-SK83が新しい。遺物は2-SK91から中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

2-SK87（第21図）

2区中央、F4に位置する土坑である。長径0.54m、短径0.49m、深さ0.25mを測る。平面は円形を呈する。埋土はオリーブ黒色砂質シルトを基調とする。遺物は越中瀬戸の小片が出土した。

2-SK89・90（第21図）

2区中央やや南、F3に位置する土坑である。2-SK89は径0.5m、深さ0.62m、2-SK90は長径0.5m、短径0.43m、深さ0.62mを測る。埋土は2-SK89が暗灰黄色砂質シルト、2-SK90は黒褐色シルト質土を基調とする。2-SK90が新しい。遺物は土師器の小片が出土した。

2-SK92（第21図）

2区調査区中央、E4に位置する土坑である。軸0.49m、短軸0.50m、深さ0.57mを測る。平面は円形を呈する。埋土はオリーブ黒色シルト質土を基調とする。中世土師器が一定量まとまって出土したが、かわらけ廐棄土坑である2-SK705直上に位置することから、下層埋土は2-SK705で、古い時期のものは2-SK705の遺物である可能性が高い。遺構の時期は16世紀後半である。

2-SK98（第22図）

2区調査区中央、F4に位置する土坑である。長径1.35m、短径1.20m、深さ0.97mを測る。平面は円形を呈する。断面の中心に礫が混じる暗灰黄色粘土質シルト、オリーブ黒色砂質シルトが柱根状にみられる。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀前半である。

2-SX125

2区調査区南東端、GHI-3に位置するきわめて大型の不明土坑である。長軸13.6m以上、短軸5.8m、深さ0.57mを測る。平面は隅丸方形を呈する。江戸時代の古絵図から馬小屋である可能性が高く、馬のし尿処理用の土坑と考えられる2-SK126の他、西側の南北方向に平行して並ぶ柵列2-SA1410等を伴うと考えられる。上部構造は近代以降の削平、擾乱による影響を受ける。遺物は中近世土師器のほか、瀬戸美濃、伊万里、近代陶磁器等の近世～近代の遺物が多量に出土した。遺構の時期は18世紀である。

2-SK126（第22図）

2区調査区南東、GH2に位置し、2-SX125内の北側に位置する大型の土坑である。長径6.09m、短径5.45m、深さ0.62mを測る。平面は楕円形、断面は逆台形を呈する。埋土は上層が粗砂礫、中層は礫、白色粒を含む褐灰色砂質シルト、下層は黄灰色粘土質シルト層と炭化物層がみられる。また土坑の性質が、馬小屋内に設置されたし尿処理用の土坑である可能性が高いことから、中層埋土に含まれる白色粒は尿石である可能性が高い。遺構の時期は18世紀である。

2-SK141（第22図）

2区調査区中央、F3に位置する土坑である。長径0.5m、短径0.4m、深さ1.45mを測る。埋土は主に上下2層で、上層は灰黄褐色砂質土に焼土と炭化物が少量含まれるもの、下層は上層埋土に黒褐色粘土質シルトが混じる。西側で近世以前の井戸2-SE409より新しい。遺物は中近世土師器、越中瀬戸、中国瑠璃窯染付等が出土した。遺構の時期は17世紀初頭である。

2-SK142・479（第4図）

2区調査区南東、FG3に位置する。2-SK142はやや大型の、2-SK479は大型土坑である。2-SK142は長軸2.12m、短軸0.91m、深さ0.26mを、2-SK479は長軸3.65m、短軸2.1m、深さ0.35mを測る。平面はいずれも隅丸方形を呈する。埋土は黄灰色砂質シルトを基調とする。遺物は中世土師器、珠洲、瀬戸美濃、越前、越中瀬戸などが出土した。遺構の時期は2-SK142が16世紀末～17世紀初頭、2-SK479は16世紀後半である。いずれも重複する2-SD123（古）より新しい。

2-SK149（第22図）

2区調査区中央やや南、F3に位置する土坑である。径0.93m、深さ0.33mを測る。平面は円形を呈する。埋土は灰黄褐色シルトに地山が斑状に、黒色シルトはブロック状に混じる。礫も少量含む。遺物は中世土師器が出土した。

2-SK168（第22図）

2区調査区中段東、G4に位置する土坑である。長径0.52m、短径0.48m、深さ0.32mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は褐灰色シルトを基調とし、粗砂、円礫が多量に含まれる。中世土師器が出土した。

2-SK169（第22図）

2区調査区中段東、G4に位置する土坑である。平面は円形で長径1.43m、短径1.39m、深さ0.26mを測る。埋土は、下層に粗砂、円礫が多量に含まれた褐灰色シルト、上層に灰黄色粘土質シルトである。遺物は中世土師器、珠洲が出土した。遺構の時期は16世紀前半である。

2-SK171（第22図）

2区調査区中段東、G4に位置する土坑である。長径0.37m、短径0.30m、深さ0.20mを測る。平面は円形を呈する。埋土は灰白色粘土質シルトがブロック状に混じる灰黄色シルトで、炭化物、礫を含む。中世土師器が出土した。

2-SK175（第22図）

2区調査区南東、H3に位置する土坑である。長径0.40m、短径0.30m、深さ0.45mを測る。平面形は円形を呈する。埋土は灰白色粘土質シルトがブロック状に混じる褐灰色シルトで、炭を含む。越中瀬戸、瀬戸美濃が出土した。遺構の時期は16世紀末～17世紀である。

2-SK188（第22図）

2区調査区南東、G3に位置する土坑である。長径0.33m、短径0.30m、深さ0.32mを測る。平面形は円形を呈する。埋土は灰白色粘土質シルト、黒褐色粘土質シルトがブロック状に混じる褐色シルトで、礫を含む。中世土師器が出土した。

2-SK194（第22図）

2区調査区南東、FG3・4に位置するやや大型の土坑である。幅2.00m、深さ0.42m、長さ1.85mを測る。平面形は隅丸方形を呈する。2-SK150の西側延長に隣接し、2-SK150上層埋土と同様、灰黄褐色シルトを基調とする。遺物は中近世土師器が出土した。遺構の時期は18世紀前半である。

2-SK200（第22図）

2区調査区中央やや南、F3に位置する土坑である。径0.7m、深さ0.65mを測る。平面は円形を呈する。埋土は褐色砂質シルトとにぶい黄橙色粘土質シルトを基調として、黒褐色粘土質シルトと合わせモザイク状に混じる。礫が少量含まれる。2-SK48と同じ埋土である。遺構の時期は16世紀後半である。遺物は中世土師器の小片が出土した。

2-SK202（第22図）

2区調査区南東、G3に位置する土坑である。長軸2.22m、短軸1.42m、深さ0.53mを測る。平面形は隅丸方形を呈する。埋土は褐色シルトと黒褐色シルトの混土で、炭化物を含む。中近世土師器、唐津、越中瀬戸、近世陶器が出土した。遺構の時期は18世紀である。

2-SK203（第23図）

2区調査区やや南東、FG3に位置する土坑である。長軸1.7m、短軸1.52m、深さ0.37mを測る。平面は隅丸方形を呈する。埋土は褐色シルトのほぼ単層である。遺物は瀬戸美濃、越中瀬戸が出土した。遺構の時期は17世紀中頃～後半である。

2-SK204（第23図）

2区調査区やや南、F3に位置する土坑である。軸2m、深さ0.67mを測る。平面は隅丸方形である。埋土は3層で、上層は黄灰色シルト、中層は暗灰黄色シルト、下層は黄灰色シルトを基調とする埋土がレンズ状に堆積する。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀中頃～後半である。

2-SK244（第23図）

2区調査区南東、G1に位置する土坑である。長軸1.07m、短軸0.97m、深さ0.17mを測る。平面は隅丸方形である。埋土は黒褐色砂質シルトを基調とする。2-SK1、2-SK4等と同様の遺構である。遺物は唐津、越中瀬戸、種子が出土した。

2-SP258（第23図）

2区調査区南東、G2に位置する柱穴である。径0.27m、深さ0.23mを測る。平面形は円形を呈する。埋土は礫が多量に混じる灰黄褐色砂質シルトで、中心に柱根が残る。遺物は唐津、肥前系陶器の小片が出土した。近世富山城の馬小屋と考えられる遺構2-SX125に西側に平行し、約1.2m間隔で同様の遺構が南北方向に並んでいることから、2-SX125に伴う柱穴である可能性が高い。遺物は越中瀬戸と近世陶器が出土した。時期は18世紀である。

2-SK288（第23図）

2区調査区中段西、D5に位置する土坑である。長軸1.10m、短軸0.60m、深さ0.31mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は上層が黄灰色砂質土、下層が黒褐色砂質土を基調とし、炭化物・円礫を少量含む。遺物は越中瀬戸・近世陶器が出土した。遺構の時期は17世紀後半～18世紀前半である。

2-SK317（第23図）

2区調査区中央やや西、E3に位置する。長径0.65m、短径0.59m、深さ0.62mを測る。平面は円形を呈する。埋土は上下2層で、上層は黄褐色砂質シルト、下層は黒褐色砂質シルトを基調とする。遺物は中近世土師器、越中瀬戸、肥前系が出土した。

2-SP347（第23図）

2区調査区北東、H6に位置する柱穴である。径0.46m、深さ0.34mを測る。平面は円形を呈する。埋土は灰黄色シルトを基調としており、中央に柱根が残る。中世の区画溝2-SD640を切っており、調査時にこの遺構出土した青磁及び白磁の小片は2-SD640のものである可能性が高い。

2-SK362（第23図）

2区調査区北東、H6に位置する土坑である。長径0.67m、短径0.65m、深さ0.48mを測る。平面は円形を呈する。埋土は黄灰色砂質シルトを基調とする。遺物は瀬戸美濃・越前が出土している。遺構の時期は17世紀である。

2-SK368（第23図）

2区調査区北東、H6に位置する土坑である。長軸2.60m、短軸1.59m、深さ0.32mを測る。平面は隅丸方形を呈する。埋土は褐灰色シルトを基調とする。遺物は中世土師器と瀬戸美濃が出土している。遺構の時期は16世紀である。

2-SK372（第24図）

2区調査区北東端、I6に位置する土坑である。埋土は疊が混じる暗灰黄色シルトである。平面は隅丸方形を呈する。長軸1.88m、短軸1.42m、深さ0.50mを測る。遺物は中近世土師器、越中瀬戸、伊万里が出土した。遺構の時期は18世紀以降である。

2-SK384・385（第23図）

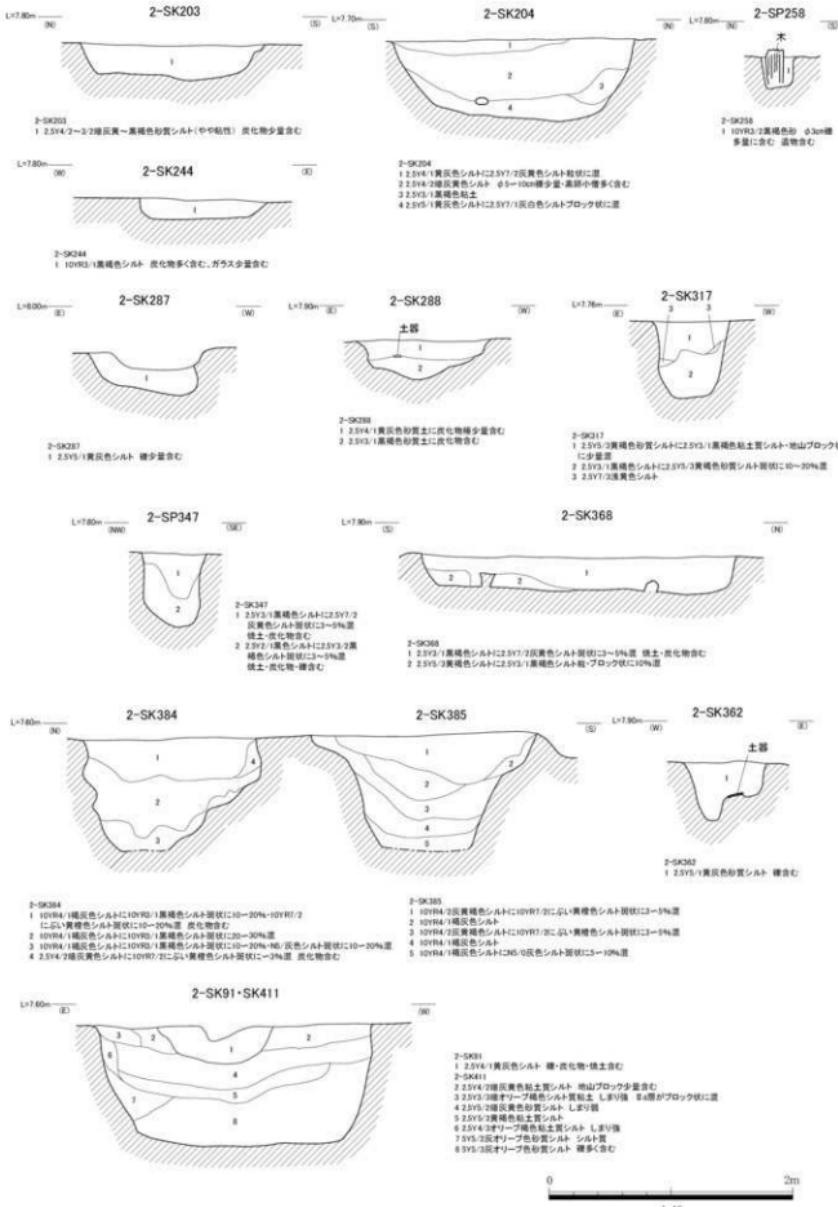
2区調査区中央やや南、E3に位置する土坑である。2-SK384は長径1.42m、短径1.12m、深さ0.92m、2-SK385は長径1.84m、短径0.5m、深さ0.98mを測る。平面はいずれも楕円形を呈する。埋土は2-SK384は褐灰色シルトを、2-SK385は灰黄褐色シルト・褐灰色シルトを基調とする。2-SK385は2-SK411、2-SK83より古い。遺物は出土していない。

2-SK410（第24図）

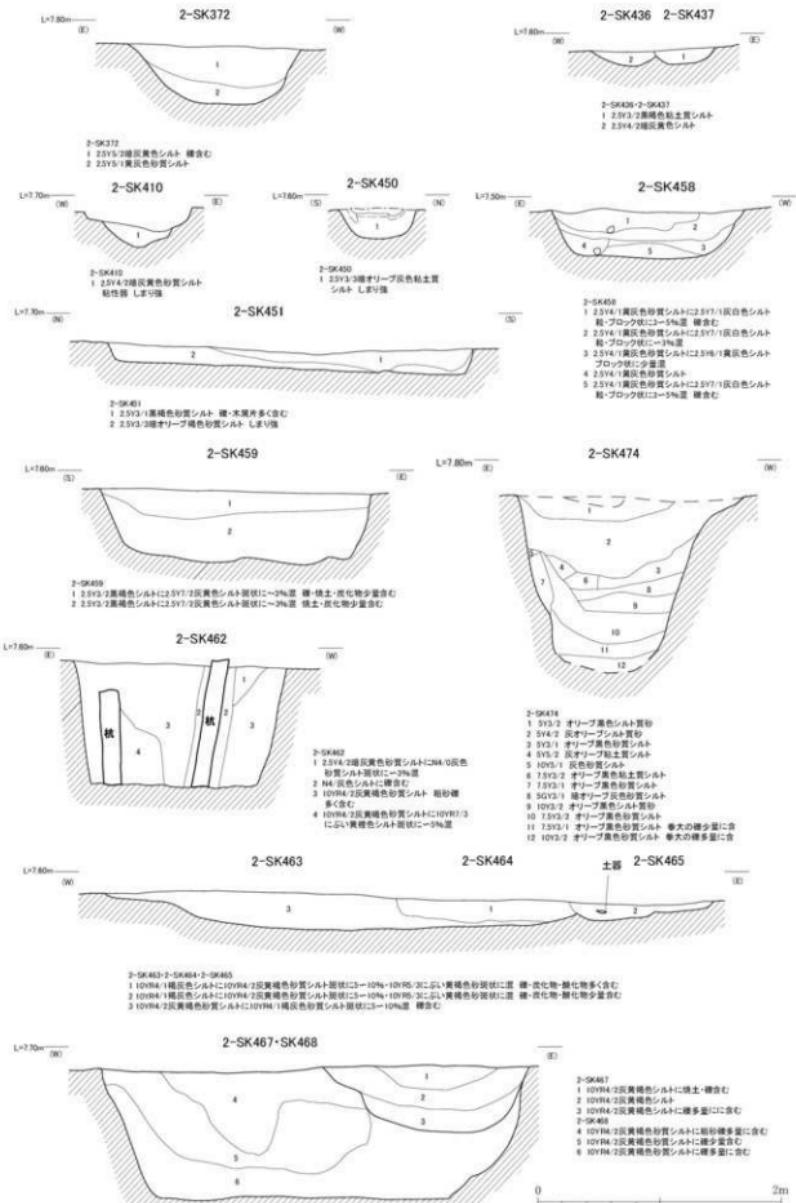
2区中段東、G4に位置する土坑である。長径0.9m、短径0.6m、深さ0.32mを測る。平面形は楕円形を呈する。埋土は暗灰黄色砂質シルトを基調とする。遺物は中近世土師器、瀬戸美濃、越中瀬戸が出土した。遺構の時期は18世紀である。

2-SK411・478（第22・25図）

2区調査区中央やや南、E3に位置する土坑である。2-SK411は長径2.68m、短径2.27m、深さ0.98mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は灰黄褐色シルト、灰黄色砂質シルトを基調とし、疊が一定量



第23図 2区構造図 20 (2-SK203, 2-SK204, 2-SP258, 2-SK244, 2-SK287, 2-SK288, 2-SK317, 2-SP347, 2-SK368, 2-SK384, 2-SK385, 2-SK362, 2-SK91 + 411断面図)



第24図 2区遺構図 21 (2-SK372、2-SK436・437、2-SK410、2-SK450、2-SK458、2-SK451、2-SK459、2-SK474、2-SK462、2-SK463・464・465、2-SK467・468断面図)

含まれる。2-SK478は2-SK411の西側に隣接する遺構で、最大径は1.42m、深さ1.27mを測る。平面は楕円形である。黒褐色粘土質シルト、暗灰黄色シルト質粘土、オリーブ黑色シルト質粘土を基調とする各々比率が異なる埋土が互層をなす。2-SK478が古い。遺物は2-SK478から中世土師器が出土した。遺構の時期は15世紀後半～16世紀初頭である。

2-SK437（第24図）

2区調査区中央北側、D7に位置する土坑である。長径0.57m、短径0.5m、深さ0.15mを測る。埋土は暗灰黄色シルトの単層である。2-SK436より新しい。遺物は中世土師器小片が出土した。

2-SK450（第24図）

2区調査区中央北、F6に位置する。長径0.74m、短径0.64m、深さ0.26mを測る。平面は楕円形である。埋土は暗オリーブ灰色粘土質シルトを基調とする。遺構中央に甕が正置されていた。遺物は中世土師器・越前が出土した。

2-SK451（第24図）

2区調査区北端中央、E7に位置する土坑である。平面は隅丸方形を呈する。長軸3.75m、短軸2.05m、深さ0.35mを測る。埋土は灰黄色シルトを基調に小礫及び地山が斑状に、繊維状の木質遺物が多量に混じる。遺物は近代陶磁器や下駄、裁判所木札などが多く出土した。明治時代の遺構である。2-SK493より新しい。

2-SK458（第24図）

2区調査区中央北側、E6に位置する土坑である。長径2.71m、短径1.6m、深さ0.41mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は黄灰色砂質シルトを基調とする。遺物は中世土師器が出土した。

2-SK459（第24図）

2区調査区北西端、A7に位置する土坑である。長軸2.22m、短径1.65m、深さ0.64mを測る。平面は隅丸方形を呈するとみられる。西壁調査区外に拡がる。埋土は黒褐色シルトを基調とする。遺物は近世陶磁器が出土した。2-SD447より新しい。

2-SK460（第5・7図）

2区調査区北西、AB6に位置する土坑である。西側は調査区外に拡がる。長軸6.35m、短軸5.47m、深さ1.12mを測る。平面は不整形である。埋土は黄灰色砂質シルトを基調とし、地山がブロック状に混じる。遺物は五輪塔が出土した。重複関係にある2-SD470（新）より新しく、2-SD447より古い。

2-SK462（第24図）

2区調査区北東、H7に位置する土坑である。径2.04m、深さ1.05mを測る。平面は円形を呈する。埋土は多量に砂礫が混じる灰黄褐色砂質シルトで、固く縮まる。遺構内に近・現代の杭が打ち込まれている。遺物は珠洲が出土した。遺構の時期は15世紀前半である。

2-SK463～465（第24図）

2区調査区北東、G7に位置する土坑である。2-SK463は長径4.98m、短径1.70m、深さ0.3m、2-SK464は長軸1.69m、短軸1.48m、深さ0.18m、2-SK465は径1.18m、深さ0.13mを各々測る。2-SK463は楕円形、2-SK464は隅丸方形、2-SK465は円形を呈する。埋土は2-SK463・464が褐灰色砂質シルトを、2-SK465は灰黄褐色砂質シルトを基調とする。遺物は2-SK463から中世土師器、

2-SK464から不明金属製品、2-SK465から越中瀬戸、瀬戸美濃、越中丸山、硯が出土した。2-SK464は2-SK463より新しく、2-SK465より古い。2-SK465の時期は19世紀である。

2-SK467・468（第24図）

2区調査区北東、H7に位置する土坑である。2-SK468は長径1.98m、短径1.68m、深さ0.56mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は灰黄褐色シルトに焼土、礫が少量混じる。遺物は中世土師器が出土した。2-SK467、SD598より新しい。2-SK467は長径3.66m、短径2.1m、深さ1.24mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は灰黄褐色砂質シルトに砂礫が多量に混じる。遺構の時期は16世紀である。

2-SK474（第24図）

2区調査区中央、E3に位置する土坑である。長軸1.83m、短軸1.41m、深さ1.33mを測る。埋土はオリーブ黒色シルトを基調とする。遺物は中世土師器・土錘が出土した。

2-SK475・476（第25図）

2区調査区南東、H2に位置する土坑である。2-SK475は長径0.67m、短径0.35m、深さ0.13mを、2-SK476は長径1.18m、短径1.05m、深さ0.59mを測る。平面はともに円形を呈する。埋土は2-SK475が黄褐色シルトの単層、2-SK476は主に暗オリーブ褐色シルトを基調とし、下部には黒褐色砂質シルトが堆積する。遺物は中世土師器が出土した。2-SK475が新しい。

2-SK479（第4図）

2区調査区中央やや東、G3に位置する土坑である。長軸2.30m、短軸2.04m、深さ0.52mを測る。平面はややいびつな隅丸方形を呈する。埋土は黄灰色砂質シルトを基調とする。重複する2-SD123（古）より新しく、2-SK142より古い。遺物は中世土師器が出土した。

2-SK489（第25図）

2区調査区中央やや北、DE6に位置する土坑である。長径1.2m、短径0.81m、深さ0.29mを測る。平面は長方形を呈する。埋土は灰黄褐色シルトを基調とする。遺物は越中瀬戸が出土した。

2-SK498（第25図）

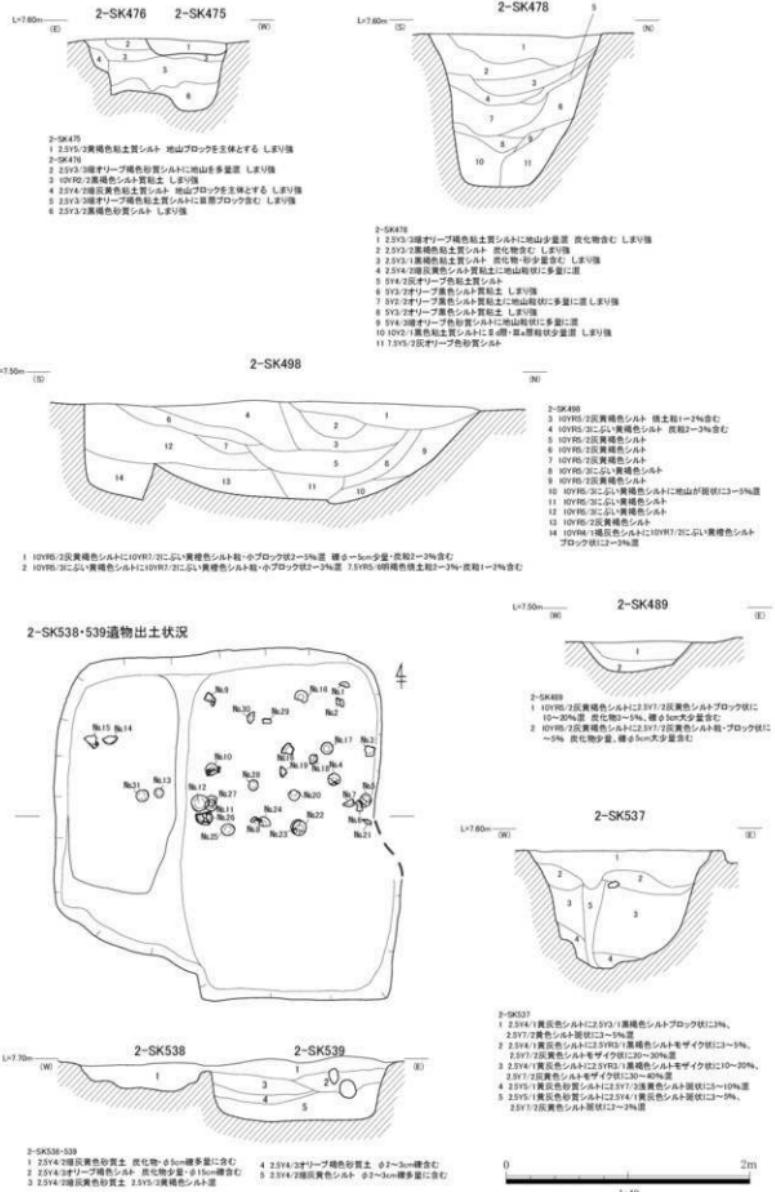
2区調査区南西、D4に位置する土坑である。長径1.63m、短径1.2m、深さ0.42mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は上層が灰黄褐色シルト、下層にはいぶい黄褐色シルトを基調とする。重複する2-SE480より古い。遺物は最下部から完形の中世土師器が出土した。

2-SK537（第25図）

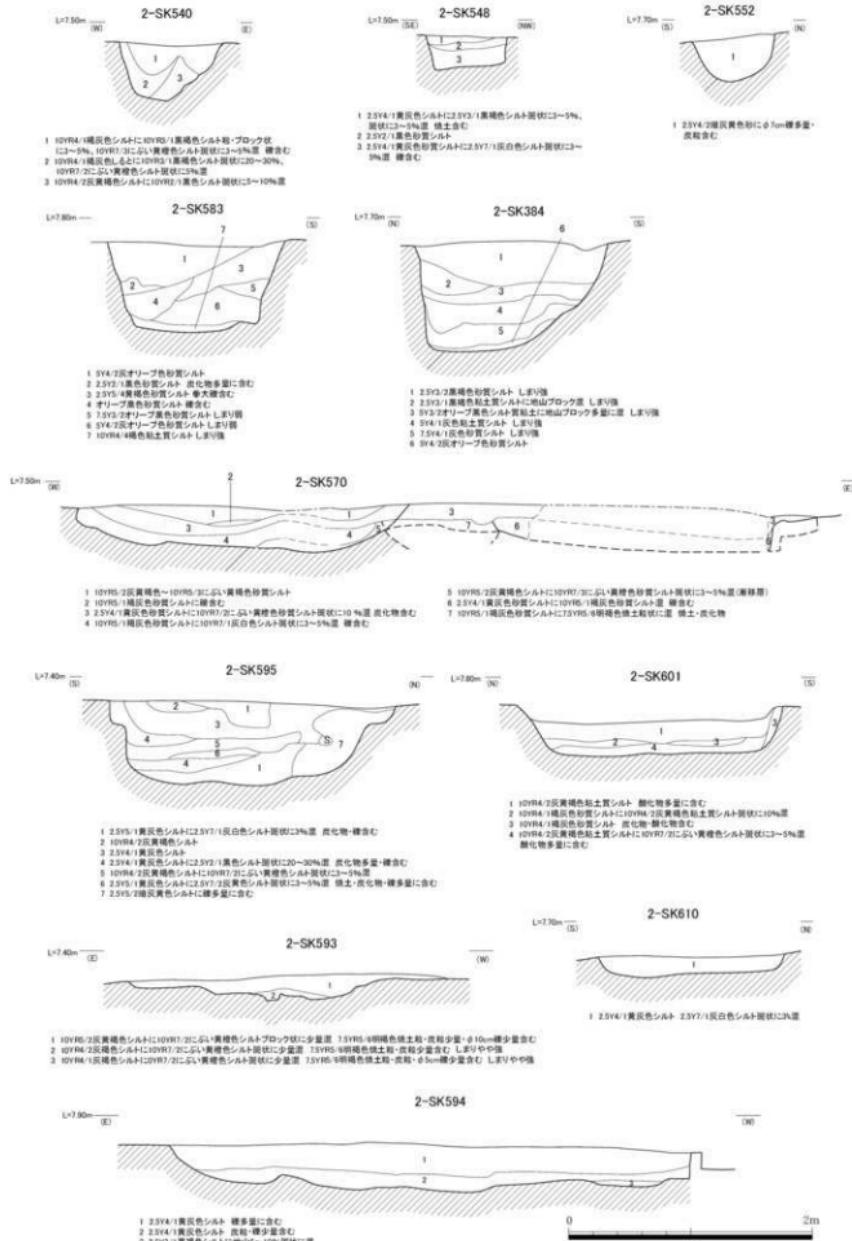
2区調査区南東、G2に位置する土坑である。長径1.5m、短径0.9m、深さ1.04mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は黄灰色シルト質土を基調とする。下層の中央に、上下方向に縦断する黒褐色シルトに灰黄色シルトがブロック状に少量混じる混土が確認できることから、大型の柱穴の可能性がある。遺物は中世土師器、越中瀬戸が出土した。隣接する2-SK189の埋土も同様で、同時期の遺構であると考えられる。

2-SK538・539（第25図）

2区調査区南東、GH2に位置する土坑である。2-SX125直下、2-SD286、2-SD534、2-SD586に区画された約6～7m四方の範囲内に位置する。検出面から約0.15m下まで掘り進んだ段階で2-SK538と2-SK539で分かれる。2-SK538は楕円形で断面1.08m、長径1.8m、深さ0.35m、2-SK539は隅丸



第25図 2区遺構図 22 (2-SK476・475、2-SK478、2-SK498、2-SK489、2-SK537断面図、
2-SK538・539断面・出土状況図)



第26図 2区構造図 23 (2-SK540, 2-SK548, 2-SK552, 2-SK583, 2-SK384, 2-SK570, 2-SK594, 2-SK595, 2-SK601, 2-SK593, 2-SK610 断面図)

方形で、断面1.5m、長径2.88m、深さ0.53mを測る。2-SK538の上層埋土は暗灰黄色砂質土に礫が多量に混じる混土、下層はオリーブ黒色シルトである。2-SK539の上層埋土は暗灰黄色砂質土シルトに礫が少量混じる混土、中層にはぶい黄褐色シルトに礫と褐灰色シルトが斑状に混じる混土、最下層は砂礫が混じる灰色シルトである。遺物は中世土師器が多量に出土しており、かわらけ廐棄土坑であると考えられる。遺物の時期は16世紀中頃～後半である。

2-SK548（第26図）

2区調査区中段西、D4に位置する土坑である。長径1.11m、短径0.68m、深さ0.29mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は3層から成り、上層は炭化物と焼土がきわめて多量に混じる黄灰色シルト、下層が礫、炭化物、焼土が少量混じる黄灰色砂質シルトである。遺物は中世土師器、越前擂鉢が出土した。

2-SK552（第26図）

2区調査区中段西、D5に位置する土坑である。平面は楕円形を呈する。長径0.67m、短径0.55m、深さ0.4mを測る。埋土は礫が多量に混じる暗灰黄色砂の単層である。遺物は瀬戸美濃及び志野が出土した。

2-SK570（第26図）

2区調査区北西、D6に位置する大型土坑である。長軸6.08m、短軸3.61m、深さ0.36mを測る。平面は不整形を呈する。埋土は主に3層で、下層から褐灰色砂質シルト、黄灰色砂質シルト、にぶい黄褐色シルトを基調とする埋土がレンズ状に堆積する。遺物は中世土師器、珠洲、瀬戸美濃、白磁、近世陶器などが出土した。重複関係は2-SK2・SD487より新しい。

2-SK583（第26・27図）

2区調査区中央やや南、E3に位置する大型の土坑である。断面径1.46m、深さ0.76m、長径2.12mを測る。平面は楕円形で、南端が調査区外に拡がる。灰オリーブ色砂質シルト、黒色砂質シルト、灰オリーブ色砂質シルトを基調とする。また中間層には炭化物を主体とする埋土が、ブロック状に存在する。遺物は中世土師器が出土した。2-SK651、2-SK652より新しい。

2-SK584（第26図）

2区調査区中央やや南、E3に位置する土坑である。径1.6m、深さ0.91mを測る。平面は円形を呈する。埋土は主に3層で構成され、ほぼ水平に堆積している。下層は灰黄色砂質シルト、中層は褐灰色砂質シルト、上層は灰黄褐色砂質シルトを基調とする。遺物は中世土師器が出土した。

2-SK593（第26図）

2区調査区中央やや北西、D6に位置する土坑である。長径2.63m、短径1.60m、深さ0.21mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は灰黄褐色シルトを基調とする。遺物は最下部から完形の中世土師器が出土した。

2-SK594（第26図）

2区調査区南東、G3に位置する大型土坑である。断面幅4.28m、深さ0.38mを測る。平面は隅丸方形で、南側で重複関係にある2-SD123（新）より古い。埋土は主に3層でレンズ状に堆積する。下層から黄灰色シルト、暗灰黄色シルト、褐灰色シルトをそれぞれ基調とする。遺物は中世土師器が出土した。造構の時期は16世紀後半～末である。

2-SK595（第26図）

2区調査区中央北、F6に位置する土坑である。平面は梢円形で、長径2.35m、短径1.41m、深さ0.7mを測る。埋土は粗砂礫が多量に混じる、にぶい黄褐色シルトである。遺物は中世土師器、瀬戸美濃、越中瀬戸、伊万里等が出土した。遺構の時期は18世紀である。

2-SK601（第27図）

2区調査区北東端、H7に位置する土坑である。断面径2.2m、最大径2.5m、深さ0.42mを測る。平面は不整形を呈する。埋土はほぼ単層で、灰黄褐色シルトを基調とする。遺物は中近世土師器が出土した。

2-SK602～605（第27図）

2区調査区中央北側、F6に位置する土坑群である2-SK602は径約1.5m、深さ0.53mを測る。平面形は2-SK602、2-SK604は円形、2-SK603、605は不整形である。埋土は黒褐色シルト、灰黄褐色シルト、炭化物層などが複雑に互層を成す。2-SK602と2-SK605、2-SK604と2-SK605は部分的に重複している。2-SK604は径1.14m、深さ1.19mを測る。埋土は黒褐色シルトを基調とし、下層には粗砂礫が多量に混じる。遺物は中世土師器、瀬戸美濃が出土した。

2-SK607（第27図）

2区中段西側、C5に位置する土坑である。平面は梢円形で、長径1.83m、短径1.4m、深さ1.53mを測る。埋土の種類、堆積状況は上層、下層で大きく異なる。下層は炭化物に地山、焼土、礫が少量混じる埋土で、最下層には真鯛の細骨片が多量に混じる。上層は炭化物層と褐灰色シルトがレンズ状に堆積し、互層を成す。2-SD473より新しい。遺物は中世土師器、瀬戸美濃が出土した。

2-SK610（第26図）

2区調査区北東、G7に位置する土坑である。平面は梢円形で、長径1.52m、短径0.9m、深さ0.2mを測る。埋土は黄灰色シルトを基調とする単層である、遺物は中世土師器、磚が出土した。

2-SK611（第27図）

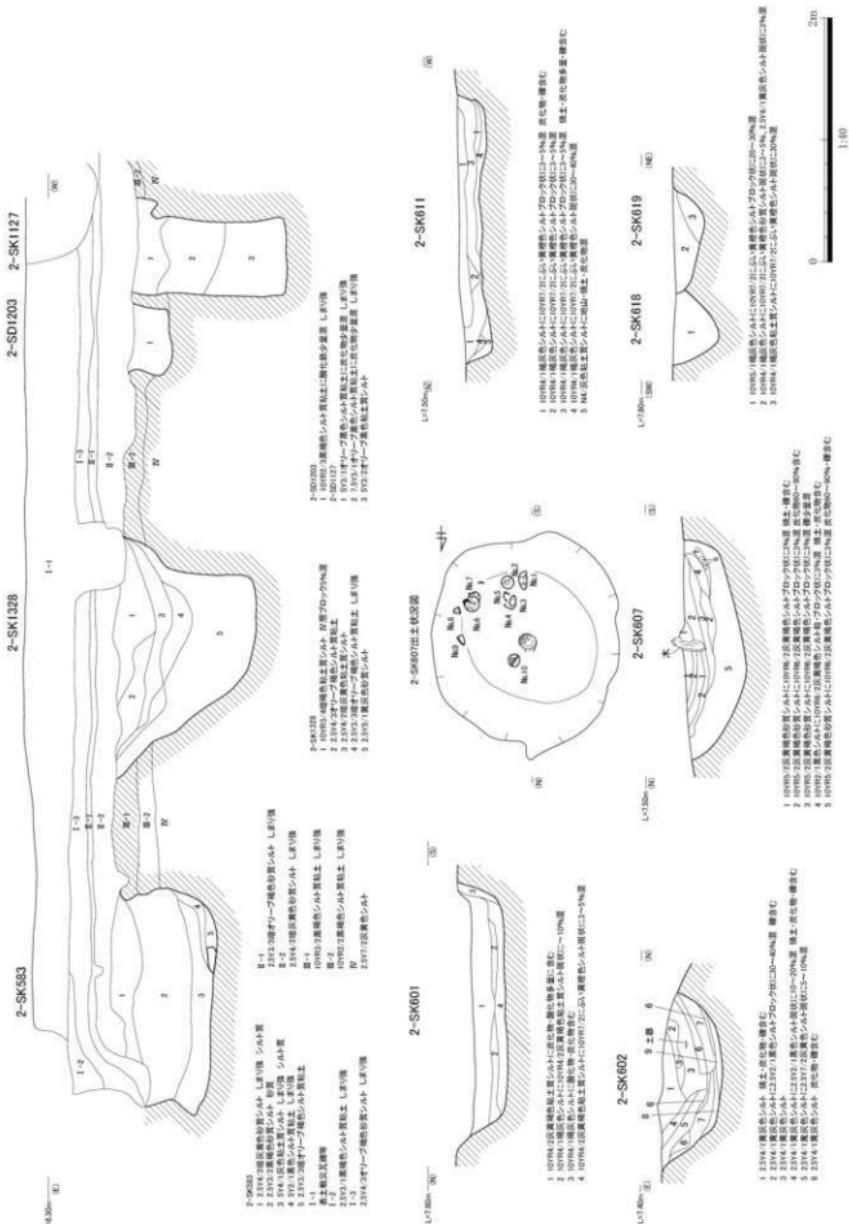
2区調査区中段西、C5に位置する土坑である。長径2.22m、短径1.8m、深さ0.29mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は、褐灰色シルトを基調とする3層からなり、焼土・炭化物の量が大きく異なる。遺物は中近世土師器、砥石、骨片が出土した。2-SD500より新しい。遺構の時期は17世紀前半である。

2-SK618・619（第27図）

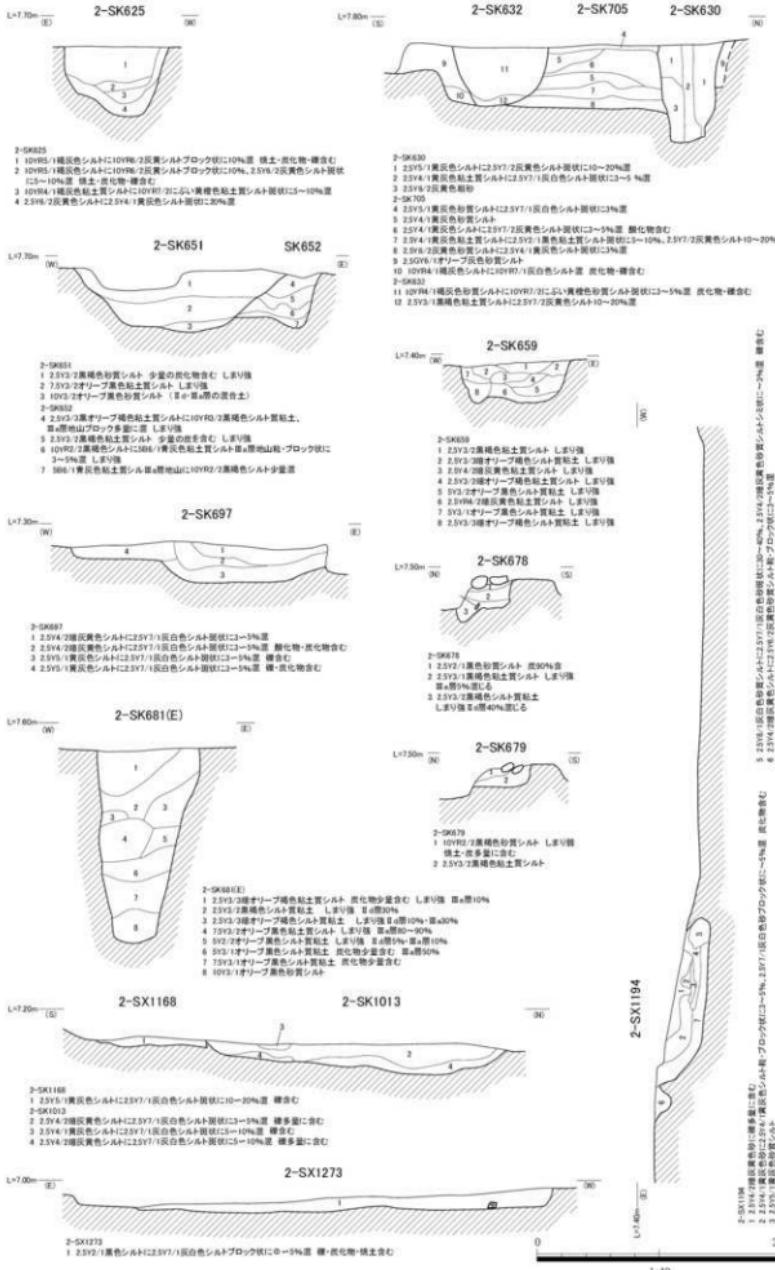
2区調査区中央、D4やや西に位置する土坑である。2-SK618は径0.6m、深さ0.3m、2-SK619は長径0.86m、短径0.6m、深さ0.27mを測る。平面は2-SK618は円形、2-SK619は梢円形を呈する。埋土はいずれも褐灰色シルトを基調とする。2-SK619が新しい。遺物は2-SK619から中近世土師器、肥前系、円錐状の不明金属製品が出土した。

2-SK625（第28図）

2区調査区中央やや南、F3に位置する土坑である。長径1m、短径0.87m、深さ0.57mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は4層からなり、上層埋土は褐灰色シルト質土を基調とし、最下層には灰黄色シルトが堆積する。上層埋土には炭化物、焼土が含まれ、厚く堆積する。遺構の時期は15世紀後半～16世紀初頭である。



第27図 2区遺構図 24 (2-SK583・1328、2-SD1203・2-SD1127、2-SK602、2-SK611、
2-SK618・619断面、2-SK607断面・出土状況図)



第28図 2区構造図 25 (2-SK625, 2-SK630・705・632, 2-SK651・652, 2-SK659, 2-SK678, 2-SK679, 2-SK697, 2-SK681(E), 2-SK1013, 2-SX1273, 2-SX1194 断面図)

2-SK630・632（第28図）

2区調査区中央、E4に位置する土坑である。2-SK630は径0.78m、深さ05mを測る。平面は不整形である。埋土は黄灰色シルトを基調とし、中央には柱痕状に黄灰色粘土質シルトが堆積する。2-SK632は長径0.78m、短径0.6m、深さ0.83mを測り、埋土はほぼ単層で、褐灰色シルトを基調とする。遺物は中世土師器が出土した。16世紀前半の2-SK705より新しいので、遺構の時期は16世紀中頃以降である。

2-SK651・652（第28図）

2区調査区中央や西側南端、E3に位置する土坑である。2-SK652は長軸2.75m、短軸1.49m、深さ0.43mを測る。埋土は灰黄褐色シルトを基調とし、灰白色砂が斑状に、にぶい黄橙色シルトがブロック状に、炭化物が部分的に混じる。遺物は中近世土師器、越中瀬戸などが出土した。遺構の時期は17世紀中頃～後半である。2-SK651は2-SK652より新しく、2-SK583より古い。

2-SK655（第12図）

2区調査区中段東端、H1～3に位置する溝である。検出長23.1m、最大幅1.1m、深さ0.57mを測る。輪方向はN-10°-Eである。北側は調査区外に延びる。埋土は黒褐色粘土質を基調とする。重複する2-SD123、2-SD586より古い。時期は調査区で検出した遺構で最も古いもののひとつであり、14世紀に遡る可能性が高い。

2-SK656（第12図）

2区調査区東端、H2・3に位置する不明遺構である。長軸5.2m、幅2.14m、深さ0.56mを測り、東側は調査区外に拡がる。平面は不整形である。遺物は中国陶磁器、唐津、越中瀬戸が出土した。遺構の時期は17世紀後半である。

2-SK659（第28図）

2区調査区中央、E3に位置する土坑である。長径0.92m、短径0.6、深さ0.33mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は黒褐色・暗オリーブ褐色粘土質シルトを基調とする。遺物は土師器の小片が出土した。

2-SK674・678・679（第28図）

2区調査区西端、E3に位置する一連の同種類の土坑である。2-SK674は長軸0.41m、短軸0.24m、深さ0.38mを、2-SK678は径0.48m、深さ0.36mを、2-SK679は径0.5m、深さ0.2mを測る。2-SK674は西壁で検出したため、平面形は不明であるが、2-SK678・679が円形の為、円形の可能性が高い。埋土はいずれも黒褐色シルト質土を基調とし、焼土・炭化物が多量に含まれる。2-SD700より古い。遺物は2-SK674から土師器が、2-SK678から近世土師器、越中瀬戸、肥前が、2-SK679から中世土師器、中国青磁が出土した。時期の異なる遺物は混入であり、いずれの遺構の時期も15世紀の可能性が高い。

2-SK681(E)（第28図）

2区調査区中段西、C5に位置する土坑である。長径0.98m、短径0.5m、深さ0.79mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は暗オリーブ褐色・オリーブ黒色粘土質土を基調とする。遺物は中近世土師器が出土した。遺構の時期は17世紀である。

2-SK697（第28図）

2区調査区中央北側、F6に位置する土坑である。長軸3.49m、短軸2.1m、深さ0.34mを測る。平

面は隅丸方形である可能性が高く、2-SE939南半の上部構造である可能性がある。遺物は越前、唐津、近世陶器が出土した。遺構の時期は17世紀後半である。

2-SK705（第4・5・28・29図）

2区調査区中央、E4に位置する大型土坑である。平面は隅丸方形で、短軸3.05m、長軸4.5m以上、深さ0.58mを測る。埋土は主に4層からなり、下層から、斑状に地山が混じる黄灰色粘土質シルト、焼土と炭化物が混じる黄灰色粘土質シルト、地山が斑状に混じる灰黃褐色粘土質シルト、炭化物の混じる黄灰色粘土質シルト、となる。2-SD205、206より新しく、2-SK630、632より古い。かわらけ廃棄土坑で、多量の中世土師器のほか、瀬戸戸美濃、フック状の不明金属製品、焼石等が出土した。中世土師器の時期はほぼ全て16世紀初頭～前半である。遺構の時期は16世紀初頭～前半である。

2-SK710（第29図）

2区調査区中段西、D4に位置する土坑である。長軸1.36m、短軸0.60m、深さ0.34mを測る。平面は隅丸方形を呈する。埋土は暗灰黄色シルトの単層である。遺物は多量の中世土師器がまとまって出土したことから、かわらけ廃棄土坑と考えられる。遺構の時期は16世紀前半である。

2-SK731（第30図）

2区調査区北西、B6に位置する土坑である。長径1.57m、短径0.57m、深さ0.43mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は上層が黒褐色シルト、下層が黄灰色砂質シルトを基調とする。遺物は中世土師器が出土した。

2-SK733（第30図）

2区調査区北西、B6に位置する土坑である。長軸1.15m、短軸0.84m、深さ0.49mを測る。平面は隅丸方形を呈する。埋土は褐灰色砂質シルトを基調とする。

2-SK763（第29図）

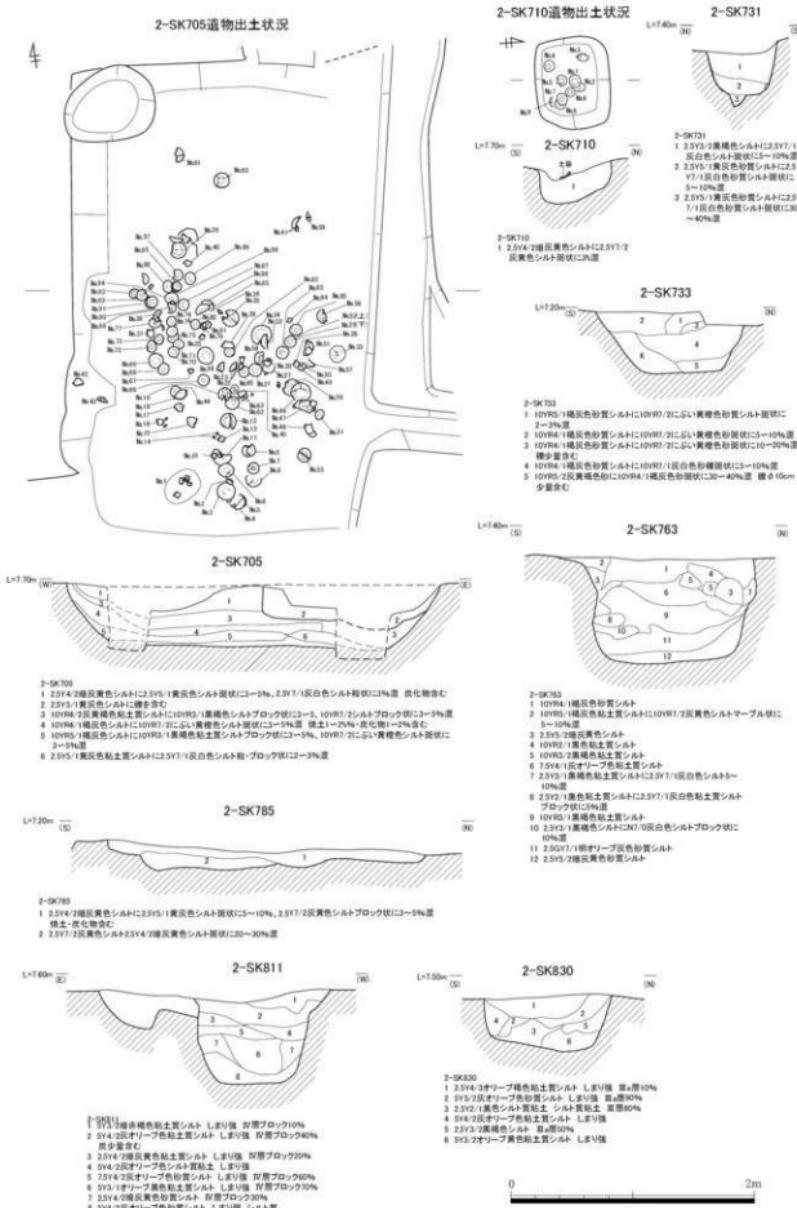
2区調査区北西、C7に位置する土坑である。長径1.88m、短径1.6m、深さ0.86mを測る。平面は円形を呈する。埋土は下層がレンズ状に堆積する自然堆積土、上層はブロック状に堆積する人為的な埋め戻し土である。埋土は最下層から暗灰黄色砂質シルト、灰色砂質シルトが堆積し、上層は黒褐色粘土質シルト、灰色シルト、灰黄色シルト、黄灰色シルト、にぶい黄褐色粘土質シルトなどを基調とする埋土が不規則にブロック状に堆積する。遺物は須恵器、中近世土師器、越中瀬戸が出土した。遺構の時期は17世紀である。

2-SK785（第29図）

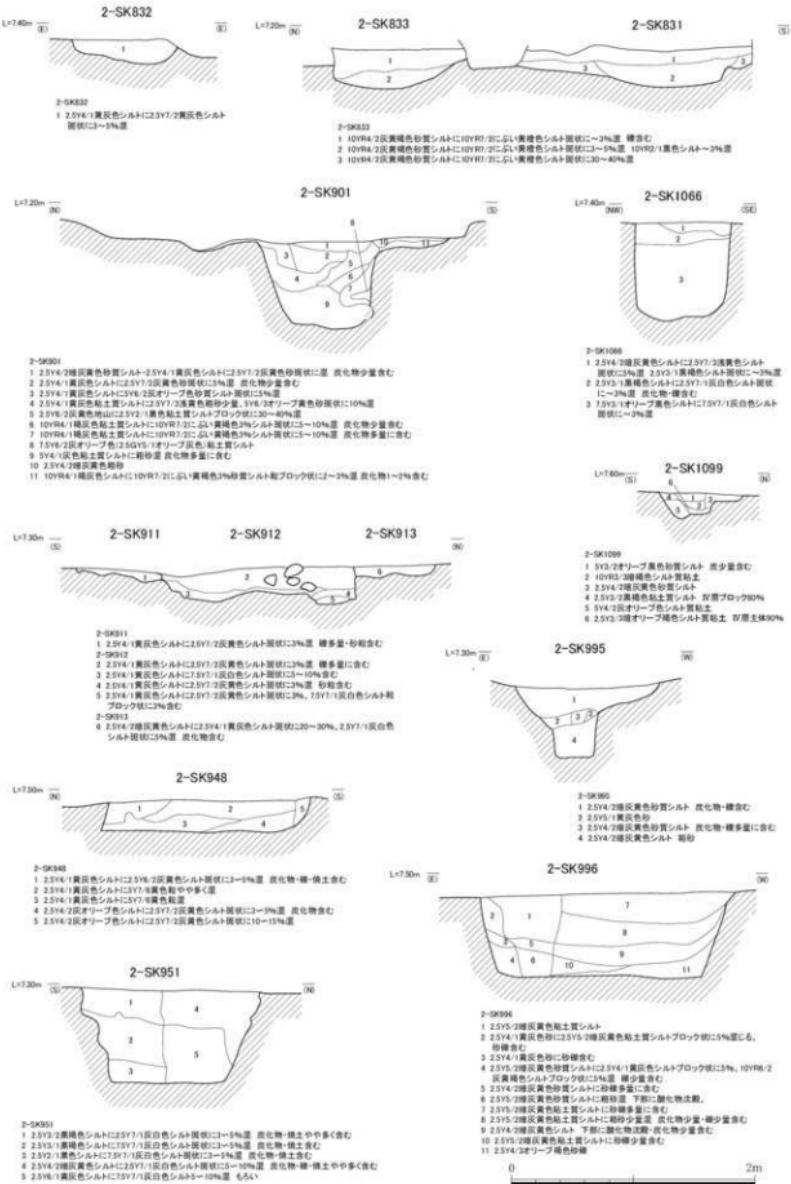
2区調査区中央北、E6に位置する土坑である。長径2.75m、短径2.0m、深さ0.21mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は暗灰黄色シルトを基調とする。遺物は珠洲、越前が出土した。、遺構の時期は15世紀末である。

2-SK811（第30図）

2区調査区中央、D4に位置する土坑である。長径1.91m、短径1.01m、深さ0.57mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は灰オリーブ色シルト質土を基調とする。遺物は出土していない。遺構の時期は16世紀前半である。



140



第30図 2区構造図27 (2-SK832、2-SK831・833、2-SK901、2-SK911～913、2-SK948、2-SK951、
2-SK995、2-SK996、2-SK1066、2-SK1099 断面図)

2-SK830・782（第30図）

2区調査区南東端、H2に位置する土坑である。長径1.05m、短径0.67m、深さ0.46mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は人為堆積土で、黄灰色シルト、灰黄色シルト、黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルトを各々基調とし、異なる層の基調埋土がモザイク状またはブロック状に混じる。下層は南東方向から斜めに堆積する。完掘の結果、平面形が瓢箪型であり、2つの遺構と考えられ、より古い遺構を2-SK782とした。埋土の堆積状況から、開削時期と埋め戻された時期はほぼ同一と考えられる。遺物は中世土師器と越前が出土した。遺構の時期は16世紀である。

2-SK831・833（第30図）

2区調査区南東、H1に位置する土坑である。2-SK831は径1.3m、深さ0.3mを測る。平面は円形である。2-SK833は長軸4.27m以上、短軸1.1m、深さ0.33mを測る。平面は隅丸方形である。埋土はいずれも灰黃褐色砂質シルトを基調とする。遺物は2-SK833から越前が出土した。遺構の時期は16世紀である。

2-SK832（第30図）

2区調査区南東、H1に位置する土坑である。長軸0.92m、短軸0.87m、深さ0.2mを測る。埋土は黄灰色シルトを基調とする単層である。平面は不整形である。遺物は越前が出土した。遺構の時期は16世紀である。

2-SK901（第30図）

2区調査区中央北側、D6に位置する土坑である。長径1.60m、短径1.04m、深さ0.71mを測る。平面は梢円形を呈する。埋土は、主に2層に分かれ、上部は暗灰黄色・黄灰色シルト質土が多数の層に分かれれる一方、下部には多量の炭化物を含む灰色粘土質シルトが堆積する。2-SD776より新しい。遺物は瀬戸美濃が出土した。遺構の時期は16世紀である。

2-SK911～913（第30図）

2区調査区北西、C6・7に位置する土坑である。2-SK912は、長軸1.52m、短軸1.33m、深さ0.32mを測る。平面は隅丸方形を呈する。2-SK912の主な埋土は疊が多量に混じる黄灰色シルトである。遺物は瀬戸美濃、越中瀬戸（2-SK913出土）、肥前が出土した。遺構の時期は17世紀である。

2-SK948（第30図）

2区調査区北東、G7に位置する土坑である。長軸1.54m、短軸1.26m、深さ0.26mを測る。平面は不整形である。埋土は上層が黄灰色シルト、下層が灰オリーブ色シルトを基調とする。遺構の時期は18世紀である。

2-SK951（第31図）

2区調査区北東、H7に位置する土坑である。長径1.48m、短径1.20m、深さ0.75mを測る。平面は円形を呈する。埋土は南が黒褐色シルト、北が暗灰黄色・黄灰色シルトを基調とし、炭化物・焼土を多く含む。遺物は越中瀬戸が出土した。2-SK996、2-SE1175より新しい。

2-SK995（第30図）

2区調査区北東、I6に位置する土坑である。径1.18m、深さ0.62mを測る。平面は円形を呈する。埋土は最下層が暗灰黄色砂質シルト、中層の炭化物層を挟み、上層は砂疊・炭化物の混じる暗灰黄色砂質シルトが堆積する。遺物は中近世土師器、越中瀬戸、唐津が出土した。遺構の時期は17世紀

後半である。

2-SK996（第31図）

2区調査区北東、H7に位置する土坑である。径2.1m、深さ0.8mを測る。平面は円形を呈する。埋土は多量の砂礫の混じる暗灰黄色シルト質土である。遺物は越中瀬戸、近世陶器が出土した。2-SK951より古く、2-SE1175より新しい。遺構の時期は18世紀前半である。

2-SK1000（第32図）

2区調査区北東、H6・7に位置する大型の土坑である。長軸10.75m、短軸2.28m、深さ1.7mを測る。平面は隅丸方形の可能性が高く、東側が調査区外へ拡がる。埋土は暗灰黄色・灰色砂質シルトを基調とし、レンズ状に堆積する。焼土・炭化物が多量に含まれる層が多くみられる。遺物は瀬戸美濃、越前のほか、多量の越中瀬戸素焼皿や伊万里、近世陶器等が出土した。遺構の時期は18世紀前半である。

2-SK1004（第31図）

2区調査区中央やや南東、G3に位置する土坑である。長軸1.43m、短軸0.75m、深さ0.25mを測る。平面は不整形である。埋土は黄灰色シルトを基調とする。遺物は中世土師器が出土した。

2-SK1053・1054（第31図）

2区調査区中央南、F2に位置する土坑である。2-SK1053は、長軸・短軸ともに約1mで、深さは0.56mを測る。埋土は黒褐色・黒色粘土質シルトを基調とする。2-SK1054は長軸0.77m、深さ0.53mを測る。埋土は暗オリーブ褐色・黒褐色粘土質シルトを基調とする。2-SK1053が新しい。遺物は2-SK1054から中世土師器が出土した。

2-SK1056・1057（第31図）

2区調査区中やや南、F2・3に位置する土坑である。2-SK1056は長径0.75m、短径0.53m、深さ0.4mを測る。平面は梢円形である。2-SK1057は長径0.6m、短径0.54m、深さ0.5mを測る。平面は梢円形である。埋土はともにオリーブ黒色粘土質土を基調とする。遺物は2-SK1056から近世陶器が出土した。

2-SK1066（第30図）

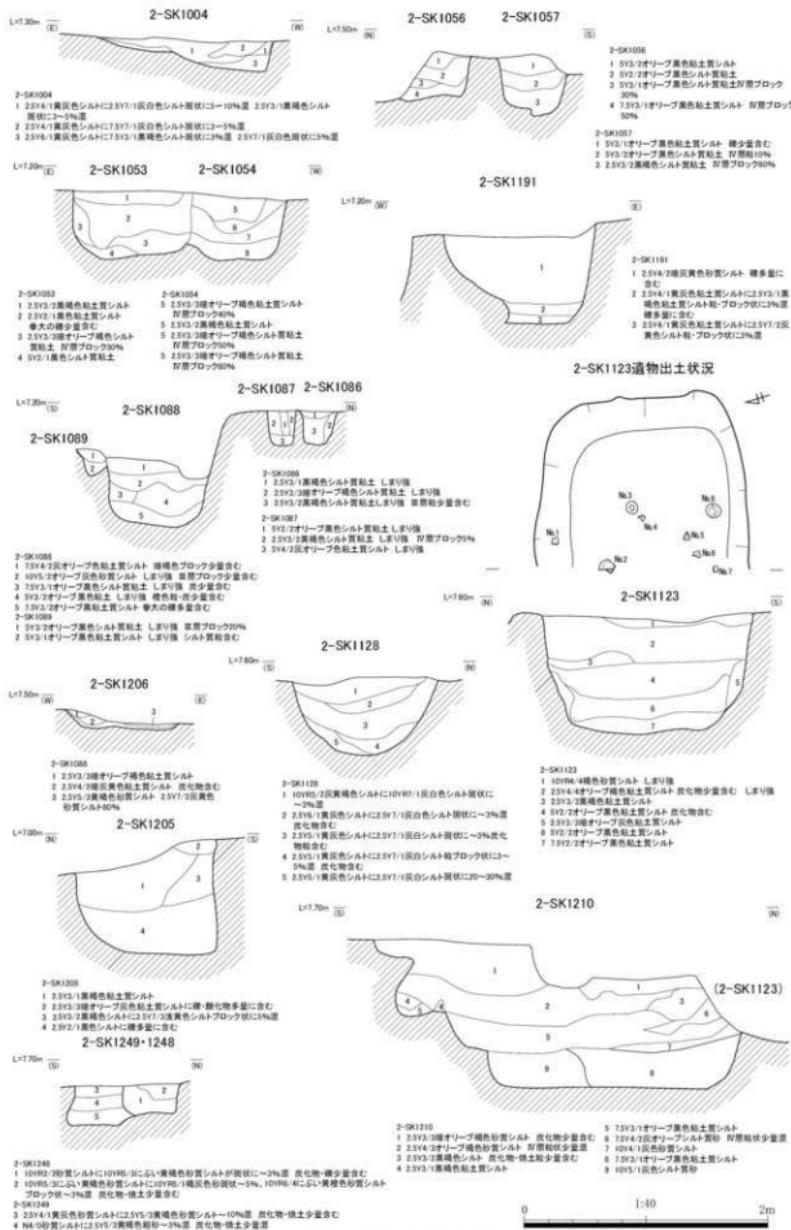
2区調査区中央南側、F2に位置する土坑である。長径0.78m、短径0.63m、深さ0.8mを測る。平面は梢円形である。埋土は上部を除き単層で、オリーブ黒色シルトを基調とする。遺物は中世土師器、中国染付が出土した。

2-SK1086（第31図）

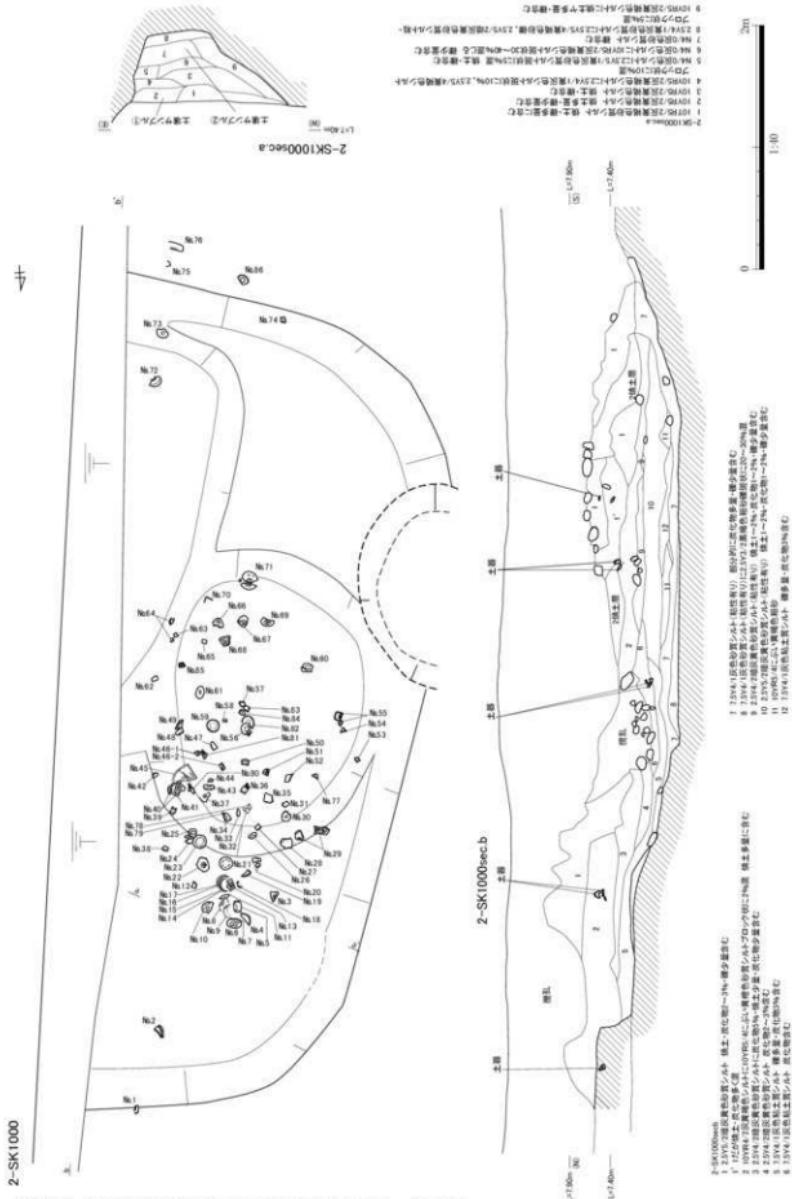
2区調査区中央やや南、F2・3に位置する土坑である。長径0.32m、短径0.3m、深さ0.28mを測る。平面は円形である。埋土は黒褐色シルト質粘土を基調とする。遺物は中世土師器が出土した。

2-SK1099（第30図）

2区調査区中央やや南西、D3に位置する土坑である。長軸0.70m、短軸0.63m、深さ0.21mを測る。平面は隅丸方形である。埋土は黒褐色粘土質シルト等が外側に、オリーブ黒色砂質シルトなどが中央に堆積する。



第31図 2区遺構図28 (2-SK1004、1053・1054、1056・1057、1086～1089、1128、1191、1205、1206、1210、1248・1249断面図、2-SK1123遺物出土状況・断面図)



第32図 2区遺構図29 (2-SK1000 遺物出土状況・断面図)

2-SK1123（第31図）

2区調査区中段西、CD4に位置する大型土坑である。長軸3.75m、短軸1.78m、深さ0.96mを測る。平面は隅丸方形を呈する。埋土はほぼ水平堆積で、下層はオリーブ黒色粘土質シルト、上層はオリーブ褐色粘土質シルトを基調とする。遺物は中世土師器、瀬戸美濃、織維状遺物、骨などが出土した。重複関係にある2-SD500および2-SK565より古い。遺構の時期は15世紀後半～末である。2-SK565は大型の土坑で幅2.15m、長軸2.53m、深さ0.47mを測る。平面形は梢円形を呈する。埋土は灰黄褐色シルトで、埋土外側に人頭大の石が、内側には拳大の礫が多量に含まれる。石組井戸の可能性が考えられたが、湧水層に達しておらず、近代以降の廃棄土坑の可能性がある。遺物は越中瀬戸・肥前系陶器、越中丸山などが出土した。

2-SK1128（第31図）

2区調査区中段やや西、D3に位置する土坑である。長軸1.2m、短軸1.1m、深さ0.65mを測る。平面は隅丸方形である。埋土は黄灰色シルトを基調とし、レンズ状に堆積する。遺物は中世土師器が出土した。

2-SK1191（第31図）

2区調査区中央北側、EF7に位置する土坑である。北側整地層下に位置する。径1.64m、深さ0.9mを測る。平面は円形である。埋土はほぼ単層で、礫が多量に含まれた暗灰黄色砂質シルトである。遺物は珠洲が出土した。

2-SK1205（第31図）

2区調査区中段東、H4に位置する土坑である。径1.3m、深さ0.93mを測る。埋土は最下層に円礫が多量に充填される。埋土は下層が褐灰色粘土質シルト、上層が灰黄褐色粘土質シルトを基調とする人為的な埋め戻し土である。2-SD470、SD471の東側延長と考えられる遺構SD1033の南肩部分に位置する。2-SD471より古いため、遺構の時期は15世紀以前の可能性が高い。

2-SK1206（第31図）

2区調査区中段やや西、D3・4に位置する土坑である。長軸1.8m、短軸0.92m、深さ0.14mを測る。平面は隅丸方形である。埋土は暗灰黄褐色粘土質シルトを基調とする。遺物は瀬戸美濃が出土した。

2-SK1210（第31図）

2区調査区中段西、C4に位置する大型土坑である。長径1.78m、短径1.30m、深さ1.22mを測る。平面は梢円形と推定できるが、西側を2-SD500に削平される。下層から青灰色粘土質シルト、灰色シルト、灰褐色シルトを基調とする埋土がほぼ水平に自然堆積する。遺物は中世土師器が出土した。白1210の時期は16世紀末である。遺構の時期は16世紀末である。2-SD500より古い。

2-凹地（整地層＊北側：SX1168／南側：SX1194・1273）（第28図）

2区調査区北側EF6、E-G7の広範囲に拡がる江戸時代の整地層である。4区北側でも痕跡が認められる。平面は不整形である。南北に大きく分けられ、調査時、北側の一段深い範囲を2-SX1168、南側の深い範囲を2-SX1194、1273とした。いずれの整地層の下からも、17世紀初頭以前の遺構を検出した。埋土にはぶい黄橙色砂質シルトに粗砂礫が多量に混じる。遺物は中近世土師器、瀬戸美濃、唐津、伊万里、肥前系、越中瀬戸、近世陶器が出土した。遺物の時期は18世紀前半を主体とする。出土遺物から、整地が行われた時期は18世紀前半と考えられる。

4. 挖立柱建物・柱列（柵列）

A. 挖立柱建物

掘立柱建物は2区南東を中心に16棟検出した。より新しい時期の遺構や、後世の開発により柱穴が削平されたと考えられる場所が多くあり、区画溝・井戸などの存在から、調査区北側にも住居群が拡がっていた可能性が高い。以下では、建物を多く検出した調査区南側の主要な建物を中心に記載し、記載しきれないものについては遺構一覧にまとめた。

2-SB1354（第33・34図）

2区調査区北西、グリッドCD6・7で検出した側柱建物である。桁行3間で約5.1m、梁行2間で約3.6mを測り、2-SP436・483（774）・484・738・739・771等からなる。検出面のレベルは標高7.8～7.9m、残りの良い柱穴は平面径約0.53mの円形で、深さ0.29mを測る。底面に柱痕状の窪みが残るが、遺構の深さが浅く、上部構造が削平された可能性が高い。主軸方位はN-12°-Eである。桁行の柱間は1間1.7m、梁行の柱間は1間1.8mを測る。2-SB1354に伴う遺物は、2-SP483から中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀である。

2-SB1358（第33図）

2区調査区西、グリッドD4・5で検出した総柱建物である。北・西侧は2-SD472・SD500に重複していたため、削平された可能性が高い。桁行推定3間で約7.9m、梁行推定2間で約5.2mを測り、2-SP289・540・552・559・628等からなる。検出面のレベルは標高7.3m、残りの良い柱穴は平面径約0.82mの円形で、深さ0.42mを測る。主軸方位はN-21°-Eである。桁行の柱間は1間2.7m、梁行の柱間は推定で1間2.6mを測る。遺物は2-SP621から中・近世土師器が出土した。2-SP289・290の重複関係から、2-SB1359より新しい。遺構の時期は17世紀である。

2-SB1359（第33図）

2区調査区西、グリッドD4・5で検出した総柱建物である。北・西侧の柱穴は2-SD472・SD500に重複していたため、削平されたか、未検出である。桁行3間で約7.0m、梁行は推定2間で約5.4mを測り、2-SP290・523・526・540・551・559・621・628等からなる。検出面のレベルは標高7.3m、残りの良い柱穴は平面径約0.77mの円形で、深さ0.74mを測る。主軸方位はN-6°-Eである。桁行の柱間は1間2.2～2.6m、梁行の柱間は推定で1間2.7mを測る。遺物は2-SP552から志野（？）が出土した。2-SP289・290の重複関係から、2-SB1358より古い。遺構の時期は17世紀初の可能性がある。

2-SB1360（第33・35図）

2区調査区中央やや西、グリッドEF3で検出した側柱建物である。桁行3間で約6.6m、梁行2間で約4.0mを測り、2-SP1090・1290・301・318・200・210・133（1055）等からなる。検出面のレベルは標高7.5m、残りの良い柱穴は平面径約0.77mの円形で、深さ0.65mを測る。2-SP346には柱根が残る。主軸方位はN-11°-Eである。桁行の柱間は1間2.4m、梁行の柱間は推定で1間2.2mを測る。遺物は2-SP200から中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

2-SB1361（第33・35・36図）

2区調査区中央やや南、グリッドFG2・3で検出した側柱建物である。桁行3間で約6.3m、梁行2間で約4.0mを測り、2-SP211・306・335・837・859・1052・1061・1065等からなる。検出面のレベルは標高7.2～7.4m、残りの良い柱穴は平面径約0.5mの円形で、深さ0.63mを測る。主軸方位はN-11°-Eである。桁行の柱間は1間2.2～2.3m、梁行の柱間は推定で1間1.8mを測る。遺物は出土していない。

2-SB1362（第33・37図）

2区調査区中央やや南、グリッドF2・3で検出した側柱建物である。桁行3間で約6.3m、梁行2間で約3.9mを測り、2-SP1056・1302・1067・1060・1051等からなる。検出面のレベルは標高7.3m、残りの良い柱穴は平面径約0.76mの円形で、深さ0.28mを測る。主軸方位はN-31°-Eである。桁行の柱間は1間2.1～2.2m、梁行の柱間は推定で1間2.0mを測る。遺物は2-SP1066から瀬戸美濃天目茶碗が出土した。遺構の時期は16世紀である。

2-SB1363（第33・38図）

2区調査区中央やや南、グリッドFG2・3で検出した側柱建物である。桁行3間で約7.2m、梁行2間で約4.3mを測り、SP852・315・847・208・824・1284・1044・861・129等からなる。検出面のレベルは標高7.2～7.4m、残りの良い柱穴は平面径約0.52mの円形で、深さ0.32mを測る。主軸方位はN-75°-Eである。桁行の柱間は1間2.0～2.5m、梁行の柱間は推定で1間2.2mを測る。遺物は2-SP315から中世土器が出土した。遺構の時期は16世紀前半である。

2-SB1364（第33・35・36図）

2区調査区中央やや南、グリッドF2・3で検出した側柱建物である。桁行3間で約6.8m、梁行2間で約3.9mを測り、SP335・211・1061・859・1034・837・1052・1065等からなる。検出面のレベルは標高約7.4m、残りの良い柱穴は平面径約0.44mの円形で、深さ0.64mを測る。2-SP1061には柱根が残る。主軸方位はN-10°-Eである。桁行の柱間は1間2.2m、梁行の柱間は推定で1間2.1mを測る。遺物はSP1052から輪状金属製品が出土した。

2-SB1365（第33・39図）

2区調査区南東、グリッドGH3・4で検出した側柱建物である。桁行4間で約9.5m、梁行2間で約7.8mを測り、2-SP1018・181・677・178・145・1007等からなる。検出面のレベルは標高7.5～7.7m、残りの良い柱穴は平面径約0.6mの円形で、深さ0.44mを測る。主軸方位はN-15°-Eである。桁行の柱間は1間1.8～3.2m、梁行の柱間は推定で1間3.7～4.0mを測る。擾乱による遺構の削平が激しいことから、梁行方向の柱穴は削平された可能性がある。遺物は出土していない。

2-SB1366（第33・40図）

2区調査区南東、グリッドGH3・4で検出した側柱建物である。桁行3間で約8.6m、梁行2間で約6.6mを測り、2-SP879・159・160・866・868・870・1318・164等からなる。検出面のレベルは標高7.6～7.7m、残りの良い柱穴は平面径約0.4mの円形で、深さ0.28mを測る。主軸方位はN-10°-Eである。桁行の柱間は1間2.6～3.1m、梁行の柱間は推定で1間1.8～2.5mを測る。遺物は出土していない。

2-SB1367（第33・41・43図）

2区調査区南東、グリッドGH2で検出した側柱建物である。桁行5間で約9.2m、梁行2間で約5.2mを測り、SP843・334・124・829・839・662・830・1234・818・848・820・189等からなる。検出面のレベルは標高7.5～7.6m、残りの良い柱穴は平面径約0.84×0.66mの隅丸方形で、深さ0.4mを測る。2-SP334には柱根が残る。主軸方位はN-8°-Eである。桁行の柱間は1間約1.8m、梁行の柱間は推定で1間2.3～2.4mを測る。遺物は2-SP830から越前が出土した。遺構の時期は16世紀末前後である。

2-SB1368（第33・42・43図）

2区調査区南東、グリッドGH1・2で検出した側柱建物である。桁行3間で約9.4m、梁行2間で約

4.0mを測り、SP346・350・931・989・1200・1263・1291等からなる。検出面のレベルは標高7.4m、残りの良い柱穴は平面径約0.9mの円形で、深さ0.6mを測る。2-SP346には柱根が残る。主軸方位はN-22°-Wである。桁行の柱間は1間2.0～2.3m、梁行の柱間は1間2.0mを測る。遺物は2-SP346から中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀である。

B. 柱列・柵列

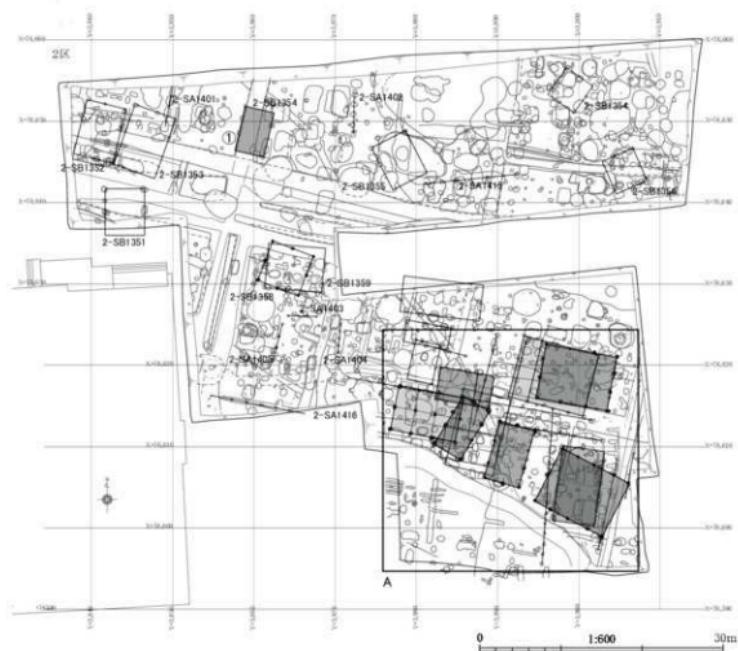
2区全域で合計14本検出した。近代以降の削平が広範囲に広がることから、個々の柱穴が不明瞭なものでも柱間に規則性があるものを抽出し、建物とならないものを一括してSA（柱列・柵列）とした。紙面の都合上、以下では特筆すべきもののみ個別で述べる。

2-SA1401（第33図）

調査区北西、グリッドBC7に位置する柱穴群で、北側調査区外に延びる。古代の建物柱穴の可能性が高いものだが、平行する溝は存在しなかった。2-SP764・770・778・781・1181からなり、長さ6.4mを測る。残りの良い柱穴で、平面は隅丸方形で、平面約1.15×0.77m、深さ0.54mを測る。主軸方位はN-11°-Eである。

2-SA1410（第33・45図）

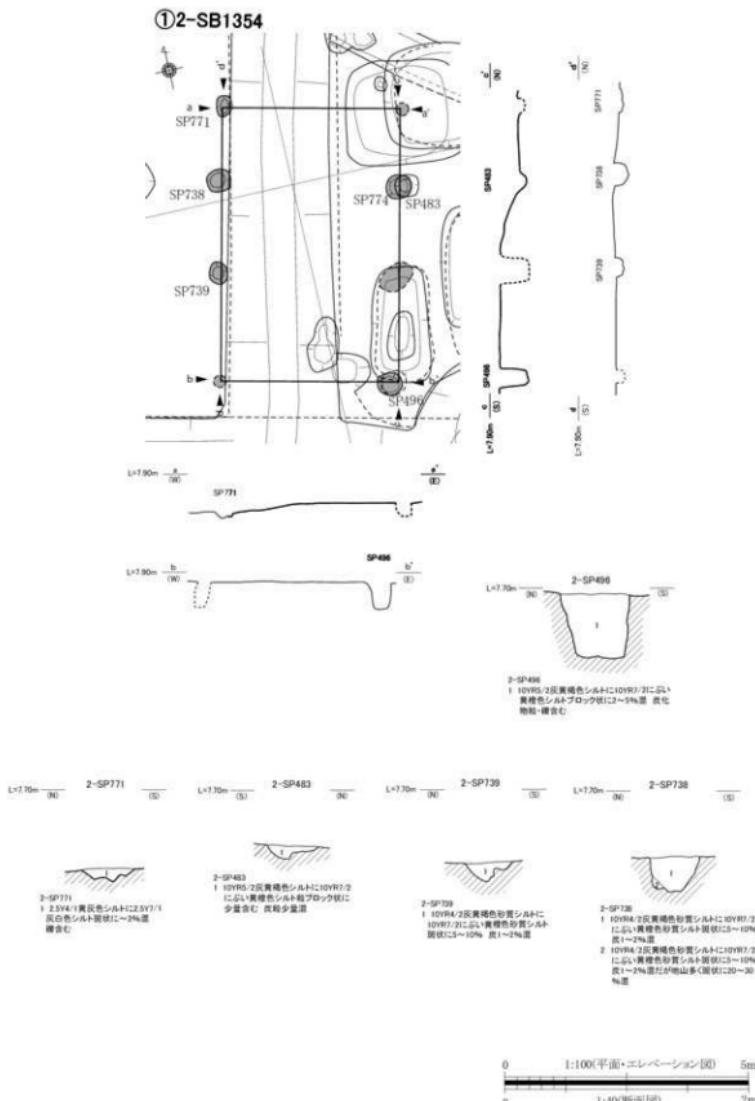
調査区南東、グリッドG1・2に位置する柱穴群で、南側調査区外に延びる。馬屋と考えられる2-SX125に伴う可能性が高いものである。2-SP101～103、106、257・258、264、284・285からなり、長さは約10.5mを測る残りの良い柱穴で、平面径約0.27m、深さ0.23mを測る。主軸方位はN-4°-Eである。2-SP258から越中瀬戸、京・信楽系が出土した。



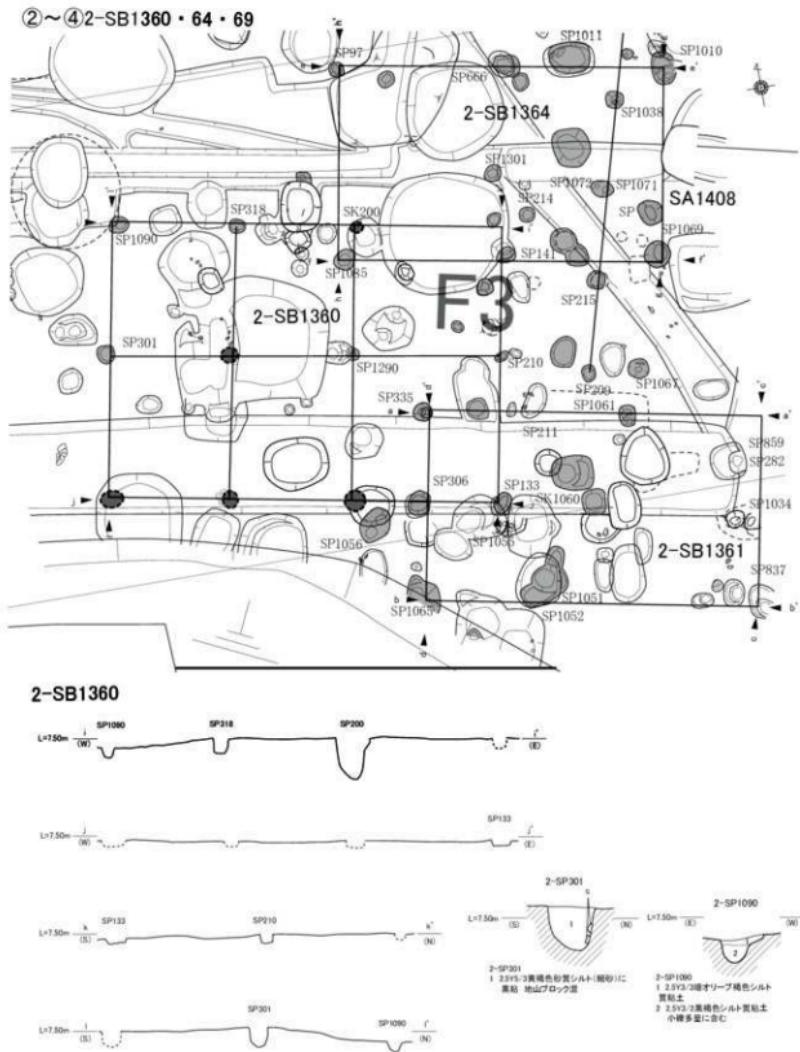
A ブロック拡大図 (S=1:250)

第33図 2区検出掘立柱建物・柱列分布図

個別掲載した掘立柱建物群

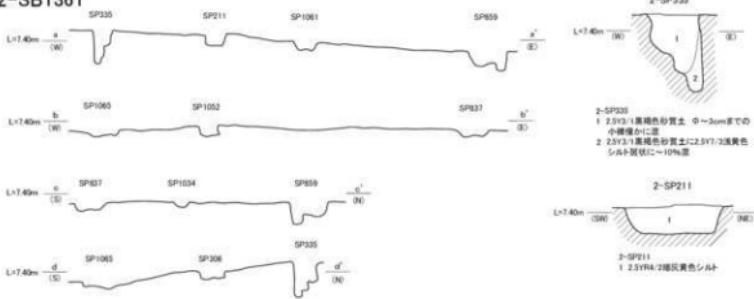


第34図 2区掘立柱立物・柱列平面・断面・エレベーション図 (①2-SB1354)

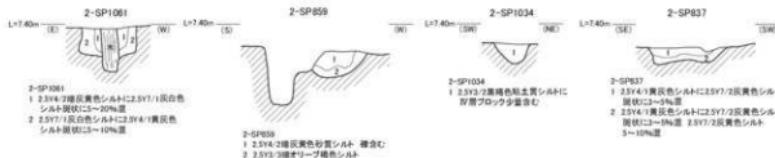


第35図 2区掘立柱建物・柱列 平面・断面・エレベーション図 (②～④2-SB1360・64・69)

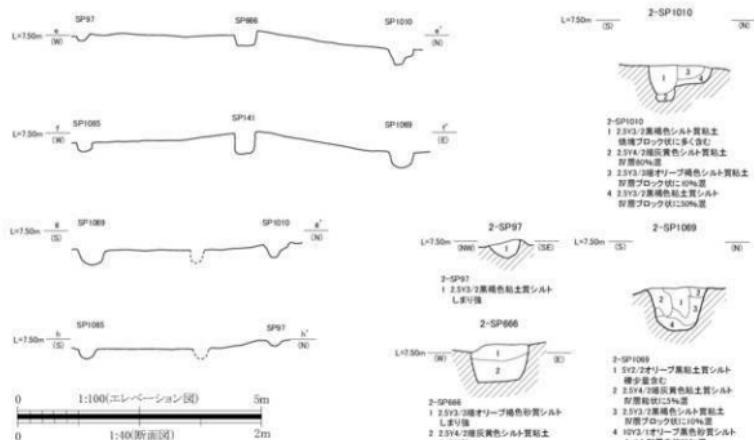
2-SB1361



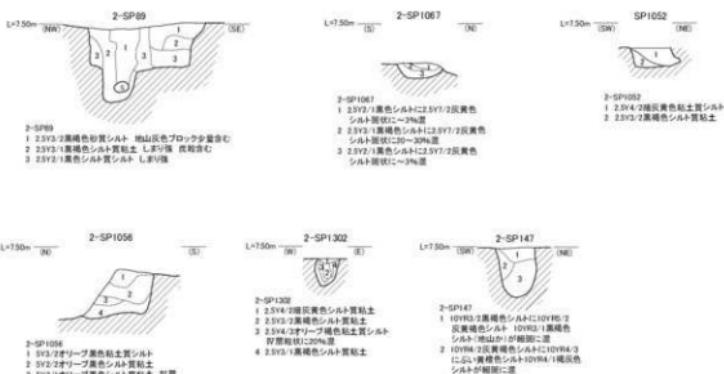
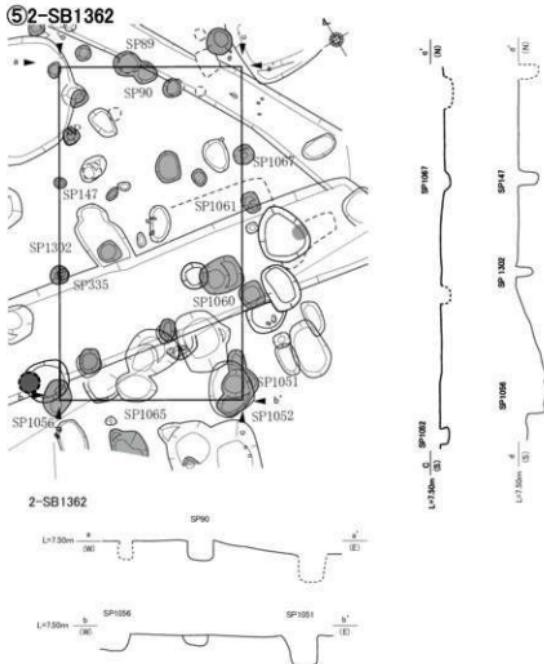
2-SP1061



2-SB1364

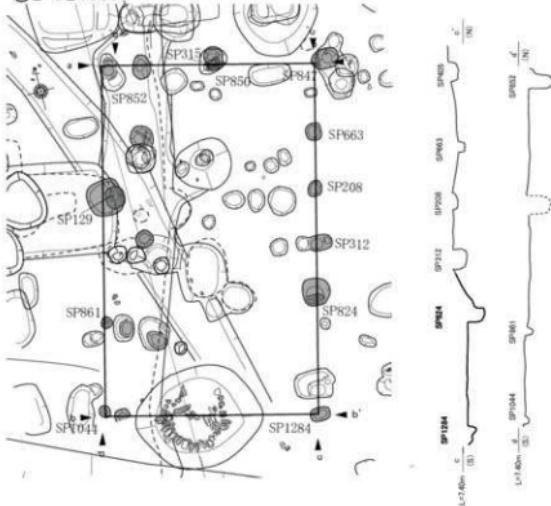


第36図 2区掘立柱建物 エレベーション・断面図 (2-SB1361・1364)

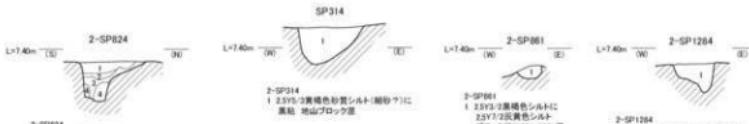
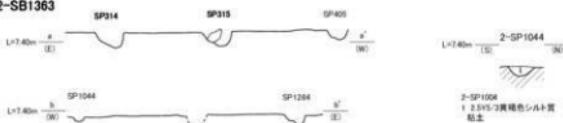


第37図 2区掘立柱建物・柱列 平面・断面・エレベーション図 (⑤2-SB1362)

⑥2-SB1363



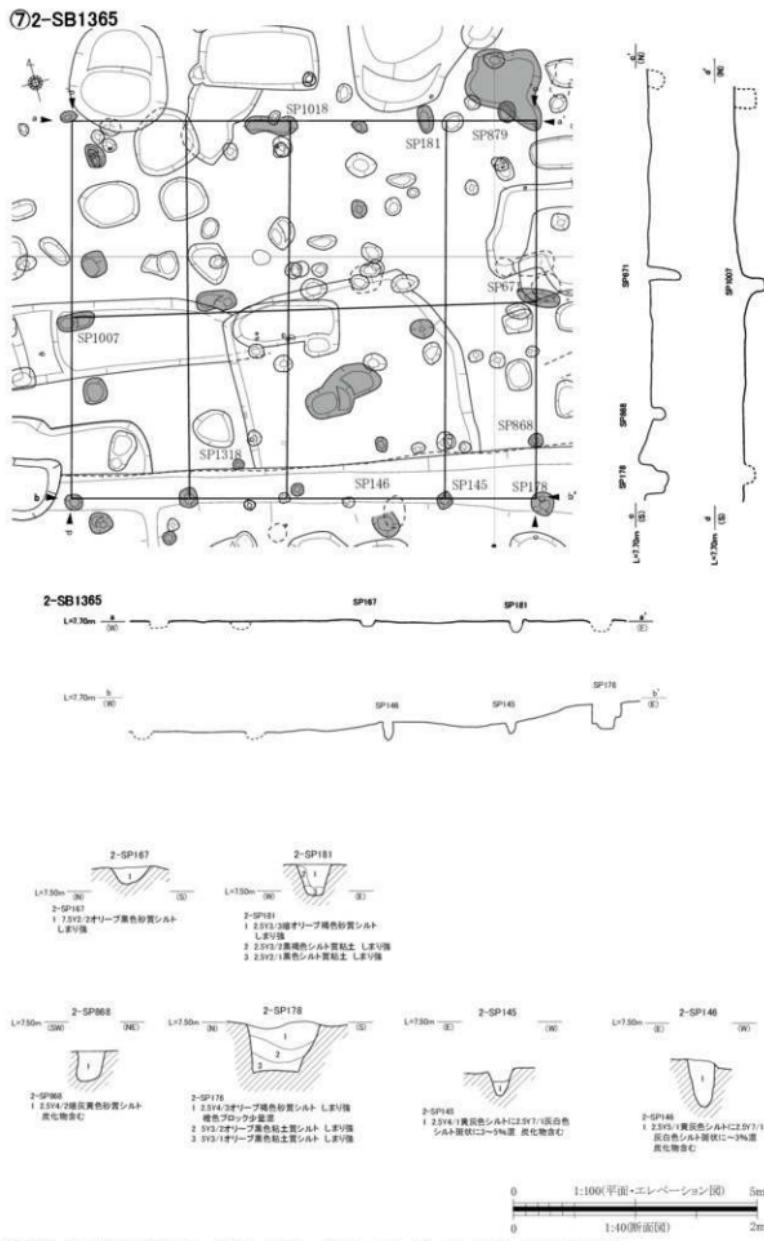
2-SB1363



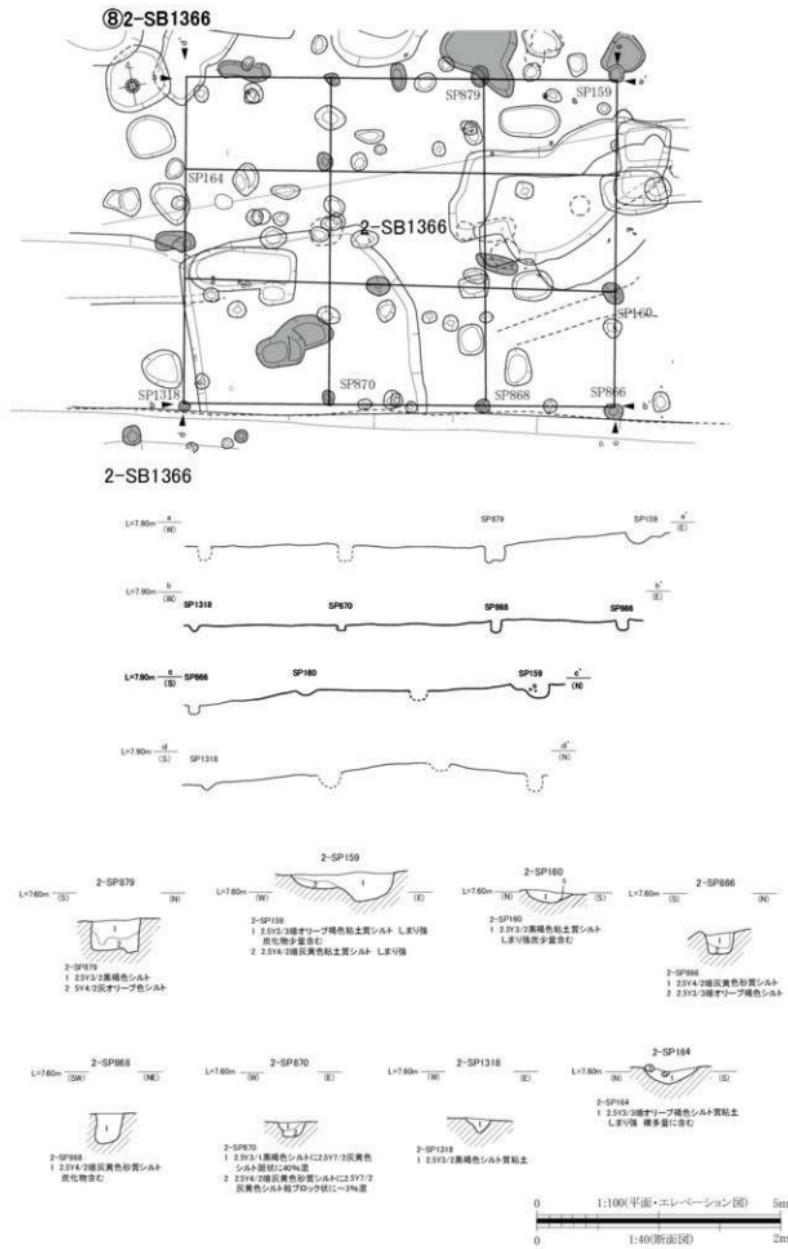
- 2-SP824
1 IOYR4(褐色色シルト)にIOYR2/2
にぶい黄褐色シルト質粘土(20%混
入)～30%混入
2 IOYR4(褐色色シルト)にIOYR7/2
にぶい黄褐色シルト質粘土(3~5%混
入)IOYR1(褐褐色色シルト)ブロック
3 IOYR1(褐褐色色シルト)にIOYR7/2
にぶい黄褐色シルト質粘土(3%混
入)IOYR1(褐褐色色シルト)ブロック
4 IOYR1(褐褐色色シルト)にIOYR7/2
にぶい黄褐色色シルト質粘土(3~40%混

0 1:100(平面・エレベーション図) 5m
0 1:40(断面図) 2m

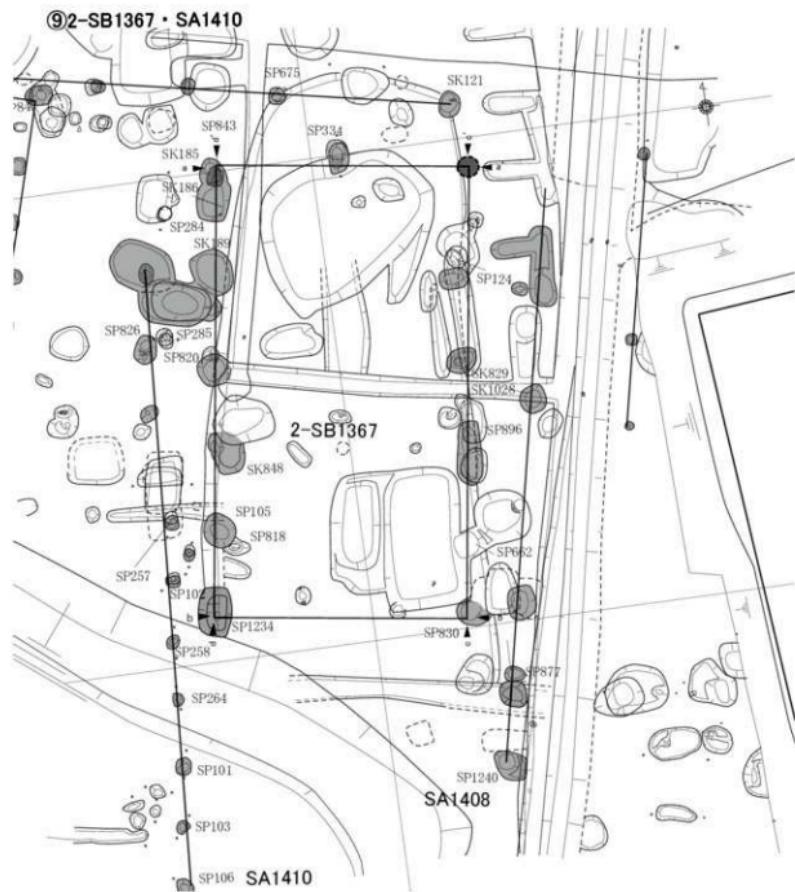
第38図 2区掘立柱建物・柱列 平面・断面・エレベーション図 (⑥2-SB1363)



第39図 2区掘立柱建物・柱列 平面・断面・エレベーション図 (⑦2-SB1365)



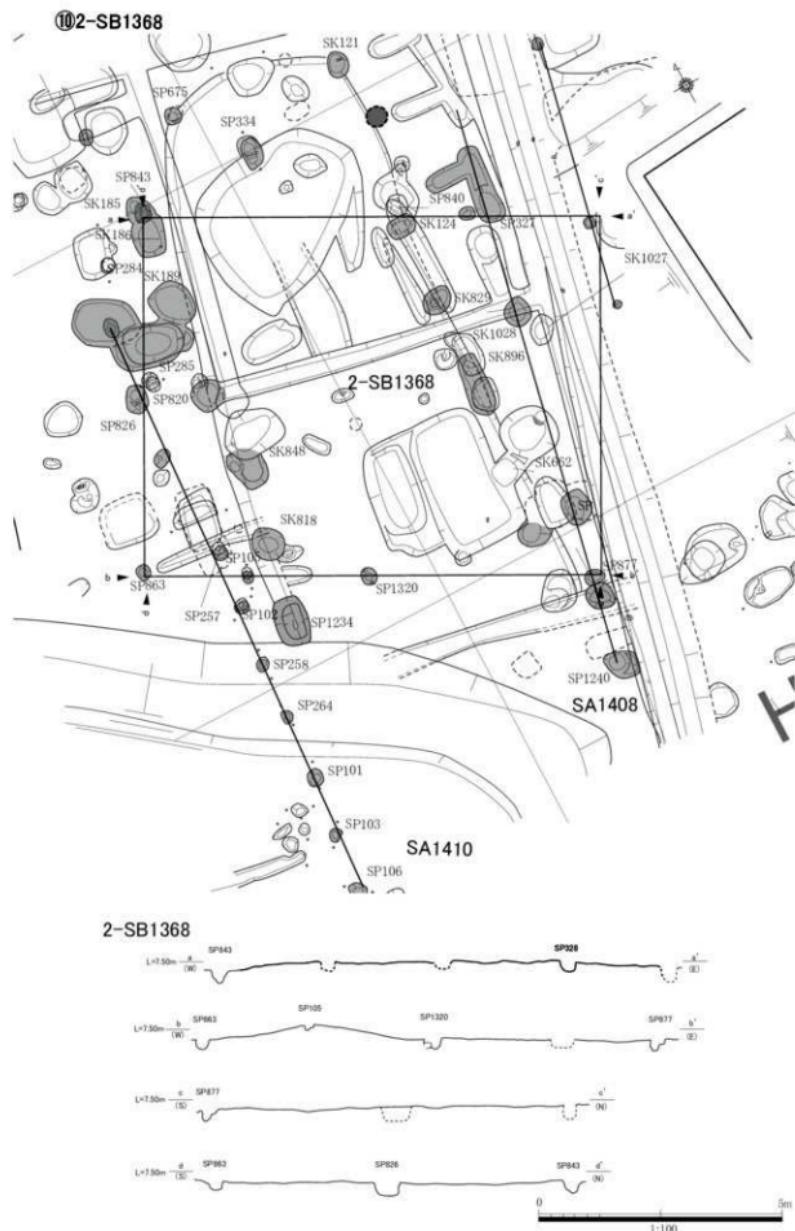
第40図 2区掘立柱建物・柱列平面・断面・エレベーション図 (⑧2-SB1366)



2-SB1367

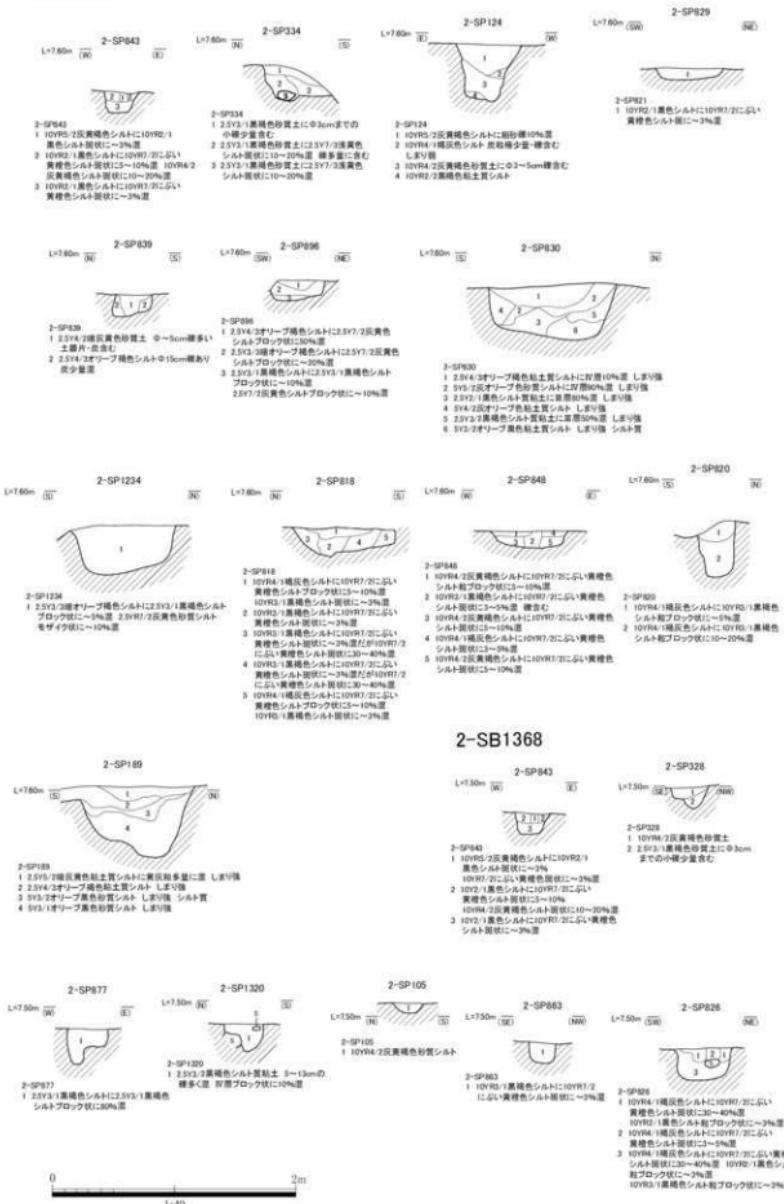


第41図 2区掘立柱建物・柱列 平面・断面・エレベーション図 (⑨2-SB1367)



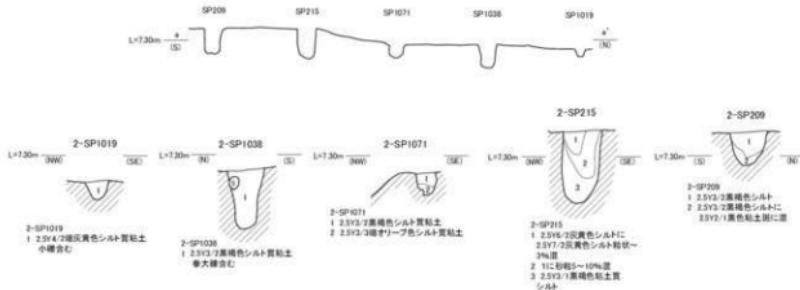
第42図 2区掘立柱建物・柱列 平面・断面・エレベーション図 (⑩2-SB1368)

2-SB1367

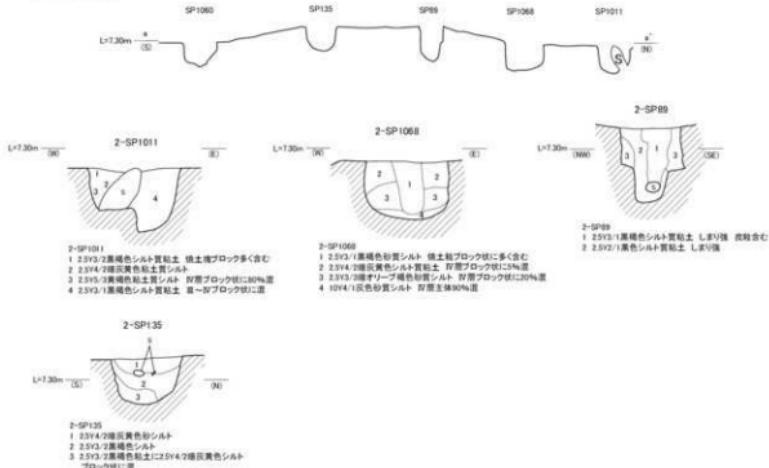


第43図 2区掘立柱建物・柱列 断面図 (⑨2-SB1367・⑩2-SB1368)

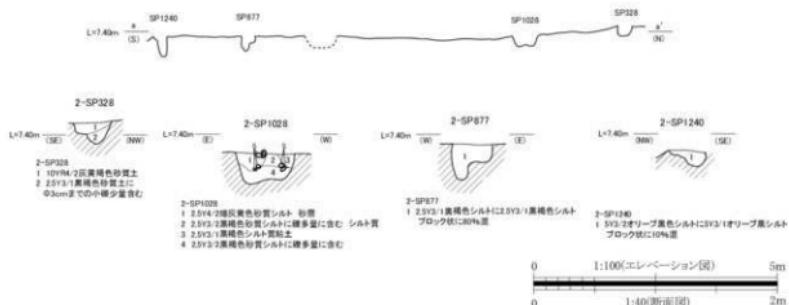
2-SA1407



SA1408①



SA1408②



第44図 2区柱列 エレベーション・断面図 (2-SA1407・1408)

2-SA1409

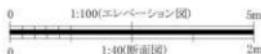
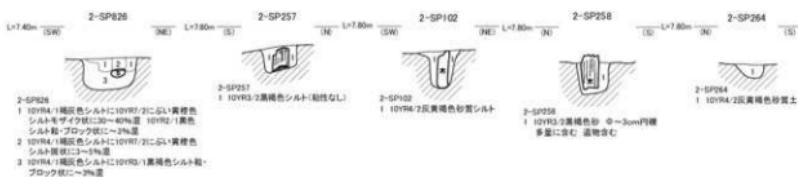
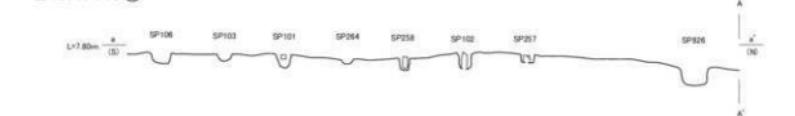


Z-SP1323
1 2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルトにIV層ブロック状に5%混入

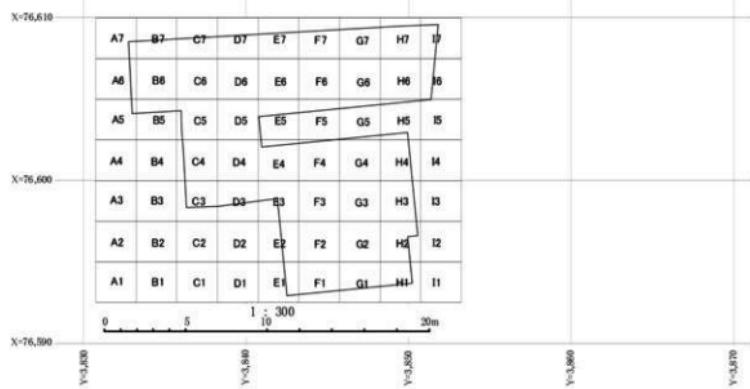
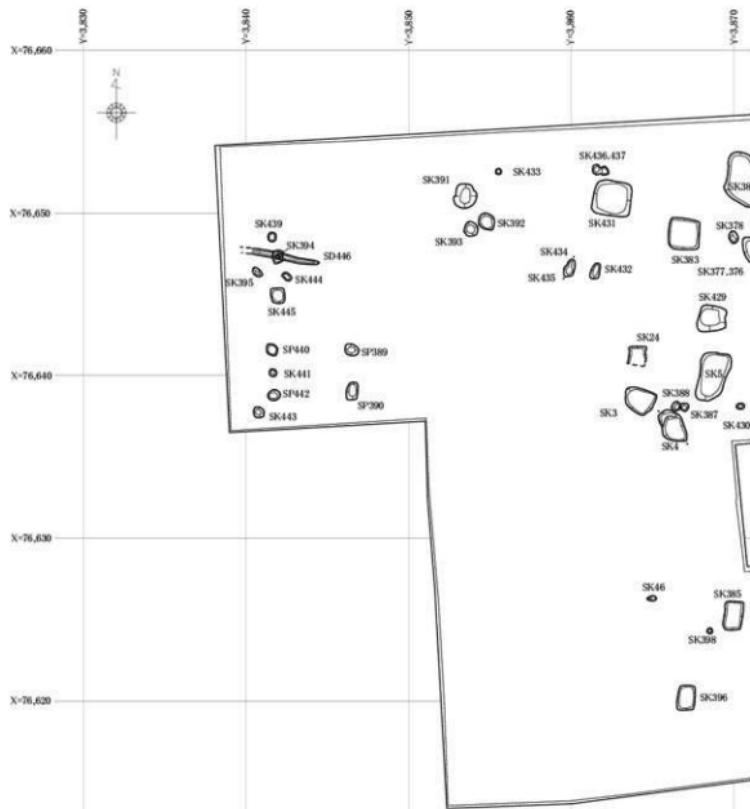
2-SA1410①



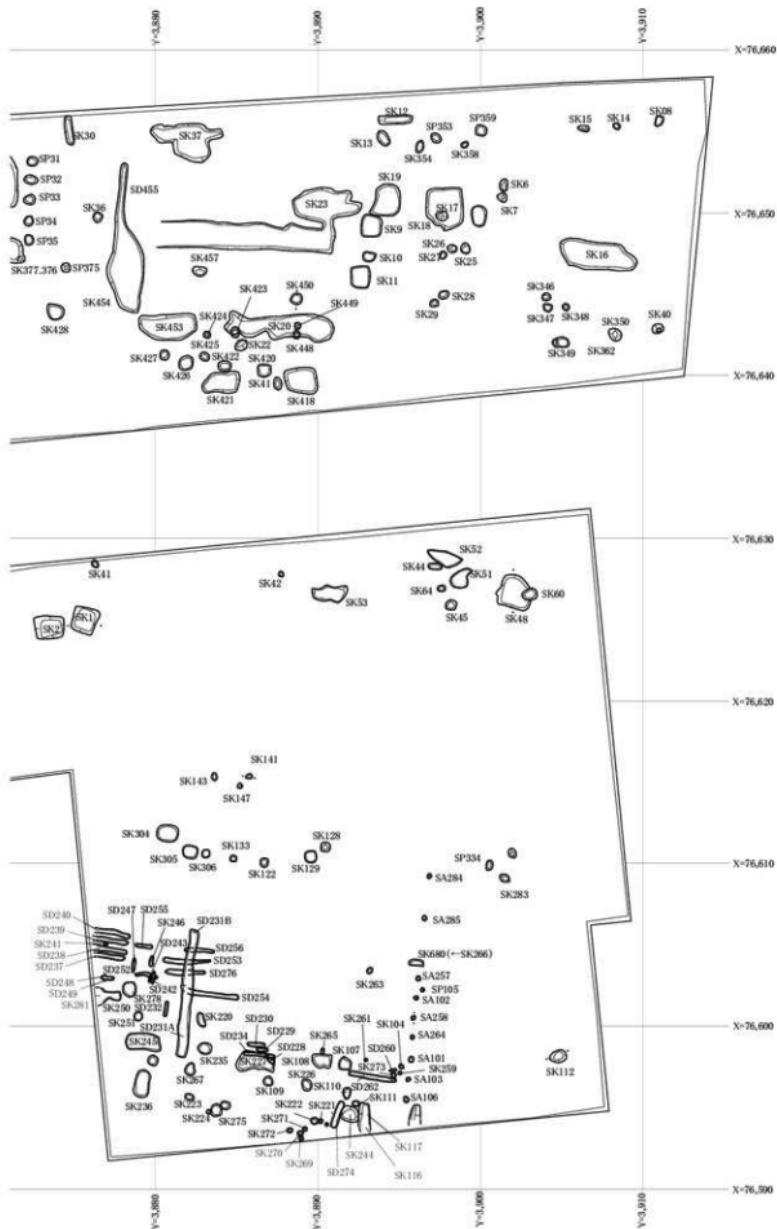
2-SA1410②

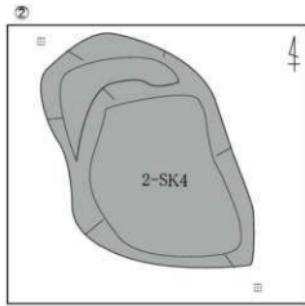
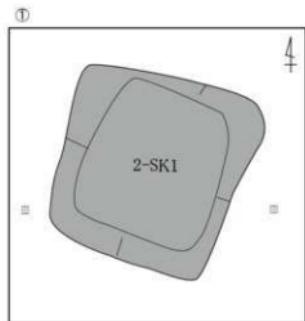
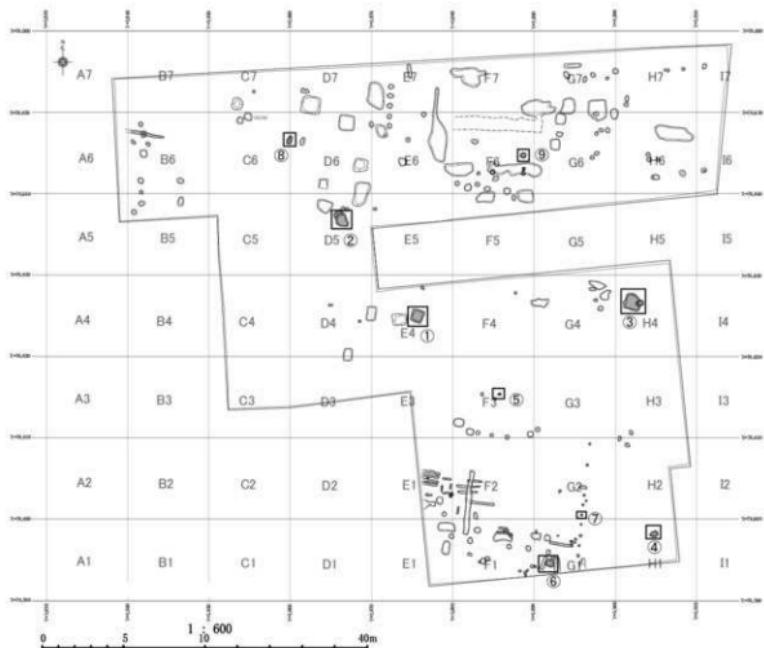


第45図 2区柱列 エレベーション・断面図 (2-SA1409・1410)

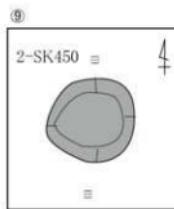
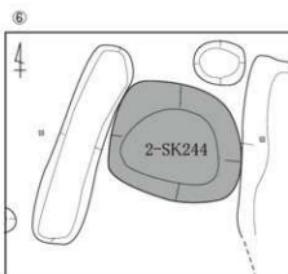
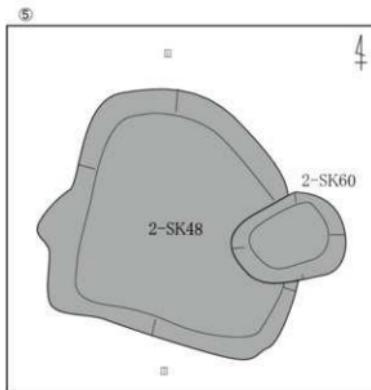
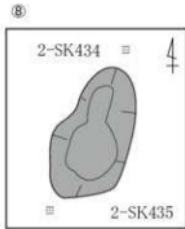
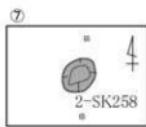
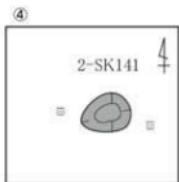
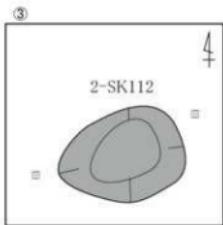


第46図 2区造構平面図(上層)

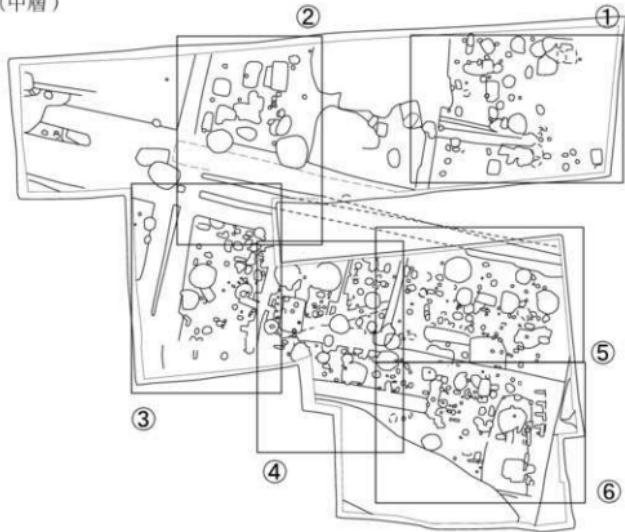




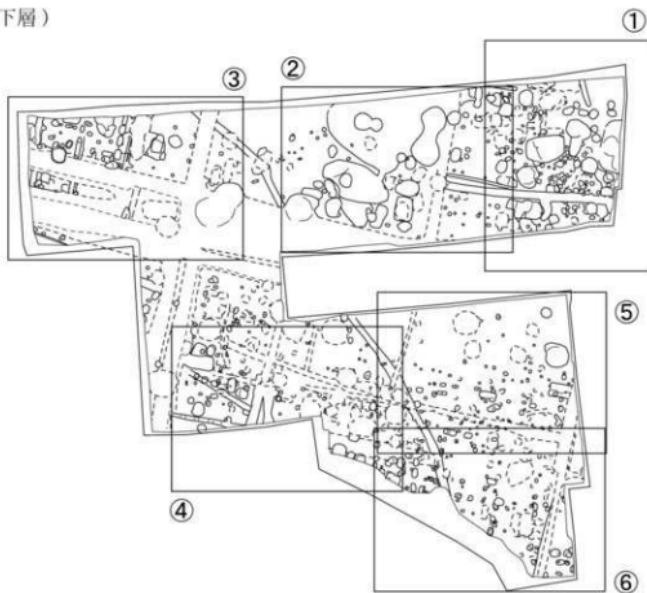
第47図 2区上層遺構全体分布・個別平面図(2-SK1、4、48、112、141、244、258、434・435、450)



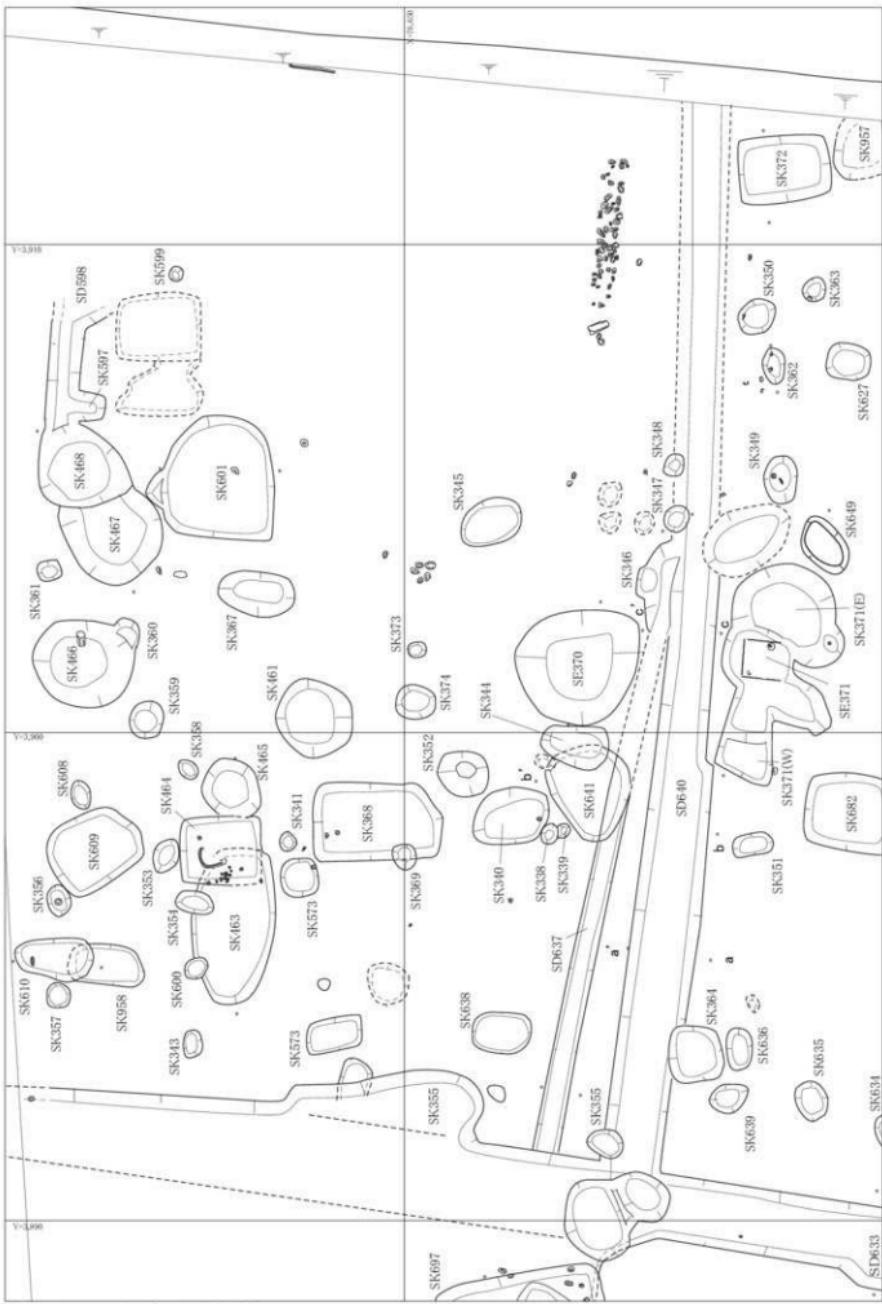
2区（中層）



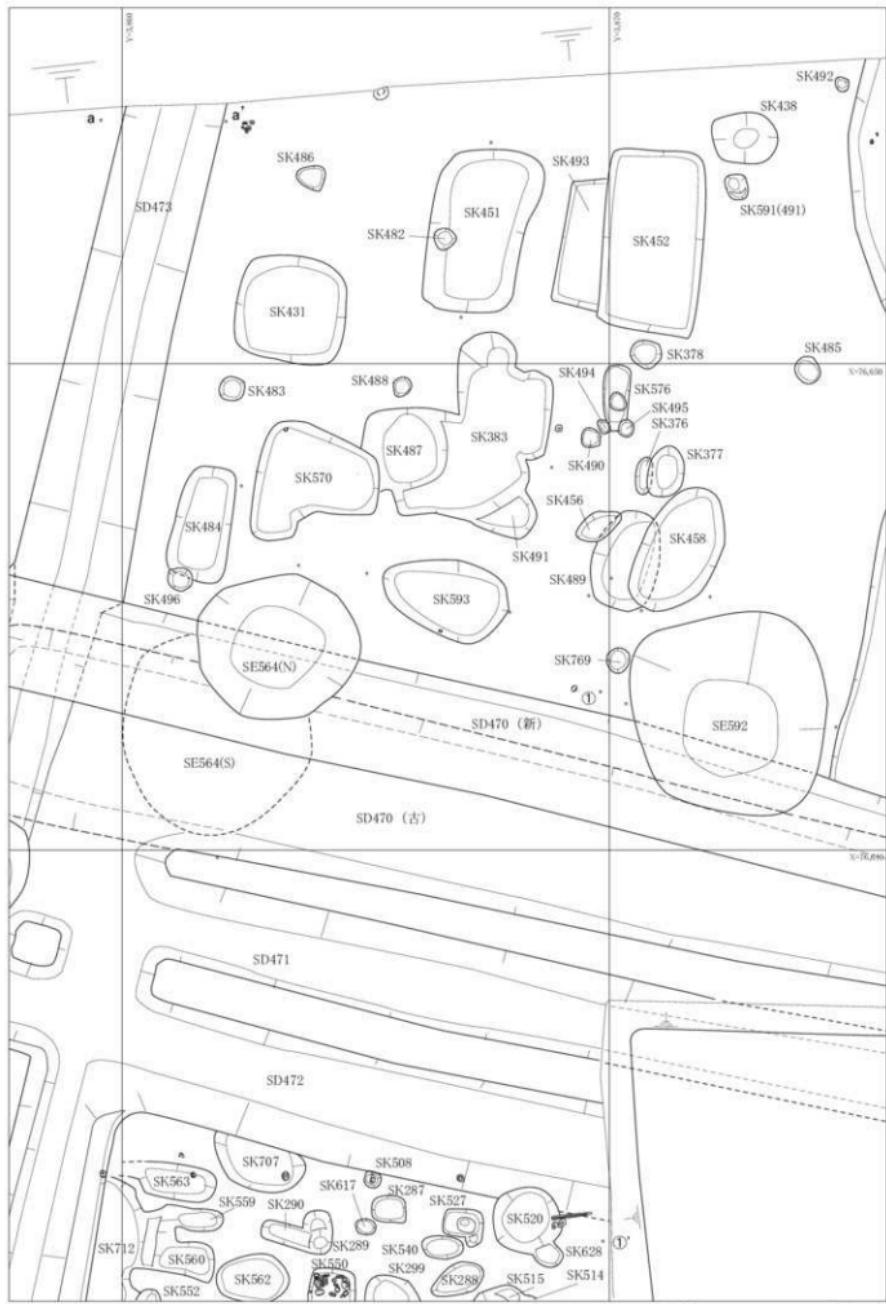
2区（下層）



第48図 2区平面図地区割概略図

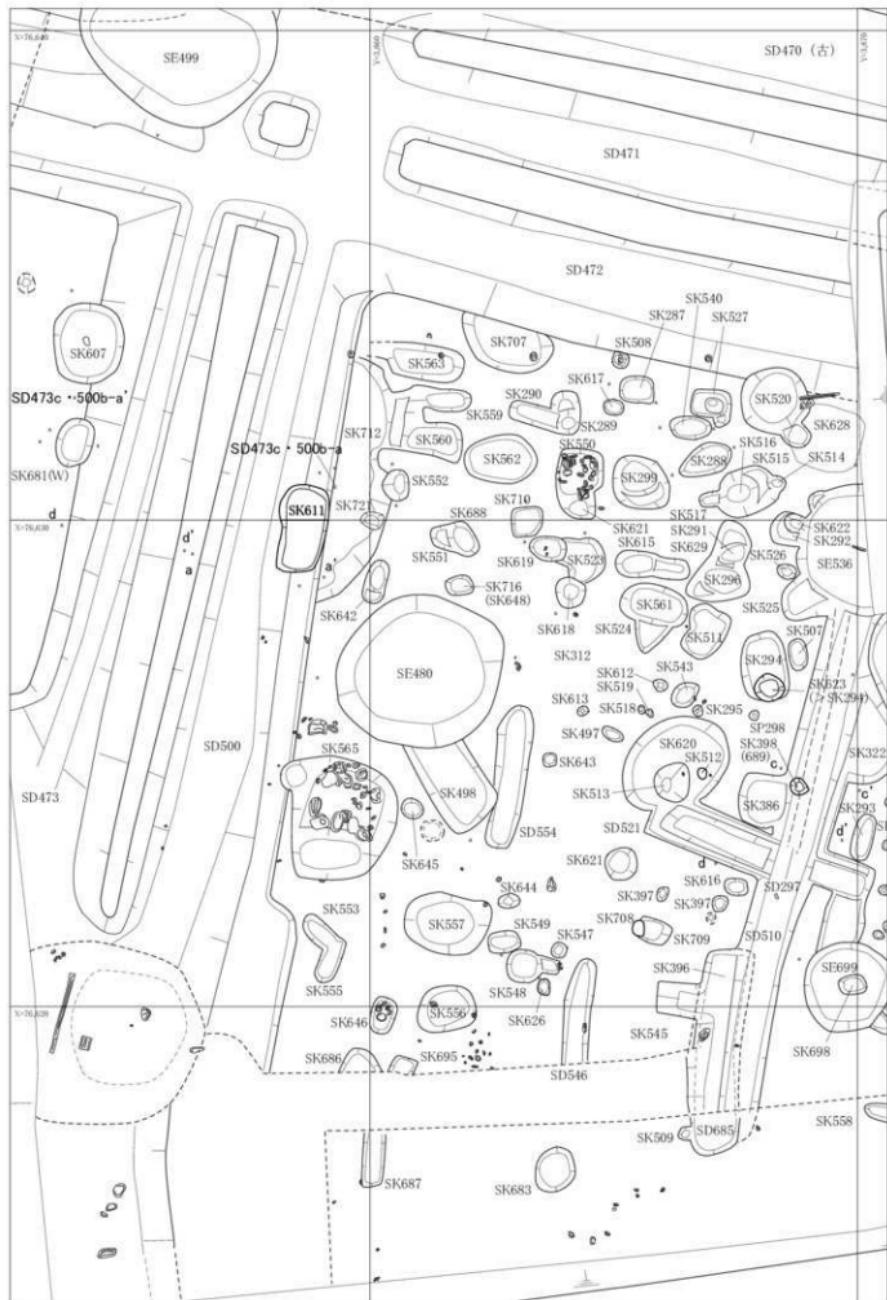


第49図 2区地区割図(中層)① S=1:100

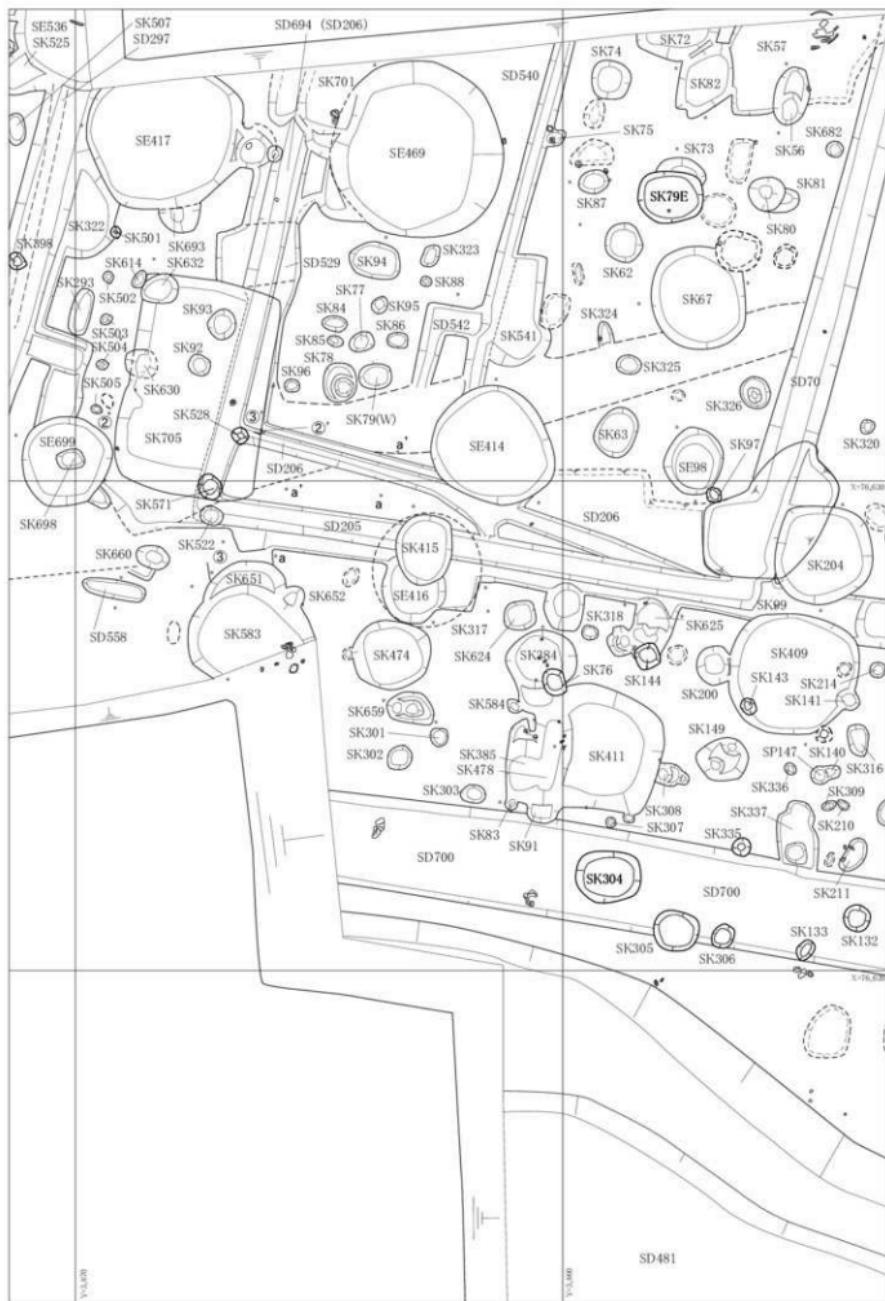


第50図 2区地区割図(中層)② S=1:100

①-①* SD470b 470a 472 断面 SP

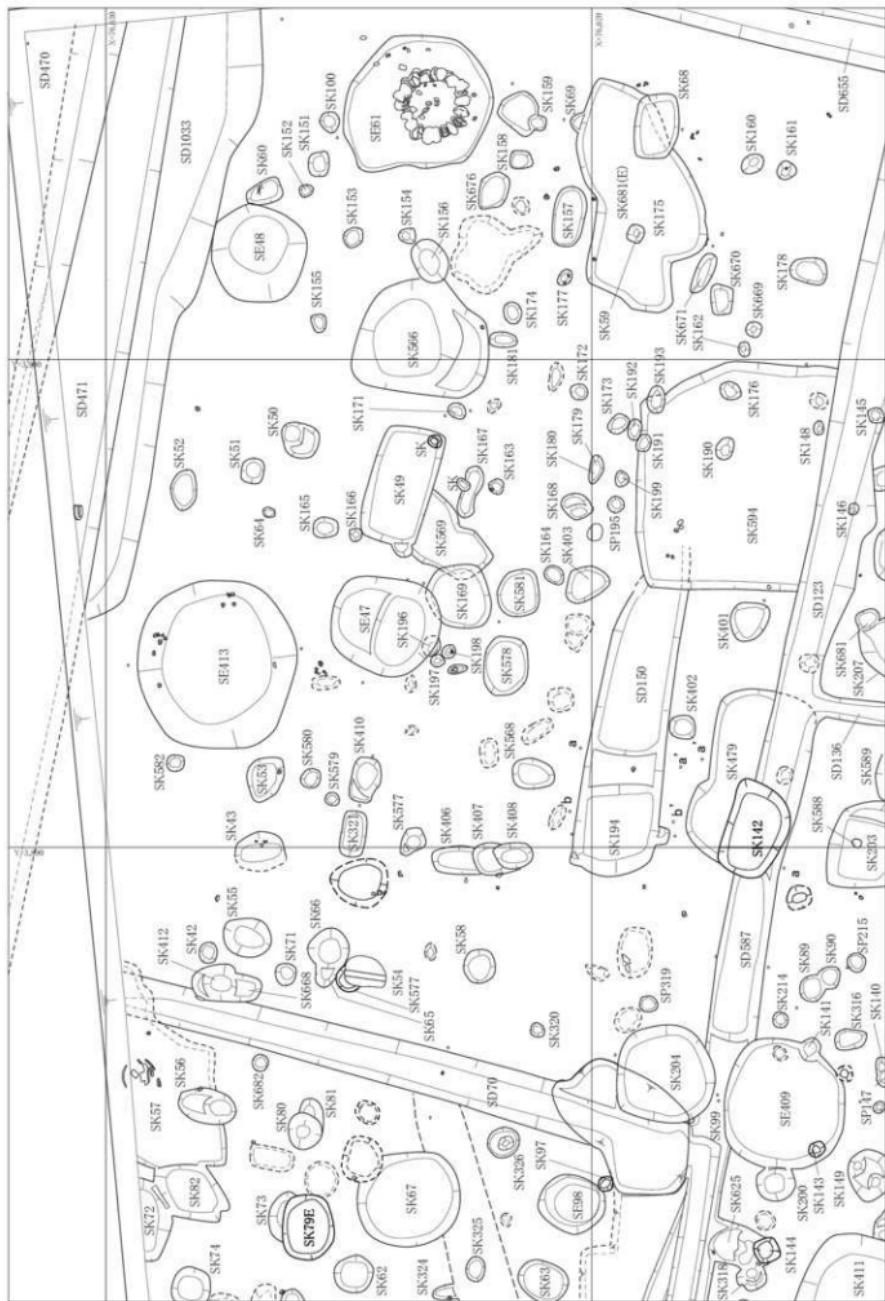


第51図 2区地区割図(中層)③ S=1:100

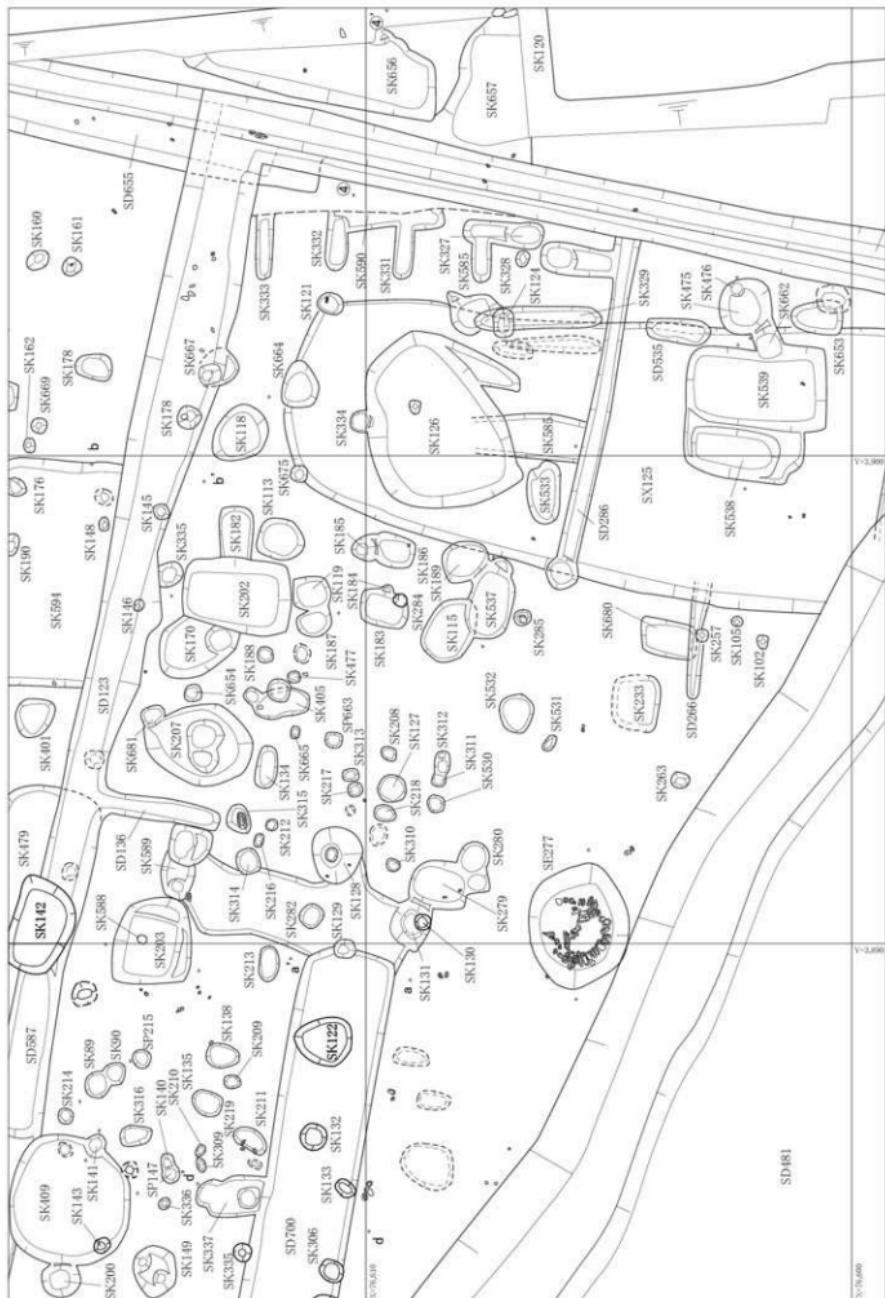


第52図 2区地区割図(中層)④ S=1:100

②-②' 631 705b 205c 206b ③-③' 205b 705a 断面 SP

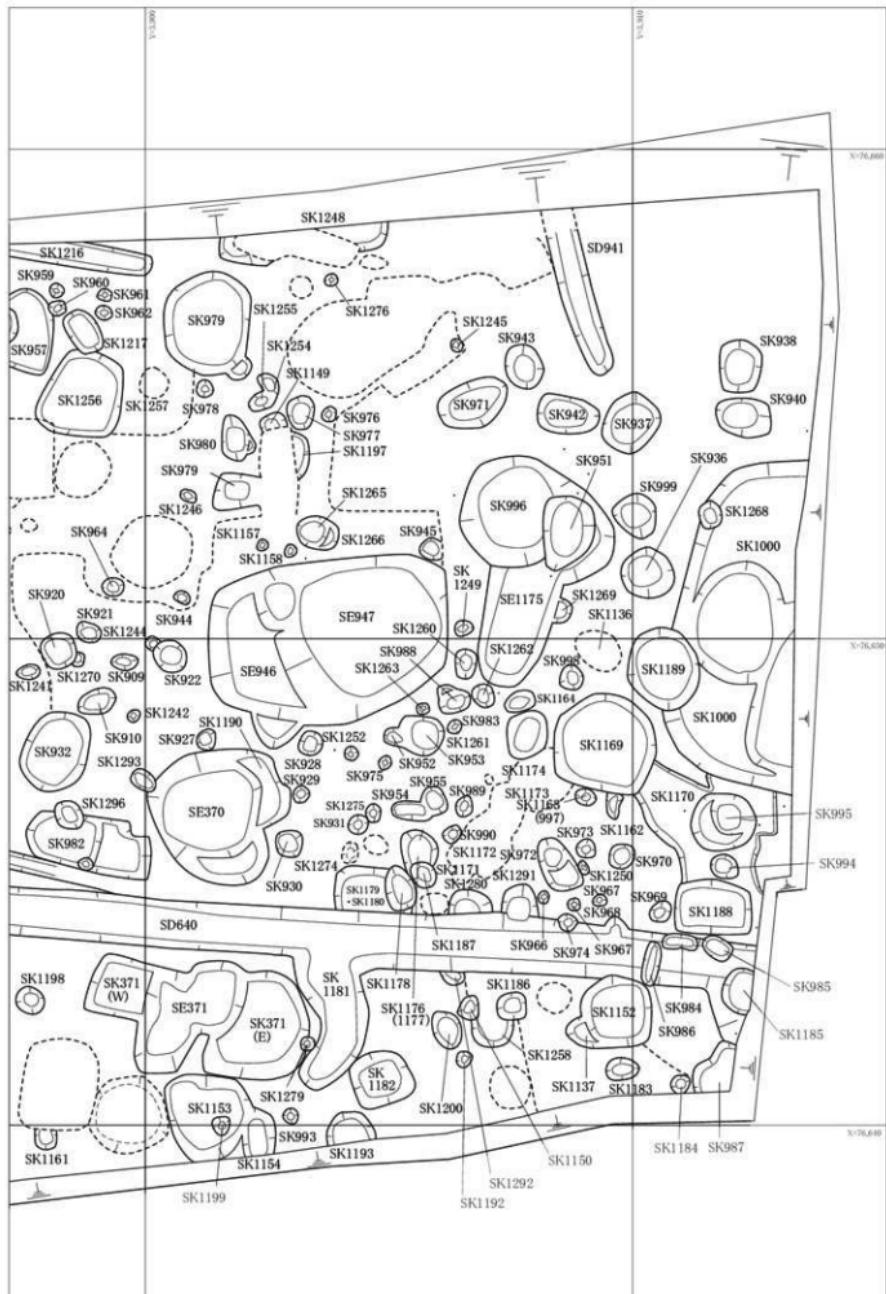


第53図 2区地区割図(中層)⑤ S=1:100

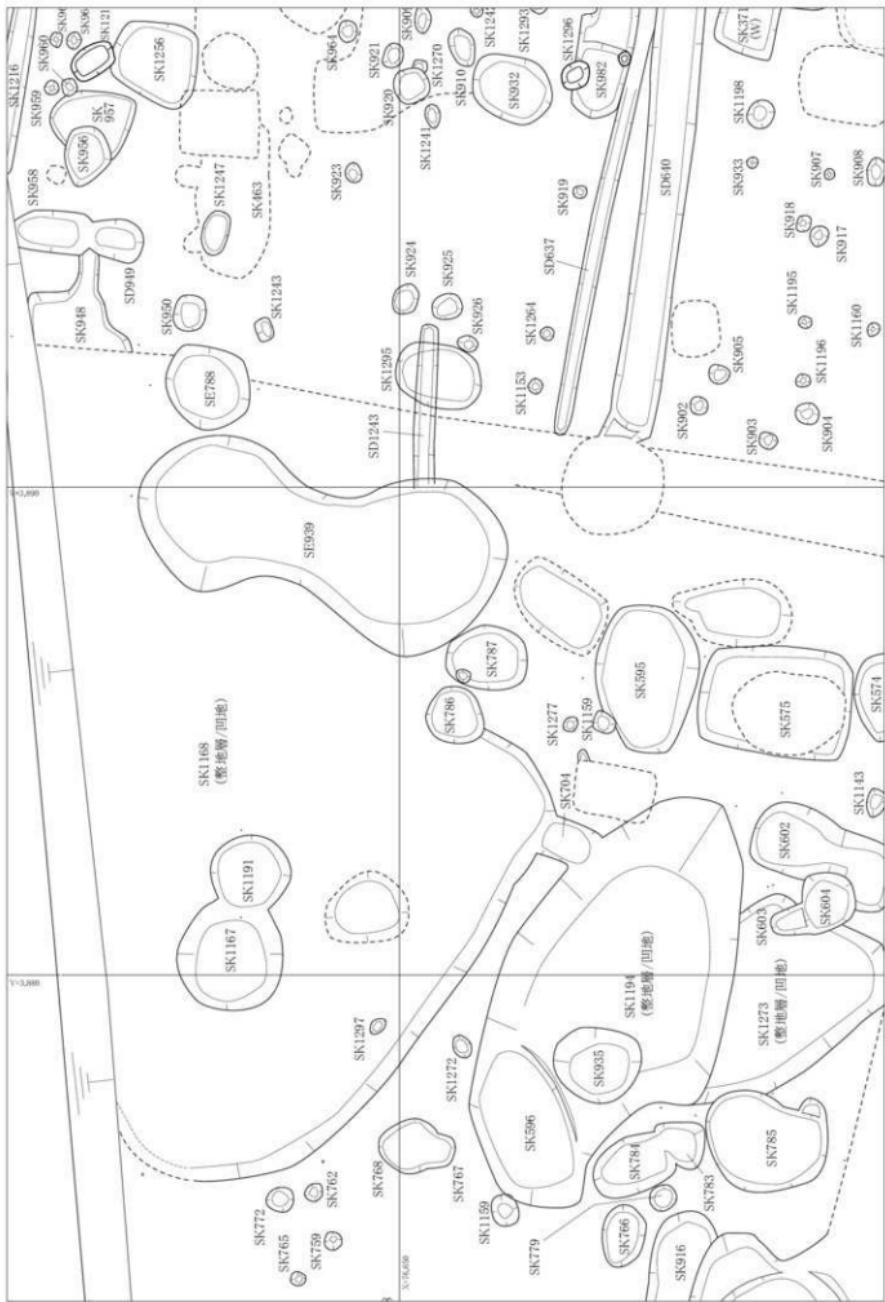


第54図 2区地区割図(中層)⑥ S=1:100

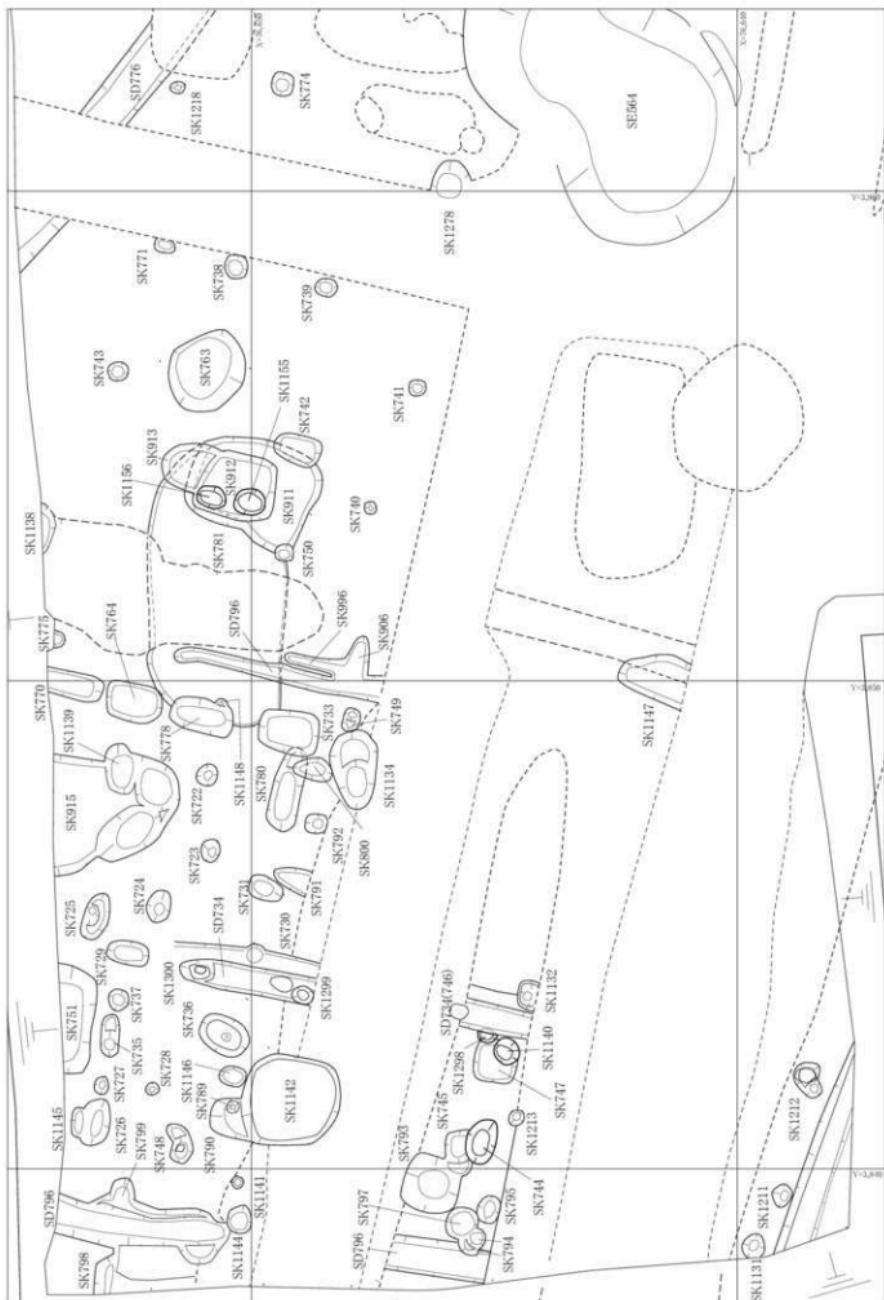
④-④' SK655a SD586a SK656a 断面 SP



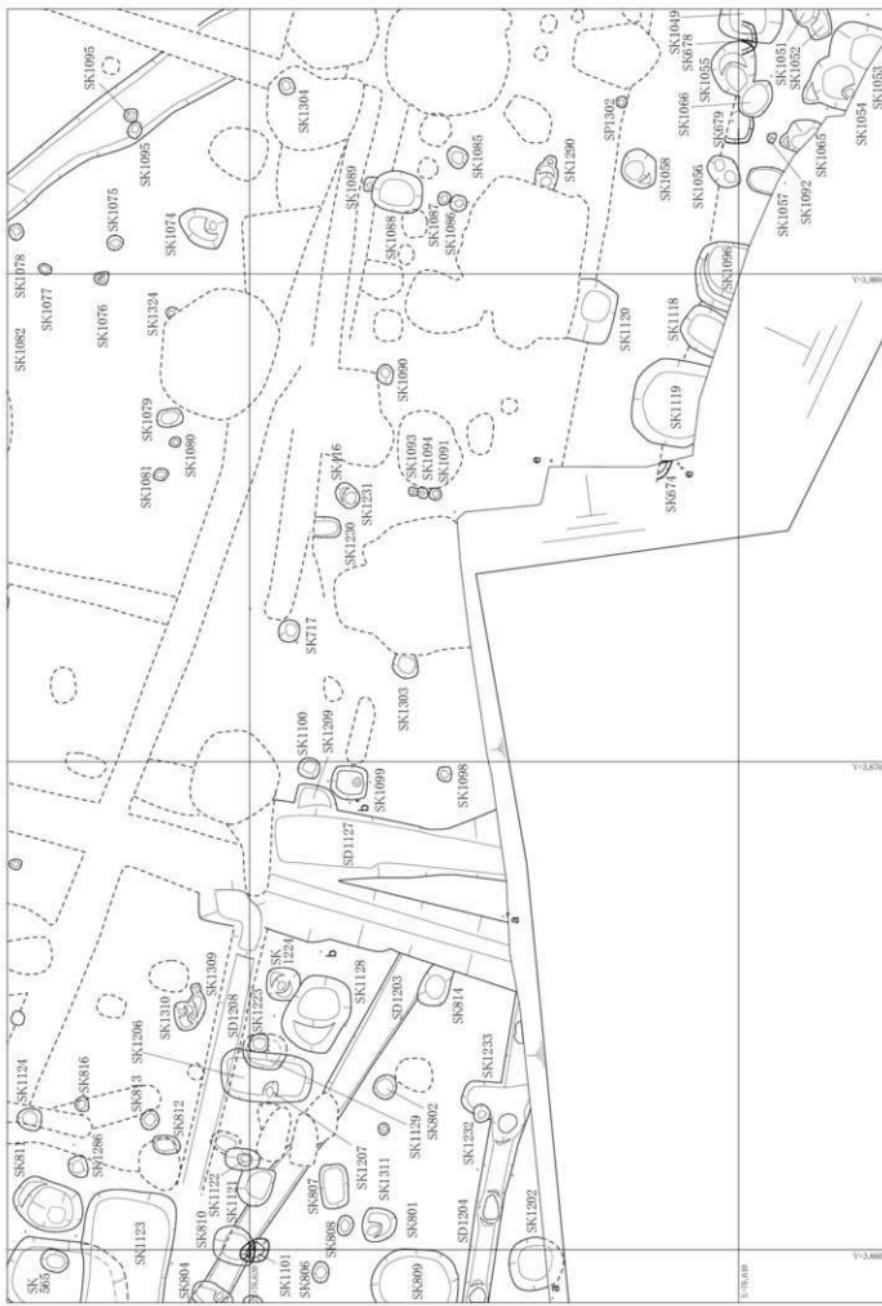
第55図 2区地区割図(下層)① S=1:100



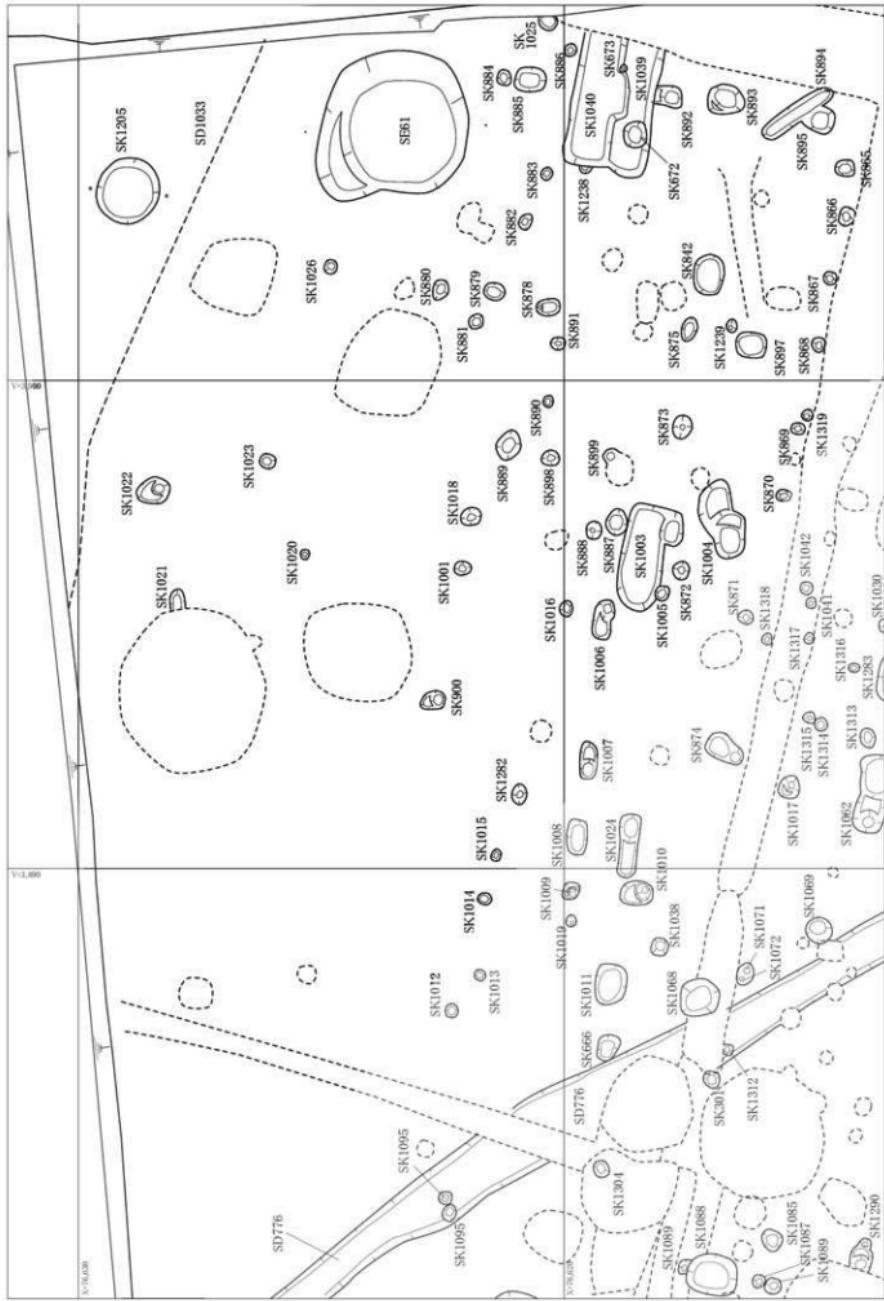
第56図 2区地区割図(下層)② S=1:100



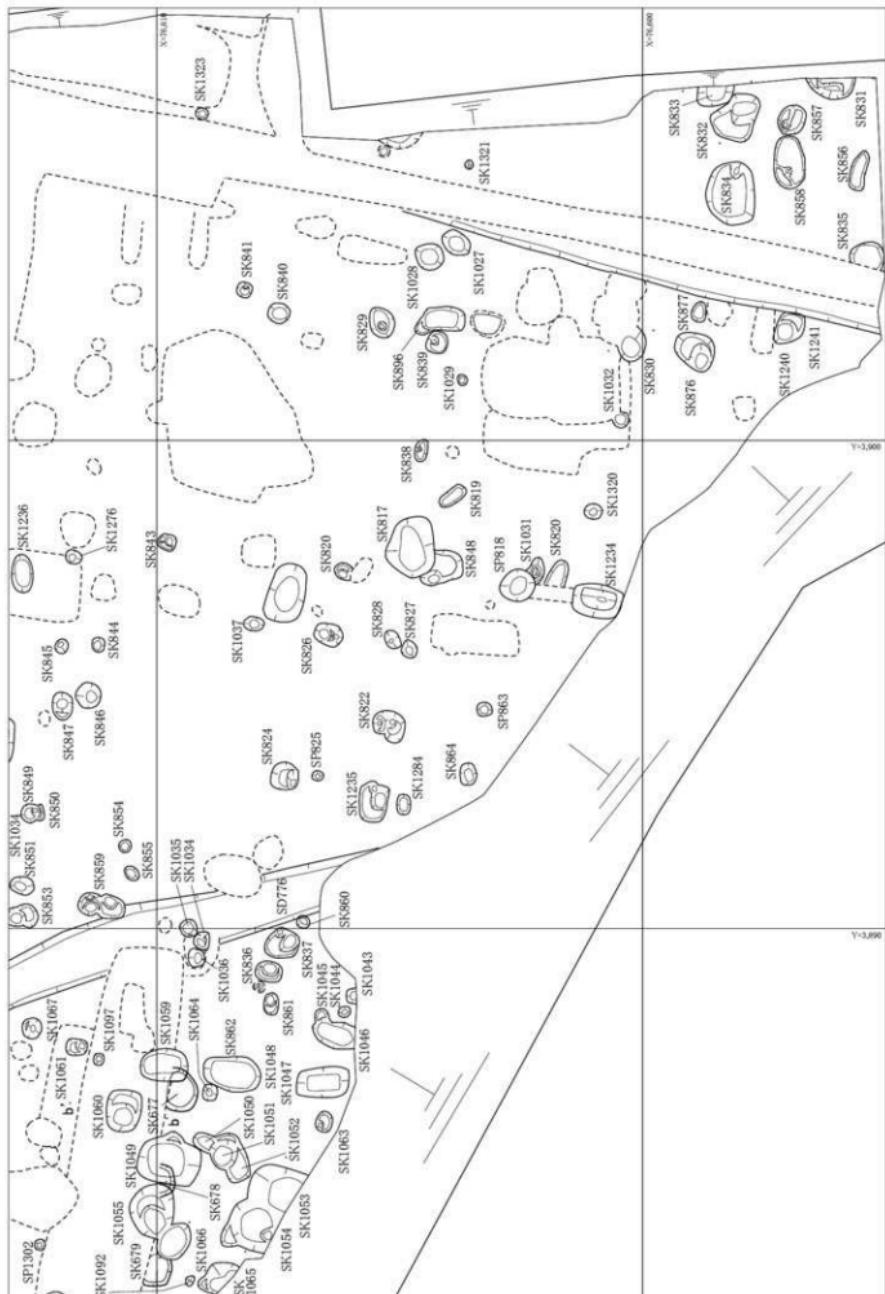
第57図 2区地区割図(下層)③ S=1:100



第58図 2区地区割図(下層)④ S=1:100



第59図 2区地区割図(下層)⑤ S=1:100



第60図 2区地区割図(下層)⑥ S=1:100

2. 3区遺構

(1) 溝・区画溝 (SD)

3-SD39（第64・65図）

3区調査区中央～西側、EF9に位置する溝である。規模は、幅0.9m、深さ0.3m、調査区内での最大長は11.25mを測る。主軸方向はN-77°-Wである。埋土はほぼ上層がにぶい黄褐色シルト、下層が灰黄褐色シルトを基調とする。下層の溝3-SD43直上に位置する同一主軸方向の溝であり、より新しい時期に、区画溝として開削されたものと考えられる。重複関係にある3-SK46、49、53より古く、3-SE77、3-SK27、42、56より新しい。西端は調査区外に延びる。遺物は中世土師器、越前、瀬戸美濃などが出土したが、下層の溝3-SD43の遺物を含む可能性が高い。遺構の時期は16世紀後半である。

3-SD43（第64図）

3区調査区中央～西側、EF9に位置する溝である。規模は幅2.67m、深さ0.58m、調査区内での最大長は9.69mを測る。主軸方向はN-78°-Wである。重複する上層の溝3-SD39同様、西端は調査区外に延びる。重複関係にある3-SD122、3-SE77、3-SK134より新しい。遺物は中世土師器・越前・瀬戸美濃が出土した。遺構の時期は16世紀前半である。

3-SD54（第64・65図）

3区調査区全域を東西方向に横断する溝である。新旧2時期がある。2-SD54(新)の規模は幅2.05m、深さ0.55m、調査区内での最大長は26.4mを測る。主軸方向はN-78°-Wで、3-SD43の約1.3m北側をほぼ平行して延びる。東西両端は調査区外に延びる。3-SD54(新)の埋土は暗褐色シルトを基調とする。重複する3-SD122、3-SE77より新しい。3-SD54(古)はE9に位置し、調査区内での最大長は7.3mを測る。西端は調査区外に延びる。3-SD54(古)の埋土は灰黄褐色シルトを基調とする。遺物は中世土師器・珠洲・越前・瀬戸美濃等が出土した。中世土師器は、溝のほぼ全域から多量に出土した。遺構の時期は、3-SD54(新)が16世紀中頃～後半、3-SD54(古)が16世紀初～前半である。

3-SD119（第65図）

3区調査区東部、G9に位置する溝である。規模は幅0.83m、深さ0.44m、調査区内の長さは1.44mを測る。主軸方向はN-8°-Eである。埋土は灰黄褐色シルトの単層である。南端は調査区外に延び、北端は3-SD54に連結する。新旧関係はない。遺物は中世土師器皿が出土した。遺構の時期は16世紀中頃である。

3-SD122（第65図）

3区調査区中央、F9に位置する溝である。規模は幅2.65m、深さ0.55m、調査区内での長さ6.05mを測る。主軸方向はN-3°-Eで、南北両端は調査区外に延びる。埋土は礫が多量に含まれる灰黄褐色シルトを基調とする。遺物は中世土師器、越前が出土したが、重複する3-SD54(新)の遺物の可能性が高い。重複関係にある3-SD54(新)、3-SD43、3-SK134より古い。

3-SD123（第65図）

3区調査区東、G9に位置する溝である。規模は幅1.27m、深さ0.19m、調査区内での長さは1.15mを測る。主軸方向はN-11°-Eである。埋土は単層で、礫が多量に含まれる暗褐色シルトである。北端が直交する3-SD54(新)と連結し、南端は調査区外に延びて同軸線上にある2-SD633とつながる可能性が高い。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀中頃である。

(2) 井戸 (SE)

3-SE77 (第 66 図)

3 区調査区西側、E 9 に位置する石組井戸である。長径 3.55m、短径 1.87m、深さ 1.38m を測る。平面は梢円形を呈する。上部構造は、重複関係にある区画溝とともに、近世の整地層である礫が多量に混じる褐灰色シルトで埋められていた。埋土は掘り方部分が灰黄褐色・黒褐色シルト、井戸側底内側には黒褐色シルト・灰黄褐色シルトを各々基調とする。石組下部構造は残存しており、石材は川原石のほか、板碑や石臼等を転用していた。井戸廃棄時、3-SD54 や 3-SD43 により削平されたと考えられる。遺物は中世土師器、瀬戸美濃が出土した。遺構の時期は 15 世紀後半である。

3-SE121 (第 65 図)

3 区調査区東、G9 に位置する井戸である。径 2.65m、深さ 1.5m を測る。平面は円形である。埋土は主に、下から①黒褐色シルトや暗褐色シルト、②礫が混じる暗褐色シルトや灰黄褐色シルトを基調とする。一度、①により埋められたのち、再掘削して脆弱な埋土を取り除き、②で再び埋めている。湧水による埋戻し地の泥化に限らず、神通川の後背低地に起因する地盤の泥化の問題と再盛土による対策は、近世富山城下町で確認されており、城内でも、安定化を測るために脆弱な土をある程度取り除き、礫を混ぜた埋土で再び埋めたと考えられる。遺構の時期は 16 世紀前半～中頃である。

(3) 土坑 (SK)

3-SK1 (第 66 図)

3 区調査区東、G9 で検出した土坑である。長径 0.85m、短径 0.53m、深さ 0.62m を測る。平面は梢円形を呈する。埋土は褐灰色シルトを基調とするほぼ単層で、礫が一定量含まれる。遺物は中世土師器・珠洲・瀬戸美濃などが出土した。遺構の時期は 16 世紀中頃である。

3-SK3 (第 66 図)

3 区調査区東、G9 で検出した土坑である。長径 1.86m、短径 1.43m、深さ 0.29m を測る。平面は梢円形を呈する。埋土は灰黄褐色シルトを基調とする単層で、少量の炭化物粒と多量の被熱した礫が含まれる。遺物は中世土師器、瀬戸美濃が出土し、これらも被熱していた。遺構の時期は 16 世紀中頃である。

3-SK4 (第 66 図)

3 区調査区東、G9 に位置する土坑である。長径 0.75m、短径 0.40m、深さ 0.12m を測る。平面は梢円形を呈する。埋土は灰褐色砂・明褐色砂質土を基調とする。上部に粗砂礫を多量に含む。遺物は越前が出土した。遺構の時期は 16 世紀中頃である。

3-SK9 (第 66 図)

3 区調査区中央やや東、F9 東端に位置する土坑である。長径 0.78m、短径 0.43m、深さ 0.2m を測る。平面は梢円形を呈する。埋土は上下 2 層で、上層は礫を多量に含むにぶい黄褐色シルト、下層は褐色砂質シルトを基調とする。遺物は唐津天目が出土した。遺構の時期は 16 世紀末である。3-SK29 より新しい。

3-SK21 (第 61 図)

3 区調査区中央やや車、F9 に位置する土坑である。長径 0.65m、短径 0.5m、深さ 0.19m を測る。平面は梢円形を呈する。埋土は単層で、礫と炭粒が含まれる黄褐色シルトである。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は 16 世紀中頃である。

3-SK22（第67図）

3区調査区中央、F9に位置する土坑である。長径1.7m、短径1.27m、深さ0.35mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は上下2層で、上層は炭化物と焼土が多量に混じる褐色シルト、下層は礫が少量混じる褐色シルトである。遺物は中世土師器が出土した。

3-SK33（第67図）

3区調査区西側、E9に位置する土坑である。長径0.9m、短径0.65m、深さ0.17mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は単層で、黄褐色と黒褐色のシルトがマーブル状に混じる。北端部分は搅乱により削平される。

3-SK34（第67図）

3区調査区西側、E9に位置する土坑である。規模は長軸1.76m、短軸0.90m、深さ0.42mを測る。平面は不整形で、平面、断面観察の結果から、3つ以上の土坑が重複している可能性が高い。埋土は東側上層が褐色シルト、下層は黒褐色シルト、西側は小礫と炭化物が混じる灰黄褐色シルトを基調とする。3-SK43より古い。遺物は中世土師器の細片が出土した。遺構の時期は16世紀初頭である。

3-SK35（第67図）

3区調査区西、E9に位置する土坑である。長径1.96m、短径0.74m、深さ0.37mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は単層で、炭化物・焼土塊・多量の礫を含む暗オリーブ褐色シルトである。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀中頃である。

3-SK45

3区調査区西、E9に位置する土坑である。長径0.6m、短径0.5m、深さ0.19mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は単層で、礫を含むにぶい黄褐色シルトである。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

3-SK57（第67図）

3区調査区中央やや東、F・G9に位置する土坑である。調査区内の規模は、長径1.23m、短径0.51m、深さ0.21mを測る。平面は半円形を呈し、北側は調査区外に拡がる。埋土は焼土と炭化物の混じる灰黄褐色シルトである。遺物は中世土師器が出土した。

3-SK59（第67図）

3区調査区中央やや東、F・G9に位置する大型の土坑である。長径1.72m、短径1.36m、深さ1.35mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は礫の混じる褐色シルトの単層である。遺物は中世土師器が出土した。

3-SK60（第67図）

3区調査区東、G9に位置する土坑である。長軸3.9m、短軸2.95m、深さ0.19mを測る。平面は不整形である。埋土は暗灰黄色シルトの単層で、礫・炭化物・焼土塊を含む。遺物は中世土師器・漁戸美濃が出土した。遺構の時期は16世紀中～後半である。

3-SK69

3区調査区中央やや東、F・G9に位置する土坑である。長径1.08m、短径0.74m、深さ1.08mを測る。平面は不整形である。埋土はにぶい黄褐色シルトを基調とし、上層に炭化物・焼土塊を含む。遺物は

中世土師器が出土した。

3-SK71（第68図）

3区調査区中央、F9に位置する土坑である。長径2.27m、短径1.0m、深さ0.33mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土はにぶい黄褐色シルトを基調とし、焼土粒・礫・多量の炭化物を含む。遺物は中世土師器が出土した。3-SD54と重複するため、遺物は3-SD54のものの可能性がある。

3-SK95（第63図）

3区調査区東、G9に位置する土坑である。径0.37m、深さ0.1mを測る。平面は円形を呈する。埋土は灰黄褐色シルトを基調とし、炭化物を含む。遺物は中世土師器が出土した。北東部分で重複関係にある3-SK103より古い。

3-SK103（第68図）

3区調査区中央、F9に位置する土坑である。長径1.04m、短径0.88m、深さ0.42mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土はにぶい黄褐色シルトを基調とし、礫・炭化物を含む。遺物は中世土師器が出土した。重複する3-SK95より新しい。遺構の時期は16世紀前半である。

3-SK107（第67図）

3区調査区中央、F9に位置する土坑である。軸1.2m、深さ0.2mを測る。平面は隅丸方形を呈する。埋土はにぶい黄褐色を基調とし、焼土塊を含む。底面には炭化物がマーブル状に混じる黒褐色シルトが薄く広がる。遺物は中国青磁が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

3-SK108（第67図）

3区調査区中央、F9に位置する土坑である。規模は、長径1.8m、短径1.65m、深さ0.51mを測る。平面は楕円形である。埋土は灰黄褐色シルトを基調とし、炭粒・焼土、小礫が含まれる。遺物は中世土師器、中国染付、土師質土器が出土した。遺構の時期は16世紀前半頃である。

3-SK111（第68図）

3区調査区西、E9に位置する土坑である。長径0.6m、短径0.26m、深さ0.4mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土はにぶい黄褐色シルトを基調とし、炭化物を含む。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀後半である。

3-SK112（第67図）

3区調査区西側、E9に位置する土坑である。径1.74m、深さ0.74mを測る。調査区内の平面は半円で、南側は旧校舎の搅乱に削平される。埋土は上下2層の水平堆積で、下層は礫が多く混じる黒褐色シルト、上層には少量の焼土と炭化物が混じる褐灰色シルトが厚く堆積する。遺物は土師系土器、瀬戸美濃、越中瀬戸、石臼が出土した。遺構の時期は16世紀中頃である。

3-SK120（第68図）

3区調査区中央から東、F・G9に位置する土坑である。長径0.59m、短径0.57m、深さ0.05mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は灰黄褐色シルトを基調とする。遺物は中国染付が出土したが、混入の可能性が高い。遺構の時期は16世紀中頃である。3-SD54（新）より古い。

3-SK129（第68図）

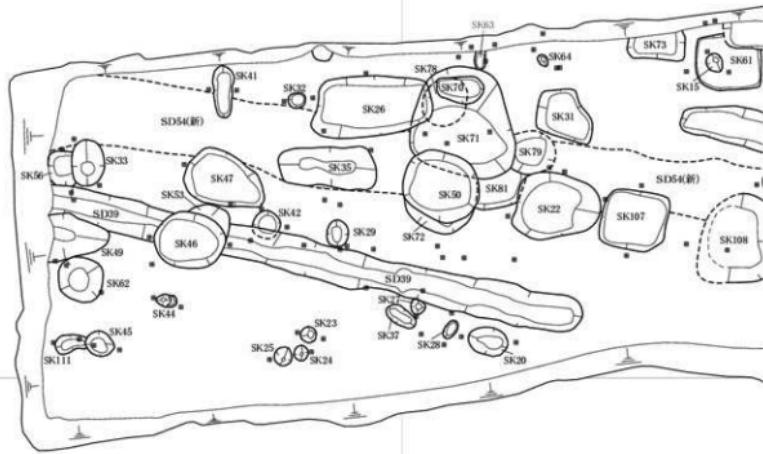
3区調査区東端、G9に位置する土坑である。径0.83m、深さ0.29mを測る。東・南側は旧校舎の墳乱により削平される。埋土は3層からなり下から炭化物が多量に混じる灰黄褐色シルト、焼土・炭化物が多量に混じる灰褐色シルト、礫が多く混じる褐灰色シルトとなる。遺物は中世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀前半である。

3-SK-134（第68図）

3区調査区中央、F9に位置する土坑である。規模は長軸2.21m、短軸1.46m、深さ0.61mを測る。埋土は上層がにぶい黄褐色シルト、中・下層が黒褐色シルトを基調とする。遺物は中世土師器、瀬戸美濃、中国青磁が出土した。遺構の時期は16世紀初頭～前半である。

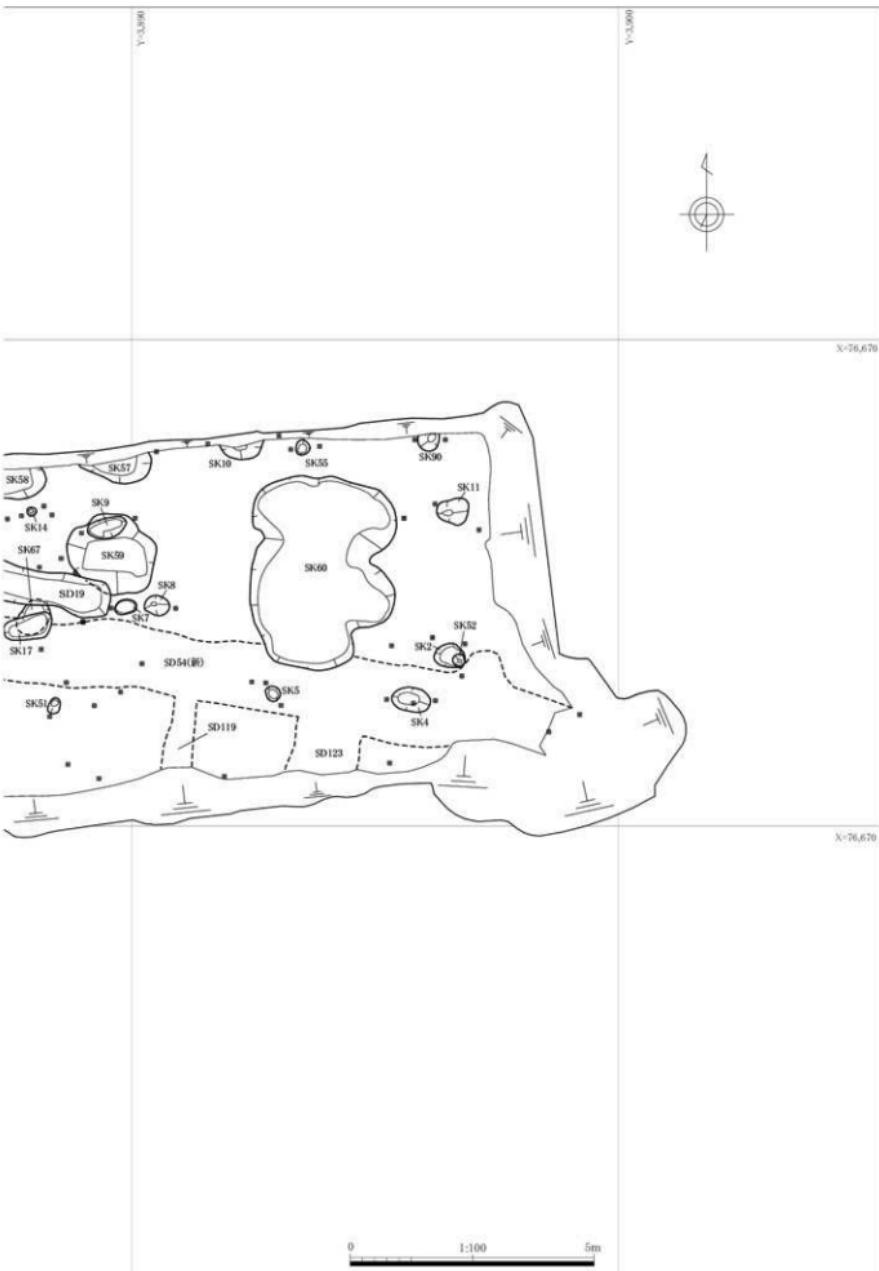
X-76,880

X-76,670



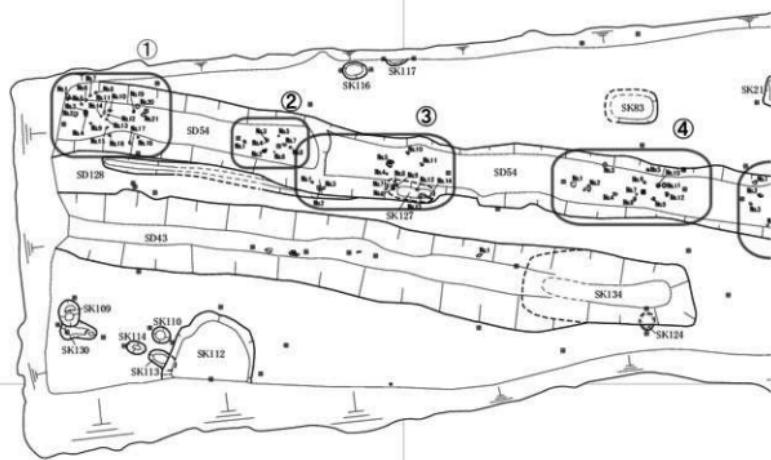
第61図 3区全体遺構平面図(上層)

*遺構集中箇所があるため、遺構Noの“3-”は省略(第61-63図)

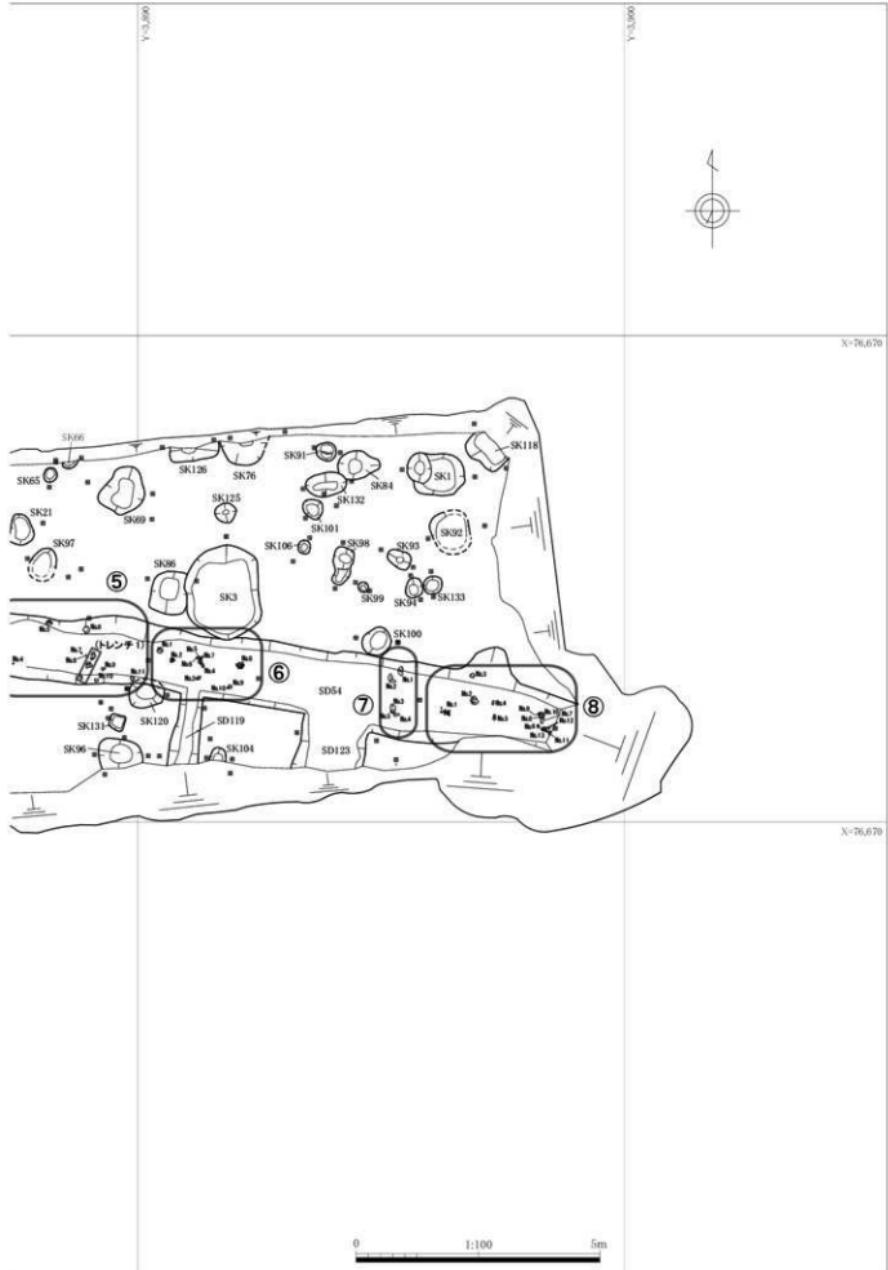


N-76,680

N-76,670



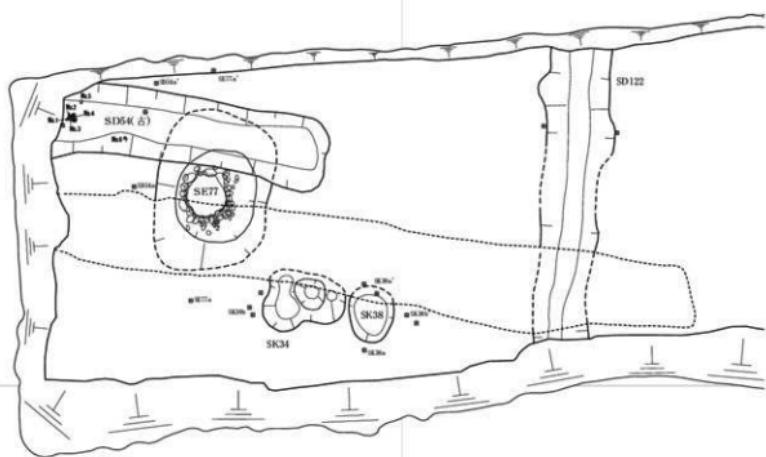
第62図 3区全体造構平面図(中層)



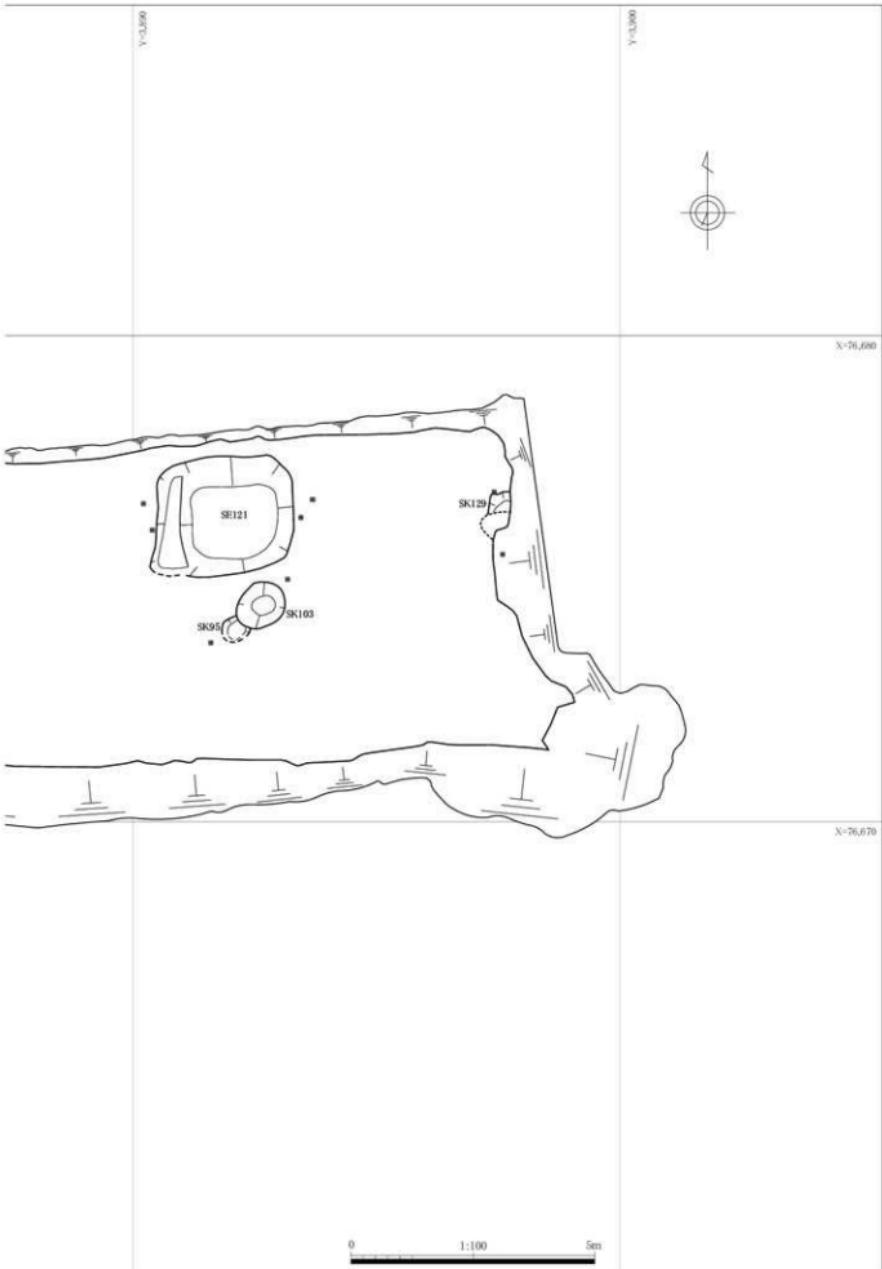
X-76,690

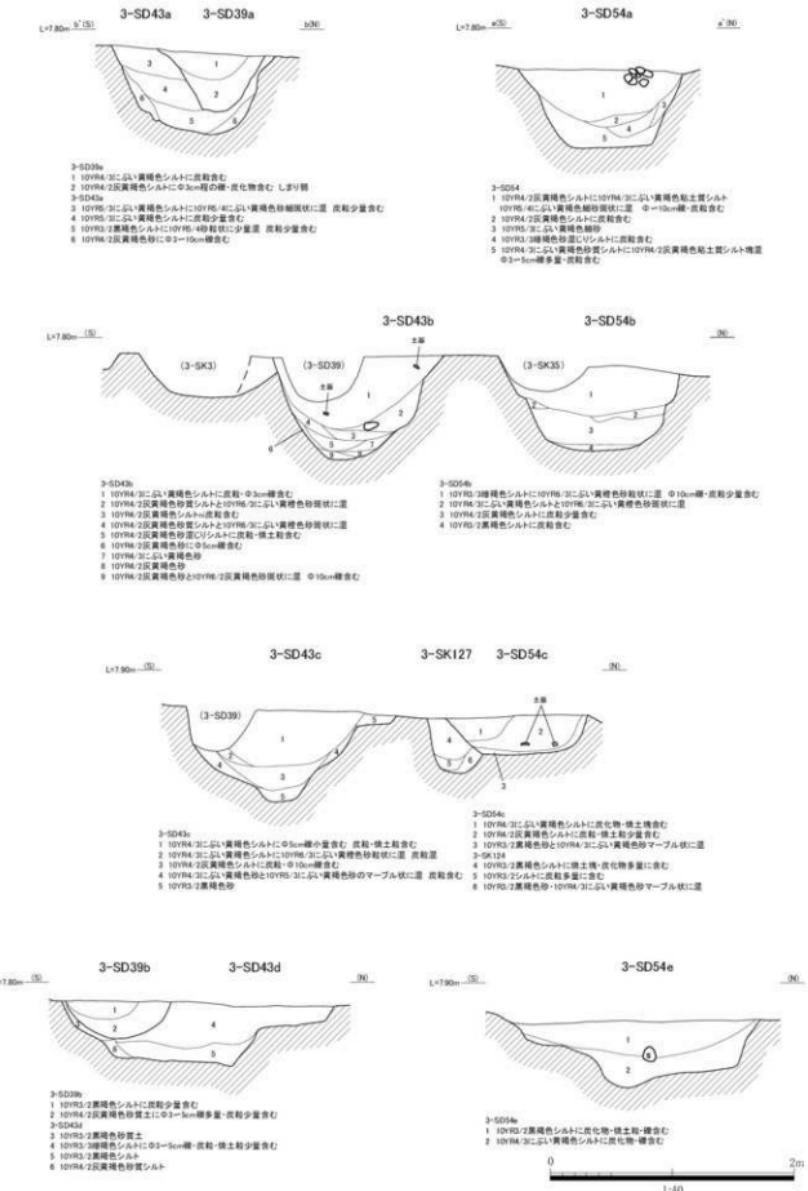
SD122

X-76,670

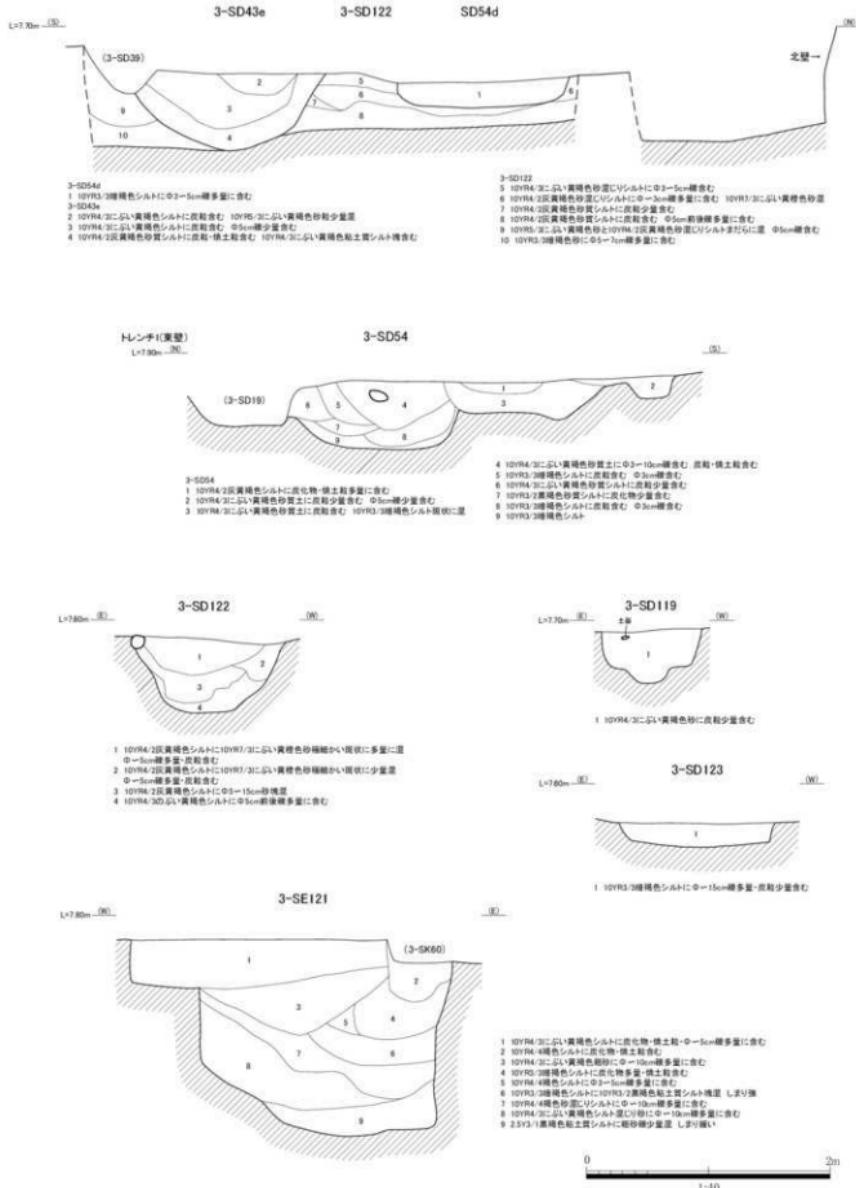


第63図 3区全体造構平面図(下層)

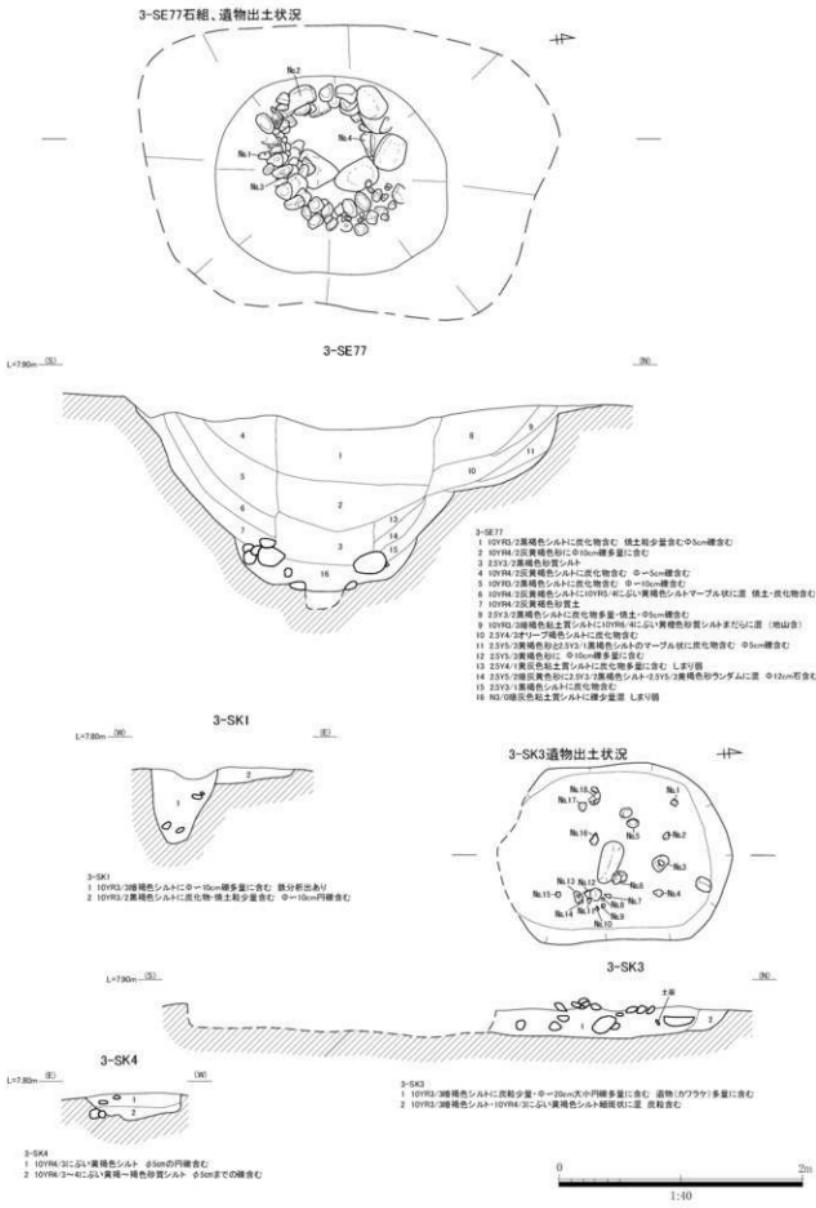




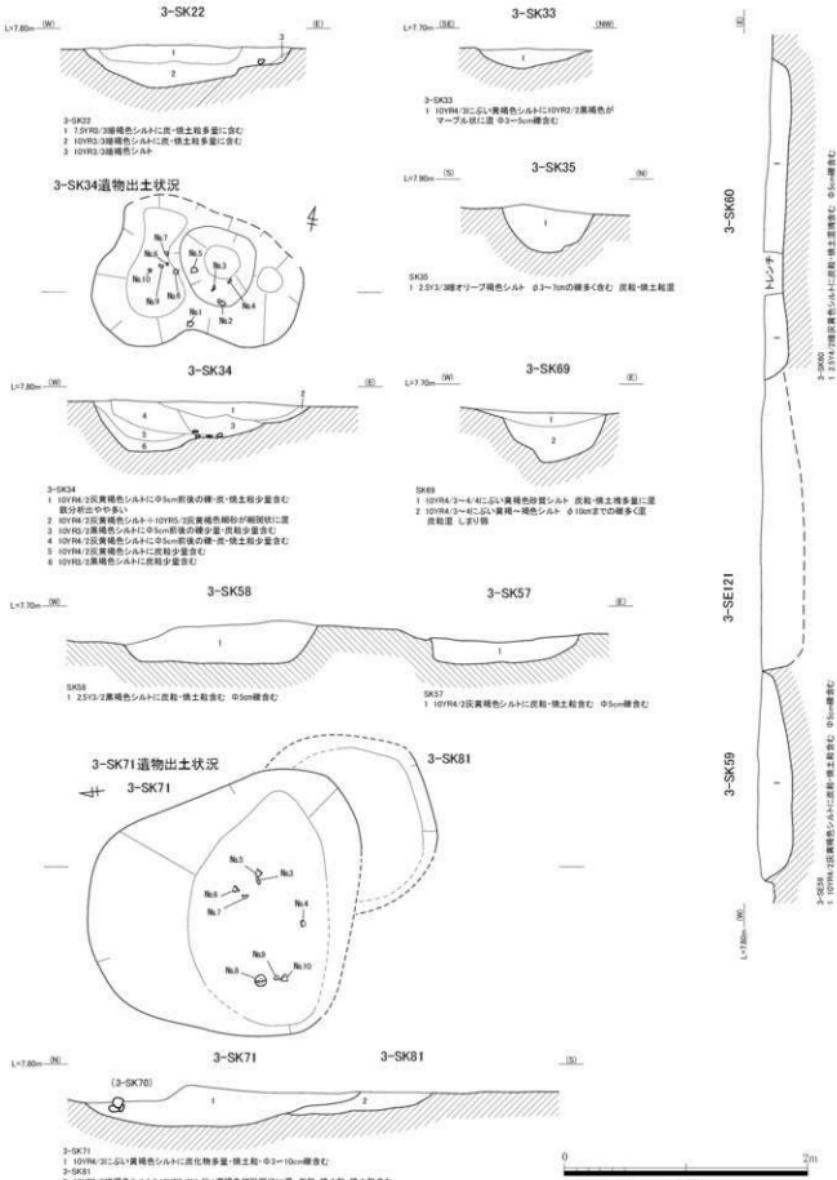
第64図 3区構造図1 (3-SD43a・39b、3-SD54a、3-SD43b・3-SD54b、3-SD43c・SK127・SD54c、3-SD39b・43d、3-SD54e 断面図)



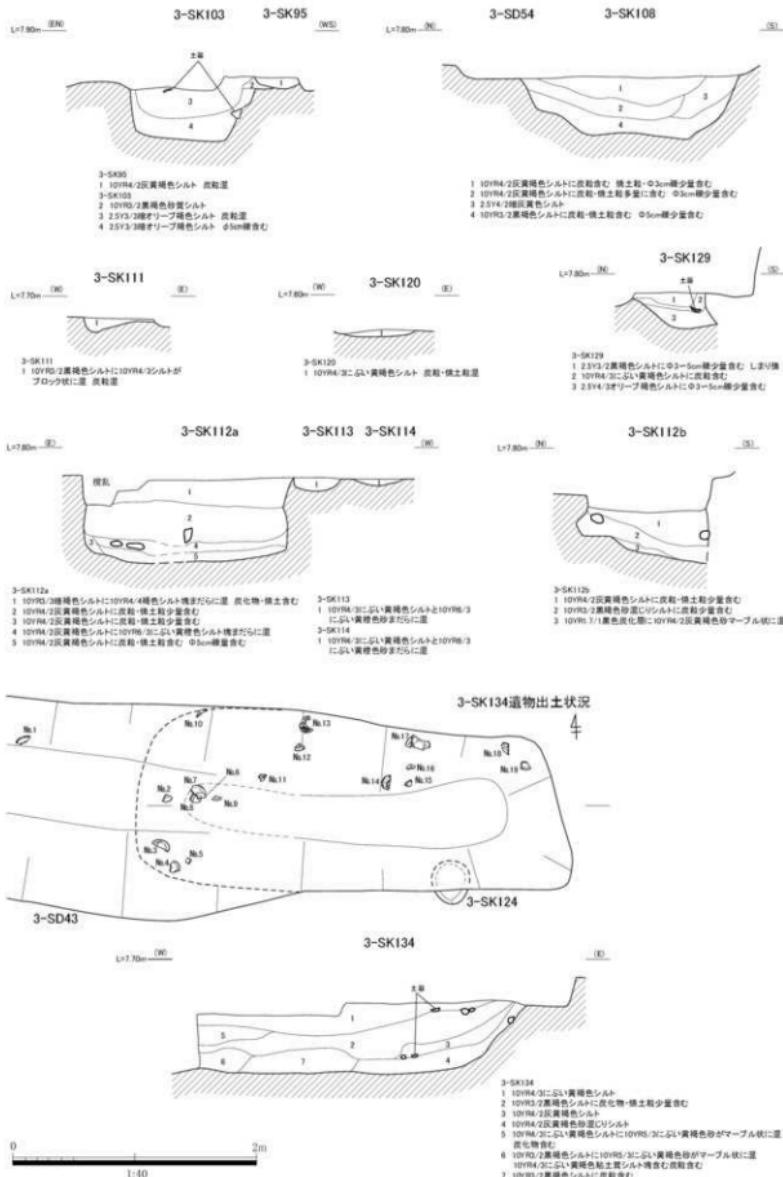
第65図 3区遺構図2 (3-SD43e・122・54d、3-SD54、3-SD122、3-SD119、3-SD123、3-SE121断面図)



第66図 3区遺構図3 (3-SE77 平面・断面図、3-SK1 断面図、3-SK3 平面・断面図、3-SK4 断面図、3-SK4 断面図)



第67図 3区遺構図4 (3-SK22、3-SK33、3-SK34、3-SK35、3-SK69、3-SK58・57断面図、3-SK34断面・平面図、3-SK71・81断面・平面図、3-SK59・3-SE121・3-SK60断面図)



第68図 3区遺構図5 (3-SK103・95、3-SK108、3-SK111、3-SK112a・113・114、3-SK112b、3-SK120、3-SK129 断面図、3-SD43・SK124・134 断面平面・平面図)

3. 4区遺構

(1) 水溜状造構関連遺構群 (4-SX3・SX4・SD13・SX77)

4-SX3・4 (石組遺構③④) / 第69・70・72～74・78・79・81・82・87)

4区AB3・4に位置する大型施設で、東側が調査区外に拡がる。調査区内での規模は、長主軸24.5m、短主軸9.7m、区画の高さは約1mを測る。南北方向に長い施設で、主軸方向はN=14°-Eである。縦杭と胴木、石組で区画された母屋のない構造物とみられ、防火用の貯水施設(水溜状遺構)と考えられる。中央東西方向に石組があり、調査時は南北別の遺構としたが、調査の結果、当初石組③④が一つの施設として構築され、後世、南北に区切られたと認められた。このことから、前半期を4-SX3・4、後半期、北側のみを4-SX3とした。4-SX3の南北方向の規模は約10mを測る。4-SX3の遺構底面はほぼ水平で、埋土は下部に黒褐色粘土質シルトが水平堆積し、上部は山砂が堆積する。下層部分は自然堆積、上層部分は遺構廃棄時に埋め戻しされたと考えられる。北側石組から約4m南側には、北側に向かつて底面にやや落ち込みが確認できた。これはより古い遺構の上部構造が削平され、底面のみ残った痕跡と考えられる。南側4-X4底面もほぼ水平で埋土はほぼ水平に堆積している。最下層はL=6.2mを測り、礫が混じる灰色砂質シルトが堆積しており、固く締まっている。4-SX3・4構築時の底面と考えられ、その下に堆積する埋土はより古い遺構である堀4-SD58と考えられる。埋土は自然科学分析の結果から、洪水堆積物が堆積していることが確認でき、1789(寛政元)年の洪水の際に堆積したものと考えられる。この河川氾濫により防火水槽は一度埋没し、これを契機として、南側は放棄され、北側4-SX3部分のみ浚渫、再構築されたと考えられる。最終的には、幕末まで長期間機能していたと考えられる。遺物は近世土器皿、越中瀬戸、中国陶磁器、京・信楽系、唐津、伊万里等肥前系陶磁器、銅錢等が出土した。遺構の時期は江戸時代後期である。4-SD15、SD45、SD47、SD57、SD58、SD103、SK68、SK80等多くの遺構と重複関係にあり、上層で検出した近現代の遺構を除くすべての遺構より新しい。遺構の時期は18世紀後半である。

4-SX77 (石組遺構⑤) / 第69・72・74)

4区AA3・4、調査区西端に位置する胴木と石列である。規模は、6mを測る。主軸方向は長主軸N=14°-Eで、約9m離れて4-SX3と平行している。石組上部から地表面まで山砂が堆積する状況は4-SX3と同じであり、4-SX3・4と同様、水溜状遺構であったと考えられる。埋土は下層が黒褐色砂質シルトで、重複する4-SK56より新しい。

4-SD13 (石組遺構②) / 第69図)

4区北側AC4・5に位置する石組水路である。主軸方向はN=14°-Eで調査区外南北に延びる。検出時に残存していた石組は一段で、自然石で構築される。上部構造は削平されたと考える。石組間の水路部分の現存する調査区内的規模は長さ6.96m、幅0.57m、深さ0.23mを測る。埋土は褐色砂質シルトである。主軸方向が共通する水溜状遺構4-SX3と連結し、その送水路であった可能性が考えられる。北側断面で直上に堆積する焼土層26層は炭化物・焼土を多量に含んでおり、出土した遺物の時期及びAMS年代測定の結果から1831年の大火、通称濱田焼の痕跡であると考えられる。4-SX40を掘削して構築されていることから、遺構の時期は18世紀後半と考えられる。

(2) 調査区北側大型遺構群 (4-SD1・SD60・SX40・SK110)

4-SD1 (第76～79図)

4区北端、AC4・5～AD4・5に位置する堀である。北東部分を2期、その他は3期に調査を行つた。調査区内で検出した遺構の範囲が部分的なため、規模形状等詳細は不明である。堀は北東・南北方向に主軸を持ち、西端は調査区外に延び、東端は屈曲し、南へ延びる可能性が高い。調査区内的規模は、長軸31.0m、短軸7.12m、深さ1.5mを測る。北壁及び東横断面観察の結果、重複する

溝4-SD60に削平されるとともに、標高約6.4mより上層の部分もまた、埋土の堆積状況および遺物の年代が大きく異なる別の遺構4-SX40に削平されることが確認できる。また東端底部には、4-SD1開削前の遺構と考えられる土坑状落ち込みを確認したことから、4-SK110とした。

本来の堀上部は、建物基礎による擾乱や4-SX40による削平を受けている。埋土は灰色シルト、黒褐色シルトなどを基調とし、焼土・炭化物を含む層（北壁14・43層）が厚く堆積する。当該層からの出土遺物の時期およびAMS年代測定の結果から、16世紀後半に起つた戦乱などによる大火に伴い堆積したものと考えられる。のことから開削され機能した時期は16世紀後半、埋め戻された時期は16世紀末～17世紀初と考えられる。遺物は須恵器、土師器、珠洲、越前、中国製陶磁器、中近世土師器、瀬戸美濃、瓦器のほか、焼塙壺・取鍋・焙烙鍋・磚等の土製品等が出土した。

4-SD60（第76～79・81図）

4区北端、AB5-AC4・5に位置する。西北西～東南東方向に主軸を持ち、西端は調査区外に延びる溝で、堀または区画溝の可能性が高い。調査区内での規模は、長軸約18m、短軸約5.7m、深さ1.5mを測る。建物基礎による擾乱、4-SX40による削平が著しく、検出面での平面形の確認ができなかつた。遺構の形状は北・南・東の断面と底面形状による推定復元である。

断面観察の結果、東の横断面では黄灰色シルトを基調とする埋土がややレンズ状に堆積するが、調査区北壁断面では西側からの斜堆積が確認できることから、西側からの埋め戻しが行われたと推定できる。溝の上部は、4-SD1同様、建物の擾乱や4-SX40の削平を受けている。断面構造は、北側が中段から上の角度が緩くなる二段構造を呈する。東横断面下層8層最下部には、1m四方以上の範囲に拡がる網代状の木質材が確認でき、その中から中近世土師器、唐津、京焼系陶器、箸など17世紀後半の遺物が出土した。のことから、1661年の富山城改修の頃に開削され、17世紀後半に機能し、17世紀末～18世紀初までに埋められたと考える。時期は重複関係にある4-SX5より古く、4-SD1より新しい。遺物は越前、中国製陶磁器、中近世土師器、越中瀬戸、瀬戸美濃、唐津・伊万里等肥前系陶磁器のほか、焼塙壺・取鍋・土人形・焙烙鍋・磚等の土製品、箸・円形版等木製品、煙管等金属製品が出土した。

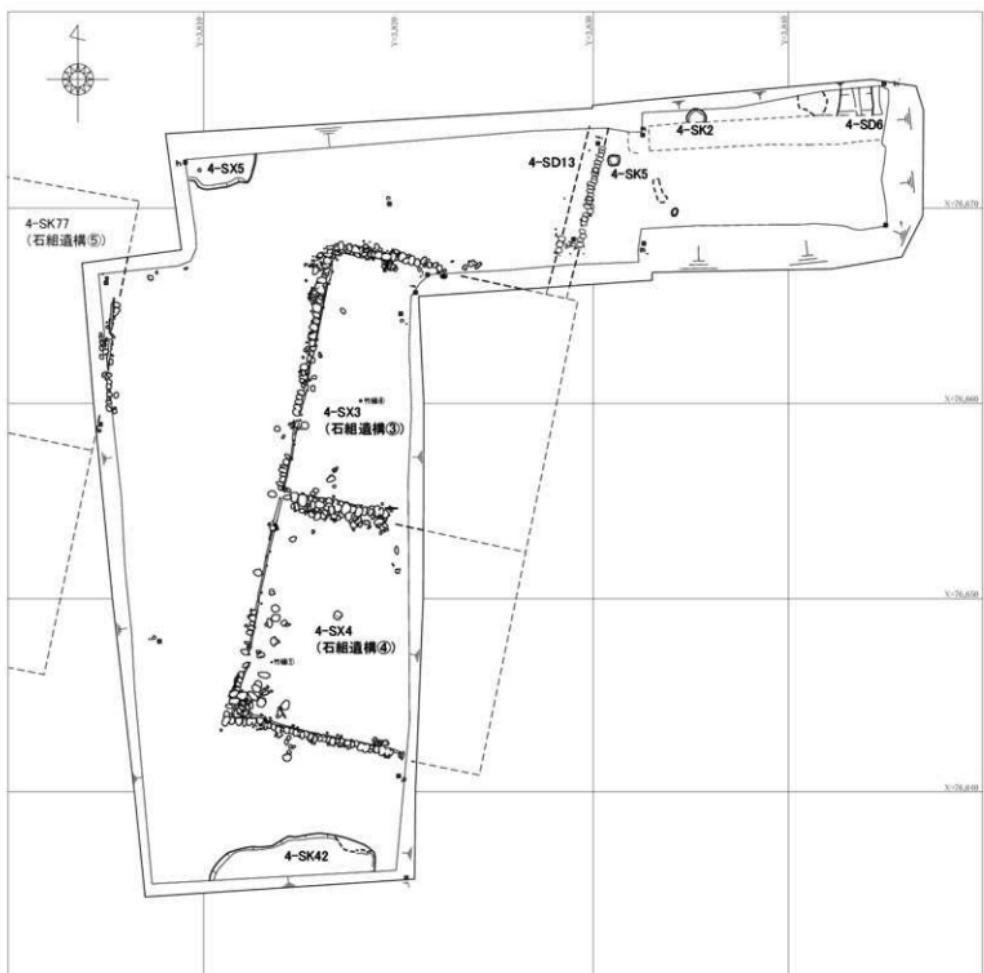
4-SX40（整地層）（第76～79図）

4区北端、AB5-AC4・5に位置する近世富山城の整地痕跡である。おもに4-SD1・SD60等の開削と埋立を繰り返したことによって生じた地盤の泥地化や凹地化した地形に施された整地の痕跡と考えられ、2区などでも同様の痕跡が確認できた。北壁断面観察の結果からは、L=約6.4mで、4-SX40の下に存在する4-SD1・60を水平に削平していることが確認できる。

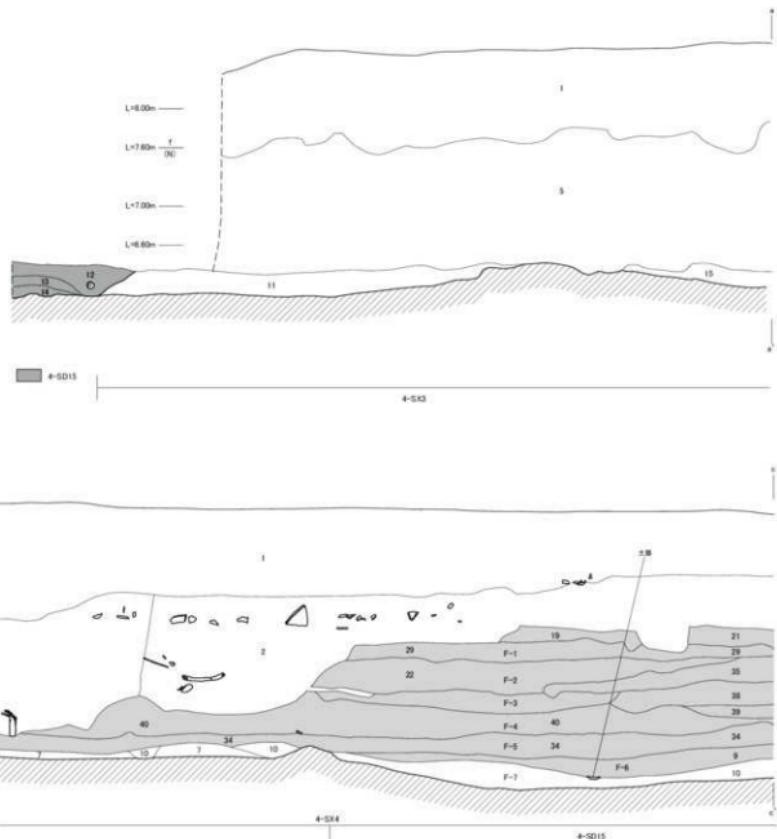
このレベルから、この遺構上に構築された石組水路4-SD13までに堆積した埋土は、整地層の埋土と考えられることから、4-SX40とした。遺構範囲が調査区外に拡がるため平面形および規模の詳細は不明である。重複関係にある4-SD1・60より新しく、4-SD13、4-SX3・5より古い。これらの遺構の時期から、整地が実施された時期は18世紀前半の可能性が高い。遺物は越前、中国製陶磁器、中近世土師器、越中瀬戸、瀬戸美濃、京・信楽系、唐津・伊万里等肥前系陶磁器などが出土した。

4-SK110（第76・77図）

4区北端調査区AD5に位置する土坑である。遺構の規模は北半分が調査区外のため不明であるが、長主軸約10m、短主軸約7.5m、深さ1.6mを測る。平面形は隅丸方形と考えられる。埋土は黒色粘土質シルトを基調とする。遺構の大部分が4-SD1により削平される。4-SD1と一連の遺構として調査を行つたため、明確な出土遺物は存在しない。当範囲出土の遺物として16世紀前半の中近世土師器や瀬戸美濃などが出土したことから、この時期の遺構の可能性が考えられる。

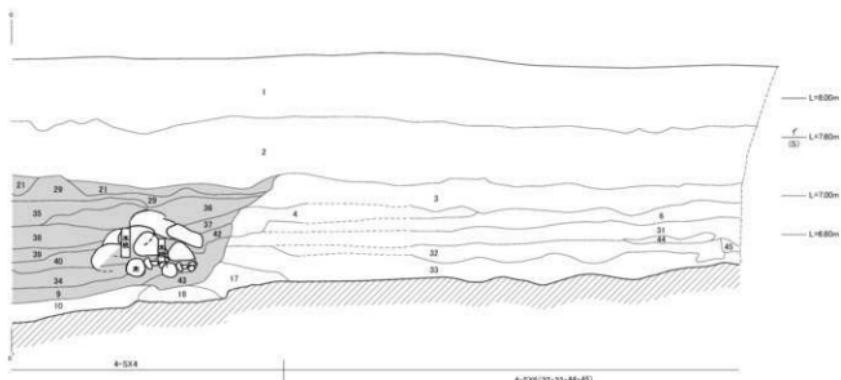
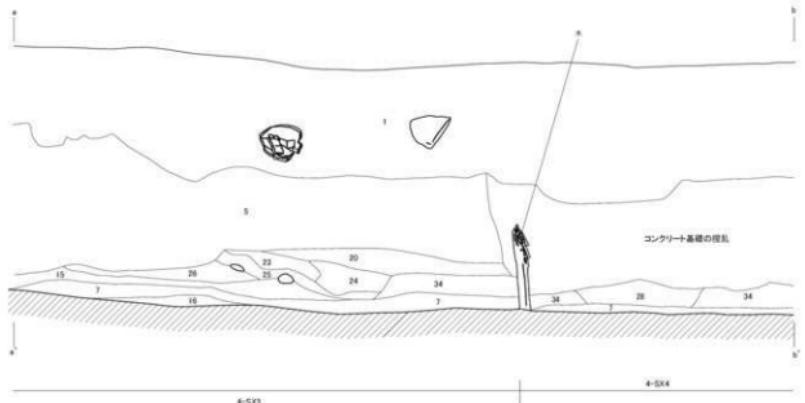


第69図 4区遺構図 1 4区上層検出遺構 (江戸時代 18世紀前半)

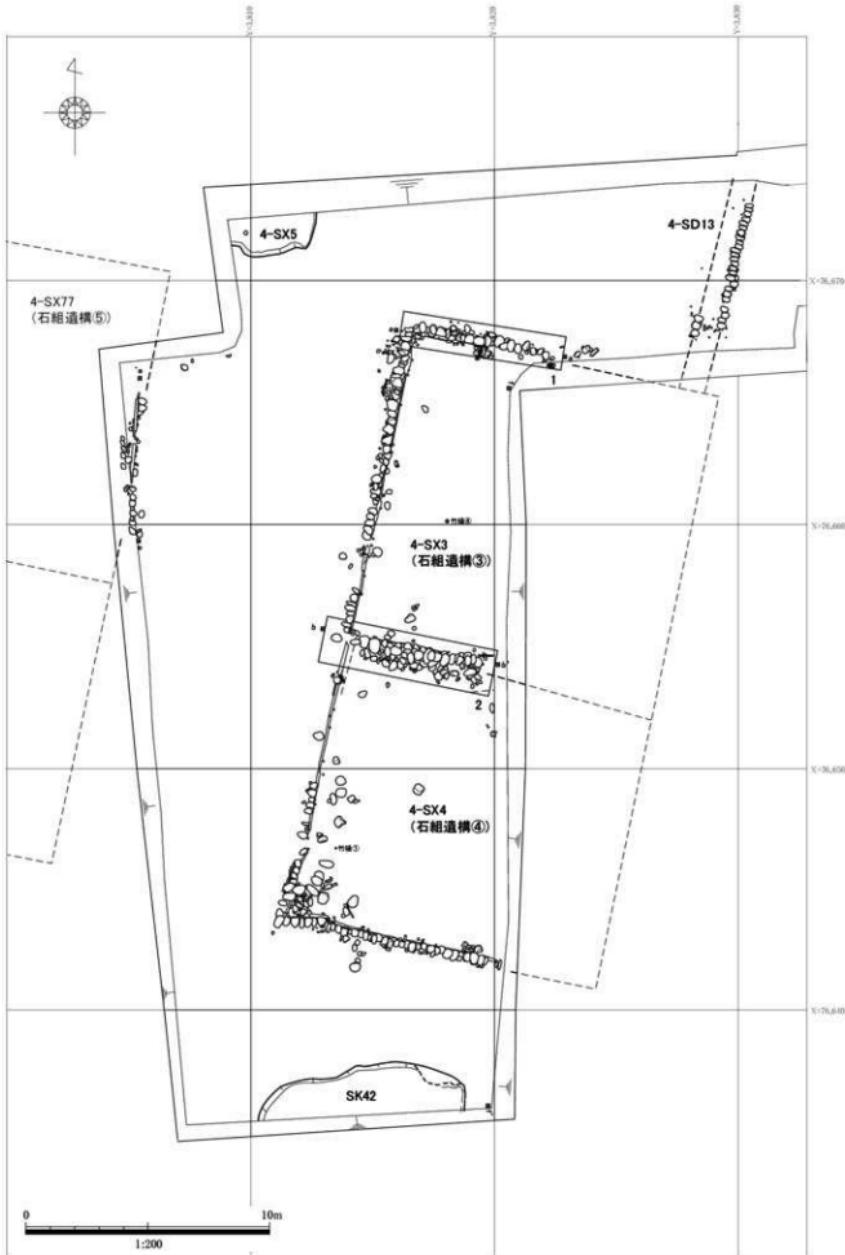


1. 2.5V/2 黄色～2.5V/2(2) 黄色砂积土 10YR4/1 黄褐色砂土 斑状に3~5%混入
 2. 2.5V/1 黄灰色砂积土 14. 2.5V/4(1) 黄灰色砂土 地山崩状(5~10%混入) 砂粉少量含む
 3. 2.5V/1 黄灰色砂积土
 4. 2.5V/1 黄灰色砂积土 小礁少量含む
 5. 2.5V/1 黄灰色砂积土 少量含む
 6. 10YR4/2 反黄色砂积土 7.5V/1 黄色砂土 斑状に5~10%混入
 7. 2.5V/1 黄灰色砂积土 少量含む しまり強い
 8. 2.5V/1 黄灰色砂积土 少量含む しまり弱い
 9. 5V/1 オーラン色砂积土 2.5V/1 黄反色的斑状に20~30%混入 しまり強
 10. 2.5V/1 黄灰色砂积土 2.5V/1 黄灰色砂积土 斑状に30~40%混入 しまり強
 11. 2.5V/4 黄灰色砂积土 小礁・地山崩状少量含む しまり強
 12. 2.5V/6(1) 黄灰色砂积土 A面に地山崩状に少量混入
13. 2.5V/3(1) 黄褐色砂积土
 14. 2.5V/3(1) 黄褐色砂积土 C(2.5V/7) 黄黄色砂积土 斑状に少量混入 混少量度
 15. 2.5V/3(1) 黄褐色砂积土
 16. 2.5V/4(1) 黄褐色砂积土 Lまで冲積
 17. 2.5V/4(1) 黄褐色砂积土 C(2.5V/1 黄灰色～2.5V/1 黄灰色砂积土) 斑状に30~40%混入 Lまで冲積
 18. 2.5G/1(1) リーフ白色砂积土 2.5V/2(1) 黑色私土質砂积土 斑状に20~40%混入
 19. 2.5V/3(1) 黄褐色砂积土 C(2.5V/7) 黄黄色砂积土 斑状に少量混入 混少量度
 20. 2.5V/4(1) 黄灰色砂积土 砂の層・植物体多量に混入
 21. 10YR5/1 黄灰色砂积土 硅少量含む 2.5V/7(2) 黄黄色砂积土 少量混入
 22. 2.5V/4(1) 黄灰色砂积土 2.5V/3(1) 黑褐色砂积土 斑状に3~5%混入
 23. 2.5V/3(1) 黄褐色砂积土 小礁少量含む しまり強
 24. 2.5V/2(1) 黄褐色砂积土 硅少量含む しまり強

第70図 4区構造図2 調査区東壁土層断面1/2 (4-SD15・58、SX3・4・6)



第71図 4区遺構図3 調査区東壁十層断面 1/2 (4-SD15・58、SX3・4・6)

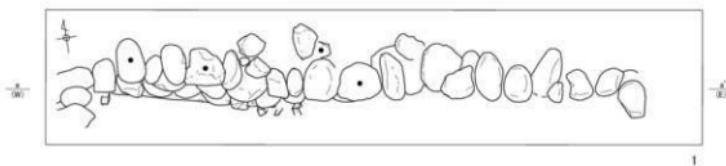


第72図 4区遺構図4 水溜状遺構検出状況（江戸時代18世紀前半）

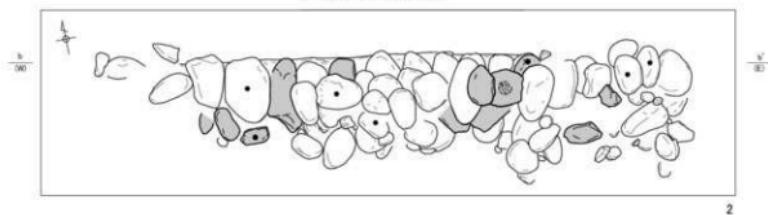
4-SX3 北側石組立面



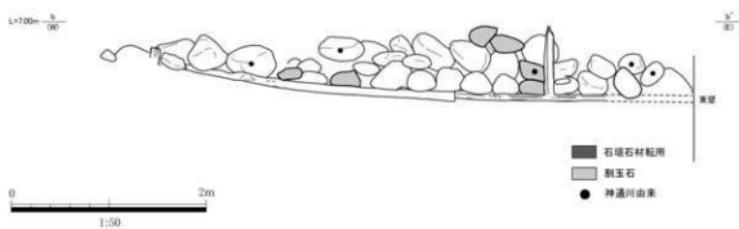
4-SX3 北側石組平面



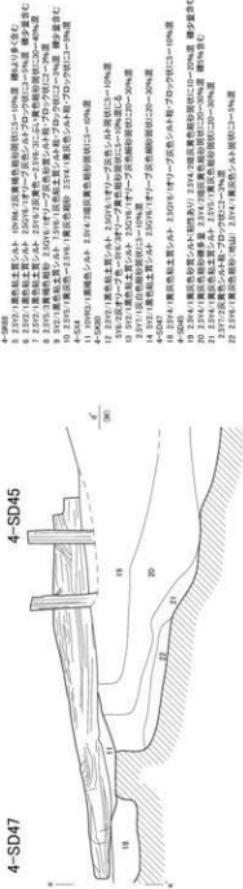
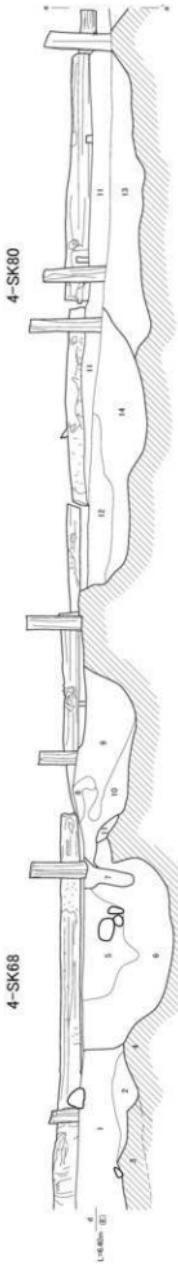
4-SX3・4 中央平面



4-SX3 中央石組立面



第73図 4区遺構図 5 SX3・4 石組検出状況図 遺構断面図



第74図 4区遺構図 6 4-SX4 南側木組構造・遺構断面図、西壁(4-SX77)断面図

- 116 -

4-SX5（第69・72図）

4区北西端AA5・AB5に位置する。調査区内の規模は、径2.7m、深さ0.57mを測る。調査区外に拡がるため、平面は不整形である。埋土は上層が黄灰色シルトを基調とする埋土、下層が砂礫を主体とする。4-SD60より新しい。遺物は越中瀬戸、伊万里、京・信楽系、近世陶器、瓦器が上部のシルト層から、五輪塔の火輪が下層の砂礫から出土した。

(3) 溝（SD）

4-SD15・70（第70・78・79・81図）

4区北側、AB・AC4に位置する。規模は幅約1.2m、深さ0.88m、長さ4.41mを測る。江戸時代の区画溝4-SD60と水溜状遺構4-SX3の間で検出した。東西に主軸方向を持つ溝で、東端は調査区外に延び、西端は4-SD79と連結する。主軸方向はN-70°-Wである。断面形状は逆台形状である。埋土は黒褐色シルトを基調とする2層で、ほぼ水平に堆積する。4-SD136、4-SX3北側掘方の直下に位置し、上部構造は削平されている。遺構の時期は15世紀前半である。遺物は珠洲、越中瀬戸、中国陶磁、伊万里等が出土した。17世紀後半～18世紀の遺物は、直上に位置する水溜状遺構4-SX3・4が構築された際の混入と考えられる。

4-SD16

4区北側、AB・AC4に位置する。規模は、幅1.15m、深さ0.66m、長さ7.70mを測る。主軸方向はN-86°-Wである。埋土は褐灰色シルトを基調とする。遺物は中・近世土師器、越中瀬戸、伊万里、肥前系、近世陶器が出土した。遺構の時期は近世である。

4-SD45・79（第82・85・87図）

4区AA1-AA4に位置する区画溝である。いずれも調査区を南北方向にほぼ継続しており、南端は調査区外に延びる。4-SD45の規模は、最大幅4.25m、深さ1.7m、長さ34.5mを測る。主軸方向はN-9°-Eである。4-SD45は、北端で東西方向の溝4-SD136と連結する。4-SD79の規模は、最大幅2.02m、35.0mを測る。主軸方向はN-5°-Eである。4-SD79は、北端で東西方向の溝4-SD15と連結する。遺構の大部分の範囲で、遺構の重複関係による影響、近現代の搅乱による削平を受けている。

埋土は4-SD45が暗灰黄色砂質シルト、4-SD79は黄灰色砂質シルトを基調とする。遺構の時期は4-SD45がより新しい。4-SD45は、重複関係にある4-SD51、SD57より新しく、4-SD52・58、SX3・4より古い。遺物は中世土師器、越前、中国青磁・白磁・青白磁、越中瀬戸、京・信楽系、唐津が出土した。4-SD45は16世紀の、4-SD79はそれ以前の遺構である。

4-SD47・57（第74・84・85・87図）

4-SD47は4区AB1・2に、4-SD57は4区AA3・AB3に位置する区画溝である。規模は、4-SD47が幅1.2m、深さ0.92m、推定長14.4mを測る。4-SD47の主軸方向はN-10°-Eである。南端は調査区外に延び、北は重複する4-SD58に削平される。4-SD57は幅0.82m、深さ0.78m、長さ8.7mを測る。主軸方向はN-76°-Wである。西端は調査区外に延び、東は重複する4-SD45、4-SX3・4等に削平される。埋土は黄色系砂・粗砂と黒褐色・褐灰色粘土質シルトが互層をなしていることから、機能していた時期には流水期と滞水期があったと考えられる。4-SX4の底面地山に4-SD47・SD57延長部分の最下部と考えられる浅い溝を検出した。また、主軸方向がほぼ直交しており、北東端で連結する可能性が高いことから、南西側を区画する同一の区画溝であったと考えられる。重複する4-SD58・SD45より古い。遺物は4-SD47から中国青磁、越中瀬戸、伊万里、近世陶器が出土したが、18世紀のものは混入である。遺構の時期は15世紀前半である。

4-SD51（第82図）

4区AA4・AB3・4に位置する区画溝または周溝である。調査区内での規模は幅1.45m、深さ0.35m、長さ4.12mで、南側にやや内湾する形状である。遺構上部および西側は搅乱に削平される。搅乱及び湧水により切り合い関係が不明瞭であるが、断面観察の結果、4-SD51の埋土が4-SD45・4-SD79により削平されていることから、4-SD45より古いと考える。遺構の時期は16世紀前半である。遺物は中・近世土師器、越前が出土した。

4-SD52（第83・87図）

4区AA3・AB3に位置する区画溝である。規模は、調査区内で最大幅約2.6m、深さ0.72m、長さ約6mを測る。主軸方向はN-79°-Wで、西端は調査区外に延び、東は4-SX3・4に削平される。また遺構の規模・主軸方向・遺構底面レベル等の共通性から、2-SD470（新）とつながる可能性が高い。重複する4-SE44より新しい。遺物は出土していない。

4-SD54（第87図）

4区北、AB4に位置する。規模は、幅0.96m、深さ0.45m、長さ2.62mを測る。主軸方向はN-75-Wである。埋土は黄灰色シルト・灰色シルトを基調とする。遺物は中国染付、伊万里が出土した。4-SP95・96より新しく、4-SD45より古い。

4-SD58（第70・86図）

4区南、AA2・3-AB2に位置する堀である。規模は、幅4.5m、深さ1.08m、調査区内での長さ14.7mを測る。主軸方向はN-75°-Wで、東西両端は調査区外に延びる。黄灰色砂質シルトを基調とする埋土が厚く堆積している。時期は4-SD45・79より新しく、4-SK37、SX4より古い。遺構の時期は17世紀中頃である。遺物は中・近世土師器、珠洲、瀬戸美濃、京・信楽系、伊万里、銅錢（開元通宝）、木製品等が出土した。

4-SD70（第81図）

4区北、AB4に位置する溝である。多くの遺構と重複関係があるため、本来の規模は不明である。主軸方向が東西で、主軸方向が南北の溝4-SD79と連結し東側調査区外に延びる。埋土は黄色砂質シルトを基調とする。遺物は志野、越中瀬戸、伊万里が出土した。

4-SD89（第86図）

4区中層で検出した溝である。調査区南、AA2に位置する。規模は、幅0.41m、長さ2.06m、深さ0.20mを測り、西側調査区外に延びる。主軸方向は東西だが屈曲している。埋土は黄灰色シルトを基調とする。4-SD45より古く、SK90より新しい。遺物は伊万里が出土したが、遺構上部を削平する近代以降の木柵の遺物の混入である。遺構の時期は16世紀以前である。

（4）井戸（SE）

4-SE44（第82・83図）

4区中央やや西、AA3に位置する石組井戸である。掘り方で径3.9m、深さ1.39mを測る。平面は円形を呈する。現存する石組は、西側が4段、東側は最下部のみ1段で、上部構造は4-SD52により削平される。石材は川原石のほか、五輪塔の水輪・火輪などを転用していた。遺物は珠洲、越中瀬戸が出土した。遺物の時期は15世紀後半である。遺構の時期は15世紀である。

4-SE87（第81図）

4区AC5に位置する石組井戸である。検出時、掘り方の最大径が2.18m、深さ0.73mを測る。平面は推定円形である。遺構上部構造は搅乱により削平されており、下部構造の石組が西側のみ1段残存する。石組は川原石で構築される。掘り方の埋土は黄灰色砂質シルト、井戸側痕内側の埋土は暗オリーブ灰色シルト質土を基調とする。遺物は中世土師器皿が出土した。4-SD60より古い。遺構の時期は15世紀である。

4-SE101（第81図）

4区AB4・5に位置する。直径1.01m、深さ1.01mを測る。平面は円形を呈する。埋土はほぼ水平堆積で、下層に暗オリーブ灰色シルト質土、上部に礫とブロック状に地山が混じる黄灰色シルトが堆積する。下層埋土は自然堆積、上層は埋め戻しの可能性が高い。遺構上部は搅乱により削平されており、下部構造のみ残存する。構築材はみられず、素掘井戸である可能性が高い。遺物は中世土師器のほか、埋土下部ではほぼ原形をとどめていない漆器碗が出土した。中世土師器の時期は15世紀である。4-SD15、4-SD136より古い。遺構の時期も15世紀である可能性が高い。

（5）他の土坑群（SK・SX・SP）

4-SK37（第86図）

4区AA2に位置する半円形の土坑で、西側は調査区外に拡がる。規模は幅1.76m、長さ2.62m、深さ0.64mを測る。平面は推定楕円形である。黄灰色シルトを基調とする埋土がほぼ単層で堆積しており、廃棄時に埋め戻されたものと考えられる。遺物は珠洲、近世土師器、銅錢（開元通宝）、伊万里、不明木製品が出土した。北側で重複関係にある4-SD58より新しい。遺構の時期は17世紀中頃以降である。

4-SK42（第69・85図）

4区AB1に位置する大型の土坑である。調査区内の規模は長軸約7.5m、短軸2.25m、深さ0.70mを測り南側調査区外に拡がる。平面は不整形である。埋土は、上層は炭化物がブロック状に多く混じる黒褐色シルト、下層は灰色砂質シルトを基調とする。上層を中心に遺物が大量に含まれており、遺物の廃棄土坑と考えられる。遺物は中世土師器、越中瀬戸、瀬戸美濃、中国白磁・染付、京・信楽系、唐津、伊万里、近世陶器が出土し、なかでも越中瀬戸素焼皿が多い。重複する4-SD47、4-SK59より新しい可能性が高い。遺構の時期は18世紀代である。

4-SK53（第87図）

4区中層で検出した土坑である。調査区北側、AB4に位置する。規模は、径1.2m、深さ0.72mを測る。平面は円形である。埋土は黄灰色シルトを基調とする。遺物は中・近世土師器が出土した。遺構の時期は16世紀である。

4-SK56

4区中層で検出した土坑である。調査区北側、AA4に位置する。規模は、長径2.68m、短径2.08m、深さ0.62mを測る。平面は楕円形である。埋土は黄灰色シルトを基調とし、地山が粒・斑状に混じる。遺物は信楽が出土した。4-SX77より古い。遺構の時期は18世紀前半である。

4-SK68（第74・84図）

4区中層で検出した土坑である。規模は、長軸3.55m、短軸3.60m、深さ0.86mを測る。平面は推定隅丸方形である。埋土は黄灰色シルトを基調とし、下層埋土には地山が斑状に多量に混じる。遺物

は越中瀬戸、伊万里が出土したが、混入の可能性が高い。4-SX3・4、6より古い。遺構の時期は16世紀末～17世紀初頭である。

4-SK92（第75図）

4区中層で検出した土坑である。規模は、長径2.12m、短径2.00m、深さ0.53mを測る。平面は推定楕円形である。埋土は灰色砂質シルトに黄灰色シルトが斑状に多量に混じる。遺物は中・近世土師器、瀬戸美濃、京・信楽系が出土した。4-SD45より古い。遺構の時期は16世紀である。

4-SK102（第87図）

4区AA3-AB3に位置する楕円形の土坑である。長径1.35m、短径0.94m、深さ0.81mを測る。平面は楕円形を呈する。下層が褐色シルト、上層が灰色砂質土を基調とする埋土がほぼ水平に堆積する。埋土に地山がブロック状に混じり、固く縮まっていることから、人為的に埋められたと考えられる。遺物は中世土師器が出土した。4-SD57より古い。遺構の時期は15世紀である。

4-SK59（第84図）

AB1東側に位置する円形の土坑である。径約2.3m、深さ0.75mを測る。平面は楕円形を呈する。埋土は黒褐色砂質シルトを基調とする。遺物は唐津と越中瀬戸が出土した。重複する4-SX6より新しく、4-SK42より古い。遺構の時期は17世紀後半である。

4-SP12

4区上層で検出した柱穴である。規模は、径0.38m、深さ0.07mを測る。平面は円形である。埋土は褐灰色砂質シルトで、小礫が多量に含まれる。遺物は信楽が出土したが、重複する4-SD45の遺物の可能性がある。4-SD45より新しい。遺構の時期は18世紀以降である。遺物のみ掲載した。

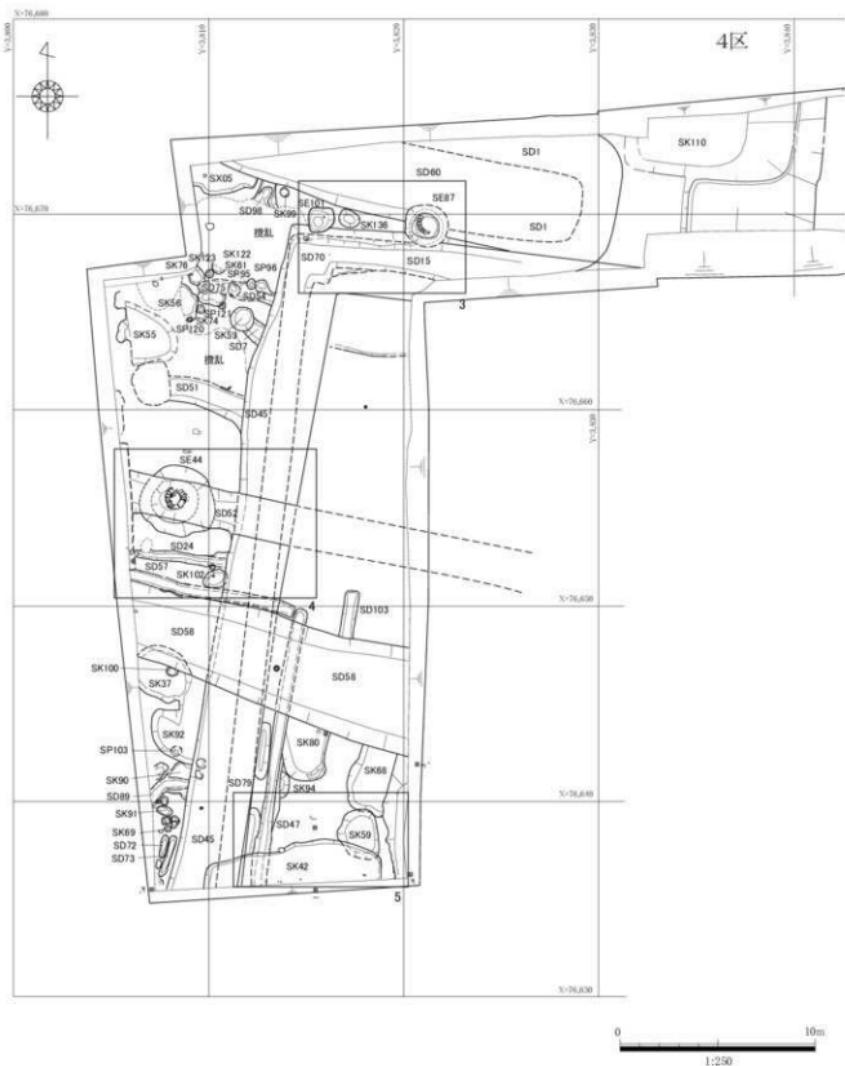
4-SP28

4区上層で検出した柱穴である。規模は、径0.5m、深さ0.12mを測る。平面は円形である。埋土は褐灰色砂質シルトで、小礫が多量に含まれる。遺物は瀬戸美濃、唐津が出土したが、重複する4-SK80の遺物の混入の可能性が高い。4-SK80より新しい。遺構の時期は19世紀以降であるため、遺物のみ掲載した。

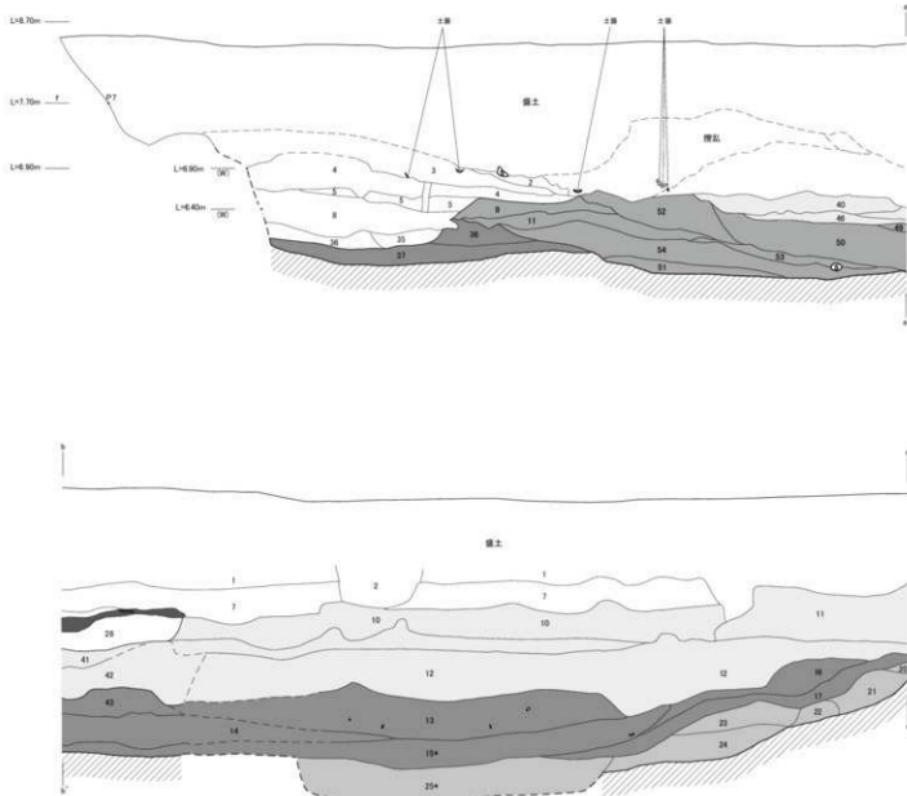
4-SX6（第71図）

4区下層で検出した不明遺構である。遺構の性質は溝の可能性が高い。調査区南東端、AB1に位置する。規模は、長軸4.92m、短軸1.20m、深さ0.54mを測る。主軸方向は南北である。埋土は黄灰色砂質シルトを基調とする。4-SK68、4-SX3・4より新しい。遺物は越中瀬戸、唐津が出土した。

（朝田）



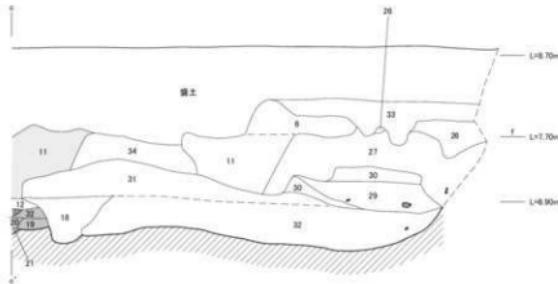
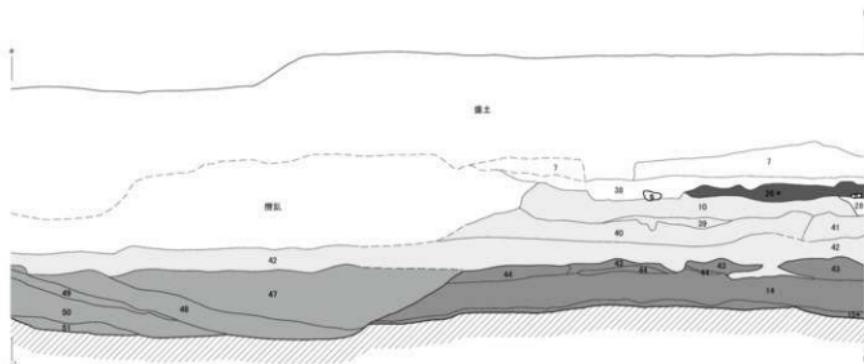
第75図 4区遺構図9 下層遺構平面図 *遺構集中箇所があるため、遺構Noの"4-"は省略



- 1 10YR4/1褐色灰色シルトに細土部分的に混
2 23YV/1褐色灰色シルト
3 23YV/1褐色灰色シルトに細土・鉄化物少量、鉄少量含む
4 23YV/1褐色灰色シルトに細土・鉄化物少量含む
5 23YV/1褐色灰色シルトに5YR2/2灰青色砂混付(2-10%混) 鉄化物・礫多く含む しま少強
6 10YR3/1褐色灰色シルトに細土・鉄化物少量含む
7 23YV/1褐色灰色シルトに細土・鉄化物・鉄少量含む
8 23YV/1褐色灰色シルト
9 23YV/1褐色灰色シルトに細土・鉄少量含む
10 10YR5/1褐色灰色シルトに鉄多量含む
11 10YR4/1褐色灰色シルトに5YR2/2灰白色→23YV/2灰青色シルト粒・ブロック状に2-3%混
12 10YR4/1褐色灰色シルトに鉄少量含む
13 23YV/2褐色灰色砂質シルトに鉄化物・鉄少量含む
14 23YV/1黒褐色シルトに細土・鉄化物少量、鉄少量含む しま少強
15 23YV/1黒褐色シルト(2-3%混) 黒褐色鉄少量含む
16 23YV/1黒褐色シルトに23YV/2灰青色砂混付(2-3%混) 鉄化物・鉄少量含む
17 23YV/1黒褐色シルトに鉄少量含む しま少強
18 23YV/1黒褐色シルト(2-3%混) 10YR4/1褐色シルト粒・ブロック状(2-3%混) 23YV/1褐色灰色砂質状に20-30%混
19 23YV/1黒褐色シルトに23YV/2灰青色鉄少量含む
20 23YV/1黒褐色シルトに23YV/2灰青色鉄少量含む
21 23YV/1黒褐色シルトに23YV/2灰青色鉄少量含む(2-3%混) 鉄少量含む
22 23YV/1黒褐色シルトに23YV/2灰青色鉄少量含む(2-3%混) 鉄少量含む
23 23YV/1黒褐色シルトに23YV/2灰青色鉄少量含む(2-3%混) 鉄少量含む
24 23YV/1黒褐色シルトに23YV/2灰青色鉄少量含む(2-3%混) 鉄少量含む

- 4-SD1
 ■ 4-SD60
 ▨ 4-SX40
 ▨ 4-SK10
 15+25* 自然科学分析(珪藻・花粉)試料

第76図 4区遺構図8 北壁断面1/2 (4-SD1・60・110、4-SX40)

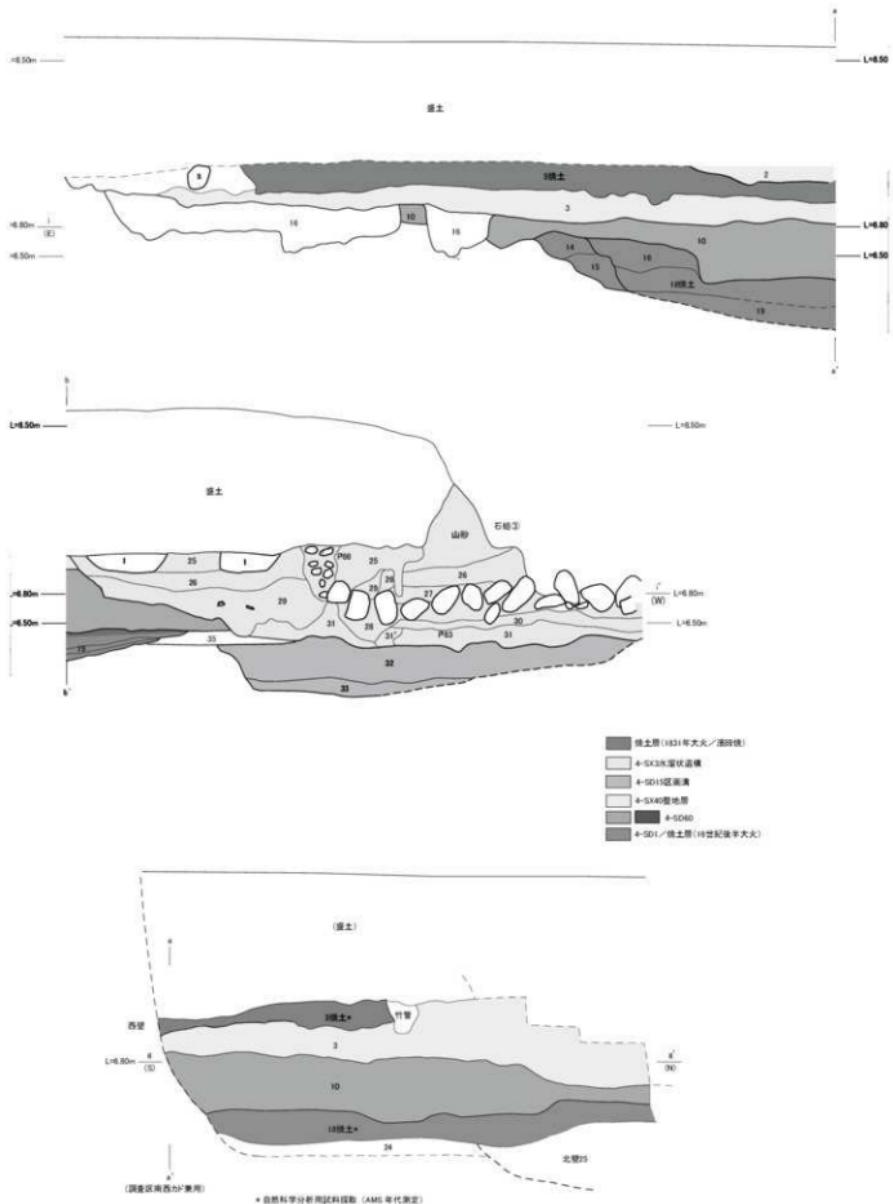


- 24 10YR4/2反葉緑色砂質シルトに砂層・粘土少量含む
 25 25Y2/1黒色粘土質シルトに礫・粘土物少量
 26 10Y9/0/1黒褐色シルトに礫土・炭化物・礫多量に混(AMS年代測定)
 27 10Y9/4/1反葉緑色砂質シルトに灰化物・粘土・礫少量含む
 28 10Y9/4/2反葉緑色砂質シルトに灰化物・粘土・礫少量含む
 29 10Y9/4/3反葉緑色砂質シルト/10Y9/4/4褐色砂質シルト斑状に20~30%混 灰化物やや多く含む
 30 10Y9/4/5褐色砂質シルトに泥炭 やや多く含む
 31 10Y9/4/6褐色砂質シルト
 32 10Y9/4/7褐色砂質シルト・礫・粘土少量含む
 33 10Y9/3/2黒褐色砂質シルトに炭化物・粘土少量含む
 34 10Y9/4/2反葉緑色砂質シルトに炭化物・粘土少量含む
 35 25Y7/7/1反葉緑色シルトに礫・粘土少量含む
 36 25Y7/7/1黄灰色粘土質シルトに礫少量含む

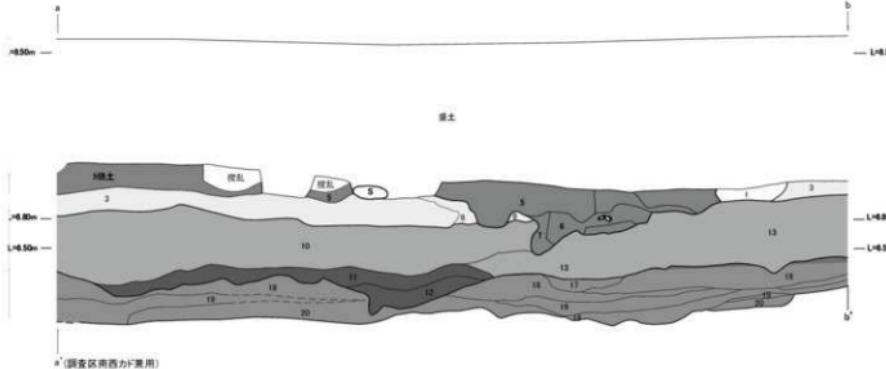
- 37 10YR4/1褐色灰化シルトに斑状・礫少~70%含む
 38 10YR3/1黒褐色シルトに礫土・灰化物・礫少量含む
 39 10YR5/1褐色灰化シルトに斑状・礫少量含む
 40 10YR5/2褐色灰化シルトに斑状・礫少量含む
 41 25Y4/1黄灰褐色シルト/やや含む
 42 25Y6/1黄灰褐色シルト/25Y7/1灰白色シルト斑状に10~20%混 灰化物・礫少量含む
 43 25Y3/1褐色灰化シルトに礫・灰化物多量・礫少量含む(しまり隙)
 44 25Y3/2褐色灰化シルトに礫・灰化物多量・礫少量含む
 45 25Y6/1黄灰褐色シルト/25Y7/1灰白色シルト斑状に10~20%混 灰化物・粘物やや多く含む
 46 25Y6/1黄灰褐色シルト/25Y7/1灰白色シルト斑状に10~20%混 灰化物・粘物やや多く含む
 47 25Y5/1黄灰褐色シルトに礫少量含む
 48 25Y5/2黄灰褐色シルト/25Y7/1灰白色シルト斑状に10~20%混 灰多量に含む 灰化物少量含む
 49 25Y4/1黄灰色粘土質シルト/25Y7/1灰白色少量含む
 50 25Y4/1, 黑反葉緑色粘土質シルト/25Y7/1灰白色砂質泥炭 灰多量に含む
 51 25Y5/1黄反葉緑色シルトに礫少量含む L壁裏側
 52 25Y5/2黄反葉緑色シルトに礫少量含む
 53 25Y4/1黄反葉緑色シルトに礫物・礫・灰少量含む
 54 25Y5/1黄反葉緑色シルトに礫や多量に含む



第77図 4区構造図9 北壁断面 2/2 (4-SD1・60・110、4-SX40)

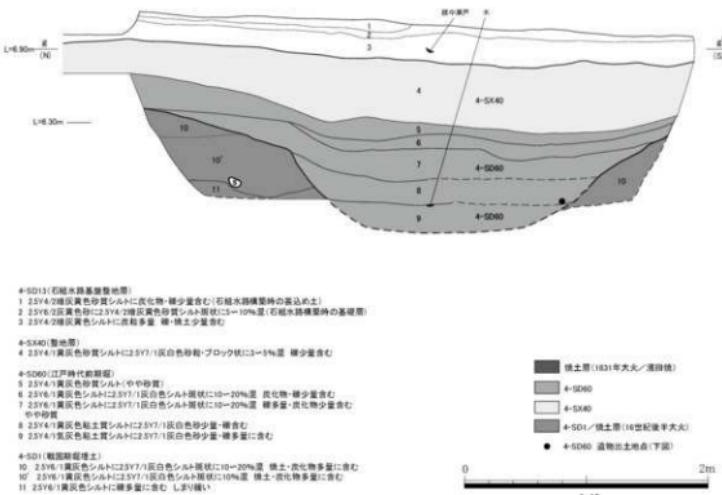


第78図 4区遺構図10 4-SD1・15・60、SX3・40、焼土層

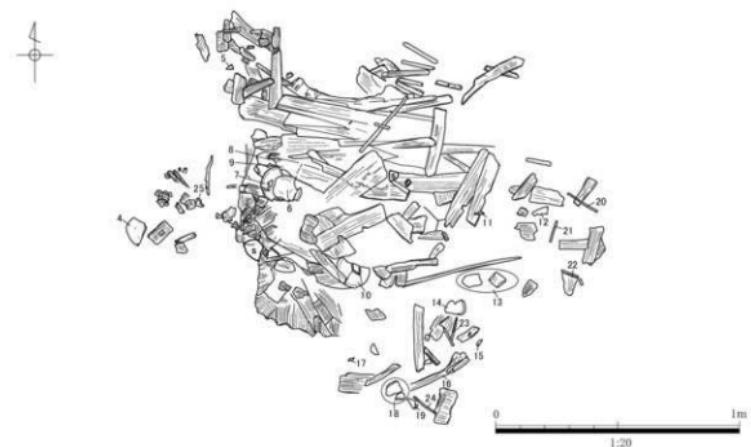


第79図 4区造構図11 4-SD1・15・60、SX3・40、焼土層

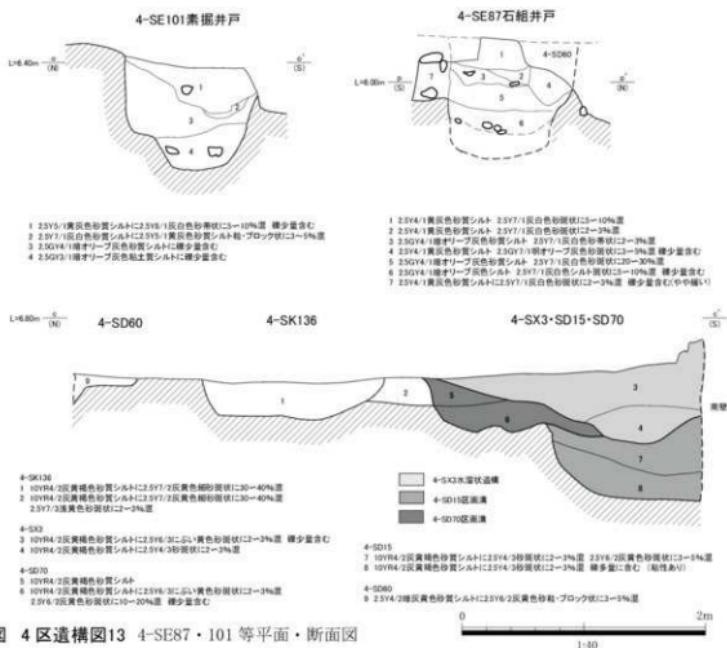
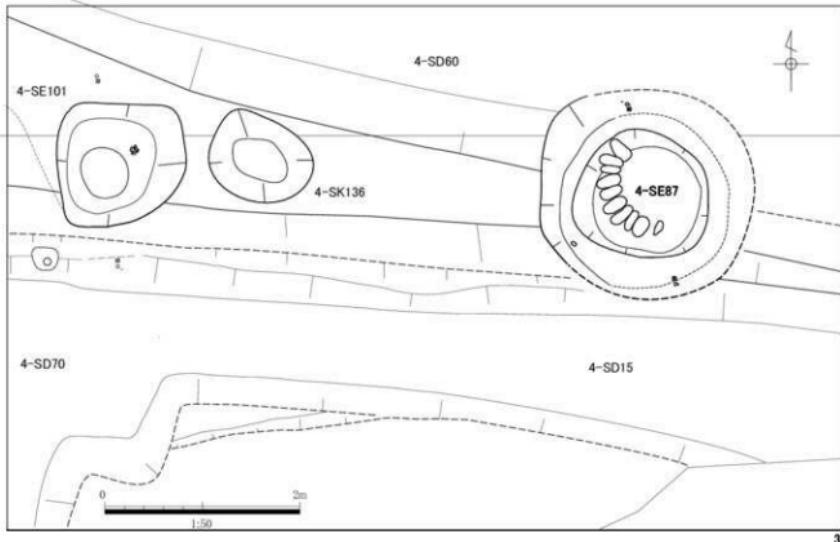
4-SD13・SX40・SD60



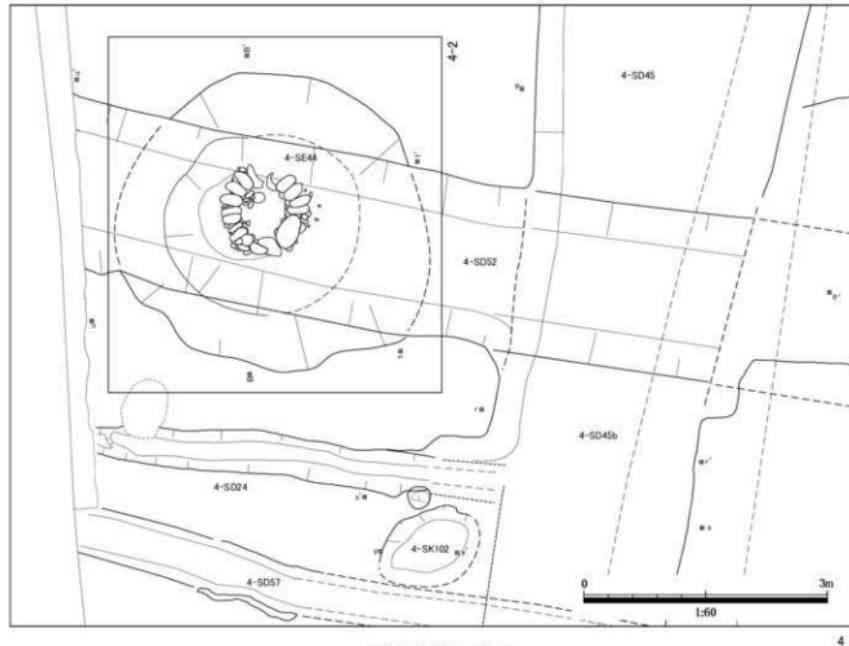
4-SD60遺物出土状況(取上No.4~25)



第80図 4区遺構図12 4-SD1・60・SX40断面・4-SD60 遺物出土状況図



第81図 4区遺構図13 4-SE87・101等平面・断面図



4-SX3
7 2.5YR/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色細砂岩]に3-5%混
8 10YR4/1褐灰色粉質シルトに纏多量に含む
9 2.5Y5/2浅灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色シルト層]に3-5%混

4-SD45-51・79, 4-SX3・4
L=100m $\frac{1}{(W)}$

4-SD45
1 2.5Y5/2暗灰色粉質シルト [2.5Y7/1灰黄色粉質シルト]
2 2.5Y5/2暗灰色粉質シルト [2.5Y7/1灰黄色粉質シルト]層底 [2-3%], 2.5Y5/3[2-3%]黄灰色粉質シルト層底 [2-3%]
3 2.5Y5/2暗灰色粉質シルト [2.5Y7/1灰黄色粉質シルト]層底 [2-3%], 2.5Y7/2灰黄色シルト [2-3%]層底 [2-3%]
4 2.5Y4/1灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色シルト]層底 [2-3%]
5 2.5Y4/1灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色シルト]層底 [2-3%]

4-SD57
2 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色シルト]層底 [2-3%]
SD54
6 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色シルト]層底 [2-3%]

L=10m $\frac{1}{(W)}$

4-SD45-79b
L=7.70m $\frac{1}{(W)}$

4-SD45
1 2.5Y4/2暗灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
2 2.5Y4/2暗灰黄色シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
3 2.5Y5/2暗灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
4 2.5Y5/2暗灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
5 2.5Y5/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/1灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
6 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/1灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
7 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/1灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
8 2.5Y4/1灰黄色粉質シルト [2.5Y7/1灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
9 2.5Y4/1灰黄色粉質シルト [2.5Y7/1灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混

4-SD79
L=6.70m $\frac{1}{(W)}$

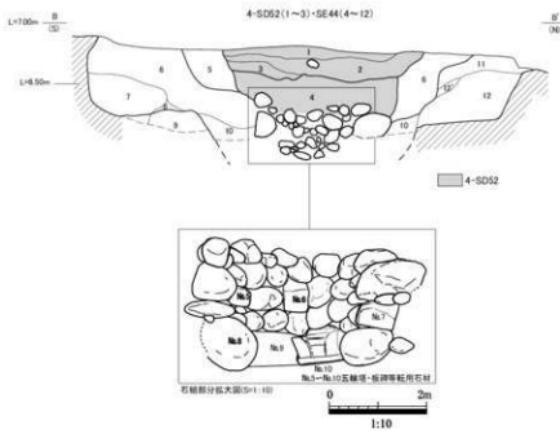
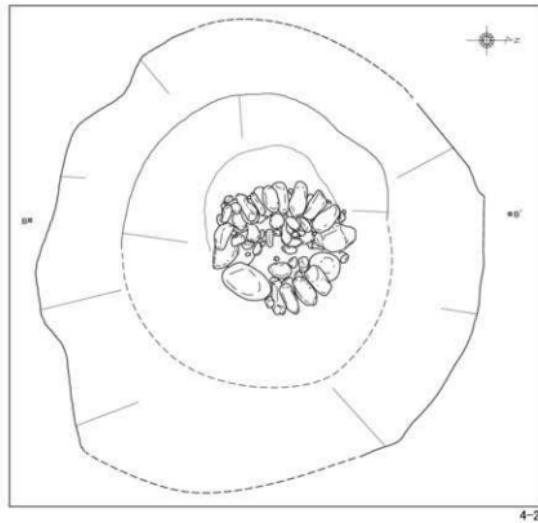
4-SD45-79c
L=7.70m $\frac{1}{(W)}$

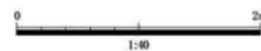
4-SD45
5 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
6 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
7 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
8 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
9 2.5Y4/2暗灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
10 2.5Y4/2暗灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
11 2.5Y5/2暗灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混
12 2.5Y4/2暗灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [30%混

1 7.5YR4/1褐灰色粉質 [2.5Y5/1黄灰色粘土]・ブロック状 [3-5%混 粘土・液化物・小礫・砂
2 2.5Y4/2暗灰黄色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [3-5%混
3 2.5Y4/1黄灰色粉質シルト [2.5Y7/2灰黄色粉質シルト]・ブロック状 [3-5%混 粘土・液化物・小礫・砂
4 2.5Y4/2暗灰黄色粉質シルト

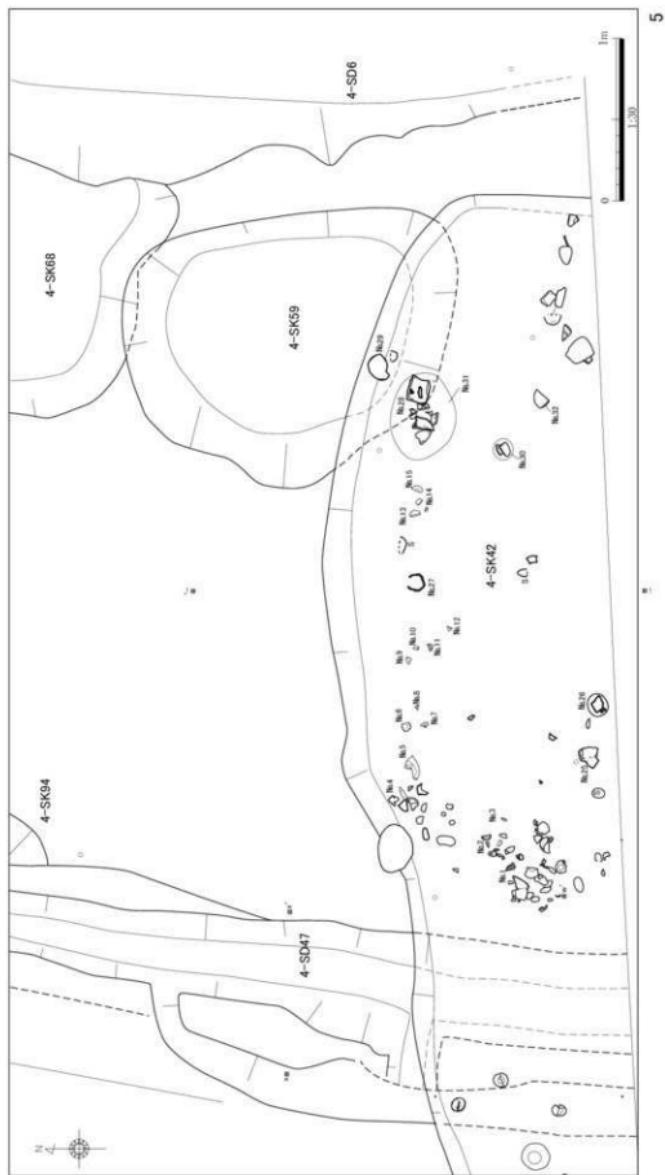
第82図 4区遺構図14 4-SE44等平面図・

4-SD45・79・51・52, SE44, SK102断面図

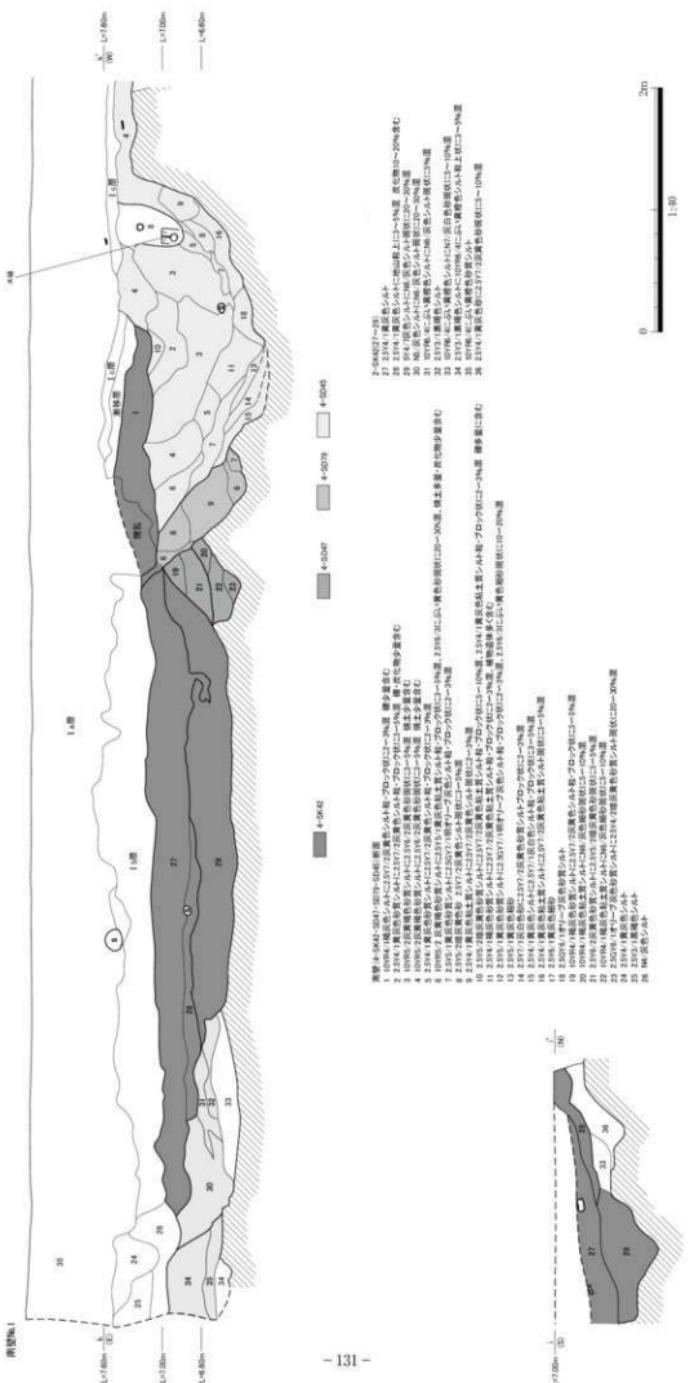




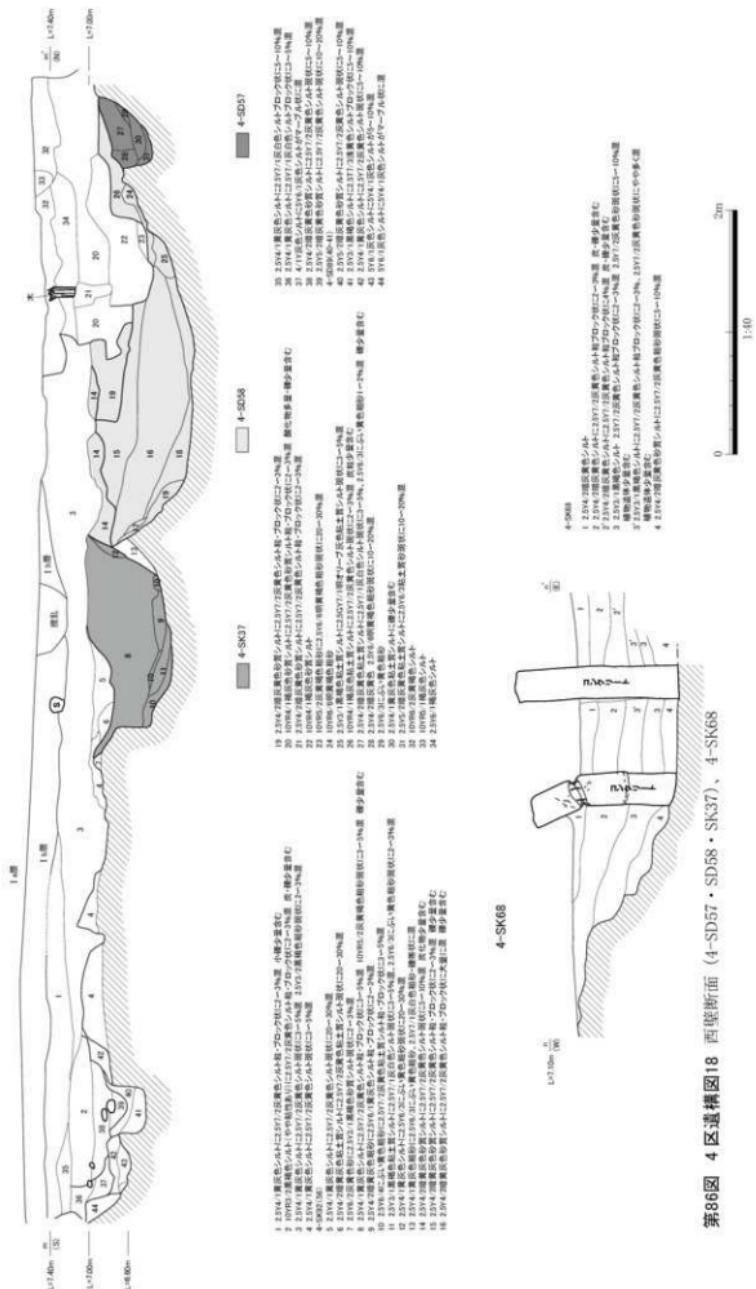
第83図 4区遺構図15 4-SE44 平面・断面、SD52 断面



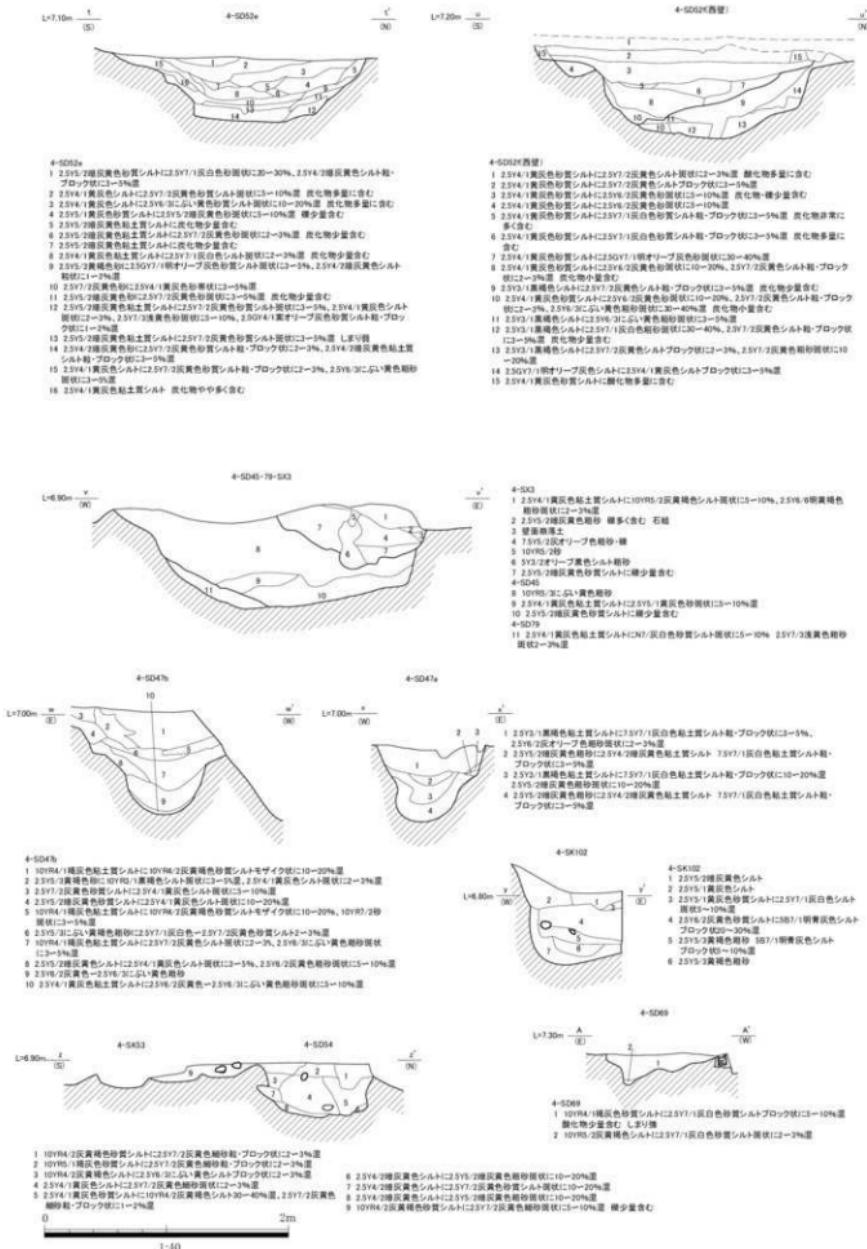
第84図 4区遺構図16 4区南端平面図



第85図 4区遺構図17 南壁 (4-SK42・SD47・SD79・SD45)



第86図 4区遺構図18 西壁断面 (4-SD57・SD58・SK37)、4-SK68



第87図 4区遭難者図19 (4-SD52a・f 西壁、 SD45・79・SX3、 SD47a・b、 SK102、 SD54、 SD69)

第2表 道構一覧表(1)2区

※1は測量の測定点、注記()は測量の内訳點。注記()は測量の内訳點または改修箇所。※2一律走上、道構の小切込を含む場合は“+”、省略する場合は“-”。複数のSPLの場合は、SPL・SPL間を削除する前に、その中の最小SPLを示す。

測量点(+)2		測量点(+)2										測量点(+)2		測量点(+)2		
測量点	地盤	高さ		幅員		勾配		高さ		幅員		勾配		高さ		
		段	分	m	m	段	分	m	m	段	分	段	分	m	m	
SH. 1	1	-	16	15	1.1	-	1.53	1.53	1.56	0.25	1.75-1.80	-	1.75-1.80	1.75-1.80	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 2	-	-	16	15	1.1	-	1.53	1.53	0.26	-	1.75	-	1.75	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 3	-	-	16	15	1.1	-	2.2	1.91	0.17	-	1.75	-	1.75	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 4	-	-	16	15	1.1	-	2.3	0.42	0.32	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57	
SH. 5	-	-	16	15	1.1	-	2.36	1.86	0.12	-	1.75	-	1.75	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 6	1	-	16	15	1.1	-	0.79	0.43	-	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 7	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.49	0.49	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 8	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 9	1	-	16	15	1.1	-	1.36	1.22	-	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 10	1	-	16	15	1.1	-	0.8	0.59	0.59	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 11	1	-	16	15	1.1	-	1.29	1.10	-	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 12	1	-	16	15	1.1	-	0.6	0.51	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 13	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.51	0.63	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 14	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.57	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 15	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 16	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 17	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 18	-	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 19	-	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 20	-	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 21	-	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 22	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 23	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 24	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 25	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 26	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 27	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 28	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 29	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 30	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 31	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 32	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 33	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 34	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 35	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 36	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 37	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 38	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 39	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 40	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 41	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57
SH. 42	1	-	16	15	1.1	-	0.66	0.53	0.51	-	1.75-1.80	-	1.75-1.80	-	1.56-1.57	1.56-1.57

測量点(+)							測量点(-)			測量点(+)			測量点(-)			測量点(+)			測量点(-)			測量点(+)					
測量点	標高	緯度	經度	測量点	標高	緯度	經度	測量点	標高	緯度	經度	測量点	標高	緯度	經度	測量点	標高	緯度	經度	測量点	標高	緯度	經度	測量点	標高	緯度	經度
SH. 63	13	-	F4. 0	0	1.01	90. 60	0. 05	-	1.01	90. 60	0. 05	-	1.01	90. 60	0. 05	-	1.01	90. 60	0. 05	-	1.01	90. 60	0. 05	(SH. 63) > (SH. 63)			
SH. 64	14	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0. 37	0.07	0.52	90. 60	0. 37	-	0.52	90. 60	0. 37	-	0.52	90. 60	0. 37	-	0.52	90. 60	0. 37	(SH. 64) > (SH. 64)			
SH. 65	15	-	F4. 0	0	0.73	90. 60	0. 69	0.05	0.73	90. 60	0. 69	-	0.73	90. 60	0. 69	-	0.73	90. 60	0. 69	-	0.73	90. 60	0. 69	(SH. 65) > (SH. 65)			
SH. 66	16	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0. 31	0.14	0.52	90. 60	0. 31	-	0.52	90. 60	0. 31	-	0.52	90. 60	0. 31	-	0.52	90. 60	0. 31	(SH. 66) > (SH. 66)			
SH. 67	17	-	F4. 0	0	1.36	90. 60	1.01	0.05	1.36	90. 60	1.01	-	1.36	90. 60	1.01	-	1.36	90. 60	1.01	-	1.36	90. 60	1.01	(SH. 67) > (SH. 67)			
SH. 68	21	-	F4. 0	0	1.3	90. 60	0.98	0.05	1.3	90. 60	0.98	-	1.3	90. 60	0.98	-	1.3	90. 60	0.98	-	1.3	90. 60	0.98	(SH. 68) > (SH. 68)			
SH. 69	22	-	F4. 0	0	1.36	90. 60	2.65	0.05	1.36	90. 60	2.65	-	1.36	90. 60	2.65	-	1.36	90. 60	2.65	-	1.36	90. 60	2.65	(SH. 69) > (SH. 69)			
SH. 70	23	-	F4. 0	0	0.35	90. 60	0.65	0.15	0.35	90. 60	0.65	-	0.35	90. 60	0.65	-	0.35	90. 60	0.65	-	0.35	90. 60	0.65	(SH. 70) > (SH. 70)			
SH. 71	24	-	F4. 0	0	0.7	90. 60	0.8	0.15	0.7	90. 60	0.8	-	0.7	90. 60	0.8	-	0.7	90. 60	0.8	-	0.7	90. 60	0.8	(SH. 71) > (SH. 71)			
SH. 72	25	-	F4. 0	0	0.5	90. 60	0.66	0.15	0.5	90. 60	0.66	-	0.5	90. 60	0.66	-	0.5	90. 60	0.66	-	0.5	90. 60	0.66	(SH. 72) > (SH. 72)			
SH. 73	26	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.41	0.05	0.52	90. 60	0.41	-	0.52	90. 60	0.41	-	0.52	90. 60	0.41	-	0.52	90. 60	0.41	(SH. 73) > (SH. 73)			
SH. 74	27	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.65	0.05	0.52	90. 60	0.65	-	0.52	90. 60	0.65	-	0.52	90. 60	0.65	-	0.52	90. 60	0.65	(SH. 74) > (SH. 74)			
SH. 75	28	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.35	0.05	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	(SH. 75) > (SH. 75)			
SH. 76	29	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.66	0.05	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	(SH. 76) > (SH. 76)			
SH. 77	30	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.35	0.05	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	(SH. 77) > (SH. 77)			
SH. 78	31	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.66	0.05	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	(SH. 78) > (SH. 78)			
SH. 79	32	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.35	0.05	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	(SH. 79) > (SH. 79)			
SH. 80	33	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.66	0.05	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	(SH. 80) > (SH. 80)			
SH. 81	34	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.35	0.05	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	(SH. 81) > (SH. 81)			
SH. 82	35	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.66	0.05	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	(SH. 82) > (SH. 82)			
SH. 83	36	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.35	0.05	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	-	0.52	90. 60	0.35	(SH. 83) > (SH. 83)			
SH. 84	37	-	F4. 0	0	0.52	90. 60	0.66	0.05	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	-	0.52	90. 60	0.66	(SH. 84) > (SH. 84)			

透水性 (c/s)										透水性 (c/s)		透水性 (c/s)		透水性 (c/s)		透水性 (c/s)	
透水性 (c/s)	透水性 (c/s)	透水性 (c/s)	透水性 (c/s)	透水性 (c/s)	透水性 (c/s)	透水性 (c/s)	透水性 (c/s)	透水性 (c/s)	透水性 (c/s)								
SK. 85	85	-	-	-	E1	中	0.3	0.2	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-
SK. 86	-	-	-	-	E1	中	0.35	0.2	0.16	10C/10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 87	-	-	-	-	E1	中	0.34	0.19	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-
SK. 88	-	-	-	-	E1	中	0.23	0.2	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-
SK. 89	21	-	F3	中	0.5	0.5	0.62	10C/10B	-	P10B	中-低	±0.05±0.10	-	-	-	-	-
SK. 90	90	-	F3	中	0.5	0.43	0.37	10C/10B	-	P10B	土质	-	-	-	-	-	-
SK. 91	31	-	F3	中	0.5	0.35	0.25	10C/10B	-	P10B	稍高	-	-	-	-	-	-
SK. 92	-	-	E1	中	0.49	0.36	0.37	10C/10B~10D	-	P10B	中-低	±0.05±0.14~±0.16	-	-	-	-	-
SK. 93	31	-	E1	中	0.26	0.23	0.16	-	-	P10B	中-低	±0.05±0.21~±0.26	-	-	-	-	-
SK. 94	-	-	E1	中	1.13	0.7	0.5	-	-	P10B	中-低	±0.05	-	-	-	-	-
SK. 95	-	-	E1	中	0.32	0.13	0.08	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 96	-	-	E1	中	0.3	0.21	0.05	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 97	-	-	E1	中	0.25	0.11	0.15	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 98	21	-	F2+4	中	1.01	1.20	0.97	10C/10B~10D	-	P10B	中-低	±0.05±0.20~±0.27	-	-	-	-	-
SK. 99	大差	-	P3	中	-	-	-	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 100	100	-	H1	中	0.4	0.41	0.17	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 101	-	-	H1	中	0.33	0.09	0.25	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 102	-	-	G2	上中	0.34	0.2	0.3	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 103	-	-	H1	中	0.27	0.24	0.16	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 104	-	-	H1	中	0.33	0.27	0.11	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 105	-	-	H1	中	0.24	0.2	0.15	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 106	-	-	H1	中	0.36	0.33	0.22	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 107	-	-	H1	中	0.84	0.79	0.25	10C/10B~10D	-	P10B	中-低	±0.05±0.20~±0.26	-	-	-	-	-
SK. 108	-	-	H1	中	1.05	1.36	0.14	10C/10B~10D	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 109	-	-	H1	中	0.55	0.06	0.11	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 110	-	-	H1	中	0.39	0.49	0.09	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 111	-	-	H1	中	0.4	0.30	0.05	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 112	-	22	H1	中	1.0	0.74	0.13	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 113	-	-	G3	中	0.53	0.63	0.05	-	-	P10B	-	-	-	-	-	-	-
SK. 114	-	-	G2	中	0.22	0.22	0.23	10C/10B	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 115	4	-	G2	中	0.78	1.20	0.14	10C/10B	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 116	-	-	H1	中	0.27	0.72	0.17	10C/10B~10D	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 117	-	-	H1	中	1.18	0.11	0.22	10C/10B~10D	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 118	-	-	H1	中	1.15	1.07	0.74	10C	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 119	-	-	G3	中	0.6	0.53	0.2	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 120	-	-	G3	中	0.72	0.78	0.59	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 121	-	-	H1	中	0.34	0.43	0.3	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 122	-	-	H1	中	0.28	0.28	0.11	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 123	4	-	F-1/D	中	1.98(0.8)	21.6	0.31	10C~10D~10E	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 124	-	-	H1	中	0.33	0.75	0.49	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 125	-	-	H1~3	中	1.53	0.69	0.18	10C~10D~10E	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 126	-	-	CHE	中	5.45	6.69	0.62	10C	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 127	-	-	C3	中	1.0	1.15	0.12	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-
SK. 128	-	-	H1	中	0.26	0.1	0.13	-	-	P10B	恶臭	-	-	-	-	-	-

通勤時間(分+2)		通勤距離		平均移動速度		移動時間		通勤距離・移動時間		(移動時間)は両者連動。		特徴・新規移動手段<->実績、自動車利用割合統計一覧表	
移動手段	移動距離	移動手段	移動距離	移動手段	移動距離	移動手段	移動距離	移動手段	移動距離	移動手段	移動距離	移動手段	移動距離
徒歩	129	徒歩	127	F3	1-7	H/C	0.13	徒歩	0.14	徒歩	0.14	徒歩	0.14
徒歩	130	徒歩	127	F2	中	H/C	0.27	0.33	0.22	徒歩	0.22	徒歩	0.22
徒歩	131	徒歩	127	F2	中	H/C	0.28	0.36	0.28	徒歩	0.28	徒歩	0.28
徒歩	132	徒歩	127	F3	中	H/C	0.23	0.30	0.22	徒歩	0.22	徒歩	0.22
徒歩	133	徒歩	127	H	1-7	H/C	0.11	0.15	0.14	徒歩	0.14	徒歩	0.14
徒歩	134	徒歩	127	C3	中	H/C	0.3	0.3	0.3	徒歩	0.3	徒歩	0.3
徒歩	135	徒歩	127	F3	中	H/C	0.6	0.5	0.4	徒歩	0.4	徒歩	0.4
徒歩	136	徒歩	127	C3	中	H/C	0.2	0.2	0.2	徒歩	0.2	徒歩	0.2
徒歩	137	徒歩	127	E93	中	H/C	1.39	0.85	0.87	徒歩	0.87	徒歩	0.87
徒歩	138	徒歩	127	F3	中	H/C	0.47	0.5	0.52	徒歩	0.52	徒歩	0.52
徒歩	139	徒歩	127	F3	中	H/C	0.66	0.55	0.67	徒歩	0.67	徒歩	0.67
徒歩	140	徒歩	127	F3	中	H/C	0.38	0.3	0.37	徒歩	0.37	徒歩	0.37
徒歩	141	徒歩	127	H	1-7	H/C	0.4	0.45	0.45	徒歩	0.45	徒歩	0.45
徒歩	142	徒歩	127	F/G3	中	H/C	2.12	0.91	0.26	徒歩	0.26	徒歩	0.26
徒歩	143	徒歩	127	H	1	H/C	0.37	0.39	0.36	徒歩	0.36	徒歩	0.36
徒歩	144	徒歩	127	F3	中	H/C	0.36	0.36	0.36	徒歩	0.36	徒歩	0.36
徒歩	145	徒歩	127	C3	中	H/C	0.2	0.4	0.22	徒歩	0.22	徒歩	0.22
徒歩	146	徒歩	127	C3	中	H/C	0.22	0.2	0.4	徒歩	0.4	徒歩	0.4
徒歩	147	徒歩	127	C3	中	H/C	0.33	0.2	0.41	徒歩	0.41	徒歩	0.41
徒歩	148	徒歩	127	C3	中	H/C	0.28	0.22	0.22	徒歩	0.22	徒歩	0.22
徒歩	149	徒歩	127	F3	中	H/C	0.93	0.19	0.33	徒歩	0.33	徒歩	0.33
徒歩	150	徒歩	127	C3	中	H/C	1.72	0.30	0.36	徒歩	0.36	徒歩	0.36
徒歩	151	徒歩	127	C3	中	H/C	0.48	0.43	0.38	徒歩	0.38	徒歩	0.38
徒歩	152	徒歩	127	H	1	H/C	0.35	0.2	0.36	徒歩	0.36	徒歩	0.36
徒歩	153	徒歩	127	H	1	H/C	0.35	0.27	0.25	徒歩	0.25	徒歩	0.25
徒歩	154	徒歩	127	H	1	H/C	0.30	0.37	0.23	徒歩	0.23	徒歩	0.23
徒歩	155	徒歩	127	H	1	H/C	0.38	0.28	0.39	徒歩	0.39	徒歩	0.39
徒歩	156	徒歩	127	H	1	H/C	0.37	0.27	0.36	徒歩	0.36	徒歩	0.36
徒歩	157	徒歩	127	H	1	H/C	0.27	0.33	0.11	徒歩	0.11	徒歩	0.11
徒歩	158	徒歩	127	H	1	H/C	0.35	0.39	0.2	徒歩	0.2	徒歩	0.2
徒歩	159	徒歩	127	H	1	H/C	0.86	0.87	0.25	徒歩	0.25	徒歩	0.25
徒歩	160	徒歩	127	H	1	H/C	0.38	0.35	0.4	徒歩	0.4	徒歩	0.4
徒歩	161	徒歩	127	H	1	H/C	0.38	0.35	0.31	徒歩	0.31	徒歩	0.31
徒歩	162	徒歩	127	H	1	H/C	0.38	0.35	0.31	徒歩	0.31	徒歩	0.31
徒歩	163	徒歩	127	H	1	H/C	0.38	0.35	0.31	徒歩	0.31	徒歩	0.31
徒歩	164	徒歩	127	C4	中	H/C	0.3	0.3	0.14	徒歩	0.14	徒歩	0.14
徒歩	165	徒歩	127	C4	中	H/C	0.5	0.45	0.15	徒歩	0.15	徒歩	0.15
徒歩	166	徒歩	127	C4	中	H/C	0.28	0.27	0.17	徒歩	0.17	徒歩	0.17
徒歩	167	徒歩	127	C4	中	H/C	0.30	0.31	0.19	徒歩	0.19	徒歩	0.19
徒歩	168	徒歩	127	C4	中	H/C	0.38	0.48	0.22	徒歩	0.22	徒歩	0.22
徒歩	169	徒歩	127	C4	中	H/C	1.43	1.39	0.26	徒歩	0.26	徒歩	0.26
徒歩	170	徒歩	127	C4	中	H/C	1.73	1.19	0.19	徒歩	0.19	徒歩	0.19
徒歩	171	徒歩	127	C4	中	H/C	0.32	0.3	0.2	徒歩	0.2	徒歩	0.2
徒歩	172	徒歩	127	C4	中	H/C	0.32	0.3	0.2	徒歩	0.2	徒歩	0.2

測定値(±ε)		吸収率		半減期		(クリット) 増減		減衰率(%)		半減期(=ln(2)/減衰率)		測定		半減期(=ln(2)/減衰率)		測定		半減期(%)	
測定値	標準偏差	吸収率	標準偏差	半減期	標準偏差	(クリット)	増減	吸収率(%)	標準偏差	半減期(%)	標準偏差	吸収率	標準偏差	(クリット)	増減	吸収率(%)	標準偏差	半減期(%)	標準偏差
SR. 173	-	-	-	C3	0	0.0	0.0	0.12	0.12	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 174	-	-	-	E14	0	0.57	0.4	0.15	0.15	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 175	22	-	-	F13	0	0.3	0.4	0.15	0.15	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 176	-	-	-	C3	0	0.3	0.3	0.12	0.12	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 177	-	-	-	H14	0	0.55	0.29	0.10	0.10	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 178	-	-	-	E13	0	0.68	0.18	0.15	0.15	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 179	-	-	-	G14	0	0.2	0.21	0.11	0.11	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 180	-	-	-	G14	0	0.14	0.14	0.14	0.14	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 181	-	-	-	H14	0	0.3	0.25	0.12	0.12	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 182	-	-	-	C3	0	0.6	1.60	0.22	0.22	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 183	252	-	-	C22	0	0.5	0.60	0.06	0.06	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 184	-	-	-	C22	0	0.10	0.10	0.13	0.13	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 185	-	-	-	C22	0	0.55	0.55	0.15	0.15	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 186	-	-	-	C12	0	0.72	0.68	0.15	0.15	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 187	-	-	-	C13	0	0.4	0.4	0.22	0.22	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 188	22	-	-	C13	0	0.33	0.33	0.12	0.12	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 189	-	-	-	C22	0	0.95	0.75	0.26	0.26	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 190	-	-	-	C13	0	0.8	0.85	0.35	0.35	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 191	-	-	-	C13	0	0.26	0.26	0.15	0.15	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 192	-	-	-	C13	0	0.36	0.41	0.19	0.19	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 193	-	-	-	C13	0	0.55	0.55	0.27	0.27	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 194	252	-	-	G22+4	0	2	1.63	0.62	0.62	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 195	-	-	-	C13	0	0.20	0.20	0.13	0.13	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 196	-	-	-	C14	0	0.2	0.30	0.10	0.10	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 197	-	-	-	E14	0	0.1	0.29	0.13	0.13	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 198	-	-	-	G14	0	0.23	0.23	0.12	0.12	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 199	-	-	-	E13	0	0.1	0.17	0.17	0.17	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 200	22	-	-	F13	0	0.1	0.17	0.17	0.17	0.21	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 201	大倉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	MC標準(=100%)	-	MC標準(=100%)	-	MC標準(=100%)	-	MC標準(=100%)	-
SR. 202	22	-	-	C3	0	2.22	1.62	0.23	0.23	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 203	-	-	-	F13	0	1.02	1.70	0.22	0.22	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 204	23	-	-	F13	0	2	0.47	0.47	0.47	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 205	5-5	23	E=1.47	F13	0	0.8	0.90	0.28	0.28	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 206	5-10	-	-	E13	0	0.960	0.960	0.15	0.15	0.24	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 207	-	-	-	C3	0	1.03	1.69	0.82	0.82	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 208	-	-	-	C22	0	0.37	0.37	0.13	0.13	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 209	-	-	-	F13	0	0.32	0.32	0.13	0.13	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 210	-	-	-	F13	0	0.3	0.3	0.17	0.17	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 211	-	-	-	F13	0	0.8	0.81	0.23	0.23	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 212	-	-	-	C3	0	0.2	0.22	0.15	0.15	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 213	-	-	-	F13	0	0.1	0.17	0.17	0.17	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 214	-	-	-	F13	0	0.28	0.28	0.23	0.23	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 215	-	-	-	C3	0	0.31	0.4	0.18	0.18	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-
SR. 216	-	-	-	C3	0	0.32	0.32	0.15	0.15	0.23	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-	1/16	-

測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)	
測定値	測定誤差												
38. 211	-	-	-	C3	0	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	-	P16	-
38. 218	-	-	-	C3	0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	-	P16	-
38. 219	-	-	-	F3	0	0.3	0.3	0.18	0.15	0.15	-	P16	-
38. 220	-	-	-	F2	+	0.9	0.44	0.08	0.08	0.08	-	P16	-
38. 221	-	-	-	G1	+	0.15	0.19	0.17	-	0.17	-	P16	-
38. 222	-	-	-	G1	+	0.15	0.15	0.15	0.05	0.05	-	P16	-
38. 223	-	-	-	F1	+	0.3	0.31	0.26	-	0.26	-	P16	-
38. 224	-	-	-	F1	+	0.3	0.3	0.23	0.04	0.12	-	P16	-
38. 225	-	-	-	F1	+	0.37	0.65	0.42	0.17	0.16	-	P16	-
38. 226	-	-	-	F1	+	0.42	0.61	0.23	0.23	0.23	-	P16	-
38. 227	-	-	-	F1	+	0.46	2.31	0.06	0.06	0.06	-	P16	-
38. 228	-	-	-	F1	+	0.48	1.88	0.06	0.06	0.06	-	P16	-
38. 229	-	-	-	F1	+	0.50	0.76	0.05	0.05	0.05	-	P16	-
38. 230	-	-	-	F1	+	0.53	0.76	0.06	0.06	0.06	-	P16	-
38. 231	-	-	-	F1	+	0.57	0.76	0.06	0.06	0.06	-	P16	-
38. 232	-	-	-	F2	+	0.34	0.94	0.1	-	0.1	-	P16	-
38. 233	-	-	-	E2	+	1.17	0.99	0.2	-	0.05	-	P16	-
38. 234	-	-	-	F1	+	0.3	1.05	0.05	0.05	0.05	-	P16	-
38. 235	-	-	-	F1	+	0.36	0.71	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 236	-	-	-	E1	+	1.62	0.87	0.25	-	0.25	-	P16	-
38. 237	-	-	-	E2	+	0.73	1.16	0.04	-	0.04	-	P16	-
38. 238	-	-	-	E2	+	0.75	1.15	0.11	0.05	0.05	-	P16	-
38. 239	-	-	-	E2	+	0.77	1.15	0.11	0.05	0.05	-	P16	-
38. 240	-	-	-	E2	+	0.77	1.15	0.11	0.05	0.05	-	P16	-
38. 241	-	-	-	E2	+	0.78	1.15	0.11	0.05	0.05	-	P16	-
38. 242	-	-	-	E2	+	0.81	0.72	0.07	-	0.07	-	P16	-
38. 243	-	-	-	E2	+	0.81	0.72	0.07	-	0.07	-	P16	-
38. 244	-	-	-	E2	+	0.82	0.65	0.05	-	0.05	-	P16	-
38. 245	-	-	-	E2	+	0.82	0.65	0.05	-	0.05	-	P16	-
38. 246	-	-	-	E2	+	0.83	0.65	0.05	-	0.05	-	P16	-
38. 247	-	-	-	E2	+	0.83	0.65	0.05	-	0.05	-	P16	-
38. 248	-	-	-	E2	+	0.83	0.50	0.08	-	0.08	-	P16	-
38. 249	-	-	-	E2	+	0.83	0.47	0.05	-	0.05	-	P16	-
38. 250	-	-	-	E2	+	0.83	0.42	0.05	-	0.05	-	P16	-
38. 251	-	-	-	E2	+	0.83	0.37	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 252	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 253	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 254	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 255	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 256	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 257	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 258	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 259	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-
38. 260	-	-	-	E2	+	0.83	0.35	0.13	-	0.13	-	P16	-

通巻(冊+頁)		題名		原版		翻訳		書名		出版社・刊行年		著者・編集者・監修者	
冊号	頁	題名	原版	翻訳	題名	原版	翻訳	題名	原版	出版社	刊行年	著者・編集者・監修者	
19. 261	-	上野	16	C1	1	0.14	0.11	0.16	-	日刊	-	田中義和	
19. 262	-	上野	16	C1	1	0.20	0.24	0.28	-	日刊	-	田中義和	
19. 263	-	上野	16	C2	1	0.38	0.3	0.27	-	日刊	-	田中義和	
19. 264	-	上野	16	C1	1	0.25	0.19	0.22	-	日刊	-	田中義和	
19. 265	-	上野	16	F1	1	0.31	0.37	0.40	-	(日刊)	-	田中義和	
53. 266	-	-	16	C2	1	0.33	0.39	0.38	-	日刊	-	田中義和	
19. 267	-	大富	16	E1	1	0.06	0.02	0.07	-	(日刊)	-	田中義和	
SK. 268	大富	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19. 269	-	大富	16	F1	1	0.32	0.35	0.38	-	(日刊)	-	田中義和	
19. 270	-	大富	16	F1	1	0.38	0.23	0.07	-	日刊	-	田中義和	
19. 271	-	大富	16	F1	1	0.27	0.18	0.17	-	日刊	-	田中義和	
19. 272	-	大富	16	F1	1	0.33	0.30	0.04	-	日刊	-	田中義和	
19. 273	-	大富	16	C1	1	0.36	0.36	0.2	-	日刊	-	田中義和	
50. 274	-	大富	16	E1	1	0.14	0.16	0.16	-	日刊	-	田中義和	
19. 275	-	大富	16	F1	1	0.28	0.29	0.3	-	日刊	-	田中義和	
19. 276	14	-	F1	0	2.00	2.6	0.11	-	日刊	-	田中義和		
52. 277	14	-	F1	0	2.00	2.6	1.25	1.25	日刊	-	田中義和		
SK. 278	-	-	16	E2	1	0.85	0.80	0.45	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 279	-	-	16	C2	1	1.18	1.0	1.12	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 280	-	-	16	C2	1	0.35	0.17	0.48	(1985)	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 281	-	-	16	E2	1	0.16	0.16	0.13	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 282	-	-	16	C3	1	0.65	0.4	0.92	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 283	-	-	16	E2	1	0.22	1.42	0.22	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 284	-	-	16	C2	1	0.36	0.16	0.46	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 285	-	-	16	C2	1	0.23	0.35	0.25	-	日刊	新日本経済新聞社編		
50. 286	-	-	16	E1	1	0.3	2.09	0.34	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 287	23	-	D5	1	0.28	0.35	0.44	0.27	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 288	-	-	16	E5	1	1.1	0.6	0.31	17/3/9	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 289	-	-	16	E5	1	0.46	1.0	0.25	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 290	-	-	16	E5	1	0.22	0.22	0.46	(1985)	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 291	-	-	16	E5	1	0.46	0.49	0.22	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 292	-	-	16	E5	1	1.0	0.32	0.15	-	日刊	新日本経済新聞社編		
19. 293	-	-	E4	1	0.36	1.0	0.17	-	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 294	-	-	E4	1	1.03	0.95	0.4	-	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 295	-	-	E4	1	0.2	0.35	0.32	-	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 296	-	-	E4	1	1.20	0.17	0.48	0.47	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 297	-	-	E4	1	0.38	0.49	0.15	-	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 298	-	-	E4	1	0.46	0.42	0.15	-	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 299	-	-	E5	1	0.18	0.81	0.06	-	日刊	新日本経済新聞社編			
50. 300	7	-	E6	1	12.00	4.32	0.84	17/2/6	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 301	-	-	E3	1	0.14	0.34	0.35	-	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 302	-	-	E3	1	0.62	0.49	0.27	-	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 303	-	-	E3	1	0.26	0.11	-	-	日刊	新日本経済新聞社編			
19. 304	-	-	E3	1	0.27	0.6	0.22	14C	日刊	新日本経済新聞社編			

通常地 (+2)							高塩地 (-2)			低塩地 (-3)			低塩地 (-4)			低塩地 (-5)			低塩地 (-6)			低塩地 (-7)			低塩地 (-8)		
地名	地番	標高	傾斜	灌漑	排水	(グラウ) 水抜	灌漑	排水	灌漑 + 排水																		
SK_169	169	1.00	上平	1.00	1.00	1.00	0.97	0.97	0.97	0.96	0.96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_350	350	-	16	1.00	上平	0.99	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_351	351	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_352	352	-	-	0.00	中	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_353	353	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_354	354	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_355	355	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_356	356	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_357	357	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_358	358	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_359	359	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_360	360	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_361	361	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_362	362	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_363	363	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_364	364	-	-	0.00	中	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SK_365	365	六番	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_366	366	六番	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_367	367	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_368	368	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_369	369	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_370	370	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_371	371	三	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_372	372	一	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_373	373	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_374	374	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_375	375	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_376	376	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_377	377	四	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_378	378	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_379	379	六番	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_380	380	六番	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_381	381	六番	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_382	382	六番	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_383	383	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_384	384	六番	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_385	385	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_386	386	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_387	387	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_388	388	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_389	389	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_390	390	-	-	PGR	L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

通称名(学名)		種子形態		葉形		花被子		果被子		花被子/果被子		花被子・被子植物		被子植物・被子(被子植物)	
学名	英名	種子	被子	葉子	被子	花被子	果被子	花被子	果被子	花被子	果被子	花被子	果被子	花被子	果被子
SH. 391	-	66	C7	66	C7	66	1.14	1.2	0.64	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 392	-	66	C8	66	C8	66	0.96	1.0	0.32	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 393	-	66	C8+7	66	C8+7	66	0.82	1.0	0.32	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 394	-	66	D6	66	D6	66	1	0.86	0.65	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 395	-	66	D6	66	D6	66	1	0.71	0.35	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 396	-	66	D3+4	66	D3+4	66	1	1.6	0.42	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 397	-	66	D4	66	D4	66	0.96	0.33	0.12	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 398	-	66	D4	66	D4	66	0.2	0.2	0.42	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 399	大參	7	-	~	-	~	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SH. 400	大參	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SH. 401	-	66	C3	66	C3	66	0.51	0.77	0.66	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 402	-	66	C3	66	C3	66	0.57	0.48	0.53	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 403	大參	11	-	-	G2+4	66	0.36	0.9	0.24	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 404	大參	11	-	-	G3	66	1	1.05	0.52	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 405	-	66	F4	66	F4	66	1.22	0.59	0.38	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 406	-	66	F4	66	F4	66	0.7	0.65	0.42	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 407	-	66	F4	66	F4	66	0.4	0.76	0.26	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 408	-	66	F4	66	F4	66	0.4	0.76	0.26	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 409	-	66	F3	66	F3	66	2.50	2.45	1.84	~10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 410	-	66	F4	66	F4	66	0.9	0.5	0.22	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 411	-	66	F3	66	F3	66	2.07	0.60	0.96	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 412	-	66	F4	66	F4	66	0.96	0.91	0.5	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 413	-	66	C4	66	C4	66	3.2	3.32	1.96	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 414	-	66	F4	66	F4	66	2.0	2.35	1.25	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 415	-	66	E3	66	E3	66	6.8	5.15	0.62	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 416	-	66	E3	66	E3	66	1.96	1.96	1.65	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 417	-	66	E4	66	E4	66	3.3	2.35	1.36	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 418	-	66	F5	66	F5	66	1.81	1.71	0.35	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 419	-	66	F5	66	F5	66	0.96	0.48	0.1	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 420	-	66	F5	66	F5	66	0.73	0.66	0.3	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 421	-	66	F4+5	66	F4+5	66	1.77	1.79	0.26	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 422	-	66	F6	66	F6	66	6.8	5.26	0.23	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 423	-	66	F6	66	F6	66	0.5	0.42	0.26	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 424	-	66	F6	66	F6	66	0.46	0.46	0.18	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 425	-	66	F6	66	F6	66	0.78	0.47	0.29	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 426	-	66	F6	66	F6	66	0.56	0.61	0.65	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 427	-	66	E6	66	E6	66	0.56	0.56	0.65	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 428	-	66	E6	66	E6	66	0.95	0.96	0.25	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 429	-	66	E6	66	E6	66	1.6	0.50	0.27	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 430	-	66	E5	66	E5	66	0.44	0.73	0.3	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 431	-	66	E6	66	E6	66	1.05	2.3	0.65	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B
SH. 432	-	66	E6	66	E6	66	1.05	0.55	0.24	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B	10C/13B

透水性 (c/s)		透水性		平均 透水性		透水性 (c/s)		透水性 (m)		透水性		透水性 / 单位面积		出土量 * (m ³)		出土量	
编号	地 点	地 形	地 质	层 序	层 厚	层 序	层 厚	层 序	层 厚	层 序	层 厚	层 序	层 厚	层 序	层 厚	层 序	层 厚
SK_591	591	-	-	117	中	0.53	0.59	0.38	0.58	14C	0.63	0.38	0.58	14C	0.53	0.59	0.38
SK_598	598	-	-	117	中	0.59	0.73	0.57	0.57	14C	0.63	0.57	0.57	14C	0.59	0.73	0.57
SK_599	599	-	-	117	中	0.57	0.67	0.18	0.18	14C	0.63	0.18	0.18	14C	0.57	0.67	0.18
SK_600	600	-	-	127	中	0.4	0.49	0.65	0.65	14C	0.63	0.65	0.65	14C	0.4	0.49	0.65
SK_601	601	26	中	22	2.5	0.43	0.47	0.53	0.53	14C	0.63	0.43	0.47	0.53	22	2.5	0.43
SK_602	602	27	-	F6	Y	1.47	0.203	0.53	0.53	14C	0.63	0.53	0.53	14C	1.47	0.203	0.53
SK_603	603	-	-	F6	Y	0.76	0.63	0.43	0.43	14C	0.63	0.76	0.63	14C	0.43	0.43	0.43
SK_604	604	-	-	F6	Y	1.04	1.11	0.34	0.34	14C	0.63	1.04	1.11	14C	0.34	0.34	0.34
SK_605	605	-	-	F6	Y	0.76	1.44	1.19	1.19	14C	0.63	0.76	1.44	14C	0.11	0.11	0.11
SK_606	606	大 块	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_607	607	-	-	C5	中	1.83	1.4	1.53	1.53	14C	0.63	1.83	1.4	14C	1.53	1.4	1.53
SK_608	608	大 块	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_609	609	-	-	C5	中	1.02	0.93	0.5	0.5	14C	0.63	1.02	0.93	14C	0.5	0.5	0.5
SK_610	610	-	-	D1	中	0.32	0.39	0.1	0.1	14C	0.63	0.32	0.39	14C	0.1	0.1	0.1
SK_611	611	-	-	D1	中	0.22	1.8	0.29	0.29	14C	0.63	0.22	1.8	14C	0.29	0.29	0.29
SK_612	612	-	-	D1	中	0.32	0.39	0.1	0.1	14C	0.63	0.32	0.39	14C	0.1	0.1	0.1
SK_613	613	-	-	D1	中	0.75	0.21	0.11	0.11	14C	0.63	0.75	0.21	14C	0.11	0.11	0.11
SK_614	614	-	-	E1	中	0.43	0.25	0.1	0.1	14C	0.63	0.43	0.25	14C	0.1	0.1	0.1
SK_615	615	-	-	E1	中	0.5	1.03	0.19	0.19	14C	0.63	0.5	1.03	14C	0.19	0.19	0.19
SK_616	616	-	-	D1	中	0.48	0.32	0.18	0.18	14C	0.63	0.48	0.32	14C	0.18	0.18	0.18
SK_617	617	-	-	D1	中	0.84	0.44	0.49	0.49	14C	0.63	0.84	0.44	14C	0.49	0.49	0.49
SK_618	618	-	-	D1	中	0.66	0.62	0.36	0.36	14C	0.63	0.66	0.62	14C	0.36	0.36	0.36
SK_619	619	-	-	D1	中	0.66	0.66	0.27	0.27	14C	0.63	0.66	0.66	14C	0.27	0.27	0.27
SK_620	620	-	-	D1	中	1.94	2.29	0.41	0.41	14C	0.63	1.94	2.29	14C	0.41	0.41	0.41
SK_621	621	-	-	D1	中	0.92	0.7	0.23	0.23	14C	0.63	0.92	0.7	14C	0.23	0.23	0.23
SK_622	622	-	-	D1	中	0.28	0.28	0.2	0.2	14C	0.63	0.28	0.28	14C	0.2	0.2	0.2
SK_623	623	-	-	D1	中	0.27	0.66	0.9	0.9	14C	0.63	0.27	0.66	14C	0.9	0.9	0.9
SK_624	624	-	-	D1	中	1.03	0.5	0.5	0.5	14C	0.63	1.03	0.5	14C	0.5	0.5	0.5
SK_625	625	-	-	D1	中	1.32	0.32	0.57	0.57	14C	0.63	1.32	0.32	14C	0.57	0.57	0.57
SK_626	626	-	-	D1	中	0.36	0.25	0.11	0.11	14C	0.63	0.36	0.25	14C	0.11	0.11	0.11
SK_627	627	-	-	D1	中	0.49	0.7	0.21	0.21	14C	0.63	0.49	0.7	14C	0.21	0.21	0.21
SK_628	628	-	-	D1	中	0.74	0.21	0.69	0.69	14C	0.63	0.74	0.21	14C	0.69	0.69	0.69
SK_629	629	-	-	E1	中	0.76	0.5	1.06	1.06	14C	0.63	0.76	0.5	14C	1.06	1.06	1.06
SK_630	630	-	-	E1	中	1.32	0.32	0.57	0.57	14C	0.63	1.32	0.32	14C	0.57	0.57	0.57
SK_631	631	5	-	E1	中	0.46	0.78	0.63	0.63	14C	0.63	0.46	0.78	14C	0.63	0.63	0.63
SK_632	632	-	-	E1	中	0.6	0.6	0.1	0.1	14C	0.63	0.6	0.6	14C	0.1	0.1	0.1
SK_633	633	-	-	F6	Y	0.7	0.61	0.2	0.2	14C	0.63	0.7	0.61	14C	0.2	0.2	0.2
SK_634	634	-	-	F6	Y	1.25	0.27	0.76	0.76	14C	0.63	1.25	0.27	14C	0.76	0.76	0.76
SK_635	635	-	-	G6	Y	0.6	0.8	0.34	0.34	14C	0.63	0.6	0.8	14C	0.34	0.34	0.34
SK_636	636	-	-	G6	Y	0.82	0.62	0.17	0.17	14C	0.63	0.82	0.62	14C	0.17	0.17	0.17
SK_637	637	-	-	G6	Y	0.84	0.55	0.18	0.18	14C	0.63	0.84	0.55	14C	0.18	0.18	0.18
SK_638	638	-	-	G6	Y	0.76	0.45	0.22	0.22	14C	0.63	0.76	0.45	14C	0.22	0.22	0.22
SK_639	639	-	-	G6	Y	1.18	0.86	0.62	0.62	14C	0.63	1.18	0.86	14C	0.62	0.62	0.62
SK_640	640	32	-	C106	中	1.126	0.27	0.86	0.86	14C	0.63	1.126	0.27	14C	0.86	0.86	0.86

測量日(西暦+日)		測量点名		座標系		平面座標 (m)		高さ		高さ (m)		傾斜		地盤		土壌構造・地盤		地質・地盤構成	
測量点 番号	地名	測量点 番号	地名	測量点 番号	地名	測量点 番号	地名	測量点 番号	地名	測量点 番号	地名	測量点 番号	地名	測量点 番号	地名	測量点 番号	地名	測量点 番号	地名
19.	725	-	-	817	-	1.8	0.31	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19.	726	-	-	817	-	0.91	0.42	0.46	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	727	-	-	817	-	0.30	0.39	0.39	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	728	-	-	817	-	0.23	0.25	0.15	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	729	-	-	817	-	0.47	0.46	0.46	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	730	-	-	816	-	0.65	0.52	0.15	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	731	29	北	816	-	0.37	0.37	0.13	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
SD	722	29	北	CB-1	F	5.8	0.88	1.1C	(48) (48)	地盤	砂質土(上部砂質-砂質)	100	100	100	100	100	100	100	100
19.	732	-	-	816	-	1.13	0.84	0.40	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	733	-	-	816	-	0.55	0.57	0.17	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	734	-	-	817	-	0.5	0.55	0.15	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	735	-	-	817	-	0.5	0.55	0.15	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	736	-	-	817	-	1.07	0.74	0.39	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	737	-	-	817	-	0.6	0.49	0.22	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	738	-	-	CT	T	0.41	0.46	0.29	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	739	-	-	CB	T	0.46	0.55	0.14	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	740	-	-	CB	T	0.49	0.27	0.41	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	741	-	-	CB	T	0.33	0.33	0.31	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	742	-	-	CB	T	0.8	0.61	0.34	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	743	-	-	CT	T	0.26	0.41	0.24	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	744	-	-	CB	T	0.53	0.52	0.26	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	745	-	-	CB	T	0.57	0.92	0.64	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	746	-	-	CB	T	0.68	0.30	0.29	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	747	-	-	CB	T	0.66	0.45	0.39	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	748	-	-	CB	T	0.24	0.48	0.22	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	749	-	-	CB	T	0.6	0.53	0.29	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	750	-	-	CB	T	0.38	0.13	-	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	751	-	-	BT	T	2.3	0.73	0.76	(48) (48)	地盤	砂質土(中砂)	100	100	100	100	100	100	100	100
19.	752	-	-	BT	T	0.53	0.27	0.18	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	753	-	-	BT	T	0.38	0.26	0.23	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	754	-	-	BT	T	0.49	0.39	0.21	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	755	-	-	BT	T	0.26	0.27	0.18	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	756	-	-	BT	T	0.74	0.63	0.26	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	757	-	-	BT	T	1.0	0.77	0.34	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	758	-	-	BT	T	0.21	0.19	0.11	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	759	-	-	BT	T	0.58	0.21	0.15	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	760	-	-	BT	T	0.38	0.34	0.15	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	761	-	-	BT	T	0.38	0.35	0.1	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	762	-	-	BT	T	0.14	0.16	0.05	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	763	-	-	BT	T	0.37	0.34	0.17	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	764	-	-	BT	T	1.6	1.88	0.96	1.1C	地盤	砂質土(上部砂質-砂質)	100	100	100	100	100	100	100	100
19.	765	-	-	BT	T	0.30	0.27	0.19	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	766	-	-	BT	T	1.59	0.83	0.27	0.27	地盤	砂質土(中砂)	100	100	100	100	100	100	100	100
19.	767	-	-	BT	T	0.38	0.72	0.69	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	768	-	-	BT	T	1.05	1.12	0.2	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-
19.	769	-	-	BT	T	0.1	0.44	0.2	-	-	-	(48) (48)	-	-	-	-	-	-	-

測定値(±ε)		吸収波長		屈折率		屈折率(クリヤー)		屈折率(ヨウ素)		屈折率(ε)		吸光度/吸光度		吸光度(ε)		
測定値	吸光度	波長	波長	屈折率	屈折率	屈折率	屈折率	屈折率	屈折率	屈折率	屈折率	吸光度	吸光度	吸光度	吸光度	
95.770	-	-	B1,C7	T	1.65	0.32	0.12	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.771	-	-	C7	T	0.44	0.30	0.12	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.772	-	-	B17	T	0.35	0.33	0.13	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.773	-	-	D6	T	1.27	0.49	0.16	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.774	-	-	D6	T	0.44	0.43	0.12	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.775	-	-	C7	T	0.33	0.22	0.13	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.776	v=5	13	-	C1D1B6	T	0.71	0.17	0.11	~DC	(吸光度)	-	-	-	-	-	-
95.777	-	-	D6	T	0.21	0.21	0.07	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.778	-	-	B17	T	0.68	0.31	0.14	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.779	-	-	D6	T	0.35	0.32	0.08	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.780	-	-	B1,C7	T	0.17	0.09	0.09	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.781	-	-	B1,C7	T	0.36	0.05	0.1	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.782	大差	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
95.783	-	-	B1	T	0.10	0.10	0.11	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.784	-	-	B1	T	1.65	1.17	0.13	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.785	-	-	B1	T	0.65	0.60	0.13	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.786	-	-	B1	T	2.10	2.00	0.31	15.8%	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.787	-	-	F6	T	1.13	0.13	0.15	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.788	-	-	F6	T	1.56	1.29	0.15	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.789	-	-	G7	T	1.6	1.16	0.16	17.1%	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.790	-	-	B17	T	0.3	0.25	0.05	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.791	-	-	B17	T	0.26	0.12	0.05	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.792	-	-	B16	T	0.28	0.29	0.22	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.793	-	-	A16	T	1.19	1.16	0.04	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.794	-	-	A17	T	0.30	0.45	0.13	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.795	-	-	M6	T	0.49	0.6	0.27	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.796	-	-	M6	T	0.34	0.49	0.14	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.797	-	-	M6	T	0.45	0.46	0.14	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.798	-	-	C3	T	0.84	0.43	0.26	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.799	-	-	C3	T	0.63	0.64	0.22	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.800	-	-	C3	T	0.55	0.53	0.26	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.801	-	-	D3	T	0.82	0.78	0.21	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.802	-	-	D3	T	0.63	0.69	0.11	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.803	-	-	C3	T	0.73	0.76	0.11	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.804	-	-	C3	T	0.26	0.32	0.13	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.805	-	-	C3	T	0.35	0.35	0.12	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.806	-	-	C3	T	0.28	0.43	0.17	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.807	-	-	D3	T	0.82	0.17	0.11	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.808	-	-	D3	T	0.26	0.28	0.08	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.809	-	-	C3	T	1.23	1.43	0.02	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.810	-	-	C14	T	0.36	0.40	0.11	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.811	-	-	D4	T	1.36	1.61	0.42	16.8%	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	
95.812	-	-	D4	T	0.39	0.36	0.23	-	(吸光度)	-	-	-	-	-	-	

測定値(±ε)		吸収率		半導体 吸収		半導体 (クリア) 吸収		吸収(ε)		吸収		半導体/ 吸収		吸収 吸収率(ε)は標準値		標準 吸収率(ε)は標準値	
測定値	吸収率	吸収率	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収	吸収
SR_813	-	-	D1	T	0.53	0.57	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_814	-	-	D3	T	0.54	0.55	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_815	-	-	D4	T	0.53	0.55	0.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_816	-	-	D4	T	0.53	0.55	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_817	-	-	C2	T	1.19	1.03	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_818	-	-	C2	T	0.74	0.66	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_819	-	-	C2	T	0.96	0.79	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_820	-	-	C2	T	0.3	0.37	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_821	-	-	G14	T	0.38	0.56	0.87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_822	-	-	C2	T	0.37	0.59	0.94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_823	-	-	C2	T	0.23	0.46	0.97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_824	-	-	C2	T	0.58	0.56	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_825	-	-	C2	T	0.2	0.21	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_826	-	-	C2	T	0.47	0.47	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_827	-	-	C2	T	0.38	0.33	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_828	-	-	C2	T	0.3	0.39	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_829	-	-	F2	T	0.55	0.51	0.99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_830	-	-	H2	T	1.03	0.67	0.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_831	30	-	H1	T	1.5	0.60	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_832	30	-	H1	T	0.67	0.92	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_833	30	-	H1	T	1.3	1.27	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_834	-	-	H1	T	1.23	1.10	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_835	-	-	H1	T	0.68	0.65	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_836	-	-	F2	T	0.53	0.50	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_837	-	-	F2	T	0.63	0.71	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_838	-	-	C2	T	0.39	0.35	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_839	-	-	H2	T	0.29	0.48	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_840	-	-	H2	T	0.29	0.42	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_841	-	-	H2	T	0.1	0.13	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_842	-	-	I3	T	0.74	0.68	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_843	-	-	C2	T	0.29	0.41	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_844	-	-	C3	T	0.25	0.27	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_845	-	-	C3	T	0.52	0.26	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_846	-	-	C3	T	0.53	0.53	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_847	-	-	C3	T	0.67	0.53	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_848	-	-	C3	T	0.5	0.36	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_849	-	-	C3	T	0.42	0.49	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_850	-	-	C3	T	0.41	0.31	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_851	-	-	C3	T	0.42	0.36	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_852	-	-	C3	T	0.1	0.15	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_853	-	-	C3	T	0.27	0.47	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_854	-	-	C3	T	0.21	0.22	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_855	-	-	C3	T	0.26	0.25	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_856	-	-	I1	T	0.75	0.35	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SR_857	-	-	I1	T	0.5	0.67	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

測定値(±ε)		吸収率		半減期		クリット		吸収率× 吸収率		活性(α)		半減期/ 活性		半減期×(吸 収率)は測定値		標準 新規性状<->定期、自動化等の評定結果	
測定値	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率	吸収率
38. 856	-	-	III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 859	-	-	CD	T	0.57	0.49	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 860	-	-	C2	T	0.55	0.27	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 861	-	-	F2	T	1.1	0.23	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 862	-	-	F2	T	0.55	0.36	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 863	-	-	C2	T	0.22	0.29	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 864	-	-	C2	T	0.1	0.34	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 865	-	-	II3	T	0.36	0.26	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 866	-	-	II3	T	0.34	0.40	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 867	-	-	II3	T	0.23	0.29	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 868	-	-	II3	T	0.21	0.26	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 869	-	-	CD	T	0.2	0.24	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 870	-	-	CD	T	0.32	0.32	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 871	-	-	CD	T	0.2	0.33	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 872	-	-	CD	T	0.25	0.33	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 873	-	-	CD	T	0.06	0.40	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 874	-	-	CD	T	0.8	0.53	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 875	-	-	II3	T	0.2	0.26	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 876	-	-	II3	T	0.53	0.56	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 877	-	-	II3	T	0.53	0.56	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 878	-	-	II3	T	0.33	0.43	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 879	-	-	II3	T	0.1	0.35	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 880	-	-	II3	T	0.1	0.35	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 881	-	-	II3	T	0.1	0.32	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 882	-	-	II3	T	0.2	0.26	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 883	-	-	II3	T	0.21	0.25	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 884	-	-	II3	T	0.25	0.23	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 885	-	-	II3	T	0.3	0.31	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 886	-	-	II3	T	0.21	0.27	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 887	-	-	CD	T	0.65	0.51	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 888	-	-	CD	T	0.25	0.26	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 889	-	-	CD	T	0.21	0.25	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 890	-	-	CD	T	0.21	0.23	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 891	-	-	CD	T	0.3	0.31	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 892	-	-	CD	T	0.28	0.26	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 893	-	-	II3	T	0.38	0.56	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 894	-	-	II3	T	0.7	0.61	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 895	-	-	II3	T	1.00	0.40	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 896	-	-	II3	T	0.88	0.41	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 897	-	-	II3	T	0.40	0.40	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 898	-	-	II3	T	0.47	0.61	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 899	-	-	II3	T	0.28	0.30	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 900	-	-	II3	T	0.33	0.33	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 901	-	-	II3	T	0.47	0.47	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 902	-	-	II3	T	0.47	0.47	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 903	-	-	II3	T	0.47	0.47	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 904	-	-	II3	T	1.6	0.40	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 905	-	-	II3	T	0.38	0.33	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

通報番号(+2)		発生地		原発地		発生地		発生地(内)		発生地		原発地／発生地		備考		
発地	発分	原発地	発地	原発地	発地	原発地	発地	原発地	発地	原発地	発地	原発地／発地	発地	備考		
3R_903	-	-	C6	T	1.34	0.37	0.22	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_904	-	-	C6	T	0.55	0.16	0.18	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_905	-	-	C6	T	0.33	0.40	0.22	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_906	-	-	ECN	T	1.75	0.50	0.15	-	-	-	-	-	-	(C-906)	-	
3R_907	-	-	C6	T	0.32	0.29	0.15	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_908	-	-	C6	T	0.54	0.32	0.22	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_909	-	-	C6	T	0.37	0.38	0.2	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_910	-	-	C6	T	0.72	0.47	0.18	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_911	-	30	-	C7	T	0.75	2.01	0.10	-	-	-	-	-	-	原発地	-
3R_912	-	30	-	C7	T	1.30	1.30	0.02	-	-	-	-	-	-	原発地	-
3R_913	-	-	C7	T	0.60	1.09	0.34	17時09分→24C (D-913)	-	-	-	-	-	-	原発地	-
3R_914	-	-	C6	T	0.6	1.20	0.34	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_915	-	-	B7	T	12.40	2.96	2.36	9.5	-	-	-	-	-	-	原発地	-
3R_916	-	-	B6	T	2.39	1.18	0.25	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_917	-	-	C6	T	0.37	0.27	0.22	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_918	-	-	C6	T	0.23	0.32	0.22	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_919	-	-	C6	T	0.2	0.35	0.19	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_920	-	-	Gr-7	T	0.27	0.69	0.2	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_921	-	-	C7	T	0.45	0.41	0.15	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_922	-	-	B6	T	0.66	0.69	0.15	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_923	-	-	C7	T	0.35	0.31	0.15	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_924	-	-	Gr-7	T	0.36	0.31	0.15	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_925	-	-	C6	T	0.43	0.54	0.1	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_926	-	-	C6	T	0.31	0.31	0.09	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_927	-	-	B6	T	0.41	0.41	0.12	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_928	-	-	B6	T	0.32	0.48	0.22	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_929	-	-	B6	T	0.35	0.32	0.25	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_930	-	-	B6	T	0.36	0.31	0.15	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_931	-	-	B6	T	0.23	0.28	0.1	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_932	-	-	C6	T	1.47	0.17	0.13	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_933	-	-	C6	T	0.15	0.20	0.17	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_934 大倉	~	~	~	~	~	~	~	~								
3R_935	-	-	E6	T	1.71	1.57	0.20	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_936	-	-	H67	T	1.1	0.84	0.25	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_937	-	-	H67	T	1.14	0.99	0.1	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_938	-	-	H7	T	0.95	0.86	0.23	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_939	-	-	Fg-7	T	7.16	3.57	1.13	16時00分→16C (D-939)	-	-	-	-	-	-	原発地	-
3R_940	-	-	C6	T	0.55	1.16	0.28	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_941	-	-	H7	T	0.66	3.03	0.23	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_942	-	-	H7	T	0.74	1.20	0.27	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_943	-	-	H7	T	0.69	0.76	0.14	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_944	-	-	H7	T	7.26	0.20~	0.02	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_945	-	-	H67	T	1.02	0.92	0.24	-	-	-	-	-	-	原発地	-	
3R_946 大倉	~	~	~	~	~	~	~	~								

測定日(西暦)		測定地		測定時間(西暦)		測定場所		測定距離(m)		測定結果		測定条件		備考	
測定日	測定地	測定時間	測定場所	測定時間	測定場所	測定時間	測定場所	測定距離	測定距離	測定結果	測定方法	測定条件	測定方法	備考	
3E 947	-	19	-	180°	T	1.64	2.00	1.23	146.00m/17.1°C	小潮期 水温:17.1°C 盐度:34.0‰	小潮期 水温:17.1°C 盐度:34.0‰	小潮期 水温:17.1°C 盐度:34.0‰	小潮期 水温:17.1°C 盐度:34.0‰	-	
3E 948	-	20	-	127	T	0.47	0.50	0.26	185°	-	-	-	-	-	
3D 949	-	-	-	127	T	-	-	0.27	175.98m	-	-	-	-	-	
3E 951	-	30	-	117	T	1.48	1.20	0.26	-	-	-	-	-	-	
3E 952	-	-	-	116	T	0.33	0.37	0.25	175.98m	-	-	-	-	-	
3E 953	-	-	-	116	T	0.36	0.31	0.27	-	-	-	-	-	-	
3E 954	-	-	-	116	T	0.36	0.39	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 955	-	-	-	116	T	0.32	0.35	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 956	-	-	-	127	T	0.47	0.53	0.21	-	-	-	-	-	-	
3E 957	-	-	-	127	T	1.38	1.51	0.17	-	-	-	-	-	-	
3E 958	-	-	-	127	T	1.10	0.76	0.15	-	-	-	-	-	-	
3E 959	-	-	-	127	T	0.38	0.26	0.2	-	-	-	-	-	-	
3E 960	-	-	-	127	T	0.32	0.31	0.2	-	-	-	-	-	-	
3E 961	-	-	-	127	T	0.32	0.34	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 962	-	-	-	127	T	0.25	0.27	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 963	大香港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3E 964	-	-	-	127	T	0.43	0.33	0.12	-	-	-	-	-	-	
3E 965	-	-	-	117	T	0.32	0.32	0.22	-	-	-	-	-	-	
3E 966	-	-	-	116	T	0.25	0.21	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 967	-	-	-	116	T	0.23	0.24	0.13	-	-	-	-	-	-	
3E 968	-	-	-	116	T	0.23	0.25	0.13	-	-	-	-	-	-	
3E 969	-	-	-	116	T	0.23	0.25	0.13	-	-	-	-	-	-	
3E 970	-	-	-	117	T	0.34	0.40	0.15	-	-	-	-	-	-	
3E 971	-	-	-	117	T	0.34	0.49	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 972	-	-	-	117	T	1.4	0.95	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 973	-	-	-	116	T	0.37	0.37	0.11	-	-	-	-	-	-	
3E 974	-	-	-	116	T	1.81	0.69	0.29	-	-	-	-	-	-	
3E 975	-	-	-	116	T	0.79	0.41	0.12	-	-	-	-	-	-	
3E 976	-	-	-	117	T	0.22	0.22	0.09	-	-	-	-	-	-	
3E 977	-	-	-	117	T	0.23	0.27	0.25	-	-	-	-	-	-	
3E 978	-	-	-	117	T	0.35	0.34	0.25	-	-	-	-	-	-	
3E 979	-	-	-	117	T	0.35	0.35	0.25	-	-	-	-	-	-	
3E 980	-	-	-	117	T	0.35	0.35	0.25	-	-	-	-	-	-	
3E 981	大香港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3E 982	-	-	-	126	T	1.00	2.61	0.23	-	-	-	-	-	-	
3E 983	-	-	-	116	T	1.00	0.96	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 984	-	-	-	116	T	0.8	0.8	0.11	-	-	-	-	-	-	
3E 985	-	-	-	116	T	0.90	0.43	0.12	-	-	-	-	-	-	
3D 986	-	-	-	116	T	1.00	0.87	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 987	-	-	-	116	T	1.00	0.87	0.14	-	-	-	-	-	-	
3E 988	-	-	-	116	T	0.34	0.35	0.28	-	-	-	-	-	-	
3E 989	-	-	-	116	T	0.34	0.35	0.28	-	-	-	-	-	-	
3E 990	-	-	-	116	T	0.34	0.35	0.28	-	-	-	-	-	-	

測定値(±ε)		吸収率		半導体 層		(クリア) 被覆 層		吸収率+ 被覆 層		透過(%)		半導体/ 被覆		吸光度・(吸) は吸収強度		備考	
測定番号	試料番号	分類	吸収率	層厚	吸収率	層厚	吸収率	層厚	透過	層厚(ε)	吸光度	層厚	吸光度	層厚	吸光度	吸光度	吸光度
SK_991	大番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_992	大番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_993	大番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_994	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_995	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_996	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_997	大番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_998	大番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_999	大番	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1007	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1008	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1010	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1011	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1013	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1014	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1015	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1016	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1017	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1018	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1019	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1020	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1021	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1022	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1023	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1024	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1025	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1026	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1027	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1028	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1029	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1030	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1031	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1032	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1033	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SK_1034	W	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

AM01729-1790AD

測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)		測定値(±ε)	
測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値
SR_1011	正	-	-	F2	1	0.36	0.35	0.23	0.16	-	±0.05
SR_1015	-	-	-	F2C	1	0.42	0.40	0.35	-	±0.05	-
SR_1016	-	-	-	F2	1	0.40	0.35	0.35	-	±0.05	-
SR_1017	-	-	-	C2	1	0.40	0.30	0.2	-	±0.05	-
SR_1018	-	-	-	F3	1	0.3	0.36	0.40	-	±0.05	-
SR_1019	-	-	-	C3	1	0.53	0.53	0.52	0.52	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1020	-	-	-	H3	1	1.13	0.70	0.62	-	±0.05	-
SR_1021	-	-	-	C3	1	0.19	0.23	0.26	-	±0.05	-
SR_1022	-	-	-	C3	1	0.22	0.26	0.22	-	±0.05	-
SR_1023	-	-	-	F2	1	0.3	0.21	0.1	-	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1024	-	-	-	F2	1	0.22	0.23	0.20	0.09	-	±0.05
SR_1025	-	-	-	F2	1	0.30	0.32	0.3	0.1	-	±0.05
SR_1026	-	-	-	F2	1	0.58	0.89	0.55	0.5	-	±0.05
SR_1027	-	-	-	F2	1	0.36	0.42	0.4	0.4	-	±0.05
SR_1028	-	-	-	F2	1	1.13	0.74	0.4	-	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1029	-	-	-	F2+3	1	1.70	0.96	0.1	-	±0.05	-
SR_1030	-	-	-	F2	1	0.38	0.40	0.35	0.15	-	±0.05
SR_1031	-	-	-	F2	1	0.7	0.59	0.6	0.15	-	±0.05
SR_1032	-	-	-	F2	1	0.38	1.02	0.15	0.07	-	±0.05
SR_1033	31	-	-	F2	1	0.67	0.99	0.56	-	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1034	-	-	-	F2	1	0.77	0.55	0.53	0.07	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1035	-	-	-	F2+3	1	0.86	1.13	0.77	0.07	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1036	31	-	-	F3	1	0.53	0.75	0.4	0.07	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1037	24	-	-	F2	1	0.54	0.60	0.5	0.07	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1038	-	-	-	F3	1	0.7	0.7	0.62	-	±0.05	-
SR_1039	-	-	-	F2+3	1	0.27	0.65	0.32	-	±0.05	-
SR_1040	-	-	-	F3	1	0.38	0.67	0.28	0.07	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1041	-	-	-	F3	1	0.4	0.37	0.13	-	±0.05	-
SR_1042	-	-	-	C3	1	0.06	0.48	0.42	-	±0.05	-
SR_1043	-	-	-	F2	1	0.41	0.37	0.1	-	±0.05	-
SR_1044	-	-	-	F2	1	0.54	0.33	0.15	-	±0.05	-
SR_1045	-	-	-	F2	1	0.95	0.40	0.35	-	±0.05	-
SR_1046	39	-	-	F2	1	0.79	0.63	0.4	0.17	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1047	-	-	-	F3	1	0.26	0.41	0.13	-	±0.05	-
SR_1048	-	-	-	F3	1	0.57	0.83	0.48	-	±0.05	-
SR_1049	-	-	-	F3	1	0.49	0.51	0.36	-	±0.05	-
SR_1050	-	-	-	F3	1	0.41	0.32	0.1	-	±0.05	-
SR_1051	-	-	-	F3	1	0.13	0.12	0.19	-	±0.05	-
SR_1052	-	-	-	F3	1	0.26	0.16	0.23	-	±0.05	-
SR_1053	31	-	-	F4	1	0.2	0.28	0.5	-	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1054	-	-	-	F4	1	0.84	0.75	0.25	-	±0.05	-
SR_1055	-	-	-	F4	1	0.55	0.55	0.32	-	±0.05	-
SR_1056	-	-	-	F4	1	0.41	0.41	0.4	-	±0.05	-
SR_1057	-	-	-	F4	1	0.21	0.21	0.15	-	±0.05	-
SR_1058	-	-	-	F4	1	0.21	0.21	0.15	-	±0.05	-
SR_1059	-	-	-	F4	1	0.21	0.21	0.15	-	±0.05	-
SR_1060	-	-	-	F4	1	0.21	0.21	0.15	-	±0.05	-
SR_1061	-	-	-	F4	1	0.21	0.21	0.15	-	±0.05	-
SR_1062	-	-	-	C3	1	0.06	0.48	0.42	-	±0.05	-
SR_1063	-	-	-	F2	1	0.54	0.33	0.15	-	±0.05	-
SR_1064	-	-	-	F2	1	0.54	0.33	0.15	-	±0.05	-
SR_1065	-	-	-	F2	1	0.95	0.40	0.35	-	±0.05	-
SR_1066	39	-	-	F2	1	0.79	0.63	0.4	0.17	±0.05	AAA/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z
SR_1067	-	-	-	F3	1	0.26	0.41	0.13	-	±0.05	-
SR_1068	-	-	-	F3	1	0.57	0.83	0.48	-	±0.05	-
SR_1069	-	-	-	F3	1	0.49	0.51	0.36	-	±0.05	-
SR_1070	-	-	-	F3	1	0.41	0.32	0.1	-	±0.05	-
SR_1071	-	-	-	F3	1	0.13	0.12	0.19	-	±0.05	-
SR_1072	-	-	-	F4	1	0.26	0.16	0.23	-	±0.05	-
SR_1073	-	-	-	F4	1	0.2	0.28	0.5	-	±0.05	-
SR_1074	-	-	-	F4	1	0.84	0.75	0.25	-	±0.05	-
SR_1075	-	-	-	F4	1	0.55	0.55	0.32	-	±0.05	-
SR_1076	-	-	-	F4	1	0.41	0.41	0.4	-	±0.05	-
SR_1077	-	-	-	F4	1	0.21	0.21	0.15	-	±0.05	-
SR_1078	-	-	-	F4	1	0.21	0.21	0.15	-	±0.05	-

透視圖 (x 2)										平面圖				剖面圖 (a)				剖面圖 (b)				出土物・付加遺物				備考			
編號	地點	層位	形狀	長	寬	厚	傾斜	傾斜	厚度	長	寬	厚	傾斜	傾斜	厚度	長	寬	厚	傾斜	傾斜	厚度	長	寬	厚	傾斜	傾斜	厚度		
SK_1079	-	-	E1	Y	0.38	0.26	0.17	-	-	E1	Y	0.38	0.21	0.27	-	-	E1	Y	0.38	0.26	0.17	-	-	直立	-				
SK_1080	-	-	E1	Y	0.38	0.21	0.17	-	-	E1	Y	0.38	0.27	0.11	-	-	E1	Y	0.38	0.26	0.17	-	-	直立	-				
SK_1081	-	-	E1	Y	0.3	0.27	0.11	-	-	E1	Y	0.3	0.27	0.11	-	-	E1	Y	0.3	0.27	0.11	-	-	直立	-				
SK_1082	-	-	E1	Y	0.23	0.26	0.19	-	-	E1	Y	0.23	0.26	0.19	-	-	E1	Y	0.23	0.26	0.19	-	-	直立	-				
SK_1083	-	-	E1	Y	0.3	0.45	0.19	-	-	E1	Y	0.3	0.45	0.19	-	-	E1	Y	0.3	0.45	0.19	-	-	直立	-				
SK_1084	-	-	E1	Y	0.3	0.27	0.15	-	-	E1	Y	0.3	0.27	0.15	-	-	E1	Y	0.3	0.27	0.15	-	-	直立	-				
SK_1085	-	-	E1	Y	0.34	0.39	0.2	-	-	E1	Y	0.34	0.39	0.2	-	-	E1	Y	0.34	0.39	0.2	-	-	直立	-				
SK_1086	-	-	E1	Y	0.3	0.32	0.29	-	-	E1	Y	0.3	0.32	0.29	-	-	E1	Y	0.3	0.32	0.29	-	-	直立	-				
SK_1087	-	-	P1	Y	0.23	0.26	0.26	-	-	P1	Y	0.23	0.26	0.26	-	-	P1	Y	0.23	0.26	0.26	-	-	直立	-				
SK_1088	-	-	P1	Y	1.03	0.83	0.88	-	-	P1	Y	1.03	0.83	0.88	-	-	P1	Y	1.03	0.83	0.88	-	-	直立	-				
SK_1089	-	-	P1	Y	0.28	0.21	0.22	-	-	P1	Y	0.28	0.21	0.22	-	-	P1	Y	0.28	0.21	0.22	-	-	直立	-				
SK_1090	-	-	P1	Y	0.36	0.34	0.17	-	-	P1	Y	0.36	0.34	0.17	-	-	P1	Y	0.36	0.34	0.17	-	-	直立	-				
SK_1091	-	-	E1	Y	0.23	0.24	0.27	-	-	E1	Y	0.23	0.24	0.27	-	-	E1	Y	0.23	0.24	0.27	-	-	直立	-				
SK_1092	-	-	P1	Y	0.16	0.13	0.09	-	-	P1	Y	0.16	0.13	0.09	-	-	P1	Y	0.16	0.13	0.09	-	-	直立	-				
SK_1093	-	-	E1	Y	0.15	0.17	0.17	-	-	E1	Y	0.15	0.17	0.17	-	-	E1	Y	0.15	0.17	0.17	-	-	直立	-				
SK_1094	-	-	E1	Y	0.2	0.17	0.11	-	-	E1	Y	0.2	0.17	0.11	-	-	E1	Y	0.2	0.17	0.11	-	-	直立	-				
SK_1095	-	-	E1	Y	0.23	0.28	0.2	-	-	E1	Y	0.23	0.28	0.2	-	-	E1	Y	0.23	0.28	0.2	-	-	直立	-				
SK_1096	-	-	P1	Y	0.14	0.16	0.08	-	-	P1	Y	0.14	0.16	0.08	-	-	P1	Y	0.14	0.16	0.08	-	-	直立	-				
SK_1097	-	-	P1	Y	0.27	0.21	0.12	-	-	P1	Y	0.27	0.21	0.12	-	-	P1	Y	0.27	0.21	0.12	-	-	直立	-				
SK_1098	-	-	D1	Y	0.27	0.26	0.16	-	-	D1	Y	0.27	0.26	0.16	-	-	D1	Y	0.27	0.26	0.16	-	-	直立	-				
SK_1099	-	-	D1	Y	0.2	0.63	0.21	-	-	D1	Y	0.2	0.63	0.21	-	-	D1	Y	0.2	0.63	0.21	-	-	直立	-				
SK_1100	-	-	E1	Y	0.28	0.37	0.44	-	-	E1	Y	0.28	0.37	0.44	-	-	E1	Y	0.28	0.37	0.44	-	-	直立	-				
SK_1101	-	-	C1D1a	Y	0.14	0.17	0.05	-	-	C1D1a	Y	0.14	0.17	0.05	-	-	C1D1a	Y	0.14	0.17	0.05	-	-	直立	-				
SK_1102	-	-	D1	Y	0.23	0.18	0.05	-	-	D1	Y	0.23	0.18	0.05	-	-	D1	Y	0.23	0.18	0.05	-	-	直立	-				
SK_1103	-	-	D1	Y	0.15	0.30	0.1	-	-	D1	Y	0.15	0.30	0.1	-	-	D1	Y	0.15	0.30	0.1	-	-	直立	-				
SK_1104	-	-	D1	Y	0.45	0.65	0.39	-	-	D1	Y	0.45	0.65	0.39	-	-	D1	Y	0.45	0.65	0.39	-	-	直立	-				
SK_1105	-	-	D1	Y	0.22	0.35	0.12	-	-	D1	Y	0.22	0.35	0.12	-	-	D1	Y	0.22	0.35	0.12	-	-	直立	-				
SK_1106	-	-	E1	Y	0.23	0.21	0.14	-	-	E1	Y	0.23	0.21	0.14	-	-	E1	Y	0.23	0.21	0.14	-	-	直立	-				
SK_1107	-	-	E1	Y	0.18	0.29	0.22	-	-	E1	Y	0.18	0.29	0.22	-	-	E1	Y	0.18	0.29	0.22	-	-	直立	-				
SK_1108	-	-	D1	Y	0.15	0.30	0.05	-	-	D1	Y	0.15	0.30	0.05	-	-	D1	Y	0.15	0.30	0.05	-	-	直立	-				
SK_1109	-	-	D1	Y	0.28	0.26	0.15	-	-	D1	Y	0.28	0.26	0.15	-	-	D1	Y	0.28	0.26	0.15	-	-	直立	-				
SK_1110	-	-	D1	Y	0.45	0.54	0.15	-	-	D1	Y	0.45	0.54	0.15	-	-	D1	Y	0.45	0.54	0.15	-	-	直立	-				
SK_1111	-	-	D1	Y	0.46	0.39	0.08	-	-	D1	Y	0.46	0.39	0.08	-	-	D1	Y	0.46	0.39	0.08	-	-	直立	-				
SK_1112	-	-	C1D1b	Y	0.46	0.35	0.18	-	-	C1D1b	Y	0.46	0.35	0.18	-	-	C1D1b	Y	0.46	0.35	0.18	-	-	直立	-				
SK_1113	-	-	C1	Y	0.45	0.37	0.05	-	-	C1	Y	0.45	0.37	0.05	-	-	C1	Y	0.45	0.37	0.05	-	-	直立	-				
SK_1114	-	-	D1	Y	0.24	0.49	0.8	-	-	D1	Y	0.24	0.49	0.8	-	-	D1	Y	0.24	0.49	0.8	-	-	直立	-				
SK_1115	-	-	D1	Y	0.32	0.22	0.12	-	-	D1	Y	0.32	0.22	0.12	-	-	D1	Y	0.32	0.22	0.12	-	-	直立	-				
SK_1116	-	-	D1	Y	0.49	0.34	0.11	-	-	D1	Y	0.49	0.34	0.11	-	-	D1	Y	0.49	0.34	0.11	-	-	直立	-				
SK_1117	-	-	D1	Y	0.27	0.33	0.15	-	-	D1	Y	0.27	0.33	0.15	-	-	D1	Y	0.27	0.33	0.15	-	-	直立	-				
SK_1118	-	-	D1	Y	1.4	0.83	0.64	-	-	D1	Y	1.4	0.83	0.64	-	-	D1	Y	1.4	0.83	0.64	-	-	直立	-				
SK_1119	-	-	E1	Y	1.26	0.81	0.82	-	-	E1	Y	1.26	0.81	0.82	-	-	E1	Y	1.26	0.81	0.82	-	-	直立	-				
SK_1120	-	-	E1	Y	1.15	0.81	0.82	-	-	E1	Y	1.15	0.81	0.82	-	-	E1	Y	1.15	0.81	0.82	-	-	直立	-				
SK_1121	-	-	D1D1a	Y	0.35	0.78	0.2	-	-	D1D1a	Y	0.35	0.78	0.2	-	-	D1D1a	Y	0.35	0.78	0.2	-	-	直立	-				
SK_1122	-	-	D1D1b	Y	0.43	0.69	0.13	-	-	D1D1b	Y	0.43	0.69	0.13	-	-	D1D1b	Y	0.43	0.69	0.13	-	-	直立	-				
SK_1123	-	-	C1	Y	1.28	0.70	0.96	-	-	C1	Y	1.28	0.70	0.96	-	-	C1	Y	1.28	0.70	0.96	-	-	直立	-				

測定日(西暦+日)		測定場所		平均気温		最高気温		最低気温		湿度(%)		晴れ		土壌温湿度(%)		備考	
測定地	測定点	緯度	経度	(グラッド)	地温	(グラッド)	地温	(グラッド)	地温	(%)	湿度	(%)	晴	(%)	雨	(%)	
38. 1124	-	-	104	1	0.55	0.30	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1125	-	-	C3	1	0.52	0.25	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1126	-	-	C4	1	0.55	0.27	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1127	11	-	D3	1	0.54	0.30	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1128	-	34	D3	1	1.2	1.1	0.65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1129	-	-	D3a	1	0.96	0.70	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1130	-	-	E4	1	0.29	0.29	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1131	-	-	A5	1	0.60	0.53	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1132	-	-	B6	1	0.64	0.51	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1133 天皇		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 1134	-	-	B6	1	1.03	0.96	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1135	-	-	B6?	1	0.40	0.10	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1136	-	-	B6	1	0.36	0.74	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1137	-	-	B6	1	0.36	0.30	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1138	-	-	C7	1	1.0	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1139	-	-	B7	1	1.2	0.63	0.34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1134 天皇		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 1141	-	-	A7	1	0.26	0.22	0.54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1142	-	-	B6?7	1	1.7	1.98	1.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1143	-	-	F6	1	0.5	0.29	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1144	-	-	A7	1	0.50	0.49	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1145	-	-	B7	1	0.67	0.23	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1146	-	-	B7	1	0.3	0.44	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1147	-	-	B6?8	1	2.57	0.97	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1148	-	-	B6?	1	0.23	0.14	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1149	8	-	B6?	1	0.6	0.30	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1150	-	-	B6?	1	0.23	0.40	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1151 天皇		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38. 1152	-	-	B6	1	1.06	1.03	1.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1153	-	-	B6?6	1	1.73	0.80	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1154	-	-	B6?6	1	0.57	0.95	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1155	-	-	C7	1	0.6	0.56	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1156	-	-	C7	1	0.62	0.47	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1157	-	-	B7	1	0.5	0.21	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1158	-	-	B7	1	0.76	0.24	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1159	-	-	F6	1	0.80	0.47	0.34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1160	-	-	C6	1	0.55	0.22	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1161	-	-	C6	1	0.6	0.40	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1162	-	-	C6	1	0.55	0.22	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1163	-	-	B6?	1	0.57	0.31	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1164	-	-	B6?	1	0.36	0.31	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1165	-	-	B6?	1	0.53	0.38	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1166	-	-	B6?	1	0.36	0.49	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
38. 1167	-	-	E7	1	1.05	0.66	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

測量日(西暦)		測量地名		測量方法		測量距離(m)		測量点		測量条件		測量結果(実測値)		備考	
年	月	区	町	測量方法	基準点	測量距離(m)	測量点番号	測量点	測量方法	基準点	測量距離(m)	測量点番号	測量点	備考	
98	11/08	田原	-	F7	1	1.01~1.36	1.09	0.11	100m計測	1	-	-	100m計測	-	
98	11/09	-	-	B6	T	2.4	2.06	0.06	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/10	-	-	B	T	3.03	0.5	-	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/11	-	-	B8	T	0.27	0.37	0.2	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/12	-	-	B10	T	1.13	0.67	0.22	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/13	-	-	B16	T	0.16	0.76	0.72	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/14	-	-	B18	T	0.94	0.95	0.11	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/15	-	-	B20	T	3.43	1.17	0.05	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/15	13	-	B20-T	T	2.46	0.62	1.02	100m計測+手標尺	(手標尺)	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/16	-	-	B20	T	0.46	0.21	0.11	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/17	-	-	B20	T	0.60	0.72	0.28	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/18	-	-	B20	T	0.3	0.27	0.12	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/19	-	-	B20	T	0.47	0.49	0.2	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/20	-	-	B20	T	0.82	0.55	0.29	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/21	-	-	B20	T	0.95	0.57	0.17	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/22	-	-	B20	T	1.11	0.59	0.23	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/23	-	-	B20	T	0.36	0.51	0.26	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/24	-	-	B20	T	0.38	0.28	0.11	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/25	12	-	B20	T	0.19	0.50	0.16	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/26	-	-	B20	T	2.05	0.57	0.31	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/27	-	-	B20	T	0.85	0.52	0.14	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/28	-	-	B20	T	1.13	0.69	0.20	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/29	-	-	B20	T	0.36	0.27	0.17	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/30	-	-	B20	T	0.38	0.28	0.15	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	11/31	-	-	B20	T	0.40	0.27	0.16	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/01	-	-	B20	T	0.41	0.27	0.17	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/02	-	-	B20	T	0.42	0.27	0.18	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/03	-	-	B20	T	0.43	0.27	0.19	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/04	-	-	B20	T	0.44	0.27	0.20	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/05	-	-	B20	T	0.45	0.27	0.21	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/06	-	-	B20	T	0.46	0.27	0.22	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/07	-	-	B20	T	0.47	0.27	0.23	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/08	-	-	B20	T	0.48	0.27	0.24	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/09	-	-	B20	T	0.49	0.27	0.25	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/10	-	-	B20	T	0.50	0.27	0.26	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/11	-	-	B20	T	0.51	0.27	0.27	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/12	-	-	B20	T	0.52	0.27	0.28	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/13	-	-	B20	T	0.53	0.27	0.29	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/14	-	-	B20	T	0.54	0.27	0.30	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/15	-	-	B20	T	0.55	0.27	0.31	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/16	-	-	B20	T	0.56	0.27	0.32	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/17	-	-	B20	T	0.57	0.27	0.33	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/18	-	-	B20	T	0.58	0.27	0.34	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/19	-	-	B20	T	0.59	0.27	0.35	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/20	-	-	B20	T	0.60	0.27	0.36	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/21	-	-	B20	T	0.61	0.27	0.37	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/22	-	-	B20	T	0.62	0.27	0.38	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/23	-	-	B20	T	0.63	0.27	0.39	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/24	-	-	C10	T	1.07	0.72	0.27	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/25	27	-	C10+G2	T	0.22	0.28	0.18	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/26	10	-	C10	T	0.61	0.24	0.20	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/27	31	-	C10	T	0.59	0.23	0.19	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/28	31	-	D10+4	T	1.18	1.37	0.93	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/29	1	-	D10+4	T	0.80	1.18	0.14	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/30	1	-	D10+4	T	0.86	1.06	0.10	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	
98	12/31	1	-	D10+4	T	0.90	1.01	0.06	100m計測	-	-	100m計測	100m計測	-	

測量項目(+)		測量項目(-)		測量項目(+)		測量項目(-)		測量項目(+)		測量項目(-)		測量項目(+)		測量項目(-)		測量項目(+)		測量項目(-)	
測量項目	備考	測量項目	備考	測量項目	備考	測量項目	備考	測量項目	備考	測量項目	備考	測量項目	備考	測量項目	備考	測量項目	備考	測量項目	備考
19. 1210	-	31	-	C4	Y	1.30	0.4	0.22	0.32	0.22	0.32	0.13	0.22	0.13	0.22	0.13	0.22	0.13	0.22
SK. 1211	-	-	-	B5	Y	0.30	0.50	0.65	0.65	-	-	0.30	0.65	-	-	0.30	0.65	-	-
19. 1212	-	-	-	C6	Y	0.27	0.30	0.22	0.22	-	-	0.27	0.30	-	-	0.27	0.30	-	-
SK. 1213	-	-	-	C5	Y	0.35	0.43	0.11	0.11	-	-	0.35	0.43	-	-	0.35	0.43	-	-
19. 1214	-	-	-	C5	Y	0.35	0.43	0.11	0.11	-	-	0.35	0.43	-	-	0.35	0.43	-	-
SD. 1215	-	-	-	C7	Y	0.34	0.42	0.29	0.29	-	-	0.34	0.42	-	-	0.34	0.42	-	-
SD. 1216	-	-	-	C7	Y	0.34	0.40	0.24	0.24	-	-	0.34	0.40	-	-	0.34	0.40	-	-
SK. 1217	-	27	-	C7	Y	0.34	0.30	0.27	0.27	-	-	0.34	0.30	-	-	0.34	0.30	-	-
19. 1218	-	-	-	C8	Y	0.27	0.24	0.16	0.16	-	-	0.27	0.24	-	-	0.27	0.24	-	-
SK. 1219	-	-	-	C8	Y	0.25	0.25	0.13	0.13	-	-	0.25	0.25	-	-	0.25	0.25	-	-
19. 1220	-	-	-	C8	Y	0.27	0.26	0.16	0.16	-	-	0.27	0.26	-	-	0.27	0.26	-	-
SK. 1221	-	-	-	C8	Y	0.20	0.20	0.11	0.11	-	-	0.20	0.20	-	-	0.20	0.20	-	-
19. 1222	-	-	-	C1+5	Y	0.25	0.29	0.27	0.27	-	-	0.25	0.29	-	-	0.25	0.29	-	-
19. 1223	-	-	-	E5+4	Y	0.24	0.40	0.18	0.18	-	-	0.24	0.40	-	-	0.24	0.40	-	-
19. 1224	-	-	-	E5	Y	0.22	0.68	0.24	0.24	-	-	0.22	0.68	-	-	0.22	0.68	-	-
19. 1225	-	-	-	C4	Y	0.35	0.75	0.21	0.21	-	-	0.35	0.75	-	-	0.35	0.75	-	-
19. 1226	-	-	-	C4	Y	0.35	0.28	0.95	0.95	-	-	0.35	0.28	-	-	0.35	0.28	-	-
19. 1227	-	-	-	C4	Y	0.34	0.37	0.15	0.15	-	-	0.34	0.37	-	-	0.34	0.37	-	-
19. 1228	-	-	-	C4	Y	0.27	0.25	0.3	0.3	-	-	0.27	0.25	-	-	0.27	0.25	-	-
19. 1229	-	-	-	C4+5	Y	0.27	0.61	0.18	0.18	-	-	0.27	0.61	-	-	0.27	0.61	-	-
19. 1230	-	-	-	E3	Y	0.30	0.50	0.43	0.43	-	-	0.30	0.50	-	-	0.30	0.50	-	-
19. 1231	-	-	-	E3	Y	0.32	0.42	0.40	0.40	-	-	0.32	0.42	-	-	0.32	0.42	-	-
19. 1232	-	-	-	E3	Y	0.36	0.36	0.39	0.39	-	-	0.36	0.36	-	-	0.36	0.36	-	-
19. 1233	-	-	-	C3	Y	0.24	0.24	0.24	0.24	-	-	0.24	0.24	-	-	0.24	0.24	-	-
19. 1234	-	-	-	C2	Y	0.34	0.66	0.40	0.40	-	-	0.34	0.66	-	-	0.34	0.66	-	-
19. 1235	-	-	-	C2	Y	0.34	0.49	0.23	0.23	-	-	0.34	0.49	-	-	0.34	0.49	-	-
19. 1236	-	-	-	C3	Y	0.36	0.76	0.35	0.35	-	-	0.36	0.76	-	-	0.36	0.76	-	-
19. 1237	-	-	-	C3	Y	0.24	0.26	0.42	0.42	-	-	0.24	0.26	-	-	0.24	0.26	-	-
19. 1238	-	-	-	C3	Y	0.20	0.10	0.10	0.10	-	-	0.20	0.10	-	-	0.20	0.10	-	-
19. 1239	-	-	-	C3	Y	0.21	0.24	0.26	0.26	-	-	0.21	0.24	-	-	0.21	0.24	-	-
19. 1240	-	-	-	H1	Y	0.18	0.51	0.16	0.16	-	-	0.18	0.51	-	-	0.18	0.51	-	-
19. 1241	-	-	-	C6	Y	0.27	0.20	0.12	0.12	-	-	0.27	0.20	-	-	0.27	0.20	-	-
19. 1242	-	-	-	C6	Y	0.36	0.46	0.21	0.21	-	-	0.36	0.46	-	-	0.36	0.46	-	-
19. 1243	-	-	-	C7	Y	0.34	0.31	0.3	0.3	-	-	0.34	0.31	-	-	0.34	0.31	-	-
19. 1244	-	-	-	H6+7	Y	0.26	0.25	0.13	0.13	-	-	0.26	0.25	-	-	0.26	0.25	-	-
19. 1245	-	-	-	H7	Y	0.26	0.20	0.10	0.10	-	-	0.26	0.20	-	-	0.26	0.20	-	-
19. 1246	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1247	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1248	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1249	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1250	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1251	死	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1252	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1253	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1254	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1255	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1256	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1257	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1258	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1259	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1260	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1261	死	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1262	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1263	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1264	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1265	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1266	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1267	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1268	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1269	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1270	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1271	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1272	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1273	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1274	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1275	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1276	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1277	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1278	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1279	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1280	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1281	死	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1282	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1283	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1284	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1285	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1286	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1287	-	-	-	H7	Y	0.26	0.23	0.10	0.10	-	-	0.26	0.23	-	-	0.26	0.23	-	-
19. 1288	-																		

遺跡名・位置(北緯・東経)								遺物名・性質				出土物・付属遺物	
遺跡名	位置	地層	層位	性質	層位	性質	層位	性質	層位	性質	層位	性質	層位
SH-1256	-	-	-	II	Y	0.19	0.19	-	-	-	-	-	-
SH-1257	-	-	-	C7	Y	0.24	0.26	0.12	0.15	-	-	-	-
SH-1258	-	-	-	QH1	Y	0.26	(0.09)	0.15	-	-	-	-	-
SH-1259	-	-	-	16	Y	0.24	0.17	0.12	0.1	0.19	0.19	0.19	0.19
SH-1260	-	-	-	GB	Y	0.27	0.08	0.13	-	-	-	-	-
SH-1261	-	-	-	16	Y	0.28	0.20	0.18	-	月形	-	-	-
SH-1262	-	-	-	16	Y	0.25	0.11	0.07	-	月形	-	-	-
SH-1263	-	-	-	16	Y	0.23	0.08	0.06	-	月形	-	-	-
SH-1264	-	-	-	GB	Y	0.25	0.15	0.14	-	月形	-	-	-
SH-1265	-	-	-	17	Y	0.25	0.08	0.12	-	月形	-	-	-
SH-1266	-	-	-	17	Y	0.26	0.08	0.13	-	(月形)	-	-	-
SH-1267	-	-	-	17	Y	0.26	(0.09)	0.10	-	(月形)	-	-	-
SH-1268	-	-	-	17	Y	0.26	0.09	0.12	-	月形	-	-	-
SH-1269	-	-	-	17	Y	0.23	0.20	0.10	-	(月形)	-	-	-
SH-1270	-	-	-	GB	Y	0.23	0.28	0.11	-	月形	-	-	-
SH-1271	-	-	-	E5	Y	0.23	0.20	0.11	-	(月形)	-	-	-
SH-1272	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.09	-	(月形)	-	-	-
SH-1273	-	-	-	E9	Y	0.23	0.13	0.15	-	月形	-	-	-
SH-1274	-	-	-	16	Y	0.26	0.20	0.1	-	月形	-	-	-
SH-1275	-	-	-	16	Y	0.24	0.28	0.12	-	月形	-	-	-
SH-1276	-	-	-	17	Y	0.22	0.24	0.18	-	月形	-	-	-
SH-1277	-	-	-	16	Y	0.24	0.15	0.17	-	(月形)	-	-	-
SH-1278	-	-	-	16	Y	0.25	0.27	0.26	-	(月形)	-	-	-
SH-1279	-	-	-	16	Y	0.25	0.15	0.21	-	月形	-	-	-
SH-1280	-	-	-	16	Y	0.29	0.27	-	-	(月形)	-	-	-
SH-1281	-	-	-	111	Y	0.20	0.11	0.40	-	(月形)	-	-	-
SH-1282	-	-	-	GB	Y	0.24	0.11	0.24	-	月形	-	-	-
SH-1283	-	-	-	16	Y	0.24	0.15	0.27	-	月形	-	-	-
SH-1284	-	-	-	GB	Y	0.23	0.15	0.25	-	月形	-	-	-
SH-1285	-	-	-	16	Y	0.25	0.15	0.23	-	月形	-	-	-
SH-1286	-	-	-	16	Y	0.26	0.20	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1287	-	-	-	E4	Y	0.26	0.11	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1288	-	-	-	E4	Y	0.27	0.15	0.29	-	月形	-	-	-
SH-1289	-	-	-	C4	Y	0.22	0.33	0.2	-	月形	-	-	-
SH-1290	-	-	-	C3	Y	0.24	0.15	0.27	-	月形	-	-	-
SH-1291	-	-	-	GB	Y	0.23	0.28	0.15	-	月形	-	-	-
SH-1292	-	-	-	16	Y	0.23	0.15	0.23	-	月形	-	-	-
SH-1293	-	-	-	16	Y	0.22	0.15	0.25	-	月形	-	-	-
SH-1294	-	-	-	E4	Y	0.26	0.13	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1295	-	-	-	GB	Y	0.26	0.28	0.27	-	月形	-	-	-
SH-1296	-	-	-	16	Y	0.27	0.25	0.15	-	月形	-	-	-
SH-1297	-	-	-	GB	Y	1.25	0.17	-	-	月形	-	-	-
SH-1298	-	-	-	16	Y	0.64	0.20	0.21	-	月形	-	-	-
SH-1299	-	-	-	E7	Y	0.26	0.26	0.19	-	月形	-	-	-
SH-1300	-	-	-	F3	Y	0.25	(0.09)	0.27	-	月形	-	-	-
SH-1301	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1302	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1303	-	-	-	E4	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1304	-	-	-	GB	Y	0.27	0.28	0.27	-	月形	-	-	-
SH-1305	-	-	-	16	Y	0.27	0.25	0.15	-	月形	-	-	-
SH-1306	-	-	-	16	Y	0.27	0.25	0.15	-	月形	-	-	-
SH-1307	-	-	-	16	Y	0.27	0.25	0.15	-	月形	-	-	-
SH-1308	-	-	-	16	Y	0.27	0.25	0.15	-	月形	-	-	-
SH-1309	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1310	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1311	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1312	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1313	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1314	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1315	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1316	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1317	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1318	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1319	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1320	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1321	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1322	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1323	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1324	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1325	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1326	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1327	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1328	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1329	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1330	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1331	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1332	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1333	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1334	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1335	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1336	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1337	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1338	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1339	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1340	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1341	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1342	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1343	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1344	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1345	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1346	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1347	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1348	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1349	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1350	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1351	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1352	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1353	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1354	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1355	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1356	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1357	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1358	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1359	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1360	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1361	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1362	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1363	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1364	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1365	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1366	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1367	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1368	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1369	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1370	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1371	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1372	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1373	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1374	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1375	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1376	-	-	-	16	Y	0.23	0.26	0.26	-	月形	-	-	-
SH-1377	-	-	-</td										

通風孔(×2)		吸込口		排氣口(ガラス)		吸込・排氣		通風(m)		排気		排氣量/(m ³ /分)	
側面	底面	側面	底面	側面	底面	側面	底面	側面	底面	側面	底面	側面	底面
16.	13040	-	-	B17	F	0.175	0.175	0.14	0.14	0.175	0.175	0.14	0.14
16.	13041	-	-	B18	F	0.20	0.20	0.23	0.23	0.20	0.20	0.23	0.23
16.	13042	-	-	B19	F	0.2	0.2	0.22	0.22	-	-	0.20	0.20
16.	13043	-	-	B20	F	0.23	0.23	0.25	0.25	-	-	0.22	0.22
16.	13044	-	-	B21	F	0.21	0.21	0.24	0.24	-	-	0.20	0.20
16.	13045	-	-	B22	F	0.22	0.21	0.24	0.23	-	-	0.20	0.20
16.	13046	-	-	B23	F	0.23	0.23	0.27	0.27	-	-	0.20	0.20
16.	13047	-	-	B24	F	0.21	0.21	0.24	0.24	-	-	0.20	0.20
16.	13048	-	-	B25	F	0.20	0.20	0.23	0.23	-	-	0.20	0.20
16.	13049	-	-	B26	F	0.20	0.20	0.26	0.26	-	-	0.20	0.20
16.	13101	-	-	B27	F	0.20	0.20	0.26	0.26	-	-	0.20	0.20
16.	13111	-	-	B28	F	0.23	0.23	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13112	-	-	B29	F	0.22	0.22	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13113	-	-	B30	F	0.21	0.21	0.24	0.24	-	-	0.20	0.20
16.	13114	-	-	B31	F	0.21	0.21	0.24	0.24	-	-	0.20	0.20
16.	13115	-	-	B32	F	0.27	0.27	0.28	0.28	-	-	0.20	0.20
16.	13116	-	-	B33	F	0.20	0.20	0.26	0.26	-	-	0.20	0.20
16.	13117	-	-	B34	F	0.27	0.27	0.30	0.30	-	-	0.20	0.20
16.	13118	-	-	B35	F	0.28	0.29	0.30	0.30	-	-	0.20	0.20
16.	13119	-	-	B36	F	0.23	0.23	0.28	0.28	-	-	0.20	0.20
16.	13120	-	-	B37	F	0.27	0.27	0.31	0.31	-	-	0.20	0.20
16.	13121	-	-	B38	F	0.27	0.27	0.32	0.32	-	-	0.20	0.20
16.	13122	-	-	B39	F	0.28	0.28	0.32	0.32	-	-	0.20	0.20
16.	13123	-	-	B40	F	0.29	0.29	0.33	0.33	-	-	0.20	0.20
16.	13124	-	-	B41	F	0.29	0.29	0.33	0.33	-	-	0.20	0.20
16.	13125	-	-	B42	F	0.29	0.29	0.33	0.33	-	-	0.20	0.20
16.	13126	-	-	B43	F	0.29	0.29	0.33	0.33	-	-	0.20	0.20
16.	13127	-	-	B44	F	0.29	0.29	0.33	0.33	-	-	0.20	0.20
16.	13128	27	-	B45	F	0.20	0.20	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13129	28	-	B46	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13130	29	-	B47	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13131	30	-	B48	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13132	31	-	B49	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13133	32	-	B50	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13134	33	-	B51	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13135	34	-	B52	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13136	35	-	B53	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13137	36	-	B54	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13138	37	-	B55	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13139	38	-	B56	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13140	39	-	B57	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13141	40	-	B58	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13142	41	-	B59	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13143	42	-	B60	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13144	43	-	B61	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13145	44	-	B62	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13146	45	-	B63	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13147	46	-	B64	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13148	47	-	B65	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13149	48	-	B66	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13150	49	-	B67	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13151	50	-	B68	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13152	51	-	B69	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13153	52	-	B70	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13154	53	-	B71	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13155	54	-	B72	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13156	55	-	B73	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13157	56	-	B74	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13158	57	-	B75	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13159	58	-	B76	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13160	59	-	B77	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13161	60	-	B78	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13162	61	-	B79	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13163	62	-	B80	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13164	63	-	B81	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13165	64	-	B82	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13166	65	-	B83	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13167	66	-	B84	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13168	67	-	B85	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13169	68	-	B86	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13170	69	-	B87	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13171	70	-	B88	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13172	71	-	B89	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13173	72	-	B90	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13174	73	-	B91	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13175	74	-	B92	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13176	75	-	B93	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13177	76	-	B94	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13178	77	-	B95	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13179	78	-	B96	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13180	79	-	B97	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13181	80	-	B98	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13182	81	-	B99	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13183	82	-	B100	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13184	83	-	B101	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13185	84	-	B102	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13186	85	-	B103	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13187	86	-	B104	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13188	87	-	B105	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13189	88	-	B106	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13190	89	-	B107	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13191	90	-	B108	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13192	91	-	B109	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13193	92	-	B110	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13194	93	-	B111	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13195	94	-	B112	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13196	95	-	B113	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13197	96	-	B114	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13198	97	-	B115	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13199	98	-	B116	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13200	99	-	B117	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13201	100	-	B118	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13202	101	-	B119	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13203	102	-	B120	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13204	103	-	B121	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13205	104	-	B122	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0.20
16.	13206	105	-	B123	F	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	0.20	0

測量日(西暦)		測定点名		座標系		高さ		傾き		距離(m)		傾き		高さ		傾き		
番号	地名	測定点	番号	(アリガツ)	傾斜	高さ	傾斜	高さ	傾斜	距離(m)	傾斜	高さ	傾斜	高さ	傾斜	高さ	傾斜	
50	1335	-	33	047	中Y	0	-	0	-	-	-	N ^{25°} E	W	-	-	-	-	
50	1256	-	23	047	中Y	1.6	-	4.6	-	102.2	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1337	-	33	146	中Y	6.6	-	4.0	-	102.6	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1336	-	33	045	中Y	7.9	-	5.2	-	102.6	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1339	-	33	045	中Y	7.0	-	5.4	-	102.6	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1340	-	33	EP3	中Y	6.6	-	4.0	-	102.6	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1381	-	2026	043	中Y	6.3	-	3.0	-	-	-	N ^{31°} E	W	-	-	-	-	
50	1342	-	33	EP5	中Y	6.5	-	3.9	-	102.6	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1343	-	33	EP2+3	中Y	7.2	-	4.3	-	102.6	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1344	-	33	2026	043	中Y	6.6	-	3.9	-	102.6	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-
50	1345	-	33	043+4	中Y	9.5	-	7.6	-	-	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1346	-	33	146	中Y	8.6	-	6.6	-	-	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1347	-	43	042	中Y	9.2	-	5.2	-	-	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1399	大畠	-	33	EP3	中Y	10.2	5.0	-	-	-	N ^{27°} E	W	-	-	-	-	
50	1401	-	-	33	047	中Y	-	-	-	-	-	N ^{11°} E	W	-	-	-	-	
50	1402	-	33	EP2	中Y	-	-	-	-	-	-	N ^{11°} E	W	-	-	-	-	
50	1403	-	-	33	D4	中Y	-	-	-	-	-	N ^{10°} E	W	-	-	-	-	
50	1404	-	-	33	EH	中Y	-	-	-	-	-	N ^{10°} E	W	-	-	-	-	
50	1405	-	-	33	D1	中Y	-	-	-	-	-	N ^{10°} E	W	-	-	-	-	
50	1406	-	-	33	F3	中Y	-	-	-	-	-	N ^{10°} E	W	-	-	-	-	
50	1407	-	-	33	FC3	中Y	-	-	-	-	-	N ^{10°} E	W	-	-	-	-	
50	1408	-	-	33	F3	中Y	-	-	-	-	-	N ^{10°} E	W	-	-	-	-	
50	1409	-	-	33	H2	中Y	-	-	-	-	-	N ^{10°} E	W	-	-	-	-	

一覧表(2)3区
選構3表
選構区内内数値または既存値
※は調査時測定値、法量()は調査区内外値
一覧表上、道構Nohから地区を意味する“3-”は省略

